



Xanadu Telecommunications Network Inventory

最終更新日: 2024年11月7日

自動翻訳

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

通信事業ネットワークインベントリ	6
通信事業ネットワークインベントリ の探索	7
通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル	9
通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング	14
ネットワークインベントリワークスペース	23
回路の可視化	30
属性パック	32
インベントリ番号の割り当て	32
での 5G xNF のモデル化 通信事業ネットワークインベントリ	35
構成アイテムの改訂、運用化、および廃止	36
キャパシティ管理	37
ネットワークトポロジーの可視化	38
フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー	39
ラックまたはキャビネットの可視化	42
通信事業ネットワークインベントリの構成	45
通信事業ネットワークインベントリ のインストール	45
のユーザーロールのアサイン 通信事業ネットワークインベントリ	47
場所階層の定義	48
メーカーコードとベンダーコードの作成	49
電話番号のコンポーネントを作成する	50
のディシジョンテーブルの構成 通信事業ネットワークインベントリ	52
Telecommunications Network Inventory 属性の構成	55
属性パックテーブルの構成	56
キャパシティ管理の構成	58
他のアプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ の統合	60
通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合	60
Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media	62
通信事業ネットワークインベントリ の使用	65
Network Inventory Workspace を使用したネットワークインベントリの確認と更新	66
インベントリモデルの作成	119
ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成	131
インベントリテンプレート関係の作成	134
モデルとテンプレートのインポート	147
モデルとテンプレートの階層をエクスポート	150
設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化	151
CMDB ワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示	164
ネットワーク図の使用	167
CI レコードの属性パックの使用	171
ネットワーク トポロジの使用	172

通信事業ネットワークインベントリ 参照.....	173
ケーブルフォーム.....	173
ケーブルモデルフォーム.....	176
キャパシティ定義フォーム.....	178
キャパシティ機能追加フィールド.....	179
キャパシティ機能フォーム.....	180
変更要求関連のタブ.....	181
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド.....	183
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド.....	186
[会社] フォーム.....	187
接続要素フォーム.....	187
ラックビューから機器を作成.....	188
[論理接続を作成] フォーム.....	190
[物理接続を作成] フォーム.....	190
変更要求フォームと変更タスクフォーム.....	191
デフォルトテンプレートフォーム.....	210
GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て.....	212
機器所有者フォーム.....	214
機器所有者拡張クラス.....	218
機器拡張クラス.....	220
GPON ブロードバンド変更モデルフォーム.....	242
カードフォーム.....	244
[インベントリモデル] フォーム.....	245
インベントリモデルの追加タブ.....	253
インベントリ番号割り当てフィールド.....	254
インベントリ番号フォーム.....	257
IP アドレスインベントリ管理データモデル.....	258
場所フォーム.....	259
[論理接続] フォーム.....	260
管理対象ネットワークフォーム.....	263
関連テンプレートの命名規則.....	266
ネットワークインベントリ変更要求フォーム.....	266
ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ.....	270
ネットワークモデル関係のフィールド.....	272
ネットワークサイトフォーム.....	277
ネットワークトポロジフォーム.....	277
パックテーブル.....	278
パス計算エラーメッセージ.....	281
[物理接続] フォーム.....	282
ネットワークインベントリフォームの関連タブ.....	285
関連テンプレートフォーム.....	290

ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、サーバーフォー
ム.....291

ストランドフォーム.....293

ストランドモデルフォーム.....296

通信機器フォーム.....299

通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ.....299

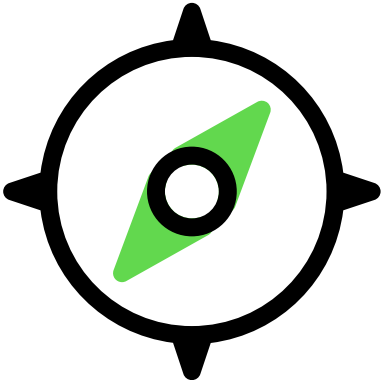
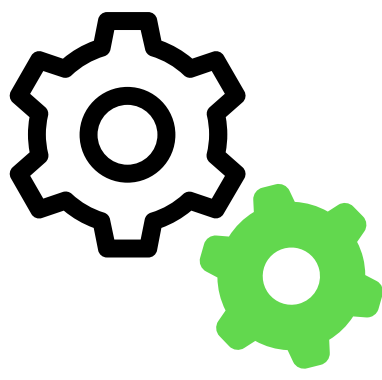
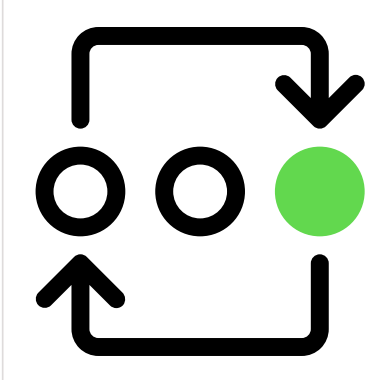
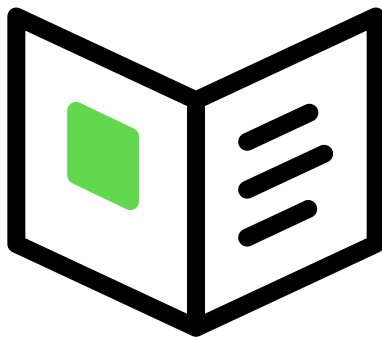
通信事業ネットワークインベントリ サブフロー.....318

電話番号インベントリ管理データモデル.....321

TNI CI 属性フォーム.....322

通信事業ネットワークインベントリ

ServiceNow 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、物理ネットワークと論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされるサービスのデジタル表現をビルドできます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

探索  プロバイダーが 通信事業ネットワークインベントリを使用する方法について説明します。	Configure (構成)  通信事業ネットワークインベントリ を計画および構成します。	データ連携  他のアプリケーションと統合することで 通信事業ネットワークインベントリ 機能を拡張します。
使用  通信事業ネットワークインベントリを使用して、包括的なネットワークインベントリモデルを作成およびレビューします。	参照  通信事業ネットワークインベントリ参照情報を取得します。	

通信事業ネットワークインベントリ の探索

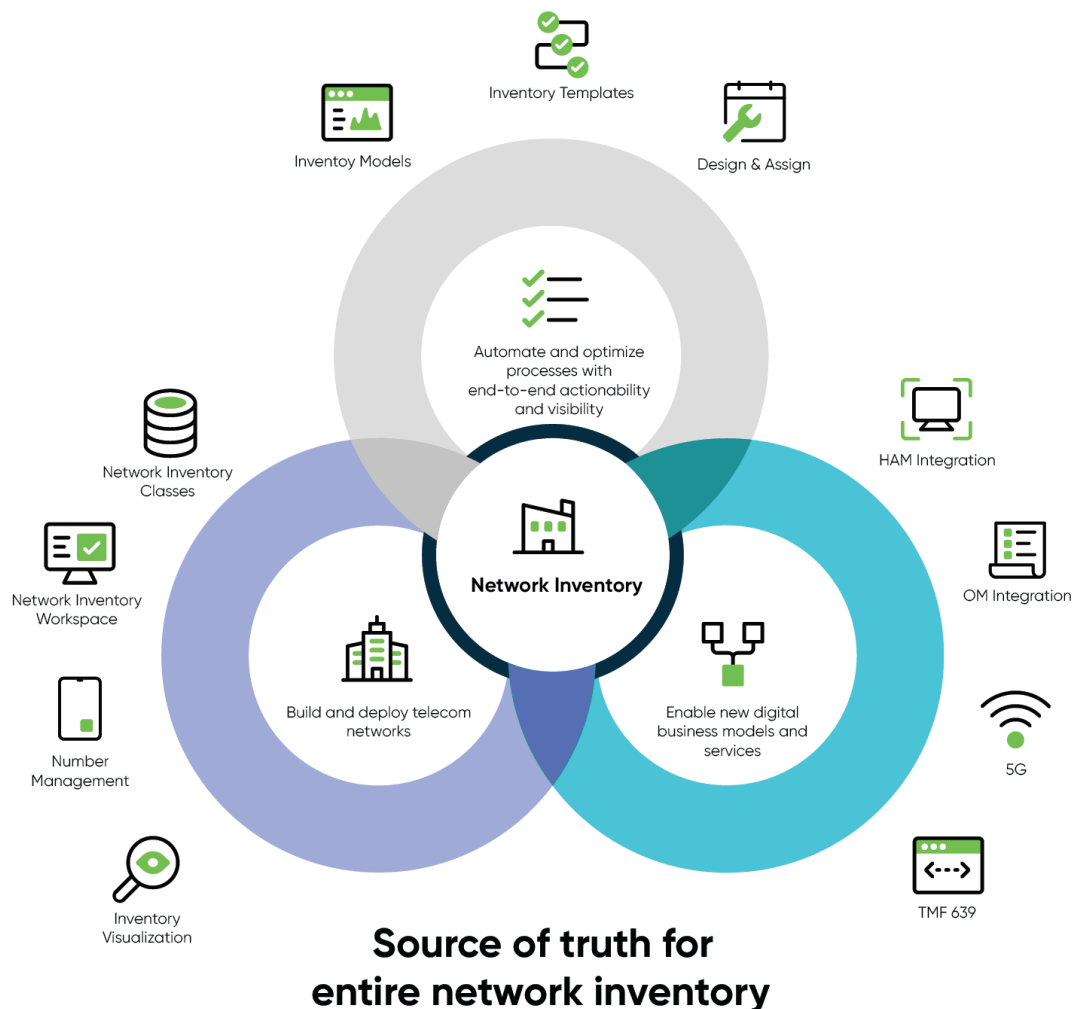
組織がNow Platform内の物理ネットワークと論理ネットワークのデジタル表現を作成するために、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションがどのように役立つかについて説明します。

概要

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、統合された正確なネットワークインベントリを使用して通信サービスエクスペリエンスを再定義し、組織内のリソースとサービスのライフサイクルを自動化できます。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、物理ネットワーク、論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされたサービスのデジタル表現を構築できます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

ServiceNow 構成管理データベース (CMDB)には、ネットワークインベントリの詳細が保存されます。この情報を使用して、ネットワーク インフラストラクチャを監視し、ネットワークの整合性、安定性、および継続的なサービス運用を確保できます。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの一般的な使用方法を示しています。



す。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの主な用途は次のとおりです。

ネットワーク資産のライフサイクル管理

サービスプロバイダーが、予備のインベントリ機器、ネットワークに現在展開されている資産、および新しいネットワークの空きキャパシティ(使用可能なスロットやポートなど)を把握できるようにします。正確なリソースライフサイクルデータを信頼できる唯一の情報源としてキャプチャ、保存、維持します。プラットフォームワークフローを活用して、組織全体のリソースとサービスのライフサイクルを管理します。

電気通信回路の設計とリソースの割り当て

ネットワークサービスの作成方法を自動化します。変更ワークフローを開始する設計基準を設定して、必要な機器を割り当てることができます。

正確なネットワークインベントリに基づく電気通信サービス保証

サービスプロバイダーが、物理機器に関連する回線、サービス、および顧客を理解できるように支援します。サービスを物理ネットワークリソースにマッピングして、サービスの影響の分析を迅速化できるようにします。構成可能なダッシュボードを通じてリソース使用率を正確に可視化します。

メリット

通信事業ネットワークインベントリには、次の利点と機能があります。

通信事業ネットワークインベントリ 機能のメリット

メリット	機能
電気通信サービスプロバイダーのニーズをサポートするために調整された電気通信業界の標準である構成管理データベース (CMDB) クラスを活用します	通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル
機器をすばやくモデル化し、複雑なテンプレートを設計する	通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング
必要な機器を割り当てるための変更ワークフローを開始する複雑な設計基準を設定することで、ネットワークサービスの作成を自動化します	電気通信の設計とアサイン
カスタマイズした構成可能なワークスペースとダッシュボードにより、ネットワークインベントリ運用の可視化を深める	ネットワークインベントリワークスペース
電話番号と IP アドレスを割り当てる	インベントリ番号の割り当て
5G ネットワークのモデル化	での 5G xNF のモデル化 通信事業ネットワークインベントリ
顧客の注文を必要なネットワークリソースに関連付けて、シームレスなサービスデリバリエクスペリエンスを提供する	Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media
資産を使用して機器テンプレートをインスタンス化し、資産を調達するためのサービス要求を生成します	通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合
ユーザー定義情報を持つパックを定義し、CI レコードに対して更新する	属性パック
回路とその基礎となる接続要素を可視化する	回路の可視化

通信事業ネットワークインベントリ 機能のメリット (続く)

メリット	機能
機能カタログとサブフローを使用して、ネットワークインベントリの設計およびアサインプロセスを自動化します	フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー
ネットワーク内のさまざまな要素が編成され、相互に接続されているトポロジを視覚化します	ネットワークトポロジの可視化
ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算して、リソースを計画、監視、および最適化します	キャパシティ管理
構成アイテムの変更と運用化	構成アイテムの改訂、運用化、および廃止
ラックとキャビネットの視覚化と管理	ラックまたはキャビネットの可視化

通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル

通信事業ネットワークインベントリ のデータモデルには、ネットワーク資産、インフラストラクチャ、サービス間の関係が表示されます。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存のサービスの変更、ネットワークの保守、および組織内のネットワーク拡張の予測の計画を行うことができます。

概要

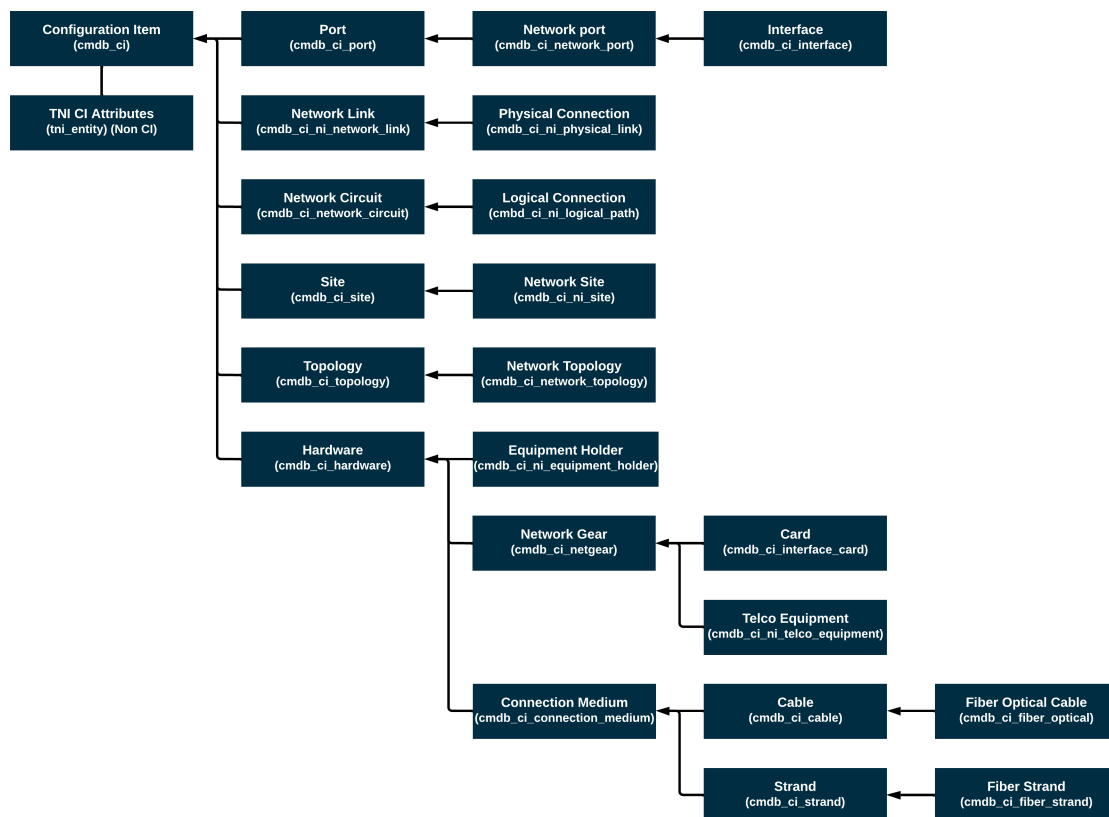
データモデルには、telco 機器構成データ、フレームワークのポートの可用性サイトとサービス間の帯域幅割り当てなど、ネットワーク資産に関する詳細が含まれています。このデータモデルを使用すると、ネットワークインフラストラクチャとサービスを構築、管理、維持、および割り当てることができます。さらに、このデータモデルは、カスタマーサービス注文と内部ネットワーク注文をサポートするネットワーク機器と接続の設計と作成を自動化します。

資産、サービス、およびネットワークインベントリの関係によって、通信ネットワークのインフラストラクチャが定義されます。この情報を使用して、ネットワークを計画および予測できます。資産のデータをネットワークインベントリレコードに保存できます。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラス階層を拡張するネットワークインベントリ拡張クラスを使用します。これらの拡張機能により、CMDB はネットワークインベントリ情報を保存できます。また、これらの拡張クラスは、TeleManagement (TM) Forum や Metro Ethernet Forum (MEF) などの電気通信業界の標準化団体に沿った標準化と一貫性を提供します。ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラスの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ 拡張クラス](#)」を参照してください。

次の図は、ネットワークインベントリ のデータモデルの拡張クラスを示しています。

ネットワークインベントリデータモデル



ネットワークサイトとネットワークの場所

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションのネットワークサイトレコードは、ネットワーク機器とリソースの物理的な場所に関する情報を提供します。ネットワークサイトレコードを使用して、次のことができます。

- ネットワーク接続の発信元と終了元を監視する
- ネットワーク資産が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、および部屋を監視します
- ネットワークサイトの運用ステータスを追跡する
- サービスポートロジへのネットワークサイトのマッピング
- 可視化を向上させるために、物理的な場所をネットワークサイトにリンクする
- ネットワーク障害と機能停止を特定する

ネットワークサイトは、ネットワークサイト内の機器と接続から派生した 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) ですが、場所は単なる物理アドレスです。

通信事業ネットワークインベントリ 拡張クラス

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、次の表に示すように、CMDBクラス階層を拡張する汎用構成アイテム (CI) クラスを使用します。次の表では、アプリケーション内で使用されるクラスについて説明します。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
TNI CI 属性 [tni_entity]	非 CI クラス	TNI CI 属性レコード。 共通 通信事業ネットワークインベントリ 属性のコレクションを表します。TNI CI 属性レコードを使用して、通信事業ネットワークインベントリに関連する関連共通属性を作成し、CI レコードとの関係を作成します。詳細については、「TNI CI 属性フォーム」を参照してください。
ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site]	サイト [cmdb_ci_site]	ネットワークサイト。 機器が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、部屋など、各ネットワークサイトの場所固有の属性をキャプチャして管理します。 ネットワークサイトレコードを使用すると、ある場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、または機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita」を参照してください。
機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder]	ハードウェア [cmdb_ci_hardware]	機器ホルダー 電気通信機器 (ケージ、ベイ、キャビネット、スロット、リレーラックなど) を収容する物理ユニットを表します。機器ホルダーには、他の機器ホルダーを含めることができます。たとえば、ラインナップには個々のリレーラックが含まれ、各リレーラックには機器シェルフが含まれます。 機器ホルダーレコードを使用して、ネットワーク資産を追跡および管理します。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
		equipment-holders.dita」を参照してください。 機器ホルダーの拡張クラスの詳細については、「機器所有者拡張クラス」を参照してください。
電気通信機器 [cmdb_ci_ni_telco_equipment]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	通信機器 ネットワークで技術的な機能を提供するデバイスを表します。例としては、ルーター、モデム、モバイルデバイス、光ケーブル、リレー、スイッチなどがあります。機器にはスロット、カード、またはポートを含めることができます。すべての機器がラックにマウントされているわけではないため、機器は機器ホルダー内に存在することも、単独で存在することもあります。 機器レコードを使用して、電気通信機器の詳細を追跡および管理します。詳細については、以下を参照してください。 通信機器インスタンスの作成 機器拡張クラスの詳細については、「機器拡張クラス」を参照してください。
ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface]	ネットワークポート [cmdb_ci_ni_network_port]	ネットワークインターフェイス ネットワークインターフェイスの機器固有の属性をキャプチャして維持します。詳細については、「ネットワークインターフェイスの詳細を定義する」を参照してください。
インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	ネットワークインターフェイスカード ネットワークに格納されているインターフェイスカードを表します。カードは複数のスロットを占有することができます。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
		ます。またカードには、他のカードを含めることができます。機器の物理ポートまたは論理 (仮想) ポートにすることができます。各ポートには帯域幅の値がアサインされます。帯域幅は、ネットワーク設計でポートを使用すると消費されます。 詳細については、「カードの詳細を定義」を参照してください。
物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link]	ネットワークリンク [cmdb_ci_network_link]	物理接続 ネットワーク内のインターフェイスカードの物理ポート接続を表します。詳細については、「物理接続の詳細を定義する」を参照してください。
論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path]	ネットワーク回路 [cmdb_ci_network_circuit]	Logical Connection (論理接続) ネットワークインターフェイスカードの論理ポートまたは仮想ポートの接続を表します。論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。 詳細については、「論理接続の詳細を定義します」を参照してください。
トポロジ [cmdb_ci_topology]	ネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology]	ネットワークトポロジ ノード (機器)、エッジ (接続)、終端ポイント (インターフェイス) などのネットワーク要素のグループと、それらがどのように編成され、相互に接続されているかを表します。 詳細については、「ネットワークトポロジーの可視化」を参照してください。

関連情報

[ネットワークインベントリ \(NI\) 拡張クラス](#)

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリレコードを作成して、ネットワーク資産の詳細を保存する方法について説明します。レコードを作成するときに、各インベントリレコード間の関係を定義して、ネットワークのデジタルモデルを設計することもできます。

概要

ネットワークの正確なデジタル表現を構築することで、物理リソースと論理リソースを表示し、それらのリソースの使用方法を改善し、ネットワークの運用コストを削減できます。

通信機器やネットワークインターフェイスなどの一連のフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを作成および管理します。これらのフォームには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [インベントリ] ノードからアクセスできます。

ネットワークインベントリレコードの作成方法

ネットワークレコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで次の 2 つの方法のいずれかで作成できます。

1. インベントリフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを手動で作成します。これらのフォームを使用すると、ネットワークインベントリレコードを作成およびレビューし、それらの関係を定義できます。インベントリフォームには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [インベントリ] ノードからアクセスできます。詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認](#)」を参照してください。
2. 設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークインベントリレコードを作成します。設計およびアサイン機能を開始する前に、設計基準のインベントリモデル、テンプレート、およびモデル関係を設定します。設計およびアサイン機能を使用して、インベントリ タスクを実行し、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定します。これらのワークフローを使用して、インベントリリソースを割り当て、ネットワークインベントリレコードをインスタンス化できます。設計と割り当て機能の詳細については、「[電気通信の設計とアサイン](#)」を参照してください。
3. リソースインベントリオープン API を使用してネットワークインベントリレコードを作成します。Resource Inventory Open API は、ネットワーク内のリソースを作成、取得、および削除するためのエンドポイントを提供します。外部システムと統合している場合は、リソースインベントリオープン API を使用してインベントリレコードを取得できます。[ネットワークインベントリテンプレート](#) インベントリレコードを照会および操作できるようにする関数の詳細については、「[リソース在庫オープン API](#)」を参照してください。

インベントリモデルとテンプレート

インベントリモデルとテンプレートは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリレコードを作成するためのフレームワークを提供します。ネットワークインベントリモデルには、通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。テンプレートには、ネットワーク資産をネットワークで構成する方法に関するビジネスガイダンスルールが含まれています。

モデル、テンプレート、およびそれらの関係を作成できます。ネットワークインベントリテンプレートは複数構成することができます。

- 在庫モデルの詳細については、「[ネットワークインベントリモデル](#)」を参照してください。
- インベントリテンプレートの詳細については、[ネットワークインベントリテンプレート](#)をご覧ください。
- 在庫モデルの関係の詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリのデータモデル

ネットワークインベントリモデル

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでインベントリモデルを定義して、通信機器やネットワークインターフェイスなどのネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡できるようにします。

概要

ネットワークインベントリモデルには、通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。インベントリモデルには、製造元の名前、番号、寸法、互換性のあるインターフェイスカード、および構成のメタデータが含まれています。設計およびアサイン機能を使用してインベントリレコードをインスタンス化すると、インベントリレコードにはこの標準メーカー情報が含まれます。インベントリモデルレコードの作成方法の詳細については、「[インベントリモデルの作成](#)」を参照してください。

インベントリモデルを作成したら、さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義できます。これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。モデルの関係の詳細については、「[ネットワークモデルの関係](#)」を参照してください。

インベントリモデルの種類

次のタイプのインベントリモデルを作成できます。

設備モデル

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから機器に対して提供されるメタデータを表します。これは、機器に対して作成されたさまざまなインスタンス間で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個別のオカレンスです。。詳細については、「[機器モデルを作成する](#)」を参照してください。

機器所有者モデル

機器ホルダーモデルは、ベイ、キャビネット、ケージ、ラインアップ、リレーラック、スロットなど、コンテナを表現するためのメタデータを表します。**[Container Type (コンテナタイプ)]** フィールドは、機器モデルが表すコンテナのタイプを参照します詳細については、「[機器ホルダーモデルを作成する](#)」を参照してください。

スロットのモデリングのガイドラインは、通信サービスプロバイダーによって異なります。個々のスロットモデルは、スロットのタイプによって表されます。例としては、ルート プロセッサ スロット、電源スロット、ファン スロット、または汎用スロット モデルがあります。。詳細については、「[機器ホルダーモデルを作成する](#)」を参照してください。

インターフェイスカードモデル

カードモデルは、そのモデルのインスタンス化されたさまざまなカード間で一貫性がある 属性であるカードのメタデータを定義します。。詳細については、「[カードモデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスモデル

ネットワークインターフェイスモデルは、製品メーカーによって指定された、ネットワークインターフェイスの動作に関する物理的特性とデータをキャプチャします。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。

物理接続モデル

物理接続モデルは、物理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[物理接続モデルを作成する](#)」を参照してください。

論理接続モデル

論理接続モデルは、論理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。

ケーブルモデル

ケーブルモデルは、ケーブルのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ケーブルモデルを作成する](#)」を参照してください。

ストランドモデル

ストランドモデルは、ストランドのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ストランドモデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークトポロジモデル

ネットワークトポロジモデルは、トポロジのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ネットワークトポロジモデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークモデルの関係

モデルの関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。

モデルの関係を設定するときは、[関係タイプ] フィールドで次のいずれかのオプションを選択します。

-- なし --

ネットワークモデルの関係が存在しません。

ラックからスロット

ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係は、ラックモデルとスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

設備からスロット

機器モデルとスロットモデル間の関係。この関係は、スロット数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

注:

- [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。

機器からネットワークインターフェイス

機器モデルとネットワークインターフェイスモデル間の関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性がありサポートされているインターフェイスの数を示します。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

スロットからインターフェイスカード

スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係は、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある [ルート製品モデル] フィールドを強制します。

i 注:

- [ルート製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。

インターフェイスカードからスロット

インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- 親製品モデル フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。

インターフェイスカードからネットワークインターフェイス

インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデルのインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- 親製品モデル フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

物理接続から論理接続

物理接続と論理接続のモデル間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

論理接続から論理接続

ある論理接続モデルから別の論理接続モデルへの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

物理接続からネットワークインターフェイス

物理接続とネットワークインターフェイス間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

論理接続からネットワークインターフェイス

論理接続とネットワークインターフェイス間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

ラックから設備

ラックと 機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、[コンテナタイプ] が [ラック] であるすべての機器ホルダーが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。

キャビネットから設備

キャビネットと機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、コンテナタイプがキャビネットであるすべての機器ホルダーが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。

論理接続からチャンネル

論理接続とチャンネルの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、[動作] が [チャンネル] であるすべてのチャンネルモデルのリストが表示されます。

ネットワーク インベントリ の関係をモデル化する方法の詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)」を参照してください。

インベントリモデルフォームへのアクセス

インベントリモデルフォームにはネットワークインベントリワークスペースリストビューの [インベントリモデル] ノードからアクセスできます。

ネットワークインベントリテンプレート

通信事業者からのビジネスガイダンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義します。

概要

テンプレートには、機器構成の生成方法に関するルールが含まれており、メーカーの運用要件に基づいています。また、他のタイプのハードウェアとの構成および機器の互換性情報も含まれています。ネットワーク インベントリ テンプレートとその関係の詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリテンプレートのタイプ

インベントリテンプレート

ネットワークインベントリテンプレートには、通信事業者からの詳細なビジネスガイダンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、機器構成の生成方法を定めており、特定の運用要件に基づいています。たとえば、開発した機器モデルに基づいて、人口密度の高い大都市圏で使用するテンプレートを作成し、人口の少ない農村地域で使用する別の機器モデルテンプレートを作成できます。インベントリテンプレートの作成方法の詳細については、「[インベントリテンプレートを作成する](#)」を参照してください。

インベントリテンプレートには、インベントリテンプレートリストのエントリが単一のテンプレートであるか、テンプレートの関係であるかを示す内部属性もあります。テンプレートの関係は、このテンプレートと別のテンプレートの間に関係があることを示します。これらの関連テンプレートは、インベントリテンプレートフォームの [関連テンプレート] タブに表示されます。テンプレートの関係の詳細については、「[インベントリテンプレート関係の作成](#)」を参照してください。

デフォルトテンプレート

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートをインベントリテンプレートに関連付けると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

さまざまな属性デフォルト値のセットを取得するビジネス要件が複数ある場合は、機器など、単一の CI に対して複数のデフォルトテンプレートを定義できます。デフォルトテンプレートを作成して CI を選択するときに、その CI の関連属性を選択して値を設定することもできます。

既定のテンプレートを作成する方法の詳細については、「[デフォルトテンプレートの作成](#)」を参照してください。

Network Inventory Template ノードへのアクセス

インベントリテンプレートには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [ネットワークインベントリテンプレート] ノードからアクセスできます。

ネットワークインベントリ関係のモデリング

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリ関係をモデル化し、インベントリテンプレートの関係でそれらを使用してネットワークインベントリレコードを作成できるようにします。

概要

モデルの関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデル エンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。インベントリテンプレートは、モデルの関係を使用してテンプレートの関係を作成します。インスタンス化プロセスでは、ネットワークインベントリレコードを生成するときに作成したインベントリテンプレートの関係を使用します。たとえば、機器テンプレートまたはカードテンプレートを作成すると、モデル関係のデータを使用して、関連するスロットとインターフェイステンプレートが自動的に作成されます。モデルの関係が作成されていない場合、関連するテンプレートは作成されません。

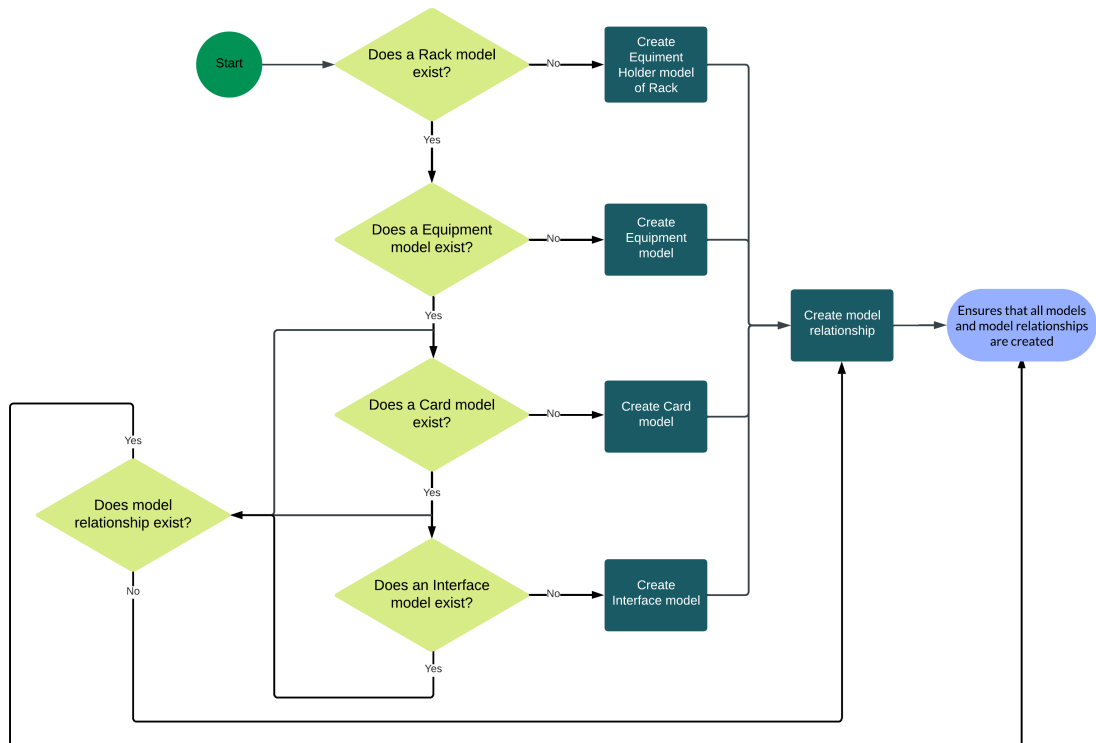
インベントリモデリングプロセス

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで機器インベントリのインベントリモデルを作成する場合、下から上または上から下のいずれかのアプローチを使用できます。どちらのシーケンスも許容でき、終了するとどちらも同じ結果になります。

- ボトム・ツー・トップのアプローチでは、ネットワークインターフェイスモデル > インターフェイスカードモデル > スロットモデル > 機器モデル > 機器ホルダーモデル (ラック)。
- トップ・ツー・ボトムのアプローチで、次に移動するとモデリングが開始されます。機器ホルダーモデル (ラック) > 機器モデル > スロットモデル > インターフェイスカードモデル > ネットワークインターフェイスモデル。

次の図は、在庫モデリング プロセスの上から下へのアプローチを示しています。

上から下までのインベントリモデリング



在庫の上から下までモデリングする手順は次のとおりです。

1. 使用可能なラックモデルを確認します。
2. ラックモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ラックの機器ホルダーモデルを作成します。
3. 機器モデルを確認します。
4. 機器モデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、機器モデルを作成します。
5. インターフェイスカードのモデルを確認します。
6. インターフェイスカードモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、インターフェイスカードモデルを作成します。
7. ネットワークインターフェイスモデルを確認します。
8. ネットワークインターフェイスモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ネットワークインターフェイスモデルを作成します。
9. 各インベントリモデルを作成した後、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、モデルの関係を作成します。

このプロセスにより、すべてのモデルとモデル関係がメーカーの推奨に従って作成されます。

関連情報

[インベントリモデルの作成](#)

[ネットワークモデルの関係を定義する](#)

電気通信の設計とアサイン

設計およびアサイン機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリとネットワークサービスのデジタル表現を構築できます。

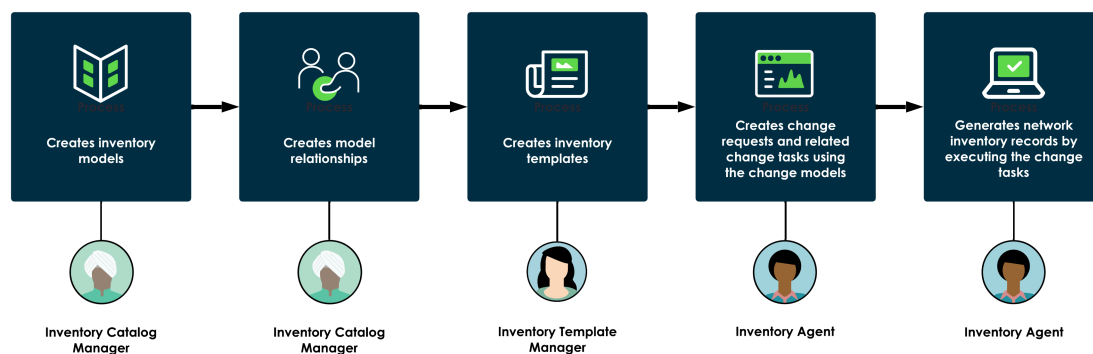
概要

設計およびアサイン機能を使用すると、インベントリタスクを順次または並行して実行し、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定します。これらのワークフローを使用して、インベントリリソースを割り当て、ネットワークインベントリをインスタンス化できます。また、得意先指図から収集した情報を使用して、設計および割り当て機能を実行することもできます。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで設計およびアサイン機能を実行する場合は、変更管理 および フローデザイナー アプリケーションの標準プロセスを使用します。変更要求を作成すると、ネットワークインベントリリソースをインスタンス化して、ネットワークサービストポロジをサポートできます。正確なリソース割り当てにより、新しいネットワーク容量を効率的に構築できます。また、ワークフローを自動化して、ネットワークサービスを作成および拡張することもできます。

単純な回線と複雑なネットワークインフラストラクチャの両方を設計および構成できます。その後、ネットワーク割り当てのパス解析と計算を実行できます。また、仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN) とリンク アグリゲーション グループ (LAG) のアサイン ルールをパッシブ光ネットワーク (PON) に適用することもできます。設計およびアサイン機能を使用すると、ネットワークリソースを設計および割り当てる際に、テクノロジーとプロセスの制限が適用されます。

ワークフローの設計とアサイン



設計およびアサイン機能を開始する前に、設計基準のモデル、モデル関係、テンプレート、およびテンプレート関係を定義します。次に、Now Platform は、ネットワークインベントリのインスタンス化に必要なすべてのタスクを実行する自動ワークフローを生成します。

インベントリテンプレートまたはカタログマネージャーは、次のタスクを実行してネットワークインベントリをインスタンス化できます。

1. インベントリモデルを作成します。インベントリモデルを作成して、ネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡します。インベントリレコードをインスタンス化すると、インベントリレコードにこの標準メーカー情報が含まれます。詳細については、「[インベントリモデルの作成](#)」を参照してください。
2. モデルの関係を作成します。モデルの関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)」を参照してください。
3. インベントリテンプレートを作成します。通信事業者からのビジネスガイドンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

その後、変更管理ワークフローを使用して新しいネットワークインベントリレコードをインスタンス化し、ネットワーク設計を履行できます。インベントリエージェントは、次のタスクを実行します。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。
2. 変更要求から変更タスクを作成します。ネットワーク資産のインスタンス化は、アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) または変更要求から作成した変更タスクを使用して行われます。詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

タスクを完了すると、次の処理が行われます。

- ネットワークインベントリレコードが生成されます。レコードは、インベントリテンプレートおよび関連するインベントリモデルに対して定義したものと同一構造関係に基づいています。構成済みアイテムは、インベントリモデルと関連するすべてのインベントリモデルで構成されます。
- 他の運用サポートシステムやビジネスサポートシステムと統合すると、プロセスによって内部ワークフローがトリガーされます。このワークフローにより、指定されたサイトでネットワーク資産の購入、インストール、出荷、およびインスタンス化が完了します。この内部ワークフローは、フローデザイナーのインベントリモデルに関連付けられている個々のタスクまたはタスクのリストに基づいています。

インスタンス化の例

設計およびアサイン機能を使用して、Gigabyte Passive Optical Networks (GPON) ブロードバンドの注文要求を満たすために、一連のネットワークインベントリレコードを作成できます。詳細については、「[GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て](#)」を参照してください。

関連情報

[フローデザイナー](#)

[変更管理](#)

[ネットワークインベントリモデル](#)

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)

ネットワークインベントリワークスペース

ネットワークインベントリワークスペースは、ネットワークインベントリを管理するための 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスです。ネットワークインベントリワークスペースを使用して、インベントリの詳細を表示し、すべてのタスクタイプに回答し、ネットワークの設計などのネットワーク機能を実行できます。

概要

ネットワークインベントリワークスペースは ネクストエクスペリエンス UI 上にビルドされています。これは、担当者がネットワークインベントリを表示および更新できるようにする一連のツールです。

ネットワークインベントリワークスペース を使用すると、次のタスクを実行できます。

- サイト内に存在する機器エンティティの全体的な運用ステータスを迅速に判断します。
- ネットワーク資産に関する詳細情報にアクセスして表示および更新し、必要に応じてネットワークインベントリをすばやく作成します。
- 即時の対応が必要な未解決の問題を管理します。
- リストビューから毎日のタスクを実行します。

アサインされたロールとペルソナに応じて、ネットワークインベントリワークスペース は、日常的に使用する機能へのアクセスに必要な情報を提供します。

Dashboards (ダッシュボード)

ネットワークインベントリワークスペースのビューでは、ネットワークインベントリと日常のタスクのすべての重要な側面を可視化できます。この ネットワークインベントリワークスペース には、次のビューが含まれています。

- **ネットワークインベントリワークスペースランディングページ**:アクティブなタスクとそれらへのクイックアクセスリンクを表示します。
- **ネットワーク インベントリ管理ビュー**:ネットワークインベントリの詳細を表示します。
- **ネットワークインベントリワークスペースのリストビュー**:インベントリクラスと機能のフィルター済みリストにアクセスして、設計やアサインなどのネットワークインベントリタスクを実行します。

関連情報

[ネクストエクスペリエンス UI での作業](#)

ネットワークインベントリワークスペースランディングページ

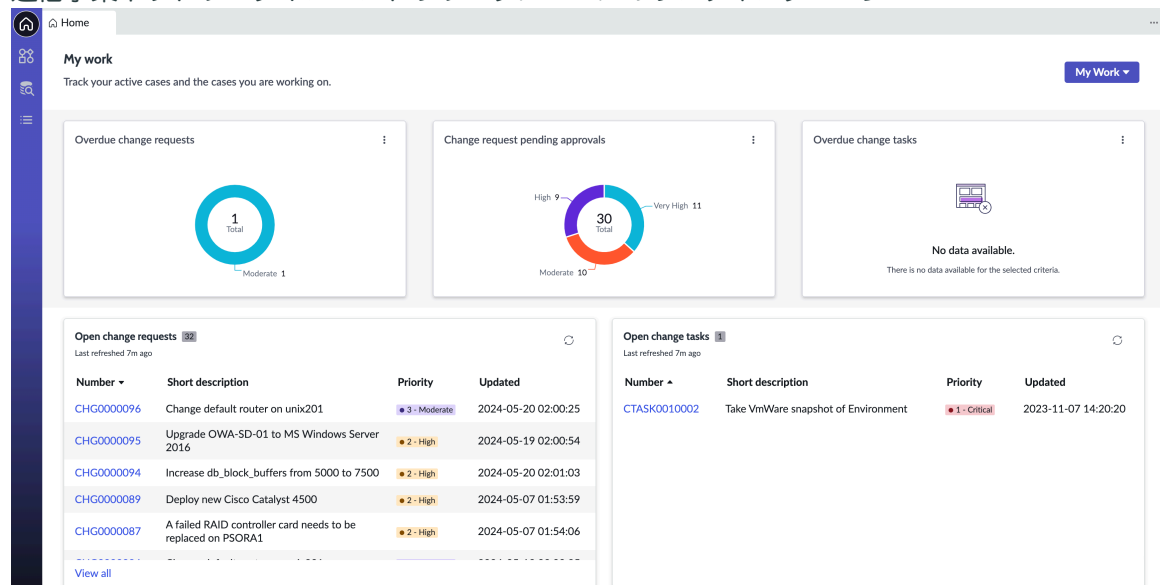
ネットワークインベントリワークスペース ランディングページからネットワークインベントリをリアルタイムで可視化し、日常のタスクを実行します。

概要

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページには、自分とチームのアサインのリストが表示されます。たとえば、ランディングページで、自分にアサインされているオープンな変更要求と変更タスクの数を確認できます。このページを使用して、自分とチームの作業のリアルタイムデータを取得できます。

次の画像は、 ネットワークインベントリワークスペース ランディングページの例を示しています。

通信事業ネットワークインベントリワークスペースのランディングページ



ランディングページウィジェット

ランディングページのウィジェットは、ユーザーとチームが作業負荷を監視し、優先度の高いアイテムに集中し、責任範囲を簡単に移動するのに役立ちます。任意のウィジェットを選択して、アクションが必要な問題のリストを表示します。

ワークスペースのランディングページウィジェット

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
期限切れの変更要求	期限切れの変更要求のドーナツグラフのグループ化。ウィジェットには、リスク別にグループ化された変更要求の合計数が含まれています。
承認待ちの変更要求	承認のために処理待ちになっている変更要求のドーナツグラフのグループ化。ウィジェットには、リスク別にグループ化された変更要求の合計数が含まれています。
期限切れの変更タスク	期限切れの変更タスクのドーナツグラフのグループ化。ウィジェットには、優先度別にグループ化された変更タスクの合計数が含まれています。
オープン中の変更要求	すべてのオープンネットワーク変更要求のリスト。このウィジェットでは、既存の変更要求のみを表示できます。
オープン中の変更タスク	すべてのオープンなネットワーク変更タスクのリスト。このウィジェットでは、既存の変更タスクのみを表示できます。

アサインされたタスクの表示

ランディングページで、次の操作を行って、自分とチームにアサインされている変更要求と変更タスクを表示します。

- [自分の作業] を選択して、割り当てを表示します。
- [自分のチームの作業] を選択して、チームの割り当てを表示します。

ネットワーク インベントリ管理ビュー

通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースの [インベントリ管理] ビューを使用して、ネットワークインベントリの詳細なビューを取得します。

[インベントリ管理] ビューには、機器、機器ホルダーネットワークサイト、接続などのネットワークインベントリの詳細が表示されます。次のタブを使用して、インベントリの詳細を表示し、適切なアクションを実行します。

概要

モデル、メーカー、ライフサイクル状況別にグループ化された機器の合計数や、選択したサイト内のラック、ポート、スロットの可用性など、さまざまなインベントリデータを表示します。

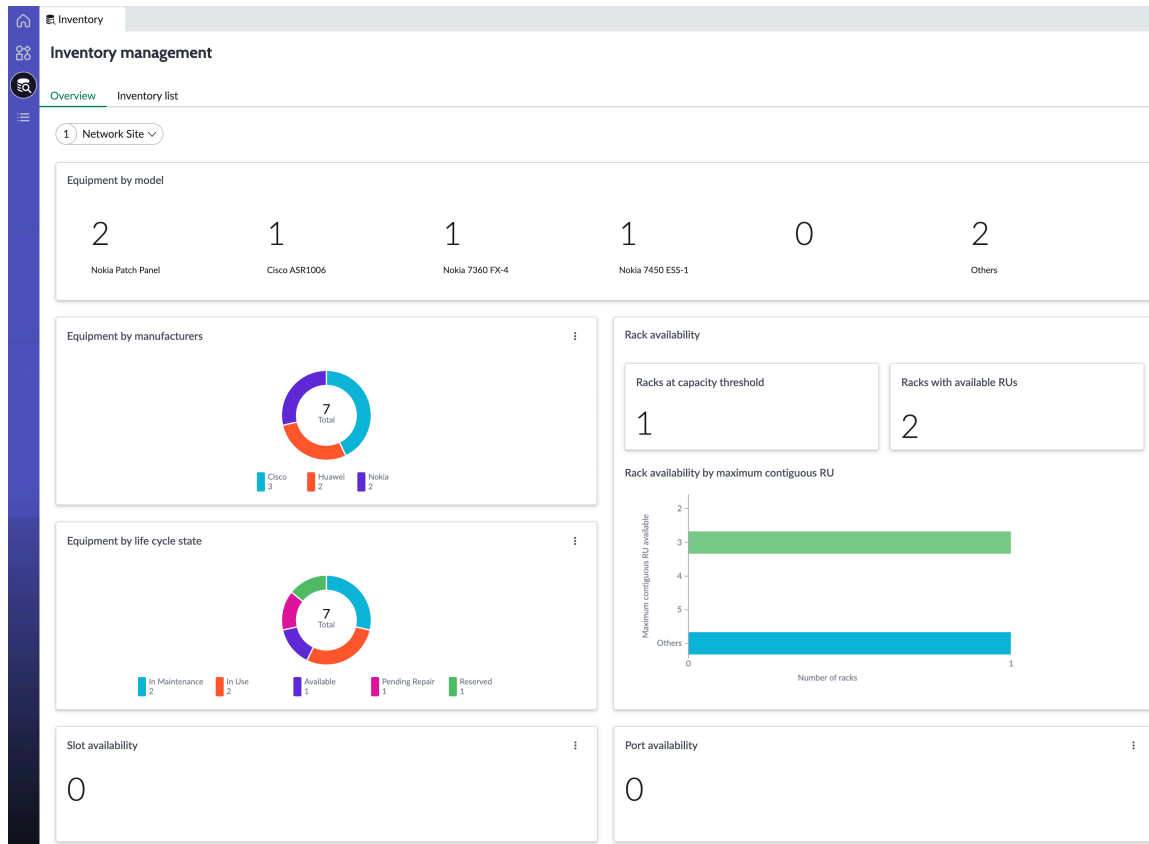
インベントリリスト

サイドパネルで選択したオプションに基づいて、ネットワークサイトまたはネットワーク資産 (機器や接続など) のリストを表示します。

[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなネットワーク インベントリ データ 選択したネットワーク サイト内の統合ビューを表示します。

インベントリ管理ビュー



任意のウィジェットまたはチャートを選択して、アクションが必要なアイテムのリストを表示します。

インベントリ管理ウィジェット

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
model の機器	モデル別にグループ化された個々の機器の数。このウィジェットには、最も使用されている 5 つの電気通信機器モデルの標準セットが含まれています。機器モデルごとに、機器の合計数を表示できます。
メーカー別の機器	機器を供給するメーカー別の機器のドーナツグラフのグループ化。ウィジェットには、最も利用されている 5 つの電気通信機器メーカーの標準セットが含まれています。メーカーごとに、機器の合計数を表示できます。
ライフサイクルステータス別の機器	機器 by 現在の ライフサイクル ステータスのドーナツグラフのグループ化。ウィジェットには 選択した 自分が ネットワークサイト内の 機器の数が含まれ、次の ライフサイクル ステータス別にグループ化されています。

インベントリ管理ウィジェット (続く)

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
	• In Use (使用中) • 空 • 予約済み • Available (利用可能) • In Maintenance (メンテナンス中) • その他
キャパシティしきい値に達したラック	しきい値キャパシティを超えて占有されているラックの数。
使用可能な RU があるラック	使用可能なラックユニットがあるラックの数。
最大隣接 RU によるラックの可用性	使用可能なラックと最大連続ラックユニット数の棒グラフ。
スロットの可用性	機器モデル全体で利用可能なスロットの数。
ポートの可用性	機器モデル全体で利用可能なポートの数。

- i** 注: ワークスペースのランディングページでカウントデータが収集および更新される方法の詳細については、「[Network Inventory Workspace ウィジェットのデータ収集と更新](#)」を参照してください。各ウィジェットに表示されるコンテンツをカスタマイズする方法については、「[Network Inventory Workspace ウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[インベントリリスト] タブ

[インベントリリスト] タブを使用して、サイドパネルで選択したアイテムに基づいてネットワークサイトまたはネットワーク資産のリストを表示し、適切なアクションを実行します。サイドパネルには、次のが一覧表示されます。

- グローバルな場所で利用可能なすべての場所。
- グローバルな場所で利用可能なすべてのネットワークサイト。
- 各ネットワークサイトに関連付けられている機器や接続などのネットワーク資産。

[インベントリリスト] タブ

Inventory management

Overview Inventory list

200 South James street, Atl
3260 Jay Street, Santa Clar

Logical connection 5
Last refreshed just now.

Name	Site A	Site Z	Life Cycle Stage	Life Cycle Sta
AR-OR-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	OREGON-CO-001	Operational	In Use
AR-SF-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	SANFRANCISCO-CO-001	Operational	In Use
AR-TE-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	TEXAS-CO-001	Operational	In Use
SA-AR-ENET-100G-001	SEATTLE-CO-001	ARIZONA-CO-001	Operational	In Use
TE-AR-ENET-100G-001	TEXAS-CO-001	ARIZONA-CO-001	Operational	In Use

[インベントリリスト] タブでは、次のアクションを実行できます。

- サイドパネルで、場所を展開して、関連するネットワークサイトを表示します。
- 関連するネットワークサイトレコードをリストビューで表示する場所を選択します。
- サイドパネルで、各ネットワークサイトを展開して、関連付けられている 接続または機器を表示します。
- [Item] を選択して、関連付けられた接続または機器レコードのリストを表示します。
- [接続] を選択して、ネットワークサイト内に関連付けられている物理接続レコードと論理接続レコードのリストを表示します。
- リストビューでレコードを選択して、そのフォームビューにリダイレクトします。

インベントリ管理ビューへのアクセス

[インベントリ管理] ビューを開くには、サイドパネルのデータベース検索アイコン () を選択します。

ネットワークインベントリワークスペースのリストビュー

リストビューを使用してインベントリクラスと機能にアクセスし、ネットワークインベントリタスクを実行します。

ネットワークインベントリワークスペースの左側にあるリストビューから、通信事業ネットワークインベントリほとんどのクラスと関数にアクセスできます。リストビューにアクセスするには、リストアイコン () を選択します。

リストペインでは、さまざまなカテゴリのフィルター済みリストを使用して、ケースとタスクにすばやくアクセスできます。

次のクラスにアクセスできます。

ネットワークインベントリクラス

クラス	詳細
ネットワークサイト	ネットワークサイトのリストを表示します。ネットワークサイトの詳細を更新または作成します。詳細については、 product/tmt-

ネットワークインベントリクラス (続く)

クラス	詳細
	telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita を参照してください。
Inventory (インベントリ)	ネットワーク資産の個々のインスタンスを手動で作成し、相互の関係を定義します。詳細については、「 ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認 」を参照してください。
インベントリ番号割り当て	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリ番号割り当て機能を使用して、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理します。詳細については、「 インベントリ番号の割り当て 」を参照してください。
サービス	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのサービスを使用して、ネットワークを管理およびモデル化します。詳細については、「 」を参照してください。
インベントリモデル	インベントリモデルのメタデータを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のために相互の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリモデル • インベントリモデルの作成
ネットワークインベントリテンプレート	インベントリテンプレートとデフォルトテンプレートを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のために相互の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリテンプレート • ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成
インベントリのキャパシティ	ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算します。詳細については、「 キャパシティ管理 」を参照してください。
インポート	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで [インポート] を使用して、モデルをテンプレートにインポートします。詳細については、「 モデルとテンプレートのインポート 」を参照してください。
管理	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを構成します。詳細については、「 通信事業ネットワークインベントリの構成 」を参照してください。

ネットワークインベントリクラス (続く)

クラス	詳細
	i 注: リストビューのすべての選択には、すべてのユーザーロールがアクセスできます。これには、[管理] ノードの次の選択項目も含まれます。ただし、admin ロールが割り当てられたユーザーのみが、管理機能への書き込みまたは削除アクセス権限を持っています。
変更	設計とアサインを使用してネットワークインベントリをインスタンス化します。詳細については、以下を参照してください 電気通信の設計とアサイン 。
Procurement (調達)	ネットワーク資産を調達するための部品表を作成します。詳細については、「 通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合 」を参照してください。

回路の可視化

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションのネットワーク図には、論理接続とその基礎となる接続要素の階層マップがグラフィカルに表示されます。ネットワーク図を使用して、論理接続の詳細な概要を取得できます。

概要

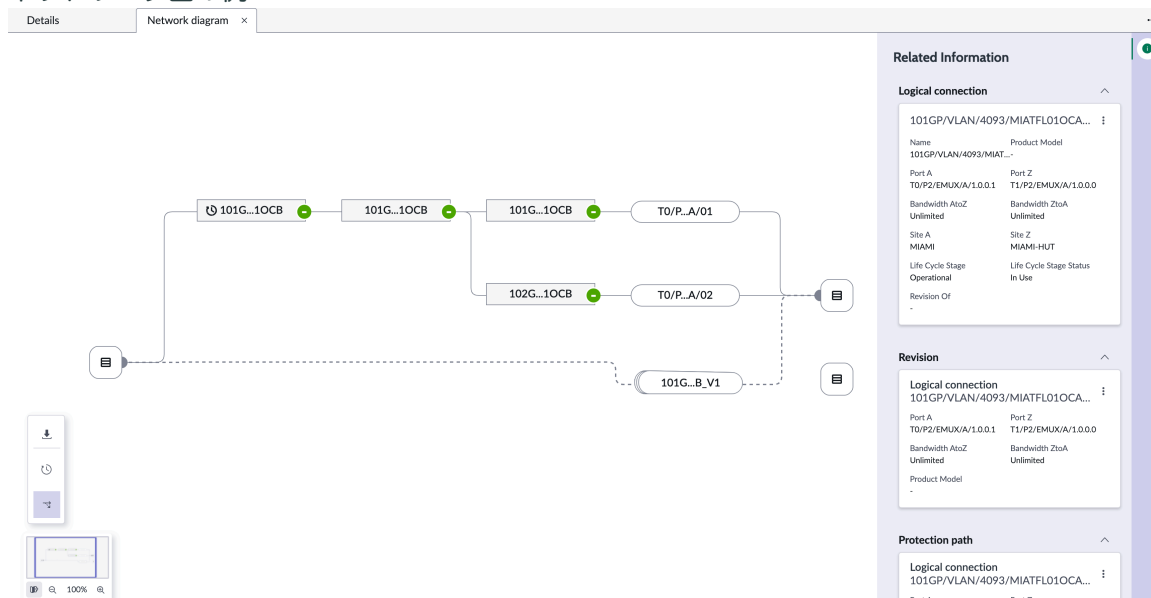
ネットワーク図には、論理接続要素の回路と各要素の詳細がグラフィカルに表示されます。論理接続の詳細な概要と、さまざまな要素が互いにどのように接続されているかを示します。ネットワーク図を使用すると、次の情報を表示できます。

- 論理接続と基になるすべての接続要素。
- 論理接続と基になるすべての接続要素のリビジョン。
- 論理接続の保護パス。

論理接続の保護パスとは、プライマリパス (論理接続) に障害が発生したり、重大な問題が発生したりした場合の代替ルートを示します。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワーク図を示しています。

ネットワーク図の例



ネットワーク図には、次の 2 つのパネルが含まれています。

- マップペインには、選択した論理接続のマップ、論理接続のリビジョン、および保護パスが表示されます。
- 詳細ペインには、現在の選択に従って論理接続の関連情報が表示されます。

ネットワーク図の使用方法の詳細については、「[ネットワーク図の使用](#)」を参照してください。

マップペイン

マップには、ホームノード CI から始まり、指定されたレベルまでの階層内のすべての論理接続要素が表示されます。階層レベルを最大 3 レベルまで展開し、基礎となるすべての接続を表示できます。下に接続要素がある接続のみを展開できます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- ノードを展開 および折りたたみ、基になるすべての接続を表示します。
- 論理接続のリビジョンを表示します。
- 論理接続の保護パスを表示します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細については、「[ネットワーク図の詳細を表示する](#)」を参照してください。

詳細ペイン

詳細ペインには、ネットワーク図の論理接続要素に関する関連情報が表示されます。マップペインでノードを選択すると、詳細ペインにそのノードの関連情報が表示されます。たとえば、ネットワーク図で論理接続ノードを選択すると、その論理接続に関連するすべての詳細が詳細ペインに表示されます。

詳細ペインでは、次のアクションを実行できます。

- 情報アイコン () を選択して詳細ペインを開きます。
- 詳細ペインで [その他のオプション] アイコン () を選択し、[詳細を表示] を選択して対応する CI フォームにリダイレクトします。

アクセス

通信事業ネットワークインベントリ Workspace からネットワーク図にアクセスするには、次の手順に従います。

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. 目的の論理接続レコードを開きます。
3. [接続の表示] を選択して、それぞれの論理接続のネットワーク図を開きます。

属性パック

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) の一連のレコードに対して定義した属性をキャプチャします。CI に属する在庫フォームで、ネットワーク資産に関する追加情報をキャプチャできます。

概要

属性パックは、CI のサブセットに関連付けることができる属性のコレクションです。パックは、追加の属性セットです。これらの属性は、標準 Now Platform テーブルおよび列として定義されます。

属性パックテーブルを作成し、パックテーブルと CI の間のマッピングを構成します。CI レコードを作成または更新するときに、パックテーブルを追加し、インベントリオブジェクトに関する追加情報を指定できます。

属性パックを使用すると、CI とその属性をより詳細に管理できます。たとえば、サーバーを CI と見なす場合、サーバーの属性パックには、ホスト名や IP アドレスなどの属性を含めることができます。これらの属性は、ライフサイクル全体でサーバーを管理および追跡するのに役立つ、サーバーに関する追加情報を提供します。インベントリフォームで属性パックを使用する方法の詳細については、「[インベントリフォームでの属性パックの使用](#)」セクションを参照してください。

属性パックを使用して、組織または CI のサブセットの要件に従って属性をカスタマイズします。このカスタマイズにより、組織は現在および将来のインベントリ管理のニーズを拡張できます。

インベントリフォームでの属性パックの使用

インベントリフォームで属性パックを使用するには、アドミニストレーターとして次のタスクを実行する必要があります。

- 定義した属性を使用してパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パック テーブルの作成](#)」を参照してください。
- パックテーブルと、それを使用するインベントリオブジェクトの間のマッピングを構成します。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

パックテーブルを作成して構成した後、CI レコードで使用できます。詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

インベントリ番号の割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリ番号割り当てを使用して、IP アドレス、電話番号割り当て、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)、またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理できます。この機能を使用すると、物理番号と論理番号を整理、追跡、および管理できます。

メリット

番号管理ツールには、組織に次のメリットがあります。

1. 正確で一貫性のあるデータ。
2. より効率的で効果的な運用につながる傾向とパターンをフォローする能力。
3. コストの削減により、リソースとプロセスを最適化または合理化できます。
4. リソースの使用状況を追跡および分析する。
5. 重要業績評価指標 (KPI) を追跡して、組織がパフォーマンスを監視して改善できるようにします。
6. ステークホルダーにデータを明確に提示し、ビジネスのパフォーマンスを理解できるようにします。

番号管理ツール

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、以下を管理できます。

1. IP アドレス。詳細については、「[IP アドレスの割り当て](#)」を参照してください。
2. 電話番号。詳細については、「[電話の割り当て](#)」を参照してください。
3. VLAN と LAG。詳細については、「[インベントリの番号付けを定義する](#)」を参照してください。

IP アドレスの割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの IP アドレス割り当てを使用すると、IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当てられた IP アドレス、およびクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) を作成、確認、および更新できます。

IP アドレステーブル

- **IP プール:** IP プールは、/16 または /24 IP アドレスのサブネットマスクなど、大規模ネットワークに割り当てられる IP アドレスの連続した範囲です。
- **IP ネットワーク サブネット:** IP ネットワーク サブネットは、/28 または /29 アドレスのサブネットマスクなど、顧客に割り当てられる IP アドレスを表します。
- **割り当て済み IP アドレス:** 割り当て済み IP アドレスは、IP ネットワークサブネットの一部であり、構成アイテム (CI) に割り当てることができるすべての個々の IP アドレスのリストです。割り当てられた IP アドレスを使用して、IP アドレスをホストに割り当てることができます。
- **管理対象ネットワーク:** 管理対象ネットワークは、既存のすべてのネットワークまたは新しいネットワークのリストです。管理対象ネットワークを使用すると、ネットワークを IP プールまたは割り当てられた IP アドレスに割り当てることができます。詳細については、「[管理対象ネットワークを作成](#)」を参照してください。

IP アドレスの管理方法の詳細については、「[IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)」を参照してください。

ユースケース

インターネットアクセスを必要としている会社が、サービスプロバイダーに注文要求を送信したとします。注文要求は、サブネットが /30 の WAN IP アドレスと注文タスクを割り当てるための注文品目を生成します。IP アドレスを割り当てるために、変更要求が開始されます。この変更要求により、次の変更タスクが開始されます。

- 設計ガイドラインに従って、/30 IP アドレスのサブネットマスクの IP プールレコードを作成します。詳細については、「[IP プールレコードの作成](#)」を参照してください。
- /30 IP アドレスと 4 つの個別の IP アドレスのサブネットマスクの IP ネットワークサブネットを作成します。詳細については、「[IP ネットワークサブネットレコードを作成すると IP アドレス](#)」を参照してください。

- アプリケーションサービスを作成します。
- IP ネットワークサブネットを変更要求に関連付けます。

関連情報

[IP アドレス割り当てを作成](#)

電話の割り当て

電話ブロック、電話番号、および電話番号の割り当てについて説明します。また、それらの間のメトリックと関係、およびそれらをより効果的に管理する方法についても学ぶことができます。

電話番号インフラストラクチャ

- 電話ブロック: 電話ブロックは、管理者によって通信事業者に割り当てられた電話番号のプールです。
- 電話番号: 電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられる一意の数値識別子です。電話番号のリストを追加、確認、および更新できます。
- 電話番号の割り当て: 電話番号の割り当ては、顧客に割り当てられている、または割り当て可能なすべての電話番号で構成されます。

詳細については、「[電話番号インベントリ管理データモデル](#)」を参照してください。

注:

- 電話番号に対してアクティビティを実行するには、インベントリ番号マネージャー (sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager) ロールが割り当てられていることを確認します。
- 電話ブロック、番号、または番号の割り当てを作成するには、必ず電話番号のコンポーネントを作成してください。詳細については、「[電話番号のコンポーネント](#)」を参照してください。

電話システムのユースケース

ネットワークオペレーターが、移植された番号、サードパーティの番号、所有の番号、およびその他のタイプの番号を含む大規模な一連の番号を持っているとします。これらの番号を管理するために、インベントリ番号マネージャーは電話ブロックを作成できます。詳細については、「[電話ブロックを作成する](#)」を参照してください。

ここで、Voice over Internet Protocol (VoIP) またはサービスとしてのユニファイドコミュニケーション (UCaaS) ベースのサービスを利用している顧客は、一連の番号の要求をオペレーターに送信します。要求された一連の番号は、3 つの異なる地域、国、または一連の番号に属しています。

前のシナリオを実行するために、インベントリエージェントは電話番号の割り当てを作成するか、特定のブロック内のエリアまたは地域の電話番号を作成できます。詳細については、「[電話番号割り当ての作成](#)」と「[エリアまたは地域への電話番号の作成](#)」を参照してください。このプロセスは、オペレーターが次の問題を特定するのに役立ちます。

- 電話番号割り当てを使用した番号の可用性
- ポートイン番号とポートアウト番号
- 国または地域に割り当てられた番号

電話番号のコンポーネント

電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられた一意の数値識別子です。番号の構成要素は、本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンターです。

本社コード、国コード、市外局番、レートセンター

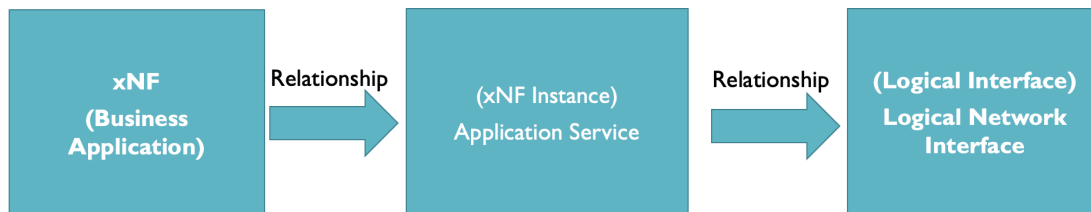
- セントラルオフィスコード : セントラルオフィスコード (交換コードとも呼ばれます)。特定の市外局番内の電話交換機を識別し、ローカル電話網内でコールをルーティングするのに役立ちます。詳細については、「[セントラルオフィスコードを作成する](#)」を参照してください。
- 国コード - 国コードは、国際ダイヤルコードとも呼ばれます。通常、1～3桁のコードで、他の国に連絡するとき市外局番と電話番号の前にダイヤルされます。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。
- 市外局番 - 市外局番は、国内の地理的地域を識別するために使用される番号です。詳細については、「[作成 市外局番](#)」を参照してください。
- 電話番号の詳細、および電話番号の管理および割り当て方法については、以下を参照してください。[電話インフラストラクチャの構築](#)

での 5G xNF のモデル化 通信事業ネットワークインベントリ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、5G ネットワークをモデル化し、すべての xNF (任意のタイプのネットワーク機能) を管理できます。モデルを使用すると、ネットワークを作成、確認、更新、削除できます。

5G ネットワークモデル

次の図に示すように、5G ネットワークをモデル化するには、ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、およびネットワークインターフェイスを作成する必要があります。



- ビジネスアプリケーション: ビジネスアプリケーションテーブルには、すべての xNF が格納されます。ビジネスアプリケーションは、管理対象ネットワーク機能の一種として 3GPPTM* によって提案されたすべてのクラスのラベルを記録します。詳細については、「[xNF の作成](#)」を参照してください。
- アプリケーションサービス: アプリケーションサービスは、対応するネットワーク機能のインスタンスを格納します。これは、DU や CU-CP などのタイプを示すためにビジネスアプリケーションに関連付けられています。関数の各インスタンスには、アプリケーションサービス内にレコードがあります。ビジネスアプリケーションおよびネットワークインターフェイスとの関係を作成できます。詳細については、「[xNF インスタンスを作成または追加します](#)」を参照してください。
- ネットワーク インターフェイス: ネットワーク インターフェイスには、管理対象ネットワークに割り当てられているすべての論理 IP インターフェイスが格納されます。論理インターフェイスは、ピアツーピア関係を表します。分散ユニット (DU) と集中型ユニット (CU) コントロールプレーンまたはユーザー プレーン (UP) 機能の間に接続がある場合、論理インターフェイス間に論理接続が作成されます。関係エディターを使用すると、アプリケーションサービスとの関係を作成できます。詳細については、「[関係を作成または編集するための ネットワークインターフェイスの詳細を定義するおよび CI 関係エディター](#)」を参照してください。

*3GPPTM TS28.541 V18.2.2 にインスパイアされた属性は、バック テーブルとして提供されています。詳細については、「[バックテーブル](#)」を参照してください。属性パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

※3GPPはETSIの商標です。

関連情報

[xNF および xNF インスタンスの作成](#)

構成アイテムの改訂、運用化、および廃止

構成アイテム (CI) の改訂により、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用して、属性、接続要素、関係などの構成アイテムのネットワーク属性を更新できます。CI の改訂を使用すると、ネットワークインフラストラクチャを安全かつ効率的に更新できます。

概要

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、必要に応じて改訂 CI とそのサブフローを利用して、接続のすべての構成アイテムを更新できます。

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、論理接続または物理接続の構成アイテムを作成した後、改訂 CI とそのサブフローを利用して、必要に応じて構成アイテムを更新できます。

運用化と廃止のフロー

次のプロセスでは、要求が作成された後の構成アイテム (CI) レコードのフローについて説明します。

1. リビジョン要求を開始:リビジョン要求を作成すると、選択した CI が自動的にクローン作成されます。このクローン作成された CI には、属性、接続要素、関係などのすべての関連テーブルが含まれています。
2. クローン作成プロセスをカスタマイズ:クローン作成プロセスをカスタマイズして、どの関連テーブルを含めるかを指定できます。詳細については、「[#unique_87](#)」を参照してください。
3. クローンされた CI の変更:クローンが成功したら、必要に応じてクローン作成された構成アイテムレコードに変更を加えることができます。
4. 変更を確定して適用する: 運用化プロセスを使用して、変更をマージして確定します。このプロセスでは、リビジョンが元の CI レコードに統合されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」を参照してください。
5. 廃止:運用化後、クローン作成された CI レコードは自動的に廃止され、効率的なワークフローが確保されます。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

ユースケース

たとえば、2 つの ENET を持つ論理接続の場合、LAG 容量を増やすために別の ENET を追加するとします。したがって、このシナリオでは、安全な LAG 更新のために CI の改訂を使用します。

CI の改訂により、LAG とそのすべての接続のクローンが作成されます。次に、クローンが作成された LAG 構成アイテムで、目的の ENET メンバーを追加し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。運用化が正常に完了すると、ネットワークを中断することなく、3 つの ENET すべてが元の CI に追加されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」、「[構成アイテム \(CI\) の運用化](#)」を参照してください。ここでは、クローンが作成された CI は自動的に廃止されます。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

たとえば、ネットワーク内のルーターの IP アドレスを更新する必要があるとします。このルーターは複雑なネットワークの一部であり、IP アドレスの変更がネットワークの他の部分にどのように影

響するかはわかりません。したがって、このシナリオでは、ルーターの IP アドレスを安全に更新するために、CI の改訂を使用します。

CI の改訂では、まずルーター CI とそのすべての関連データを複製します。次に、重複したルーターの IP アドレスを変更し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。その結果、ネットワークを中断することなく、変更が元のルーターに適用されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」と「[構成アイテム \(CI\) の運用化](#)」を参照してください。

キャパシティ管理

通信事業ネットワークインベントリ のキャパシティ管理では、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算できます。容量を効果的に管理することで、リソースを計画、監視、最適化して、ネットワークが現在および将来の需要を効率的に満たせるようにすることができます。

概要

通信事業ネットワークインベントリ のキャパシティ管理では、関数と定義を使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算およびレポートします。キャパシティメトリクスは、通信ネットワーク内のポート、スロット、ラックなどの最大ネットワークリソース、占有ネットワークリソース、および使用可能なネットワークリソースを推定します。このメトリクスの結果を使用して、ネットワーク設計の将来の拡張に使用できるネットワーク資産のキャパシティをレポートできます。

キャパシティ計算のユースケース

設計およびアサイン機能を使用して構成アイテム (CI) を作成すると、関連する CI の利用可能なキャパシティが自動的に計算されます。通信事業ネットワークインベントリアプリケーションは、事前定義された定義と関数を使用してキャパシティを計算します。そのため、現在の設計に変更があるたびに、システムは自動的にキャパシティ計算をトリガーし、メトリクスを更新します。メトリクスには、エンティティの推定最大値、占有値、使用可能値、および使用率が表示されます。このアプローチにより、リソース消費が効果的に管理されます。また、この計算により、設計およびアサイン機能の精度が向上します。

たとえば、ラックに新しい機器を追加する場合、機器ホルダー内で利用可能なラックを決定することが重要です。機器レコードを作成すると、事前定義されたキャパシティ定義が実行され、メトリクスによってラックの可用性データが自動的に更新されます。キャパシティ定義には、最大ラック数と占有ラック数を決定する関数が含まれます。続いて、最大ラック数と占有ラック数の差を計算します。たとえば、ラックの最大数が 10 で、占有ラックが 7 の場合、使用可能なラックは 3 つあります。ラックの最大数が 10 で、占有ラックが 10 の場合、使用可能なラック数は 0 で、使用可能なラックがないことを示します。次に、その結果がキャパシティ測定基準に統合されます。このプロセスにより、ラックの正確な容量と可用性に関する情報が得られます。

構成アイテム (CI) のタイプごとにキャパシティ計算をカスタマイズできます。この機能を使用すると、キャパシティを計算するための関数、定義、およびメトリクスを作成および構成できます。キャパシティ関数の設定とメトリクスの作成の詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。

キャパシティ管理ワークフロー

キャパシティ管理では、関数、定義、およびメトリクスのテーブルを使用して、キャパシティを計算および報告します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで、キャパシティ関数がシステム実行そしてその結果がキャパシティメトリクステーブルに集計されます。キャパシティの利用可能なメトリクスと、利用可能なキャパシティのパーセンテージ値が格納される使用状況メトリクスが作成されます。設計変更が発生するたびに、システムは API をトリガーし、事前定義された関数と定義を使用してキャパシティを計算します。在庫レコードのキャパシティの計算 ボタンを選択して、キャパシティを手動で計算することもできます。

容量関数、定義、メトリクスの詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。

ネットワークトポロジーの可視化

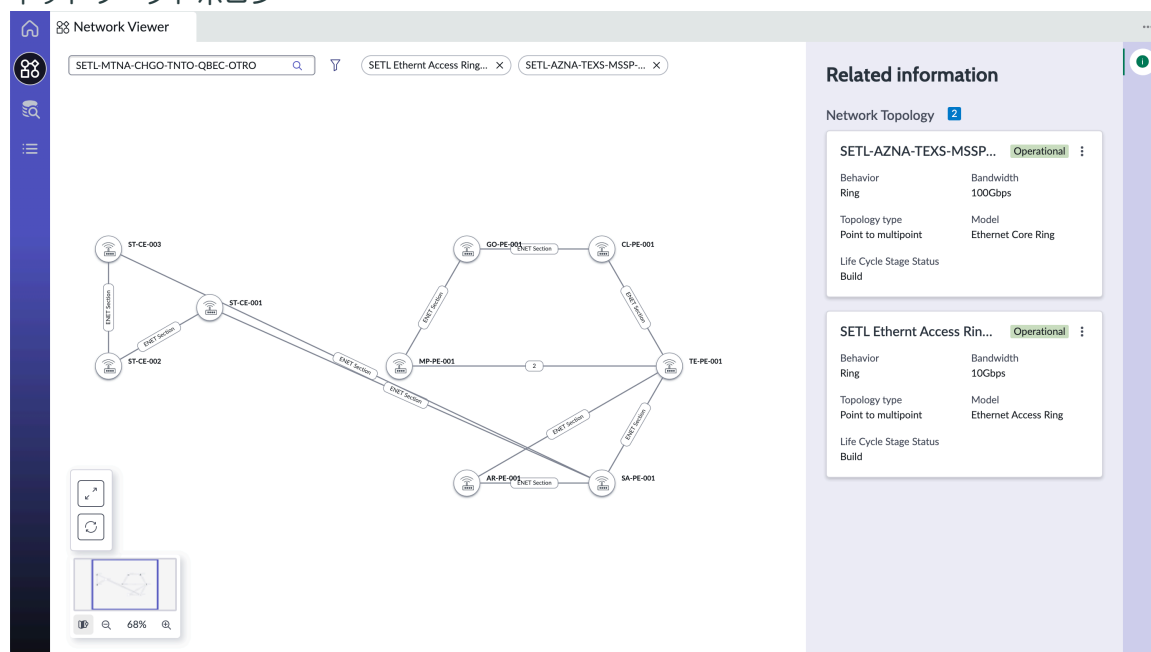
通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのトポロジは、機器、接続、インターフェイスなどのネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、相互に接続されているかをグラフィカルに表示します。トポロジを使用すると、ネットワークを俯瞰的に把握できます。

概要

ネットワークトポロジは、ノード (機器)、エッジ (接続)、終端ポイント (インターフェイス) などのネットワーク要素と、それらがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚的に表現したものです。トポロジは、リング、ツリー、メッシュ、スター、またはバス構造にすることができます。トポロジを使用すると、ネットワーク拡張を計画し、ネットワーク パフォーマンスを監視し、ネットワークで発生する障害のトラブルシューティングを行うことができます。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのトポロジを示しています。

ネットワークトポロジ



トポロジは、通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースの [ネットワーク ビューアー] ウィンドウで表示できます。[ネットワークビューア] ウィンドウには、次の項目があります。

- 検索ボックスと詳細フィルターを使用して、トポロジを選択できます。
- マップペインにネットワークトポロジが表示されます。
- 右側の詳細ペインには、現在の選択に従ってトポロジの関連情報が表示されます。

検索ボックス

検索ボックスを使用して、可視化するトポロジを選択します。一度に複数のトポロジを選択できます。詳細フィルターオプションを使用すると、設定した条件に基づいてトポロジをフィルタリングできます。

マップペイン

マップ ペインには、検索ボックスで選択したトポロジが表示されます。マップ ペインには、一度に多くのトポロジを表示できます。マップ ペインには、トポロジ内の各要素の名前も表示されます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- ノードをポイントすると、そのノードに関連付けられている接続がハイライト表示されます。
- トポロジから 1 つを選択して、それに関連付けられている要素をハイライト表示します。
- マップを再ロードして初期ビューに戻すには、[リフレッシュ] アイコン () を選択します。
- [画面に合わせる] アイコン () を選択して、トポロジをマップペインのサイズに合わせて調整します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細ペイン

詳細ペインには、選択したトポロジ、ノード、または接続に関する関連情報が表示されます。情報アイコン () を選択すると、詳細ペインを表示できます。最初は、詳細ペインにトポロジレコードに関する関連情報が表示されます。ノードを選択すると、詳細ペインにそのノードに関する関連情報が表示されます。マップペインの空きスペースを選択すると、詳細ペインに、開いているトポロジに関する関連情報が表示されます。

詳細ペインで [詳細を表示] を選択して、対応する CI レコードにリダイレクトすることもできます。

アクセス

通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースのネットワーク トポロジには、次のようにアクセスできます。

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワーク ビューア アイコン () を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでトポロジを作成および表示する方法の詳細については、「[ネットワーク トポロジの使用](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)

[ネットワーク トポロジの使用](#)

フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー

通信事業ネットワークインベントリ機能カタログとサブフローを使用すると、ネットワークインベントリの設計およびアサインプロセスを自動化するのに役立つ機能にアクセスできます。

通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ

通信事業ネットワークインベントリ機能を使用して、設計およびアサインプロセスの実行中に構成アイテム (CI) を作成、更新、および取得できます。たとえば、次のアクションを実行できます。

- 電気通信機器の作成
- インターフェイスカードの追加

次の表に、機能別に分類された 通信事業ネットワークインベントリ 関数を示します。

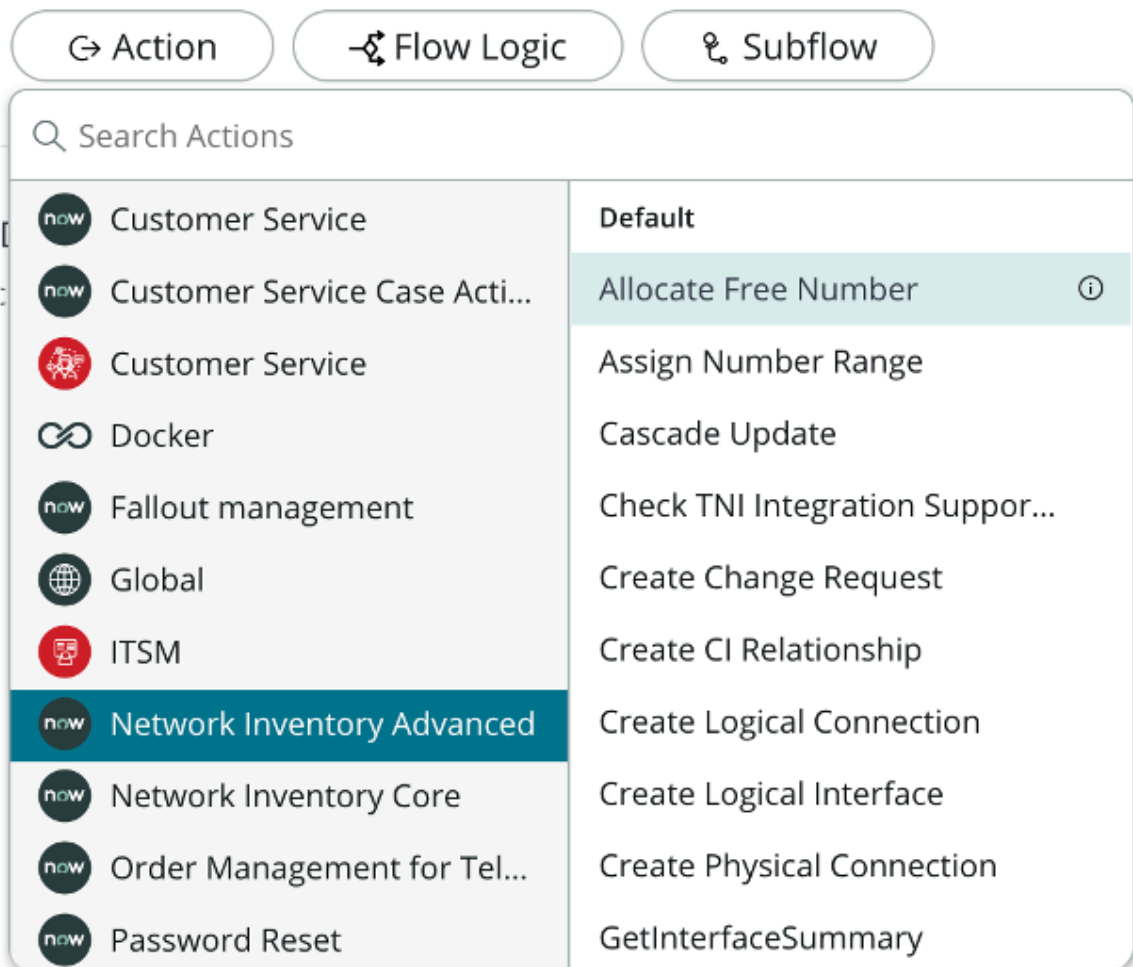
通信事業ネットワークインベントリ 関数

関数タイプ	関数名
作成	• TNI テンプレートから CI を作成 • 論理接続を作成 • 論理インターフェイスを作成 • 物理接続を作成 • パス検索
読み取り	• 空き番号を割り当てる • インターフェイス夏を取得 • 次のハブを検索
更新	カスケード更新
ヘルパー関数	• 文字列を分割 • アレイからインデックスを取得

ネットワーク インベントリ機能の詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ](#)」を参照してください。

次の例は、フローデザイナー アクションライブラリの [ネットワークインベントリ詳細] オプションで使用できる機能を示しています。これらの機能を使用して、在庫関連のデータ操作を実行できます。

ネットワークインベントリ機能カタログの場所



自動翻訳

設計とアサインは一連のアクションであるため、これらの機能は通信事業ネットワークインベントリワークフローでフローデザイナーアクションとして使用することもできます。再利用可能なフローデザイナーアクションは、ワークフローでの論理接続の作成などの反復作業を自動化できます。フローデザイナーアクションの詳細については、「[フローデザイナー](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ サブフロー

フローデザイナーでは、設計およびアサインプロセスの実行中に、サブフローとの間でデータをやりとりするための入力と出力を指定できます。必要に応じて、サブフローにフィールドを追加できます。サブフローの操作の詳細については、「[サブフローのビルド](#)」を参照してください。フローデザイナーの詳細については、「[フローデザイナー](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションには、次のサブフローがあります。

論理接続の作成

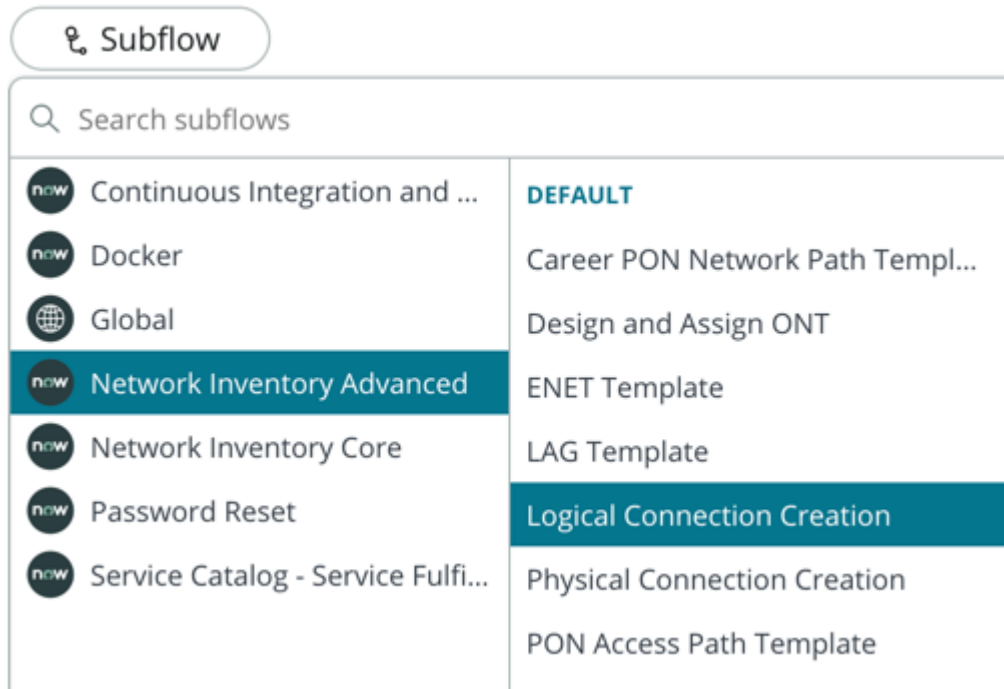
インベントリをインスタンス化するときに受け取った入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに論理接続レコードを作成します。詳細については、「[論理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

物理接続の作成

インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成します。詳細については、「[物理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

次の例は、フローデザイナー アクションライブラリの [ネットワークインベントリの詳細] オプションで使用できるサブフローを示しています。これらの機能を使用して、在庫関連のデータ操作を実行できます。

ネットワークインベントリサブフローの場所



関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ](#)

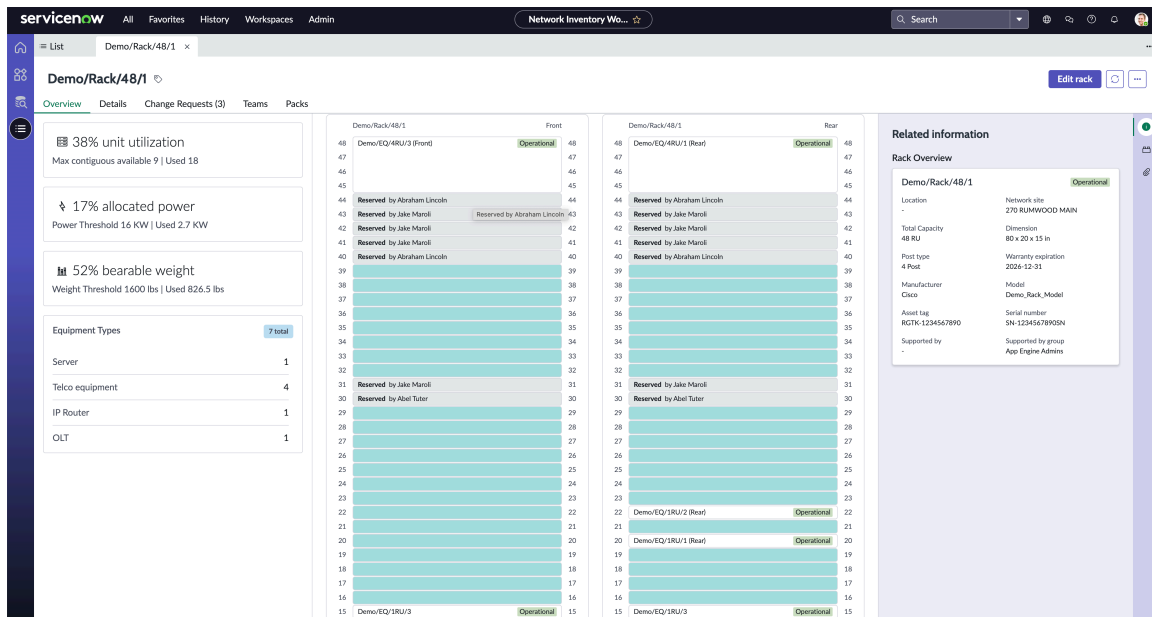
[通信事業ネットワークインベントリ サブフロー](#)

ラックまたはキャビネットの可視化

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでラックまたはキャビネットの可視化を使用すると、キャンバス内のラックまたはキャビネットを可視化できます。ここでは、各アイテムを指定されたラックユニットに配置した状態で、正面と背面のアクセス可能なラックまたはキャビネットに機器とシェルフが搭載されている様子を観察できます。

概要

ラックまたはキャビネットの可視化は、すべての機器を保管および整理するために使用されるデータセンターラックまたはキャビネットをグラフィカルに表現したものです。



前のスクリーンショットはラックの例です。ラックまたはキャビネットの [概要 (Overview)] タブでは、次のことができます。

- ラック使用率を使用するラックの KPI (重要業績評価指標) を表示します。

i 注: この KPI はラック専用です。

- ラック内のすべての機器で現在使用され割り当てられた電力のパーセンテージを確認します。この値は、機器モデルの詳細から導出されます。ただし、実際の消費電力は異なる場合があります。

i 注: この KPI はラック専用です。

- ラック内のすべての機器で現在使用され割り当てられた重量のパーセンテージを確認します。この値は、機器モデルの詳細から導出されます。ただし、実際の消費重量は異なる場合があります。

i 注:

- すべてのラックキャパシティは、キャパシティ定義 - ラックキャパシティに基づいて計算されます。キャパシティの評価を変更するには、キャパシティの定義と機能を作成します。詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。
- この KPI はラック専用です。

- さまざまな機器タイプを調べて、ルーター、シェルフ、またはその他のネットワークインフラストラクチャの配置を最適化します。
- ラックまたはキャビネットの正面図と背面図の両方を表示します。
- すべての予約ユニットと、どのユーザーが予約しているかを表示します。
- ラックまたはキャビネットおよびラックまたはキャビネットのモデルを表示します。
- ラックビューまたはキャビネットビューから機器を作成します。詳細については、「[ラックを作成する](#)」を参照してください。
- ラックを編集します。詳細については、「[ラックを編集](#)」を参照してください。
- キャビネットを編集します。詳細については、「[キャビネットを編集する](#)」を参照してください。
- バックを追加

- ラックまたはキャビネットをデコミッションします。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。
- ラックまたはキャビネットを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。
- キャンバスまたはメニューアイテムからラック/キャビネット/スロットフォームに移動します。
- 機器のライフサイクルステージを表示します。
- 情報アイコン () を選択して、すべての機器とシェルフの詳細を表示します。
- 利用可能な合計および占有スロットの数を表示します。
- 環境設定を使用して、デフォルトビューとダークビューを切り替えます。

前提条件

ラックまたはキャビネットの作成をインスタンス化するには、次のことを行う必要があります。

1. 機器ラックまたはキャビネットモデルカテゴリを使用して機器ホルダーモデルでモデルを作成または選択して、それぞれをラックまたはキャビネットに関連付けます。

詳細については、「[機器ホルダーモデルを作成する](#)」を参照してください。

2. ラックスロットの数を定義するために、ラック/キャビネット - ラック/キャビネットスロット関係タイプのネットワークモデル関係で作成または選択します。

詳細については、「[ネットワークモデルの関係を定義する](#)」を参照してください。

3. [インベントリモデル (**inventory model**)] フィールドで、ラックまたはキャビネットモデルを含むテンプレートを作成または選択します。

詳細については、「[インベントリテンプレートを作成する](#)」を参照してください。

ラックまたはキャビネットの可視化と管理

1. ラックまたはキャビネットモデルに基づいてラックまたはキャビネットの作成を開始し、テンプレートに基づいてラックまたはキャビネットスロットの作成を開始します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

注:

- [ラックを作成する](#)を使用してラックを作成できます。
- [キャビネットを作成する](#)を使用してキャビネットを作成できます。

2. ラックまたはキャビネットに機器またはシェルフを追加します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

注: [ラックを編集](#)と[キャビネットを編集する](#)を使用して、機器を編集、追加、移動、および削除することもできます。

3. ラックまたはキャビネットから機器またはシェルフを削除します。

詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ラックを作成する](#)[キャビネットを作成する](#)

通信事業ネットワークインベントリの構成

通信ネットワークを定義し、包括的なネットワークインベントリモデルを作成できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを構成する方法について説明します。

通信事業ネットワークインベントリ のインストール

admin ロールをお持ちであれば、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションをインストールできます。アプリケーションには、デモデータと、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインのインストールが含まれます (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントを取得する ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。
- 通信事業ネットワークインベントリ のデモデータをインストールしてください。デモデータをインストールすると、フローとサブフローがトリガーされます。デモデータにより、OMT-TNI 統合のフローを理解できます。デモデータの一部として、必要な属性とともに、以下も作成されます。
 1. 注文:ファイバードラッグアンドドロップデモデータのインストールの注文要求が含まれます
 2. 注文タスク:注文が作成されると、注文タスクが自動的に作成されます
 3. OMT タスク - 注文タスクの下に作成された注文管理タスク
 4. 変更要求 - これには、ファイバードラッグアンドドロップのインストールに関する変更要求の詳細が含まれます。
 5. 変更タスク - 注文を履行するために複数のタスクが作成されます
- ❗ **注:** デモデータが正常にインストールされると、GPON ブロードバンドとデザインアサイン リンク集計グループのデモデータが自動的に追加されます。

- 必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_reporter

このタスクについて

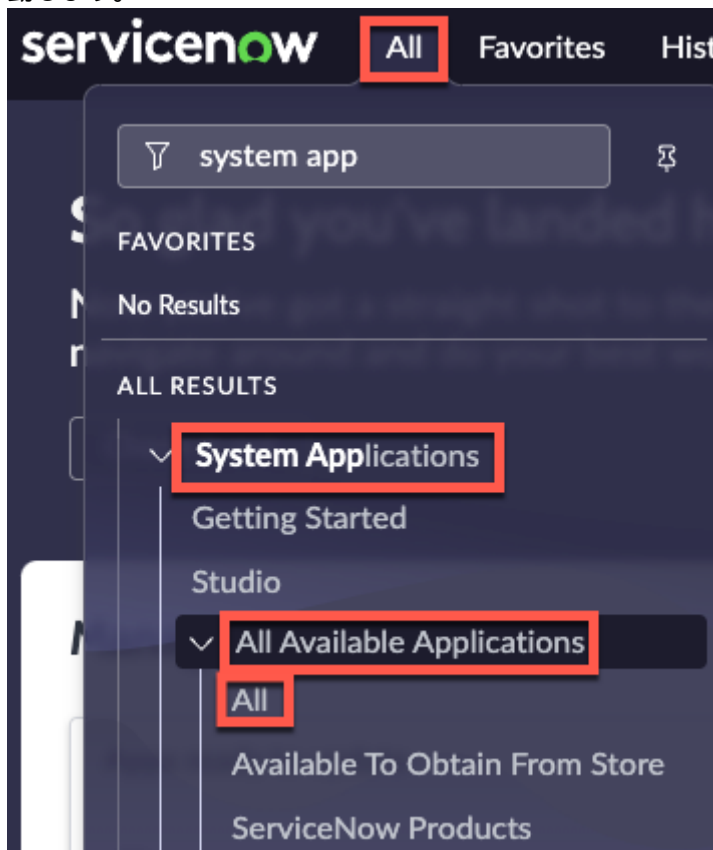
通信事業ネットワークインベントリ とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの表示の詳細については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション (sn_ni_adv) を検索します。

i 注: TNI Advanced をインストールすると、デモデータなしで TNI Core が自動的にインストールされます。TNI Core デモデータのデモデータを手動でロードまたはインストールする必要があります。

アプリケーションは名前 (ネットワークインベントリ) または ID で検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

依存するプラグインとアプリケーションがまだインストールされていない場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、通信事業ネットワークインベントリをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のユーザーロールのアサイン 通信事業ネットワークインベントリ

ロールを割り当てて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの特定の機能やデータへのユーザーアクセスを制御できます。これらのアサインされたロールは、指定されたロールを持つユーザーによる特定のフォームおよびプロセスへのアクセスのみを有効または禁止します。

Now Platform ユーザー管理機能を使用して、ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールのアサイン](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリには次のロールがあります。

Telecommunications Network Inventory (通信ネットワークインベントリ) のロール

ロール	Description (説明)
インベントリアドミン [sn_ni_core.inventory_template_admin]	通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機能に対する作成、読み取り、更新、および削除アクセス権を持つユーザーを有効にするロール。
インベントリカタログマネージャー [sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager]	すべてのネットワークインベントリエンティティのメタデータに対する作成、読み取り、編集、および削除アクセス権を持つユーザーを有効にするロール。このロールにより、ユーザーはさまざまなエンティティのメタデータに関連付けることもできます。
インベントリテンプレートマネージャー [sn_ni_core.inventory_template_manager]	新規または既存のエンティティのネットワークインベントリテンプレートへの作成、読み取り、編集、および削除アクセス権を持つユーザーを有効にするロール。また、このロールにより、ユーザーはデフォルトのテンプレートに対して作成、読み取り、更新、削除 (CRUD) 操作を実行できます。
インベントリエージェント [sn_ni_core.inventory_agent]	次の権限を持つユーザーを有効にするロール: • すべてのインベントリモデル、キャパシティ測定基準、およびバックテーブルへの読み取りアクセス。 • インベントリテーブルへの書き込み、更新、および削除アクセス権。 • テンプレート、変更要求、および変更タスクテーブルへの読み取りおよび書き込みアクセス。

Telecommunications Network Inventory (通信ネットワークインベントリ) のロール (続く)

ロール	Description (説明)
	i 注: モデルとモデルの関係テーブルを変更するには、インベントリエージェントロールがアサインされているユーザーが、資産ロールまたはインベントリユーザーロールのいずれかも持っている必要があります。
インベントリ番号マネージャー [sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager]	次の権限を持つユーザーを有効にするロール: - すべての電話番号テーブルへの読み取りアクセス。 - 電話番号テーブルへの書き込み、更新、および削除アクセス権。

場所階層の定義

ネットワーク資産を追跡および管理できるように、通信事業ネットワークインベントリ フォームの場所階層を定義します。場所階層を定義することで、すべてのネットワーク機器が配置されている場所を確認できます。

始める前に

- 必要なロール: admin。
- 場所階層を確立するには、次のことを確認します。
 - 下位の場所を含む最上位の場所を作成します。たとえば、場所階層で最初に「Americas (アメリカ)」を作成します。[親] フィールドは空のままにします。
 - 地域の場所を作成し、[親] フィールドで最上位の場所をその親として選択します。たとえば、場所階層で 北米を作成し、その親として 南北アメリカ を選択します。
 - フォームの下部にある [場所] セクションで [新規] をクリックし、その地域の場所に従属する下位レベルの子の場所ごとに場所レコードを作成します。

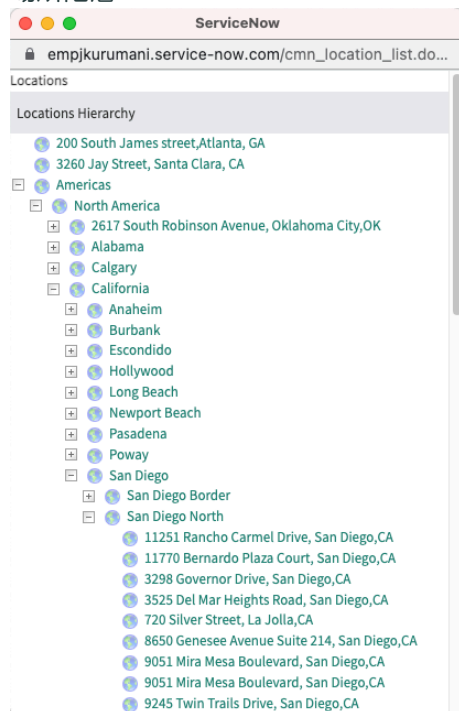
このタスクについて

場所レコードには、次のプロパティまたはプロパティのセットの少なくとも 1 つが含まれている必要があります。

- 住所
- 国
- リージョン
- 緯度と経度

このフォームを使用して、場所階層をビルドできます。たとえば、次の例は、ネットワークサイトフォームの [場所] フィールドで場所を検索するときに表示される一般的な場所階層を示しています。

場所階層



手順

1. 移動先 ユーザー管理 > 場所.
2. [新規] を選択します。
3. [場所] フォームで、場所レコードの住所と連絡先情報をフィールドに入力します。

i 注: [場所] フォームのフィールドの詳細については、「[場所フォーム](#)」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

メーカーコードとベンダーコードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して会社コードを作成します。取引のあるメーカー、ベンダー、または顧客ごとにコードを作成できます。これらのレコードを分類して、ネットワーク資産を分類できます。

始める前に

必要なロール: user_admin または管理者

手順

1. 移動先 ユーザー管理 > 会社.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

i 注: [会社] フォームのフィールドの詳細については、「[\[会社\] フォーム](#)」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

電話番号のコンポーネントを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、一連の電話番号のセントラルオフィスコード、国コード、市外局番、およびレートセンターを作成します。

セントラルオフィスコードを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、セントラルオフィスコードを作成し、国の市外局番に割り当てます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

セントラルオフィスコードを作成、レビュー、更新、または削除できます。また、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、市外局番の詳細を表示したり、セントラルオフィスコードを国の市外局番に割り当てたりすることもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、管理 > セントラルオフィスコードを構成する。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. フォームの [詳細] タブで、次のようにフィールドに入力します。

新しいセントラルオフィスコードの作成

エリアコードを構成する	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 では、「123」は市外局番を表します。
セントラルオフィスコード	NXX と呼ばれるセントラルオフィスコード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属するセントラル オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各セントラルオフィスコードは、市外局番内の地理的な場所またはサービスプロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」はセントラル オフィス コードを表します。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。

セントラルオフィスコードのリストビューに、セントラルオフィスコードと市外局番が追加されます。

7. オプション: セントラル オフィス コードを削除する場合は、そのコードに移動し、オプション アイコン () を選択し、[削除] を選択し、確認ウィンドウが表示されたら [OK] を選択します。

次のタスク

国コードを作成します。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。

国コードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、国コードを作成、レビュー、更新、または削除します。国には、複数の電話番号形式と電話検証を設定できます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国コードを作成して条件を追加し、管理、レビュー、または更新できるようにします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 国コード.
3. ⓘ 注: 国コードのリストビューには、ほとんどすべての国コードが含まれています。
[New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブのフォームで、フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。
5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [Save (保存)] を選択します。
関連タブは [詳細] タブの横に表示されます。詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。
7. オプション: 国コードを削除する場合は、その国コードに移動し、オプションアイコン () を選択し、[削除] を選択し、確認ウィンドウが表示されたら [OK] を選択します。

次のタスク

市外局番を作成します。詳細については、「[作成 市外局番](#)」を参照してください。

作成 市外局番

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、市外局番を作成、確認、更新、または削除します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国コードの市外局番を作成できます。同じ市外局番を異なる国コードに割り当てることができます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 市外局番。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブのフォームで 次のようにフィールドに入力します。

新しいセントラルオフィスコードの作成

エリアコードを構成する	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 では、「123」は市外局番を表します。
セントラルオフィスコード	NXX と呼ばれるセントラルオフィスコード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属するセントラル オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各セントラルオフィスコードは、市外局番内の地理的な場所またはサービスプロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」はセントラル オフィス コードを表します。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。
市外局番は、市外局番のリストビューに含まれています。
7. オプション: 市外局番を削除する場合は、その市外局番に移動し、オプションアイコン () を選択し、[削除] を選択し、確認ウィンドウが表示されたら [OK] を選択します。

次のタスク

電話ブロック、電話番号の割り当て、または電話番号を作成します。詳細については、「[電話インフラストラクチャの構築](#)」を参照してください。

のディシジョンテーブルの構成 通信事業ネットワークインベントリ

ディシジョンテーブルを構成して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの複雑なタスクを解決できます。たとえば、ディシジョンビルダーのディシジョンテーブルでタスクのエントリを作成、レビュー、または削除できます。

ディシジョンテーブルを使用すると、タスクを自動化するために必要な条件を追加できます。ディシジョンビルダーの意思決定テーブルは、ビジネスロジックを一連の [if-then] 意思決定ルールに埋め込みます。意思決定テーブルは、入力からデータを読み取り、指定された条件に従ってデータを評価します。ディシジョンルールのすべての条件が満たされると、意思決定テーブルは 1 つ以上の結果を返します。詳細については、「[ディシジョンテーブル](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのディシジョンテーブルを使用して、次のタスクを実行できます。

1. 通信事業ネットワークインベントリと通信事業向け注文管理を統合します。
2. レコードプロデューサーフォームを変更要求に割り当てます。
3. レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクに割り当てます。

関連情報

[ディシジョンテーブルの探索](#)

通信事業向け注文管理 の統合

通信事業ネットワークインベントリ ディシジョンテーブルを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションと 通信事業向け注文管理 アプリケーションをデータ連携します。

始める前に

- 変更モデルと注文タスク変数を構成して、通信事業向け注文管理 通信事業ネットワークインベントリ統合を有効にします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

意思決定エントリを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > ディシジョンテーブル**
2. **TNI** レコードプロデューサーと変更モデルポリシー意思決定テーブルを選択します。
3. 注文タスクのディシジョンテーブルに意思決定エントリーを作成します。
このエントリでは、次の項目を完了する必要があります。
 - 注文タスク。
 - 注文タスクの条件。ディシジョンテーブルで、注文タスクの [注文タスク] [要求タイプ] 条件を検索して選択します。[回答] フィールドには、選択した条件に基づいて入力されます。
 - レコードプロデューサー。
 - 変更モデル。
すべての条件が満たされると、在庫アクションを必要とする注文タスクに対して変更要求が作成されます。この変更要求では、注文タスクがその親としてアサインされます。新しい変更要求は、注文タスクの関連リストにあります。このタスクでは、OMT タスクページから変更要求にリダイレクトされます。
4. TNI レコードプロデューサー変数ポリシーディシジョンテーブルにエントリを作成して、注文特性を 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに転送します。
構成アイテムの変更タスクが作成されます。

Example: TNI 設計によるファイバーブロードバンドのアサイン

ブロードバンドサービスカテゴリのサービス注文を追加するとします。この追加を行うと、サービス注文フルフィルメントポリシーのファイバーブロードバンドフローの TNI 設計アサインがトリガーされます。このフローの一環として、TNI レコードプロデューサーおよび変更モデルポリシーディシジョンテーブルで、GPON ブロードバンド変更モデルのギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドレコードプロデューサーを使用して、顧客宅内機器 (CPE) の割り当てとアサインの注文タスクが作成されます。

TNI レコードプロデューサー変数ポリシーディシジョンテーブルの注文特性を転送するために、注文特性をレコードプロデューサーにマッピングします。

変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションのディシジョンテーブルを使用して、レコードプロデューサーを変更要求にアサインします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > ディシジョンテーブル**.
2. レコードプロデューサーポリシーディシジョンテーブルに対する **TNI** 変更モデルを選択します。
3. ディシジョンテーブルの [条件] セクションで、[新しい意思決定行を追加] ボタンを選択します。
4. [変更モデル] 列の値フィールドから変更モデルを選択します。
5. [レコードプロデューサー] 列から選択した変更モデルにアサインするレコードプロデューサーを選択します。

タスクの結果

選択項目 **変更 > すべて** および追加された変更モデルの [次へ] ボタンをクリックすると、アサインされたレコードフォームが表示されます。

i 注：レコードプロデューサーフォームのすべての入力、[**Details** (詳細)] タブの [Variables (変数)] セクションに表示されます。必要に応じて詳細を表示および更新できます。

次のタスク

レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクにアサインすることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームの割り当て

アプリケーションのディシジョンテーブルを使用して、変更要求の変更タスクにレコードプロデューサーを割り当て 通信事業ネットワークインベントリ。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

i 注：デフォルトでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、機器の作成、物理接続の作成、論理接続の作成、およびインターフェイスカードの追加の要求タイプをこのディシジョンテーブルに追加しました。

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > ディシジョンテーブル**.
2. プロデューサーポリシーディシジョンテーブル を記録する **TNI** 要求タイプ を選択します。
3. ディシジョンテーブルの [条件] セクションで、[新しい意思決定行を追加] ボタンを選択します。
追加された変更モデルの [変更タスク] タブで変更タスクを選択すると、アサインされたレコードプロデューサーフォームが [タスク属性] タブに表示されます。
4. [要求タイプ] 列の値フィールドから変更タスクを選択します。
5. [レコードプロデューサー] 列から選択した変更タスクにアサインするレコードプロデューサーを選択します。

次のタスク

ネットワークインスタンスのインスタンス化を作成します。詳細については、「[設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)」を参照してください。

リビジョン CI の検証のカスタマイズ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、CI (構成アイテム) の検証プロセスをカスタマイズします。スクリプトに基づいて調整可能なパラメーターを指定することで、検証プロセスをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

要件に適合する基準とルールを指定できるため、データの正確性と整合性を検証するためのカスタマイズされたアプローチが可能になります。

手順

1. 移動先 **すべて > プロセスの自動化 > ワークフロースタジオ > Flow Designer > アクション**.
2. **[CI リビジョンを検証]** を選択します。
3. **[アクションアウトライン]** セクションで **[スクリプトステップ]** を選択します。
4. スクリプトから、CI 関係または関連アイテム、あるいはその両方の値を false に変更できます。
値が False のフィールド値は、検証プロセスに含まれません。

Telecommunications Network Inventory 属性の構成

コア機器テーブルを構成して、CI レコードに表示される共通 通信事業ネットワークインベントリ 属性の収集を有効にします。これらの属性を使用して、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

コア機器テーブルの機器汎用クラスを更新して、対応する CI レコード (サブクラス) に **[インベントリ属性を設定]** ボタンを表示します。インターフェイスカードテーブル (cmdb_ci_interface_card) を除き、機器汎用クラスのサブクラスであるすべてのテーブルは機器と見なされます。

手順

1. 移動先 **すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ**.
2. **[sn_ni_core.equipment_tables]** テーブルを選択します。
3. **[値]** フィールドに、カンマを区切り文字として使用して機器の汎用クラスを入力します。
次のジェネリック クラスを追加できます。
 - ・コンピューター (cmdb_ci_computer)
 - ・ネットワーク機器 (cmdb_ci_netgear)
 - ・仮想マシンオブジェクト (cmdb_ci_vm_object)
 - ・Kubernetes コンポーネント (cmdb_ci_kubernetes_component)
 - ・アプリサービス (cmdb_ci_service_auto)

属性パックテーブルの構成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義した属性を使用して属性パックテーブルを作成したら、テーブルとそれを使用するインベントリオブジェクトとの間のマッピングを構成できます。

属性パック テーブルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義した属性を持つ属性パックテーブルを作成し、これらの属性を CI レコードで使用できるようにします。

始める前に

- 属性パックプラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- アプリケーションスコープを属性パックに切り替えます。

必要なロール：admin

このタスクについて

Pack Base (sn_attribute_pack_base) テーブルを拡張して、属性を持つ属性パックテーブルを作成します。属性は、パックベーステーブルで定義して保存します。すべてのアプリケーションスコープに対して読み取りまたは書き込み権限を有効にすることができます。

手順

- 移動先 **すべて > システム定義 > テーブル**.
- [新規] を選択します。
- フォームのフィールドに入力します。

[属性パックテーブル] フォーム

フィールド	値
ラベル	パックテーブルの名前。
名前	選択したラベル名に基づいて自動入力される名前 (sn_attribute_pack_<label name>。
拡張テーブル	パック (sn_attribute_pack_base)

- [コントロール] タブで、[ユーザーロール] フィールドにロールを追加します。
ロールを追加して、パックテーブルへのアクセスを許可します。
- [保存] を選択します。
- 属性を追加または削除します。
- [送信] を選択します。

タスクの結果

パックテーブルは、一連の属性を使用して作成されます。

次のタスク

在庫フォームで梱包テーブルを使用するには、在庫オブジェクトにマッピングするように構成する必要があります。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのフィルター条件を使用して、構成アイテム (CI) に対して属性パックテーブルを構成します。パックテーブルを構成するときに、パックを使用して CI レコードを作成できます。

始める前に

- 属性パックプラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- 一連の属性を持つパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パック テーブルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

インベントリフォームでパックテーブルを使用するには、フィルター条件を使用して CI に対して構成する必要があります。CI が別の CI に関連している場合は、関連する CI に対してパックテーブルをマップするためのフィルター条件を設定する必要があります。

手順

- 移動先 **すべて > 管理 > パック構成**.
- [新規] を選択します。
- [詳細] タブで、フィールドに入力します。

パック構成フォーム

フィールド	説明
名前	パック構成の名前。
[Active (アクティブ)]	CI レコードでパックテーブルを有効にするオプション。
構成アイテム	マッピングする CI テーブル。
フィルター	CI フォームで使用できるようにパックテーブルをフィルタリングする方法をカスタマイズするためのフィルター条件属性。[条件を設定] を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。
パックテーブル	CI に対してマッピングするパックテーブル。
関連した構成アイテムがある	関連 CI を追加するオプション。このチェックボックスをオンにすると、次のフィールドが表示されます。 関連した構成アイテム マッピングする関連 CI テーブル。 関連フィルター パックテーブルのフィルタリング方法をカスタマイズするためのフィルター条件属性は、関連する CI フォームで使用できるようにします。[条件を設定] を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。

フィールド	説明
	i 注: CI のフィルター条件が満たされていない場合、システムは関連する CI のフィルター条件をチェックしません。CI および関連 CI のフィルター条件が満たされると、関連する CI に対してバックテーブルがマッピングされます。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果

バックテーブルが CI に対してマッピングされ、[バック構成] リストに表示されます。

次のタスク

CI レコードのバックテーブルを使用します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

キャパシティ管理の構成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでキャパシティ管理機能、定義、およびメトリクスを作成および構成します。キャパシティ管理を使用すると、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算できます。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

[構成アイテムの改訂、運用化、および廃止](#)

キャパシティ機能を作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでキャパシティ機能を作成します。この機能を使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算できます。

始める前に

キャパシティ管理プラグインが通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算するキャパシティ関数を作成します。キャパシティの計算にはさまざまな方法を使用できます。キャパシティ関数を作成すると、レコードがキャパシティ関数 [sn_cap_mgmt_function] テーブルに保存されます。

キャパシティ機能は、その優先度にもとづいて選択され、キャパシティが計算されます。キャパシティ計算の優先順位を設定する際には、以下の点を考慮してください。

- 2 つのキャパシティ機能の [機能タイプ] と [測定タイプ] が同じ場合、順序値が最も小さいものが優先されます。
- 2 つのキャパシティ機能の [機能タイプ]、[測定タイプ]、および [順序] が同じ場合、最後に更新されたものが優先されます。

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [キャパシティ管理](#) > [関数](#).
2. [新規] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ機能フォーム](#)」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

キャパシティ機能レコードが作成されます。

次のタスク

この機能をキャパシティ計算に使用するか、定義レコード内で使用してキャパシティを決定することができます。キャパシティ定義の作成方法の詳細については、「[キャパシティ定義の作成](#)」を参照してください。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

キャパシティ定義の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでキャパシティ定義を作成します。キャパシティ定義で複数の関数を使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算できます。

始める前に

- キャパシティ管理プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- キャパシティ機能レコードを作成します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

キャパシティ定義は、キャパシティ機能をトリガーする非同期的な方法です。キャパシティ定義で複数の関数を使用して、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算できます。キャパシティ定義を作成すると、レコードはキャパシティ定義 [sn_cap_mgmt_definition] テーブルに保存されます。

手順

1. 移動先 **すべて > キャパシティ管理 > 定義**.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ定義フォーム](#)」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

キャパシティ定義レコードが作成されます。

次のタスク

この定義は、キャパシティ計算に使用することができます。キャパシティ定義を実行すると、メトリクスが作成され、結果が集計されます。次に移動できます: **すべて > キャパシティ管理 > メトリクス** をクリックし、詳細を表示するキャパシティメトリクスレコードを開きます。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

キャパシティメトリクスの表示

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでキャパシティメトリクスレコードを表示します。キャパシティ測定基準を使用して、キャパシティ計算の統合情報を取得できます。

始める前に

- キャパシティ管理プラグインが通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- キャパシティ関数または定義レコードを実行し、キャパシティメトリクスレコードを作成します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 **すべて > キャパシティ管理 > メトリクス**.
2. キャパシティメトリクスレコードの横にある情報アイコン () を選択して、詳細を表示します。
次の詳細が表示されます。

キャパシティ定義フォーム

フィールド	値
キャパシティ定義	キャパシティ定義レコードの名前。
関数	キャパシティ機能のタイプ。
値	キャパシティ計算値。
測定タイプ	キャパシティの計算に使用される測定タイプ。
キャパシティ機能	キャパシティ機能レコードの名前。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

他のアプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ の統合

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの機能を拡張し、他の部門と接続して、他のアプリケーションと統合することで問題解決を支援できます。

通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを ハードウェア資産管理 アプリケーションと統合することで、インベントリテンプレートを使用してサービス要求を作成できます。ストックルームで利用可能な資産を関連付けて、機器をインスタンス化することもできます。

概要

この統合により、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでレコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成できるようになります。次に、これらの資産を取得するサービス要求を作成できます。レコードプロデューサーの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

サービス要求を作成する前に、資産を [カタログ定義] テーブルに追加してハードウェアカタログに公開する必要があります。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

ハードウェア資産管理 はサービス要求を履行し、ハードウェア資産管理 ワークスペースで資産を調達するワークフローを実行します。ハードウェア資産管理 ワークフローの詳細については、「[調達](#)」を参照してください。

資産が取得されるか、ストックルームで利用可能になると、調達マネージャーは ServiceNow® 調達アプリケーションを使用してこれらの資産の構成アイテム (CI) を作成できます。これらの CI をタグ付けすることで、機器のインスタンス化に使用できます。

インベントリテンプレートを使用してネットワークサイトで機器をインスタンス化すると、インターフェイスカードモデルと一致する資産が同じネットワークサイトの場所にある場合、システムはこれらの資産を選択します。それ以外の場合、アプリケーションはインターフェイスカードの CI を作成します。システムは、ストックルームで利用可能な他の資産との関係を作成します。これらの関係は、関連資産がストックルームで利用可能な場合にのみ作成されます。

ハードウェア資産管理 統合ワークフロー

この統合により、次のタスクを実行できるようになります。

1. 部品表のサービス要求を作成します。詳細については、「[資産を調達するサービス要求を作成](#)」を参照してください。
2. 利用可能なストックルームから資産を関連付けます。変更モデルを使用して機器を作成するときに、資産を関連付けることができます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

資産を調達するサービス要求を作成

レコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成し、それらの資産を調達するサービス要求を作成します。ハードウェア資産管理 アプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション統合を使用して、これらの両方のアクションを実行できます。

始める前に

調達する資産をハードウェアカタログに追加してください。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

資産を調達するには、[インベントリテンプレートを使用した部品要求] レコードプロデューサーを使用して、部品表のサービス要求を作成できます。レコードプロデューサーの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Procurement** (調達) > 要求。
3. [新規] を選択します。
4. [インベントリテンプレートを使用した部品要求] レコードプロデューサーで、フィールドに入力します。

インベントリテンプレートレコードプロデューサーを使用した部品要求

フィールド	説明
インベントリ テンプレート	調達する資産を含むインベントリテンプレート。テンプレートを選択すると、関連資産リストが [品目数] セクションに表示されます。
数量	資産の数量。各資産の所要数量を [数量] フィールドに入力します。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果

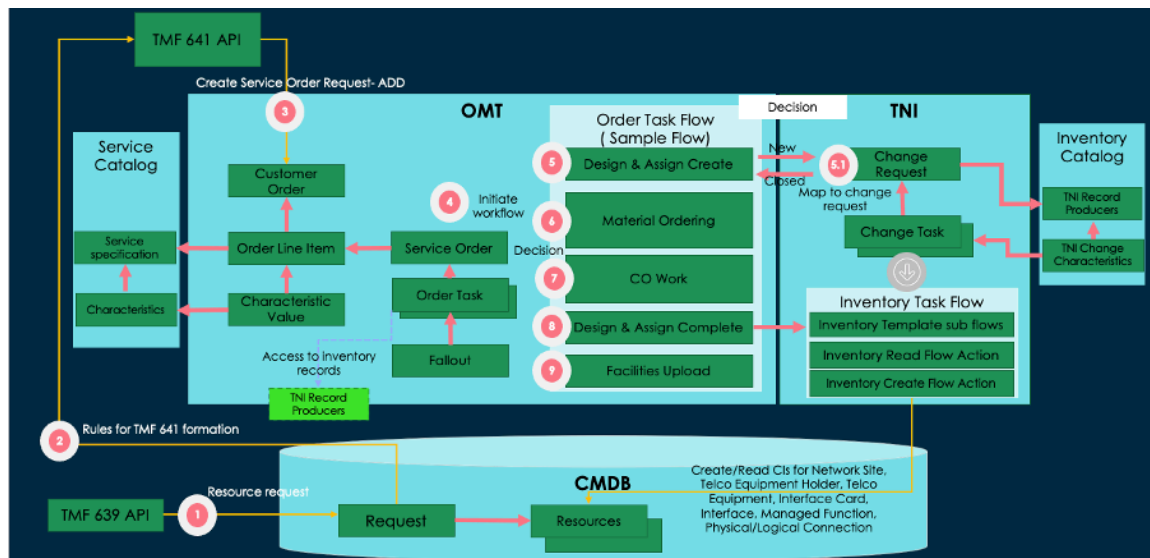
資産を調達するためのサービス要求が作成されます。

Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media

通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションを使用すると、すべての製品とサービスの注文を1か所で管理できます。これらの製品注文はサービス注文に分割され、さらにリソース注文に分割されます。

概要

注文ワークフローは、顧客向けサービス注文 (CFS) とリソース向けサービス注文 (RFS) を満たす注文タスクを生成します。インベントリ構成アイテム (CI)、モデル、およびテンプレートを含むネットワーク関連のタスクは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとやり取りしてネットワーク CI を作成できます。すべてのネットワーク関連の注文タスクについて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求を作成する必要があります。



次の図は、通信事業ネットワークインベントリ および 通信事業向け注文管理 アプリケーションのサービス要求と詳細なワークフローを管理するプロセスの概要を示しています。

ワークフローのステージは次のとおりです。

1. **オーケストレーション:** このステージでは、通信事業向け注文管理アプリケーションが注文オーケストレーションの機能を果たします。リソース注文を生成して、ネットワーク計画を含むさまざまな注文関連タスクを実行します。これらのリソース注文は、サービスエージェントまたはTMF641を介して開始できます。

2. 計画:このステージでは、SPM は事前定義された SPM プロジェクトテンプレートを活用してプロジェクトの作成を開始します。その後、SPM では、 通信事業向け注文管理 との確立された統合を利用して、さらなるプロジェクト処理を促進します。
3. 調達:このステージでは、要求を満たすためのハードウェア資産の調達アクティビティのインスタンス化が取得されます。
4. 設計アサイン: このステージでは、 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションが次のプロセスを開始します。
 - a. 分析された変更特性に基づいてそれぞれの変更モデルをトリガーする変更要求を作成します。
 - b. 変更特性に基づいて変更タスクを作成します。
 - c. テンプレートサブフロー、読み込みフローアクション、およびフローアクションの作成を含むインベントリタスクフローを通じて、すべてのタスクを完了します。その後、必要な CI またはリソースが読み取られるか作成されます。
5. ビルド:このステージでは、FSM を通じてサービスを物理的に構築または実装します。
6. アクティブ化:サービスは、アクティブ化手順を使用して展開されます。

ネットワーク CI を作成するために、 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションと 通信事業向け注文管理 アプリケーションを統合して、設計や割り当てなどのサービスまたは製品タスクを実行します。ネットワークインベントリ関連のアクションが必要なタスクに対して変更要求が開始されます。

次の条件が満たされていることを確認する必要があります。

1. 同じインスタンス内の 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションと 通信事業向け注文管理 アプリケーションの両方のライセンスが必要です。
2. この統合では、 通信事業とメディア向け注文管理 からの ADD アクションサービス注文要求のみが提供されます。

アドミン向け

変更要求を作成するには、アドミニストレーターはネットワークインベントリアクションを必要とする注文タスクに対して次のタスクを実行する必要があります。

1. レコードプロデューサーを作成する」では、このレッスンで説明した手順を演習することができます。詳細については、「[レコードプロデューサーの作成](#)」を参照してください。
2. 変更モデルを作成します。詳細については、「[変更モデルの作成](#)」を参照してください。

デフォルトでは、 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは次の表に示す変更モデルを提供します。

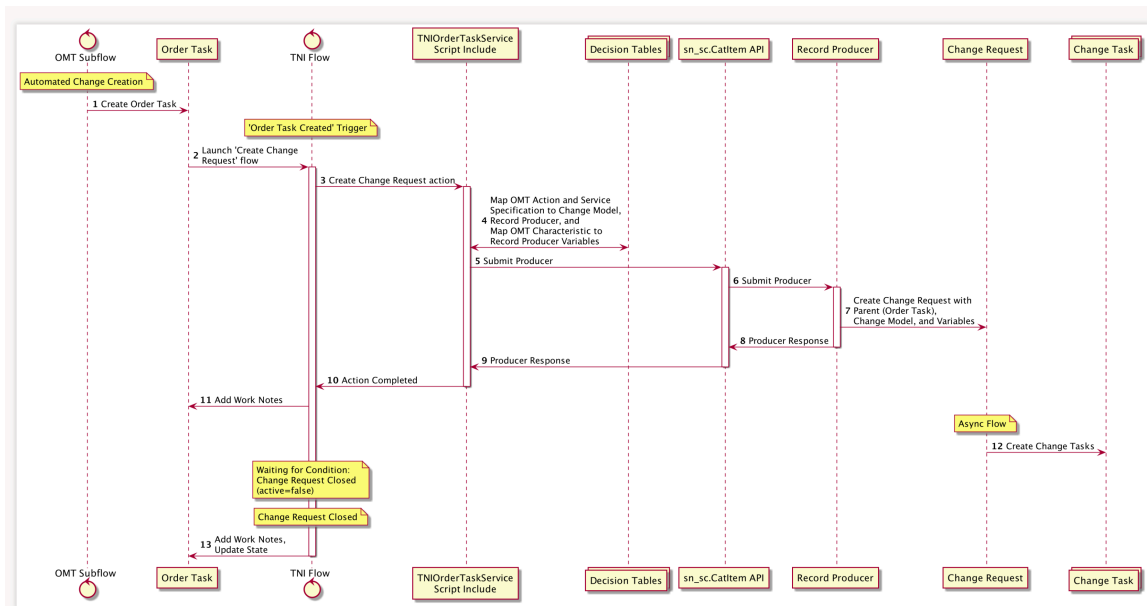
デフォルトの変更モデル

変更モデル	Description (説明)
プロビジョン LAG	ポート間にイーサネットリンクを作成し、それらのイーサネットリンク上に LAG 回線を作成します。LAG には仮想インターフェイスがあります。VLAN 範囲も作成され、LAG に関連付けられます。
GPON ブロードバンドサービス (自動化)	既存のネットワーク経由で GPON サービスをプロビジョニングします。
Fiber-wise モビリティインフラストラクチャ	既存のネットワーク上にモビリティ インフラストラクチャをプロビジョニングします。

変更モデル	Description (説明)
電気通信機器の設計とアサイン	特定のネットワークサイトで事前定義されたテンプレートに従って機器を作成します。

以前の変更モデルのステータスは、[新規]、[実装]、[レビュー]、および [クローズ済み] です。デフォルトでは、新しい変更モデルのステータスはすべて [新規] に設定されます。

3. 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションによって提供されるディシジョンテーブルに意思決定エントリを作成します。エントリの作成方法については、「[通信事業向け注文管理の統合](#)」を参照してください。



TNi-OMT 統合を使用して変更タスクを作成するワークフローは次のとおりです。

1. OMT サブフローは注文タスクを作成します。
2. [注文タスクが作成されました] トリガーを受信すると、TNi フローは [変更要求を作成] を起動し、後で変更要求アクションを作成します。
3. OMT アクションとサービス仕様は、TNi 注文タスク送信スクリプトインクルードの変更モデルとレコードプロデューサー、およびディシジョンテーブルにマッピングされます。次に、OMT 特性がレコードプロデューサー変数にマッピングされます。
4. その後、プロデューサーはsn_scを介してレコードプロデューサーに送信されます。CatItem API です。
5. これにより、注文タスク、変更モデル、変数に関する変更要求が作成されます。また、sn_scを使用します。結果を TNi フローに返すための CatItem API。
6. このアクションが完了すると、注文タスクに作業メモが追加されます。
7. 変更要求がクローズされると、注文タスクに作業メモが追加されます。

インベントリエージェント向け

インベントリエージェントは、アサインされた変更タスクを開き、検証し、実装し、クローズすることができます。実装後、作成された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。注文タスクの作業メモは、注文タスクがクローズされると更新されます。

その結果、通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションは影響を受ける CI のリストをフェッチし、インストールベースアイテムを作成して製品注文を CI に関連付けます。詳細については、

Order Management for Telecommunications, Media, and Technology の受注処理の構成  を参照してください。

注:

- 注文タスクの変更要求は、意思決定エントリが作成された場合にのみ自動的に作成されます。
- 注文タスクの在庫アクションの必要性に基づいて、多数の変更要求が作成されます。
- デモデータとして:
 - 通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションでは、SD-WAN 製品には、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションへの機器作成変更要求をトリガーする CPE の割り当てとインストールタスクがあります。
 - 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションには、機器の作成、リンクアグリゲーショングループ (LAG) のプロビジョニング、ギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドの自動化、およびファイバーワイズモビリティインフラを通信事業ネットワークインベントリワークフローとして使用できるデモデータがあります。

通信事業ネットワークインベントリ の使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、物理ネットワークと論理ネットワークのデジタル表現を構築できます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

概要

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで通信ネットワークインベントリの包括的なデジタルモデルを構成するネットワーク資産レコードを作成するには、複数の方法があります。

インベントリモデルとテンプレートを使用したネットワーク資産の生成

インベントリモデルとテンプレートは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで通信機器の表現を作成するためのフレームワークを提供します。定義したインベントリテンプレートとインベントリモデルを使用することで、ネットワークのデジタルモデルを構成する個々のネットワーク資産インスタンスを生成できます。モデルとテンプレートの関係を作成すると、生成関数は個々のネットワーク資産間の正式な関係も作成します。この方法でこのタスクを実行することは、多くの場合、手動で行うよりもネットワークインベントリのデジタルモデルを作成するための労力の少ない方法です。

設計とアサインの変更フォームを使用して機器のインスタンス化を実行する方法については、以下を参照してください。

- 通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認](#)
- インベントリモデルの作成
- ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

ネットワークインベントリでの個々のネットワーク資産インスタンスの手動作成

ネットワーク資産インスタンスの自動生成用にインベントリモデルとテンプレートを定義する代わりに、ネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成できます。Network Inventory Workspace からアクセスする一連のフォームを使用して、個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成およびレビューし、個々の資産間の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。

- [Network Inventory Workspace](#) を使用したネットワークインベントリの確認と更新
- ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ の探索](#)

Network Inventory Workspace を使用したネットワークインベントリ の確認と更新

Network Inventory Workspace を使用して、インベントリを管理し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでタスクを実行します。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)

[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)

ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認

network inventory workspace で実行できる主な機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成することです。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存のサービスの変更、ネットワークの保守、およびネットワーク拡張の予測の計画を行うことができます。

概要

個々のネットワーク インベントリレコードを手動で作成してレビューし、各資産間の関係を定義するには、ワークスペースのランディングページから適切なフォームに簡単にアクセスできます。たとえば、Network Inventory Workspace ランディングページのカテゴリ別ネットワークエンティティウィジェットでインターフェイスカード数を選択して、インターフェイスカードインスタンスを作成できます。

i 注: 個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成する代わりに、より自動化された、おそらく労力のかからない方法を使用できます。詳細については、以下を参照してください。

- [通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認](#)
- インベントリモデルの作成
- ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

プロセス

通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを手動で作成するには、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページとリストビューから次のフォームにアクセスします。詳細については、「[Network Inventory Workspace を使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

1. [ネットワークサイト] フォームで、ネットワーク機器を収容する個々の場所のネットワークサイトレコードを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](#)」を参照してください。
2. [通信機器] フォームで、通信機器の個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。

3. 機器ホルダーフォームで、機器ホルダーの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita](#)」を参照してください。
4. [インターフェイスカード] フォームで、インターフェイスカードの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[カードの詳細を定義](#)」を参照してください。
5. [ネットワークインターフェイス] フォームで、ネットワークインターフェイスの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細を定義する](#)」を参照してください。
6. [物理接続] フォームで、物理接続または有線接続ごとに個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[物理接続の詳細を定義する](#)」を参照してください。
7. [論理接続] フォームで、各論理接続の個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[論理接続の詳細を定義します](#)」を参照してください。
8. ネットワークインベントリ内の各資産間の論理的および物理的な関係を作成します。
9. 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続の番号を定義します。詳細については、「[インベントリの番号付けを定義する](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

ネットワークサイトの詳細を定義する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークサイトレコードを確認、更新、または作成します。これらのレコードを使用すると、機器が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、部屋など、各ネットワークサイトの場所固有の属性を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワークサイトは、ネットワーク機器を保管する物理的な場所です。ネットワークサイトレコードを使用すると、特定の場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、および機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「[CMDB ワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示](#)」を参照してください。

ネットワークサイトレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリのデータモデル](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションは、物理ネットワーク接続、論理ネットワーク接続、およびネットワーク全体とネットワーク上にプロビジョニングされたサービスを含むリソースを格納します。TNI データモデルは階層構造に従っています。基盤となるのは ネットワークサイトです (ここでは ネットワークサイトと呼びます)。

Network Site クラスは、機器とリソースが保存および保守され、ネットワーク接続が開始および終了するネットワーク上の物理的な場所を表します。ネットワークサイトには物理的な場所への参照があり、そこから住所、緯度、経度などの主要な属性が導出されます。

ネットワークサイトと場所は似ていますが、その違いは TNI データモデルのコンテキスト内で重要です。ネットワークサイトは TNI の構成アイテム (CI) です。運用ステータスは、ネットワークサイト内の機器と接続から導出されます。CI として、ネットワークサイトをサービスポートロジの固有の側面としてマッピングすることもできます。ネットワークサイトと場所は互いに補完し合うことで、組織により多くの価値をもたらします。

物理的な場所を TNI のネットワークサイトに関連付けて、これらのネットワークサイトをマップ上で可視化できます。組織は、ネットワークサイトと、サイトに存在する基礎となるすべてのインベントリコンポーネントの価値を最大化できます。TNI データモデルを使用すると、インシデントを特定し、イベントを関連付けて、ネットワーク障害や機能停止の根本原因を分析できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 ネットワークサイト > すべてのサイト。

管理しているサイトを表示するには、 ネットワークサイト > 自分のサイト。

i 注: Network Inventory Workspace ランディングページの [ネットワークサイトの概要] ウィジェットで [合計サイト 数] または [メンテナンス 中のサイト 数] をクリックして、[合計サイト数] リストにアクセスすることもできます。詳細については、「[Network Inventory Workspace を使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. [新規] をクリックします。
4. [詳細] タブの [ネットワークサイト] セクションで、フィールドに入力します。
ネットワークサイトフォームに固有のフィールドの詳細については、「[ネットワークサイトフォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [サイトの詳細] セクションで、サイトの詳細情報を入力します。
次の表は、[サイトの詳細] セクションに固有のフィールドの一覧です。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

ネットワークサイトフォーム - サイトの詳細

フィールド	説明
サービング ワイヤーセ ンター	共通場所識別子コード (CLLI) は、このネットワークサイトに電話サービスを提供している電話会社のセントラルオフィスを表します。
LATA	ネットワーク資産に割り当てられたローカルアクセスおよびトランスポートエリア (LATA) コード。これは、ネットワークサイトが位置する米国の地理的領域を表します。
データセン ターコード	このデータセンターの識別子。
高度	[高度単位] フィールドでフィートまたはメートルとして選択したネットワークサイトの高度。高度測定により、企業は連邦航空局 (FAA) の規制に準拠できます。
高度単位	ネットワークサイトの高度を [高度] フィールドで表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 フィート

フィールド	説明
	ネットワークサイトの高度 (フィート単位)。これがデフォルト値です。
	メートル ネットワークサイトの高度 (メートル単位)。

6. ネットワークサイトフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] をクリックします。
[インベントリ属性を設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルに参照が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性を設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] をクリックします。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後にネットワークサイトフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. オプション: グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイル アイコン () をクリックします。

10. [保存] をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. オプション: [マップを開く] を選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: 関連付けられたネットワーク インベントリを表示するには、ブリック アイコン () をクリックします。

(Optional) [インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

15. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)

通信機器インスタンスの作成

ネットワーク内に通信機器インスタンスを作成します。機器インスタンスを定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

インベントリカテゴリが [設備] に設定された設備インスタンスを作成できます。機器レコードを作成すると、対応する機器テーブルに構成アイテム (CI) レコードが作成されます。機器拡張クラスの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > すべての機器。

[リスト] メニューからオプションを選択して、次の機器タイプを作成できます。

オプション	説明
IP ルーター、IP スイッチ、IP ファイアウォール、IP ロードバランサー、サーバー、または仮想マシン	選択したレコードを作成します。フォーム内のフィールドの詳細については、「 ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、サーバーフォーム 」を参照してください。
Kubernetes クラスター	Kubernetes クラスターインスタンスを作成します。フォーム内のフィールドの詳細については、「 Kubernetes 検出 」を参照してください。
Kubernetes ポッド	Kubernetes ポッド マシン インスタンスを作成します。フォーム内のフィールドの詳細については、「 Kubernetes 検出 」を参照してください。

3. **新規** を選択し、リストから機器タイプを選択します。
機器拡張クラスの詳細については、「[機器拡張クラス](#)」を参照してください。
4. [設備] フォームのフィールドに入力します。

機器フォームのフィールドの詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。

5. [インベントリ属性の設定] を選択して、通信機器フォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、[TNI CI 属性フォーム](#)を参照してください。

7. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後に [通信機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

8. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

9. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

10. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

11. [送信] を選択します。
選択した機器タイプのインベントリレコードが作成されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

電気通信機器の詳細の確認と更新

電気通信機器のネットワーク資産インスタンスをレビューおよび更新します。機器インスタンスを定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようにします。

始める前に

機器フォームを作成します。詳細については、「[通信機器インスタンスの作成](#)」を参照してください。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > すべての機器。
[すべての機器] ウィンドウには、インベントリカテゴリが [機器] に設定されている構成アイテム (CI) レコードが一覧表示されます。
3. 更新する CI レコードを選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
次の表に、通信機器フォームに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

通信機器フォーム

フィールド	説明
名前	この電気通信機器の名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
製品モデル	この電話通信機器が属する製品モデルの名前。検索アイコン () を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 機器モデルを作成する 」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、通信機器の構成情報を入力します。
通信機器フォームの [構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[通信機器フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

6. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後に [通信機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
8. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
9. 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

依存関係ビューマップには、ネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

- i 注:** インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

11. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

機器ホルダーの定義

キャビネット、ラック、シェルフ、スロットなど、通信機器を収納する機器ホルダーを定義します。機器ホルダーを定義することで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

機器ホルダーレコードを作成すると、機器ホルダー拡張クラステーブルに対応する構成アイテム (CI) レコードが作成されます。機器ホルダー拡張クラステーブルの詳細については、「[機器所有者拡張クラス](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > 機器所有者。
3. [新規] を選択し リストから機器ホルダータイプを 選択します。
機器ホルダータイプの詳細については、「[機器所有者拡張クラス](#)」を参照してください。
4. [送信] を選択します。
選択した機器所有者タイプのインベントリフォームが表示されます。
5. [詳細] タブで、フォームに入力します。
フィールド情報の詳細については、次を参照してください。 [機器所有者フォーム](#)
6. [インベントリ属性を設定] を選択して、[機器所有者] フォームの[通信事業ネットワークインベントリ属性](#)を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、[通信事業ネットワークインベントリ](#) CI レコードは作成されません。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

[通信事業ネットワークインベントリ属性](#)フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後に [機器ホルダー] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「通信事業ネットワークインベントリ」を参照してください。

11. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

12. [マップを開く] を選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

注: インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「CMDB ワークスペース」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。 詳細については、以下を参照してください [CI レコードの属性パックの使用](#)。

15. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。 詳細については、以下を参照してください [インベントリレコードの廃止](#)。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

ラックとキャビネットの作成と保守

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、ラックとキャビネットに対して後続のアクションを作成して実行します。

ラックを作成する

ラックを作成して、機器やラックユニットを追加、整理し、すべての資産を管理します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してラックを編集することもできます。

始める前に

- 必要なロール：
sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_rack
- スロットをラックユニットとして作成し、ラックユニットのあるラックを表すためにラックとの関係を作成する必要があります。

このタスクについて

ラックには、シェルフとその中に機器があるスロットとして表されるラックユニットが含まれています。ラックレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがラック [cmdb_ci_container_rack] テーブルに作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > ラック.
3. [新規] を選択します。
4. 機器ホルダーフォームで、フィールドに入力します。
詳細については、「[機器所有者フォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. TNI CI 属性 フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果

ラックレコードが作成され、関連タブが作成されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

次の手順については、[ラックとキャビネットの使用の最適化](#) を参照してください。

ラックを編集

ラックを編集して、選択したラックから機器を削除、追加、または移動します。通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用して、ラック内のコンポーネントを整理およびアップグレードします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ラックを編集すると、ラックに追加されたすべての機器とその詳細を確認できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > ラック.
3. 表示されたリストからラックを選択します。
KPI(重要業績評価指標)を選択すると それぞれの指標に貢献している機器の一覧が表示されます。
ダッシュボードには、KPI(占有ユニット、耐荷重、電力使用量、および機器タイプ) が、ラックの前面ビューと背面ビューとともに表示されます。
4. [ラックの編集] を選択します。
すべての機器のリストと、編集した構成と現在の構成の両方の正面図が表示されます。

5. 表示された機器のリストからフィルターまたは検索ボックスを使用してラックに追加する機器を検索。

i 注:

- 既存のフィルターは、検索を入力すると自動的にクリアされます。また、フィルターを適用すると、検索用語がクリアされます。
- 機器リストは、最新の作成日、最大ラックユニット数、および重量に基づいてソートすることもできます。
- リストには、sn_ni_core.equipment システムプロパティに含まれるすべての機器レコードと、ラックに入っていない機器が表示されます。ただし、ラック内に取り付けられている機器はリストに表示されますが、非アクティブなままです。
- 情報(**i**)が展開され、機器または情報ボタンを選択すると、機器の詳細が表示されます。

6. erform ラックの編集集中の次のいずれか。

アクション	ステップ
追加	a. 選択 (⋮) > ラックに追加. b. フィールドに入力して [追加] を選択します。 フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラックテーブルに機器を追加する」を参照してください。 i 注: 機器を隅から目的のラックユニットまでドラッグできます。非 TNI の場合、カテゴリが機器である TNI エンティティが作成されます。変更を元に戻したり、やり直したりできます。
移動	a. 選択 (⋮) > 移動. b. フィールドに入力し、[移動] を選択します。フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラックテーブルに機器を追加する」を参照してください。 i 注: ◦ 機器をコーナーから目的のラックユニットにドラッグすることもできます。 ◦ 変更を元に戻したり、やり直したりできます。
[Remove (削除)]	選択 (⋮) > [Remove (削除)].

アクション	ステップ
	i 注: - 変更を元に戻したり、やり直したりできます - 複数の機器の撤去に関する複数の変更タスクが作成されます。さらに、削除された機器とラックの両方が [影響を受ける CI] の下に追加されます。
ラックユニットの予約	予約するラックユニットのオプション()を選択し、[予約(Reserve)] を選択します。 i 注: - 変更を元に戻したり、やり直したりできます - ラックユニットを予約すると、そのライフサイクルステージは [展開済み] に設定され、ライフサイクルステージのステータスは [予約済み] に設定されます。

7. [保存] を選択します。

[**Change Tasks**] タブに、実装された変更を使用して変更要求が作成されます。各変更タスクの簡単な説明は、変更に基づいて更新されます。変更が適用されると、タスクの作業メモが更新され、クローズ済みとしてマークされます。

i 注:

- 表示された変更要求を選択すると、変更タスクなどが表示されます。
- 機器がラックに追加された場合、[簡単な説明] が [開始済み] として更新され、ラック rack_name に機器 equipment_name を追加します。ラックから機器 equipment_name が削除されている場合、ラック rack_name から機器を削除するために開始されました。ラック rack_name 内で機器 equipment_name が移動されている場合、ラック内での移動が開始されます。ラックスロットが予約されている場合、機器 equipment_name のラック rack_name ユニットの予約のために開始されます。
- 変更要求は、ラックが変更された場合にのみ作成されます。
- 次の状況では、変更要求は作成されません。
 - 同じ機器が追加されてから削除された場合。
 - 機器を取り外してラックの同じスロットに追加し直した場合。
 - 機器を追加してラック内の別の位置に移動した場合、最新のラックスロットの詳細で 1 つの追加のみが作成されます。
 - 技術的なエラーが発生した場合。ただし、作業メモはエラーの詳細で更新されます。
- 変更要求には、さまざまな変更タスクを含めることができます。

キャビネットを作成する

キャビネットを作成して、機器を追加、整理し、すべての資産を管理します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してキャビネットを編集することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

キャビネットレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがキャビネット [cmdb_ci_container_cabinet] テーブルに作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > キャビネット.
3. [新規] を選択してキャビネットを作成します。
4. 表示されるフォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[機器所有者フォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. 表示されるフォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
キャビネットレコードが作成され、関連するタブが作成されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

関連情報

[キャビネットを編集する](#)

キャビネットを編集する

キャビネットを編集して、選択したキャビネットから機器を削除、追加、または移動します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、キャビネット内のコンポーネントを整理およびアップグレードします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > キャビネット.
3. 表示されたリストからキャビネットを選択します。
ダッシュボードには、キャビネットの下に追加されたすべての機器タイプと、選択した機器のキャビネットビューおよび情報が表示されます。
4. [キャビネットの編集] を選択します。
機器タイプとキャビネットビューの代わりに、すべての機器のリストと、編集構成と現在の構成の両方の正面図が表示されます。
5. 表示された機器のリストから、フィルターまたは検索ボックスを使用してキャビネットに追加する機器を検索。
 - 既存のフィルターは、検索を入力すると自動的にクリアされます。また、フィルターを適用すると、検索用語がクリアされます。
 - 機器リストは、最新の作成日、最大ラックユニット数、および重量に基づいてソートすることもできます。

- リストには、sn_ni_core.equipment システムプロパティに含まれるすべての機器レコードと、キャビネットにない機器が表示されます。
- 情報()が展開され、機器または情報ボタンを選択すると、機器の詳細が表示されます。

6. キャビネットの編集集中にerform次のいずれかのアクション を実行します。

アクション	ステップ
追加	a. 選択 () > キャビネットに追加. b. フィールドに入力して [追加] を選択します。 フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラック/キャビネットテーブルに機器を追加する」を参照してください。 機器をコーナーから目的のラックユニットにドラッグすることもできます。
移動	a. 選択 () > 移動. b. フィールドに入力し、[移動] を選択します。 フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラック/キャビネットテーブルに機器を追加する」を参照してください。 機器をコーナーから目的のラックユニットにドラッグすることもできます。
[Remove (削除)]	選択 () > [Remove (削除)].
ラックユニットの予約	予約するラックユニットのオプション()を選択し、[予約(Reserve)] を選択します。

7. [保存] を選択します。

[**Change Tasks**] タブに、実装された変更を使用して変更要求が作成されます。変更が適用されると、タスクの作業メモが更新され、クローズ済みとしてマークされます。

表示された変更要求を選択すると、変更タスクなどが表示されます。

 注: 変更要求は、キャビネットが変更された場合にのみ作成されます。

次のタスク

その他のアクションを実行するには、「[ラックとキャビネットの使用の最適化](#)」を参照してください。

ラックとキャビネットの使用の最適化

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用し、他のコンポーネントを追加、構成、および計算するためのガイドラインに従って、ラックの容量を最適化します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > ラック。
3. 表示されたリストからラックを選択します。
4. ラックまたはキャビネットのビューから、次のいずれかのアクションを実行します。

ラックでのアクション

アクション	ステップ
ラックを編集	詳細については、「 ラックを編集 」を参照してください。
キャビネットを編集	詳細については、「 キャビネットを編集する 」を参照してください。
ラック機器のリフレッシュ	更新 () アイコンを選択して、変更が実行された場合にラックの更新された機器を表示します。
機器を作成	選択 () > 機器を作成. 表示されるフォームのフィールドに入力します。詳細については、「 ラックビューから機器を作成 」を参照してください。
Save (保存)	ラックまたはキャビネットを保存します。
パックを追加	その他のオプションアイコン () を選択し、[パックを追加 (Add Packs)] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。詳細については、「 CI レコードの属性パックの使用 」を参照してください。
キャパシティを計算	[キャパシティメトリック (Capacity Metrics)] タブを選択してリダイレクトし、更新されたキャパシティメトリックを表示します。
廃止	選択 () > 廃止 このラックを廃止します。詳細については、「 インベントリレコードの廃止 」を参照してください。
削除	選択 () > 削除 をクリックして、このラックまたはキャビネットを削除します。このラックまたはキャビネットを削除すると、すべての関連レコードが削除されます。

関連情報

[ラックを編集](#)

設備用のスロットを作成する

スロットを作成して、機器がすべてのタイプの機器をメンテナンス、更新、アクセスするための指定されたスペースを提供します。通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用してケーブルをルーティングできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_slot

このタスクについて

スロットは ラック全体で機器の重量を均等に分散するのに役立ちます。スロットを作成すると、スロット [cmdb_ci_container_slot] テーブルにレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > スロット。
3. [新規] を選択してスロットを作成します。
4. [機器ホルダー] フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[機器所有者フォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

カードの詳細を定義

通信機器で使用するカードのネットワーク資産インスタンスをレビュー、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

機器のポートは、物理ポートまたは論理 (仮想ポート) にすることができます。ネットワークインターフェイスデータには、ポートの可用性、帯域幅、スロット、ソフトウェアバージョン、MAC アドレス、ファームウェアメーカー、およびバージョンが含まれます。カードレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがカード [cmdb_ci_ni_interface_card] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ) > カード。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [カード] セクションで、カードの一般情報を入力します。
[カードフォーム](#) では、カードフォームに固有のフィールドについて説明します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、カードの構成情報を入力します。
次の表に、[構成] セクションに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

カードフォーム:構成

フィールド	説明
ソフトウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
MAC アドレス	ネットワーク資産に割り当てられたメディアアクセス制御 (MAC) アドレス。これは、ネットワークセグメント内の通信で使用されるネットワークアドレスです。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。

6. カードフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] をクリックします。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

注:

[インベントリ属性を設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] をクリックします。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後にカードフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン (添付ファイル ) をクリックします。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

12. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。

- i 注:** インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

13. オプション: その他のオプションアイコン () を選択し、[パックを追加 (Add Packs)] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

14. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

15. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスの詳細を定義する

ネットワーク間のシグナリングおよび管理機能を制御するネットワークインターフェイスの network インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク インスタンスを追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク インターフェイスは、シグナリングの相互接続、またはインターネット プロトコル (IP) または ATM ネットワークに使用されます。ネットワークインターフェイスレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークインターフェイス [cmdb_ci_interface] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

- 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- リストアイコン () から、**Inventory** (インベントリ) > ネットワーク インターフェイス。
- [新規] を選択します。
- [詳細] タブの [ネットワークインターフェイス] セクションで、ネットワークインターフェイスの一般情報を入力します。
次の表のフィールドは、[ネットワークインターフェイス] フォームに固有のものです。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスフォーム

フィールド	説明
名前	ネットワークインターフェイスの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、ネットワーク インターフェイスの構成情報を入力します。次の表に、[構成] セクションに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスフォーム - 構成

フィールド	説明
Equipment	ネットワークに技術的な機能を提供するデバイス。
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
コネクタタイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 ◦ SC (正方形のコネクタ) - 有効な光伝送のための光ファイバーの位置合わせをするためにプッシュブルの掛け金として使用される正方形の、共通のタイプの繊維光学のコネクタ。 ◦ LC (Lucent Connector) - 高密度アプリケーション向けに設計されたSCコネクタの別のバージョン。 ◦ ST (ストレートトリップ) - 電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。 ◦ ワイヤラップ 回路基板に電気接続を作成するための技術。 ◦ RJ45 - 8P8C (8 ポジション 8 コンタクト) コネクタとも呼ばれ、有線イーサネット ネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。
ポートタイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ イーサネット: ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 ◦ 光トランシーバーで使用されるコネクタの光学固有の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれ形状とデータ速度機能が異なります。 ◦ シリアル: シリアルインターフェイスは、複数のビットを同時に送信するパラレルインターフェイスとは対照的に、一度に1ビットずつデータを送信します。

フィールド	説明
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ Tx:TX は Transmit の略です。これは、データがデバイスから送信される方向を指します。 ◦ Rx- RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)とラベル付けされます。 ◦ Tx/Rx ◦ バス:バスの指向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 ◦ ブロードキャスト:ブロードキャスト指向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートについて測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ Metro Ethernet Forum (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 ◦ -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。  注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。
ケーブルあり	インターフェイスがケーブル接続済みかどうかを確認するオプション。

6. ネットワークインターフェイスフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] をクリックします。
 [インベントリ属性を設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

 注:

[インベントリ属性を設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] をクリックします。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後にネットワークインターフェイスフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン () をクリックします。
10. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。
11. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。
12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。
13. [保存] をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
14. 関連付けられたネットワーク インベントリを表示するには、ブリック アイコン() をクリックします。

[インフラストラクチャ関係 (Infrastructure Relationships)] セクションには、個々のネットワークインスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)

ケーブルの詳細を定義

ネットワーク内のさまざまなサイトを接続するケーブルのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

光ファイバーケーブルは、エンドポイントが開いているサイト間に設置され、ケーブルが機器上で直接終端されていないことを示します。ケーブルはユーティリティホールから引き抜かれ、スプライスされて、距離の要件に応じてサイト間の接続を延長します。ケーブルレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが光ファイバーケーブル [cmdb_ci_fiber_optical_cable] テーブルに

作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > ケーブル。
3. [新規] を選択し、リストから [光ファイバーケーブル] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
ケーブルフォームのフィールドの詳細については、「[ケーブルフォーム](#)」を参照してください。
5. ケーブル フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] を選択します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

7. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後にケーブルフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

8. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択します。

9. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. 選択したレコードを視覚的に表示するには、次のようにします。[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

-  **注:** インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

ストランドの詳細を定義

ケーブル内のストランドのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ストランドとは、ケーブル内の個々の導体またはワイヤを指します。ケーブルは、撚り合わせられた、またはグループ化された複数のストランドで構成されています。ストランドレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがファイバーストランド [cmdb_ci_fiber_strand] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリのデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > ストランド。
3. [新規] を選択し、リストから [光ファイバーストランド] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[ストランドフォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択して、ストランドフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

 注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

7. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後にストランドフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

8. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
9. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

- ❗ 注: インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

物理接続の詳細を定義する

ネットワーク内のインターフェイスカードで物理ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

物理接続データには、リンクの種類、帯域幅、ポート、サイト、およびトポロジが含まれます。物理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > 物理接続。

3. [新規] を選択します。

4. [詳細] タブの [物理接続] セクションで、物理接続の一般情報を入力します。

[物理接続] フォームに固有のフィールドの詳細については、「[\[物理接続\] フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

[製品モデル] フィールドで [光ファイバーケーブル] を選択した場合は、[ケーブルパラメータ] フォームが表示され、ケーブルパラメータに関する情報を入力できます。フィールドの詳細については、「[ケーブルパラメータ フォーム](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、物理接続の構成情報を入力します。

[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[物理接続フォーム - 構成](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

6. [物理接続] フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ 属性の設定] を選択します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後に物理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. 選択したレコードを視覚的に表示するには、次のようにします。[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

i 注: インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング

論理接続の詳細を定義します

ネットワークインターフェイスカードの論理ポート接続または仮想ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようになります。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。論理接続データには、リンクタイプ、帯域幅、ポート、および サイトが含まれます。

論理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが論理接続

[cmdb_ci_ni_logical_path] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

論理接続レコードの [概要] タブには、論理接続、その接続要素、および A 側と Z 側の統合された詳細が表示されます。拡張ポイントsn_ni_advのカスタム実装を作成することで、接続要素テーブルをカスタマイズできます。TNIConnectionOverviewです。また、システムプロパティ *sn_ni_adv.clr_max_rows* を設定することで、このテーブルの行数を決定することもできます。このプロパティのデフォルト値は 500 です。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > 論理接続。

i 注: [ネットワークエンティティ] で [論理接続 数] を選択して、論理接続リストにアクセスすることもできます。論理接続数は、Network Inventory Workspace ランディング ページのカテゴリウィジェットの下にあります。詳細については、「[Network Inventory Workspace を使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. [新規] を選択します。

4. [詳細] タブの [論理接続] セクションで、論理接続の一般情報を入力します。

論理接続フォームに固有のフィールドの詳細については、「[\[論理接続\] フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、論理接続の構成情報を入力します。

[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[論理接続フォーム - 構成](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

6. 論理接続フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] を選択します。

[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」をご参照ください。

8. [保存] を選択します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドは、TNI CI 属性フォームを保存した後に論理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性を設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. 選択したレコードを視覚的に表示するには、次のようにします。[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

i 注: インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。13. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン () を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)

ネットワーク トポロジの手動作成

ネットワーク要素の編成で可視化するネットワークのトポロジレコードを作成します。ネットワーク トポロジを作成することで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション内でネットワーク要素がどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワークトポロジレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワーク トポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。また、ルートノードはトポロジ ルートノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに保存されます。トポロジ データ モデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」をご参照ください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () から、**Inventory** (インベントリ) > ネットワークトポロジ。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フォームに入力します。
ネットワークトポロジフォームのフィールドの詳細については、「[ネットワークトポロジフォー ム](#)」を参照してください。
5. [**Network Topology Root Nodes**] タブで [New] を選択し、フィールドに入力してルートノードを追加します。

ネットワークトポロジルートノードフォーム

フィールド	[Description (説明)]
ルートノード	トポロジのルートノード。
ネットワークトポロジ	作成したネットワークトポロジ。

6. [保存] を選択します。
7. [詳細] タブで、[送信] を選択します。

次のタスク

トポロジは [ネットワークビューアー] ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワー クトポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワークトポロジーの可視化

在庫グループを定義する

インベントリ グループは、アプリケーション内のすべての CI に CI アクションを一括して適用できる ようにする CI 通信事業ネットワークインベントリ コレクションです。インベントリ グループを定 義することで、さまざまな CI をグループ化し、すべての CI にアクションを適用できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

- i** 注: インベントリエージェントとインベントリアドミニストレーターは、インベントリグループのレビュー、作成、更新のみを行うことができます。また、グループを削除できるのはインベントリ管理者のみです。

このタスクについて

インベントリグループは、構成アイテム (CI) のグループを表します。グループには任意の CI を追加できますが、CI を複製することはできません。

インベントリグループを作成すると、インベントリグループ [cmdb_group] テーブルにグループが作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリのデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () をクリックし、 **Inventory** (インベントリ) > インベントリグループ
3. [新規] をクリックします。
4. [詳細] タブの [CMDB グループ] セクションで、フォームに入力します。

CMDB Group

フィールド	説明
グループ名	インベントリグループの名前
グループ タイプ	次のいずれかのグループタイプを選択します ◦ CMDB Workspace (CMDB ワークスペース) ◦ デフォルト ◦ 健全性 ◦ ネットワークインベントリグループ
説明	在庫グループについて説明します
カテゴリ	次のカテゴリのいずれかを選択します ◦ セグメント ◦ セクション ◦ ルーティング ◦ その他

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン (添付ファイル ) をクリックします。
6. [保存] をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

- i** 注: 最後に変更または更新された情報を確認するには、インベントリグループのリストビューを参照してください。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

インベントリレコードの廃止

通信事業ネットワークインベントリから削除するインベントリレコードを廃止します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

CI レコードを廃止すると、CI のすべての関連テーブルが削除され、この CI の ライフサイクル ステージとライフサイクル ステージステータス が変更されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** (インベントリ)。
3. インベントリリストを開き、廃止するインベントリ CI レコードを選択します。
4. [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択します。
すべての関連テーブルが削除されます。また、資産が CI で使用されていない場合、[Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)] フィールドは [End of Life (提供終了)] に設定され、[Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)] フィールドは [Retired (廃止)] に設定されます。それ以外の場合、「ライフサイクルステージ」フィールドは「インベントリ」に設定され、「ライフサイクルステージステータス」フィールドは「利用可能」に設定されます。

 **注:** 選択した CI に次のような子 CI がある場合、廃止は失敗します。

インベントリ名	廃止に失敗した関係
ネットワークサイト	サイト、機器、または機器ホルダー
インターフェイスカード	物理接続または論理接続で使用されるインターフェイス
ネットワークインターフェイス	物理接続または論理接続にリンクされたインターフェイス
物理/論理接続	別の接続によって接続要素として使用される接続。
機器所有者	機器またはシェルフにリンクされたラック、カードにリンクされた機器、スロット、またはサブスロットにリンクされたシェルフ。
機器	接続、または論理接続を持つ物理インターフェイスにリンクされている物理インターフェイスまたは論理インターフェイス。

レコードの削除

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連しなくなった、または不要になったインベントリレコードを削除します。

始める前に

必要なロール: admin

このタスクについて

構成アイテム (CI) レコードを削除しても、CI に関連付けられている子要素は削除されません。手動で削除する必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () をクリックします。
3. 表示されたリストからカテゴリを選択します。
4. 削除する CI レコードを選択します。
5. [その他のオプション] アイコン () をクリックし、[削除] を選択します。
6. [はい] を選択して削除を確定します

タスクの結果

CI レコードが削除され、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できなくなります。

インベントリ番号の割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリ番号割り当てにより、LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号を管理できます。さまざまな LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号レコードを確認、作成、更新、または削除できます。

詳細については、「[IP アドレス割り当てを作成](#)」と「[電話インフラストラクチャの構築](#)」を参照してください。

インベントリの番号付けを定義する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続の番号を定義します。これらのインベントリ番号を定義することで、ネットワーク接続をアクティブ化するようにネットワーク資産を構成できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

このプロセスで定義した番号付けにより、VLAN と LAG の番号範囲が作成され、それらの範囲からネットワーク接続と機器のポートに番号を割り当てることができます。顧客の注文に対応するためにイーサネットネットワークインターフェイス経由でネットワーク接続をプロビジョニングする場合は、ネットワークポートをサポートする VLAN インターフェイスを作成します。このインターフェイスには、1 から 4096 までの VLAN 番号を割り当てる必要があります。この VLAN 番号を使用してインターフェイス名を作成し、ネットワーク上でインターフェイスをアクティブ化できるようにします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. list アイコン () を選択し、インベントリ 番号割り当て > インベントリ番号.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、インベントリ番号の一般情報を入力します。
[インベントリ番号] フォームに固有のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号フォーム](#)」を参照してください。
5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () をクリックします。

6. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

インベントリ番号レコードを更新または削除するには、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP アドレス割り当てを作成

IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当てられた IP アドレス、および IP アドレスレコードを作成、確認、更新、および削除して、IP アドレスの割り当てを作成します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、すべての IP アドレスを管理できます。

IP プールレコードの作成

ネットワーク内のすべての連続 IP アドレスを整理および分類できるように、IP プールレコードを作成します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して IP プールレコードを作成できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク内の IP プールを確認、作成、または削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > IP プール。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブの **[IP アドレス]** セクションで、フィールドに入力します。

[IP ネットワークサブネット] フォーム

フィールド	説明
名前	この IP プールの分かりやすい名前。

その他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. **[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)]** ボタンを選択して、この IP プールフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は IP アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

9. [依存関係ビュー] ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. レンガアイコン (レンガアイコン) を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンスごとにグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP ネットワークサブネットレコードを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、ネットワーク内のすべての子 IP ネットワークサブネットを分類および管理できるように、IP ネットワークサブネットを定義します。IP サブネットワークを確認、作成、または削除することもできます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP サブネットワークをレビュー、作成、または削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > IP ネットワークサブネット。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. [詳細] タブの IP ネットワークサブネット セクションで、フィールドに入力します。

[IP ネットワークサブネット] フォーム

フィールド	説明
名前	この IP ネットワークサブネットの分かりやすい名前。

その他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. [インベントリ属性の設定] を選択して、この IP ネットワークサブネットフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は IP アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [保存] を選択します。

9. [依存関係ビュー] ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

割り当て済み IP アドレスレコードを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、割り当ての準備ができているすべての IP アドレスを定義して分類します。ネットワークに割り当てられた IP アドレスを確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインをインストールして、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP プール、IP サブネットワーク、および割り当てられた IP アドレスが互いにどのように関連しているかを理解するには、「[IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** (インベントリ) > 割り当て済み IP アドレス。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、フィールドに入力します。

[割り当て済み IP アドレス] フォーム

フィールド	説明
名前	この IP アドレスの分かりやすい名前。
IP アドレス	IPv4 または IPv6 IP アドレス。
ブロードキャストである	この IP アドレスがブロードキャストタイプの IP アドレスである場合に true に設定する値。
DHCP である	グリッドレベルの DHCP オプションをネットワークレベルでこのオプションで上書きするために true に設定した値。
DNS である	この IP アドレスにドメインネームシステム (DNS) 名が指定されている場合に true に設定する値。

5. [インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] ボタンを選択して、この IP プールフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性を設定] ボタンを選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は IP アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。
パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。
7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
8. [保存] を選択します。
9. [依存関係ビュー] ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン (ブリックアイコン) を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IPアドレス 作成

IP アドレスの属性を定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで IP アドレスを追跡および管理できるようにします。IP アドレスを確認、更新、または作成することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

i 注：インベントリエージェントは、IP アドレスを作成、レビュー、更新、削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン (list アイコン) を選択し、**Inventory** (インベントリ) > **IP アドレスes**。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、一般情報を入力します。

IP アドレスフォーム

フィールド	説明
IP アドレス	ネットワークインベントリで識別するために Now Platform で使用するこのネットワーク機能の名前。
IP バージョン	データベースの名前。次のいずれかを選択します。 - IPv4 - インターネットプロトコルの4番目のバージョン。 - IPv6 - インターネットプロトコルの 6 番目のバージョン
ネットマスク	ネットワーク instance の一意の ID。
構成アイテムが所有	ネットワーク機能のタイプ、仮想ネットワーク機能 (VNF)、またはクラウドネイティブ機能 (CNF)。

5. この IP プール フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] ボタンを選択します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性を設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は IP アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。
パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。
7. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎)。
8. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
9. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン(🧱)を選択します。
[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドを確認または更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりできます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話インフラストラクチャの構築

電話ブロックと番号割り当てを作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションによって提供される電話インフラストラクチャを使用して電話番号を割り当てます。

電話ブロックを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、エリア内のすべての連続した電話番号を整理および分類する電話ブロックを作成します。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認します。詳細については[電話番号のコンポーネントを作成する](#)を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

1 つの電話ブロックに対して複数の電話番号割り当てと電話番号を作成できます。また、電話ブロックを確認、作成、更新、または削除することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、インベントリ番号割り当て > 電話ブロック。
3. [新規] を選択します。

- i** 注: ポートイン番号またはブロックを必要としない番号には、ブロックを使用せずに電話番号を作成して割り当てることができます。

4. フォームのフィールドに入力します。

電話番号ブロック

フィールド	[Description (説明)]
電話番号の割り当てと番号の作成	デフォルトでは、このフィールドは true に設定されています。その結果、指定された発信番号と発信先番号を使用して、個々の電話番号と電話番号の割り当てが作成されます。このチェック ボックスをオフにすると、電話ブロックのみが作成されます。 i 注: a. 作成された割り当て数と電話番号が、割り当て可能として表示されます。 b. デフォルトでは、作成された番号のステータスは [新規] に設定されます。
発信番号	このブロックに番号の追加を開始する系列の開始番号。
宛先番号	このブロックへの番号の追加を停止する系列の最後の番号。 i 注: 同じまたは重複する一連の番号はブロックに含めることができません。たとえば、100 ~ 200 のブロックが存在する場合、150 ~ 200 または 100 ~ 200 の新しいブロックを有効にすることはできません。

その他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

- 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
- [送信] を選択します。
入力した詳細に応じて、電話ブロックが作成されます。
- [詳細] タブの [電話ブロックフォーム] で、追加のフィールドに入力します。

電話番号ブロックフォーム

フィールド	[Description (説明)]
数量	選択した電話番号ブロック内の電話番号の数。

フィールド	[Description (説明)]
	i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。
利用可能数量	割り当てられていない、または利用できない電話番号の数。 i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

8. [保存] を選択します。

9. 関連タブで、関連タブ情報を表示または更新します。

関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、ネットワーク インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話番号割り当ての作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して一連の電話番号をグループ化し、必要な条件を適用できるように、電話番号の割り当てを作成します。電話番号割り当てを確認、作成、更新、または削除することもできます。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認します。それ以外の場合は、「[電話番号のコンポーネントを作成する](#)」を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。1 つの電話割り当てに複数の電話番号を割り当てることができます。電話番号ブロックに単一の電話番号割り当てを割り当てると、そのブロックに一連の番号を割り当てることができます。

このタスクの完了時に、1 つの電話番号割り当てを電話番号ブロックに割り当てると、そのブロックに一連の番号が割り当てられます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 電話番号.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションフォームで、フィールドに入力します。

[電話番号割り当て] フォーム

フィールド	説明
名前	この割り当ての名前。
電話番号ブロック	番号を追加する電話番号ブロック。 i 注: ポートイン番号またはブロックを割り当てたくない番号については、ブロックを参照せずに電話番号と電話割り当てを作成できます。
可用性	このブロックの可用性。このブロックが使用可能な場合は、可用性を true に設定します。また、[未アサイン] ステータスで使用可能な番号の数を指定することもできます。
開始番号	このブロックをアサインできる系列の開始電話番号。
終了番号	このブロックにアサインできる系列の終了電話番号。

その他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

i 注: アサインまたは割り当てられた電話番号に基づいて、既存の割り当ては個別の割り当てに分割されます。たとえば、1 から 100 のシリーズで、1 から 10 と 90 から 100 が割り当てられている場合、1 から 100 の割り当ては 3 つの割り当てに分割されます。1 ～ 10 および 90 ～ 100 で、可用性が [いいえ]、11 ～ 89 が [はい] の 3 つの割り当てが作成されます。

エリアまたは地域への電話番号の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、電話番号を作成し、エリアまたは地域に電話番号を追加します。電話番号を確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認します。それ以外の場合は、「[電話番号のコンポーネントを作成する](#)」を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。電話番号の割り当てに電話番号を追加することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 電話番号。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブの電話番号セクションで、フィールドに入力します。

[電話番号] フォーム

フィールド名	[Description (説明)]
スイッチ CLLI	任意の構成アイテムへの参照ですが、電気通信機器に推奨されるのが理想的です。
行番号	エリア内の個々の電話回線を一意に識別する電話番号の部分。シリーズ番号または個々の行番号は、xxxx-xxxx または xxxx、xxxx-xxxx の形式で指定できます。 i 注: 指定された行番号が一連の番号に含まれていない場合は、複数の番号割り当てが作成されます。

その他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[保存]** を選択します。
電話番号は、市外局番、セントラル オフィス コード、番号のステータス、スイッチ CLLI、回線番号、および電話番号とともに作成されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

管理対象ネットワークを作成

管理対象ネットワークを作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してすべてのネットワークと IP アドレスを管理します。ネットワークを作成、確認、更新、削除できます。

始める前に

- ネットワークディスカバリープラグインをインストールします。詳細については、「[ネットワーク検出](#)」を参照してください。
- 必要なロー
ル:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn

このタスクについて

マネージド ネットワークを使用すると、ネットワークに IP プールと IP ネットワーク サブネットを追加できます。また、ネットワークに重複した IP アドレスを含めることはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 管理対象ネットワーク.
3. [新規] を選択します。
4. フォームの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
詳細については、「[管理対象ネットワークフォーム](#)」を参照してください。
5. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。
6. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
7. [保存] を選択します。
[CMDB 360 データ] および [パック] 関連タブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
8. レンガアイコン (レンガアイコン) を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します 

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドを確認または更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりできます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、IP アドレススペース要素のレコードを確認、更新、および削除します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクでは、任意のインベントリ番号割り当てのアイテムのレコードを更新および削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号の割り当て.
3. 次のインベントリ番号割り当てのアイテムのいずれかを選択します。
 - 電話ブロック
 - 電話の割り当て
 - 電話番号
 - インベントリ番号

- IP プール
 - IP ネットワークサブネット
 - 割り当て済み IP アドレス
 - IP アドレス
 - 管理対象ネットワーク
4. 表示された各アイテムのリストから、更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、レコードを選択した後、次の手順に従います。
 - a. オプションを選択 () アイコン。
 - b. [削除] を選択します。

 注: 警告ウィンドウには、この削除によって影響を受けるトピックのリストが表示されます。

 - c. 削除 を選択してレコードを削除するか、キャンセル を選択して削除をキャンセルします。
 5. 一般情報を更新するには、[詳細] タブにアクセスします。
さらに、このアイテムに関連付けられている関連タブを更新するには、その目的に指定された対応するタブを選択します。たとえば、電話番号の割り当て がビジネスアプリケーションの関連タブである場合、そのタブに移動して必要な更新を行います。
 6. 詳細タブフォームで更新するフィールドの値を変更します。
 7. 開いたアイテムの関連タブを 1 つ選択します。
 8. 関連タブでは、次のことができます。
 - 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
 - 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
 - 新規 を選択して、関連タブの別のレコードを作成します。
 - 関連タブで [新規] を選択すると、関連するタブに対応するフォームが表示されます。フォームでフィールドに入力し、[保存] を選択します。
 - 新しく作成されたレコードは、現在開いている棚卸番号割り当てアイテムに自動的に関連付けられます。
 9. [保存] を選択します。
フィールドとレコードリストが更新されます。

xNF および xNF インスタンスの作成

すべての xNF を管理するためのアプリケーションサービス、ビジネスアプリケーション、およびネットワークインターフェイスを作成します。ここでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、アプリケーションサービスとビジネスアプリケーションを作成、レビュー、更新、および削除できます。

5G ネットワークをモデル化するには、次の手順を実行します。

- xNF を作成します。詳細については、「[xNF の作成](#)」を参照してください。
- xNF インスタンスの作成詳細については、「[xNF インスタンスを作成または追加します](#)」を参照してください。
- ネットワークインターフェイスを作成し、アプリケーションサービスとの関係を作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細を定義する](#)」を参照してください。

xNF インスタンスを作成または追加します

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) インスタンスを作成または追加します。xNF インスタンスを作成して 5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名:[cmdb_ci_service_auto]。
- 必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

アプリケーションサービスは、ビジネスサービスまたはテクニカルサービスをサポートし、一般的なレポート用に CMDB アプリケーションサービステーブル [cmdb_ci_service_auto] にマッピングされます。このタスクにより、複数のインスタンスを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 移動先 **すべて > CSDM > テクニカルサービスの管理 > アプリケーションサービス**。
2. [新規] を選択します。
3. [アプリケーションサービスを作成] フォームの [基本的な詳細] セクションで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明を取得するには、「[アプリケーションサービスの作成](#)」を参照してください。
4. [リレーションシップの設定] セクションで、[ビジネスアプリケーション] タブを選択します。
5. 利用可能なボックスでビジネスアプリケーションを検索して選択します。
6. 選択したビジネスアプリケーションを [選択済み] ボックスに移動します。
選択したビジネスアプリケーションがこのアプリケーションサービスにアサインされます。
7. [親アプリケーションサービス] タブを選択し、該当する場合は親アプリケーションサービスをこのアプリケーションサービスにアサインします。
8. [Next (次へ)] をクリックします。
9. [方法を選択してください] を選択します。
10. [メソッドを選択してください] フォームで、フィールドに入力します。

[メソッドを選択] フォーム

フィールド	説明
サービスの作成方法	アプリケーションサービスに構成アイテム (CI) を設定する方法。
CMDB テーブル	CMDB テーブル。選択した方法に基づいて、このフィールドは自動的に入力されます。
グループ名	グループ名。 i 注: このフィールドは、動的 CI グループにのみ適用されます。
クラス	このアプリケーションサービスに追加する CI を選択できるクラス。

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、手動方式にのみ適用されます。
CI	このアプリケーションサービスに追加できる CI。 i 注: このフィールドは手動方式にのみ適用されます。
レベル	このアプリケーションサービスに適用する、相互接続された CI レベルの数。 i 注: このフィールドは、動的サービス方式にのみ適用されます。

11. 選択 保存.

12. オプション: [メソッドの追加] を選択して、別のメソッドを追加します。

13. [Next (次へ)] をクリックします。

14. オプション: 次のタブで、 リレーションシップの編集 を選択します。

- 関係:ビジネスアプリケーションおよび親アプリケーションサービスとの関係を更新します。
- 作成方法の概要:既存の方法を更新するか、別の方法を追加します。

15. [完了] を選択します。

16. ネットワークインベントリワークスペースで、[マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

- i** 注: CMDBワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールして、ネットワークインベントリワークスペースでこのボタンを有効にします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

次のタスク

フィールドを確認、更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりできます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

xNF の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション内のすべての xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) を管理するビジネスアプリケーションを作成します。xNF を作成して 5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名 - [cmdb_ci_business_app]
- 必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

このタスクにより、すべての xNF を作成、レビュー、および更新できます。デフォルトでは、19 個の関数が含まれており、各レコードは関数です。

手順

1. 移動先 **すべて > CSDM > Design (デザイン) > ビジネスアプリケーション**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの説明については、「[CSDM フレームワークの設計ドメイン](#)」を参照してください。
4. **[送信]** を選択します。

次のタスク

フィールドを確認、更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりできます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

サービスレコードの更新または削除

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、サービスレコードをレビュー、更新、または削除します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクを使用すると、任意のビジネス、アプリケーション、テクニカルサービス、またはビジネスアプリケーションのレコードをレビュー、更新、または削除できます。

手順

1. 移動先 **ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース**.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号の割り当て。
3. 在庫番号割当の次のいずれかの品目を選択します。
 - ビジネスサービス
 - アプリケーションサービス
 - テクニカルサービス
 - ビジネスアプリケーション
4. 表示されたアイテムのリストから、更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、次のアクションを実行します。
 - a. オプションアイコン (オプション ) アイコンを選択します。
 - b. **[削除]** を選択します。

 **注：** 警告ウィンドウには、この削除によって影響を受けるトピックのリストが表示されます。

 - c. **削除** を選択してレコードを削除するか、**キャンセル** を選択して削除をキャンセルします。
5. **[詳細]** タブで、一般情報を更新します。
このアイテムに関連付けられている関連タブを更新するには、その目的のために指定されたタブを選択します。たとえば、**CMDB 360** データが ビジネスアプリケーションの関連タブである場合は、そのタブに移動して更新を行います。
6. **[詳細タブ]** フォームで更新するフィールドの値を変更します。
7. 開いたアイテムの関連タブを選択します。
8. 関連タブでは、次のタスクを実行できます。

- 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
- 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
- 新規を選択して、関連するタブの別のレコードを作成します。関連タブで [新規] ボタンを選択すると、関連タブにフォームが表示されます。フォームでフィールドに入力し、[保存] を選択します。新しいレコードは、在庫番号割り当てのオープン済みアイテムに自動的に関連付けられます。

9. [保存] を選択します。
フィールドとレコードリストが更新されます。

Network Inventory Workspace ウィジェットのデータ収集と更新

Network Inventory Workspace のランディングページに表示される 通信事業ネットワークインベントリ データがどのように収集され、更新されるかについて説明します。

概要

Network Inventory Workspace の応答性と速度を向上させるために、スケジュール済みジョブが 1 日に 1 回実行され、ランディングページに表示されるカウントデータが収集されます。このジョブは、構成管理データベース (CMDB) グループ [cmdb_group] テーブルからこのデータを収集します。

各ランディングページセクションまたはウィジェットには、構成管理データベース (CMDB) グループが割り当てられており、表示されるカウントデータが提供されます。たとえば、ネットワークサイトの概要ウィジェットには、サイトの合計数と、現在メンテナンス中のサイトの数が含まれています。[カテゴリ別のネットワークエンティティ] ウィジェットには、インターフェイスカードや接続など、組織が所有するネットワーク機器の各カテゴリの数が含まれています。

CMDB グループテーブル

CMDB グループテーブルには、各ランディングページウィジェットの合計カウントの基になるコンポーネントアイテム (CI) レコードが含まれています。スケジュール済みジョブが CMDB グループデータベースで実行されると、次のアクションが実行されます。

1. CMDB グループに記載されているクエリ条件を評価し、カウントデータを収集します。特定のロールが割り当てられた管理ユーザーは、これらのクエリに使用する特定の条件を定義して適用し、ランディングページのカウントデータを収集できます。詳細については、「[Network Inventory Workspace ウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)」を参照してください。
2. CMDB グループメタデータ [sn_cmdb_ws_group_metadata] テーブルにレコードを生成します。
3. CMDB グループメタデータテーブルで収集されたデータを使用して、ランディングページに表示される各カウントが更新されます。

関連情報

[ネットワークインベントリワークスペース](#)

Network Inventory Workspace ウィジェットのコンテンツのカスタマイズ

Network Inventory Workspace はベースシステムで提供され、各ランディングページウィジェットには標準的な情報セットが含まれています。このコンテンツを簡単にカスタマイズして、他の 通信事業ネットワークインベントリ データを含めることができます。

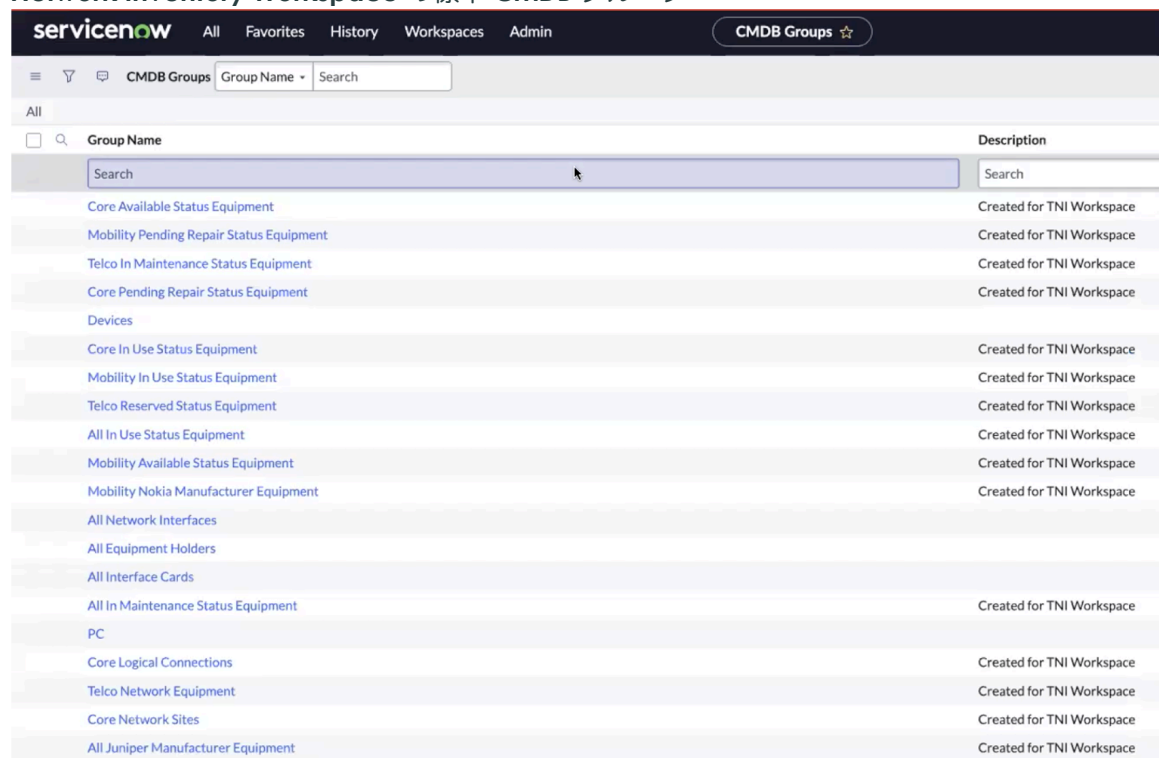
ネットワークインベントリワークスペースウィジェットデータの標準 CMDB グループと命名規則

Network Inventory Workspace ランディングページのデータ収集プロセスでは、標準の CMDB グループ構造を使用して、ウィジェットに表示される次のようなデータを取得します。

- ネットワークサイトの概要
- カテゴリ別のネットワークエンティティ
- メーカー別のネットワーク機器
- ステータス別のネットワーク機器

たとえば、Network Inventory Workspace のデータ収集に使用される CMDB グループの一部を次に示します。

Network Inventory Workspace の標準 CMDB グループ



Group Name	Description
Core Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
Core Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Devices	
Core In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Reserved Status Equipment	Created for TNI Workspace
All In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Network Interfaces	
All Equipment Holders	
All Interface Cards	
All In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
PC	
Core Logical Connections	Created for TNI Workspace
Telco Network Equipment	Created for TNI Workspace
Core Network Sites	Created for TNI Workspace
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace

- 注:** データ収集プロセスの動作については、「[Network Inventory Workspace ウィジェット](#)のデータ収集と更新」を参照してください。

これらの CMDB グループは、次の標準的な命名規則に従います。

1. 最初のセグメントは、ネットワークサイトとエンティティに割り当てられたドメインを表します。Network Inventory Workspace のネットワークドメインセクターを使用して、次のいずれかのタイプのネットワークドメインを選択して、表示されるデータをフィルタリングします。

Core

コア電気通信機器のネットワークドメイン。

モビリティ

移動体通信機器のネットワークドメイン。

Telco

電気通信機器全般のネットワークドメイン。

すべて

レポート目的で 1 つのネットワークドメインに結合されたすべての機器ネットワークドメイン。

2. 残りのセグメントは、特定のタイプのフィールドデータを表します。例：

利用可能なステータスの機器

機器の利用可能ステータスを報告します。

修理待ちステータス 設備

機器の修理待ちステータスを報告します。

エリクソンメーカー機器

エリクソンが供給する全機器のパーセンテージを報告します。

ノキアメーカー機器

Nokia から供給された機器全体に対する割合を報告します。

次の例は、名前セグメントを CMDB グループ内で組み合わせて、Network Inventory Workspace のウィジェットに表示されるデータをレポートする方法を示しています。

利用可能なすべてのステータス機器

CMDB すべてのネットワークドメインで [利用可能] ステータスの機器の割合を報告するために、[ステータス別のネットワーク機器] ウィジェットで使用するデータをグループ化します。

利用可能なコアステータス機器

CMDB [ステータス別ネットワーク機器] ウィジェットで使用するデータをグループ化して、コアネットワークドメインで [利用可能] ステータスの機器の割合を報告します。

モビリティ 修理待ちステータス 設備

CMDB [ステータス別のネットワーク機器] ウィジェットで使用するデータをグループ化して、モビリティネットワークドメイン内で [修理待ち] ステータスの機器の割合を報告します。

エリクソンの全メーカー製品

すべてのネットワークドメインで Ericsson が供給する機器の合計個数を報告するために、[メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットで使用する CMDB グループデータ。

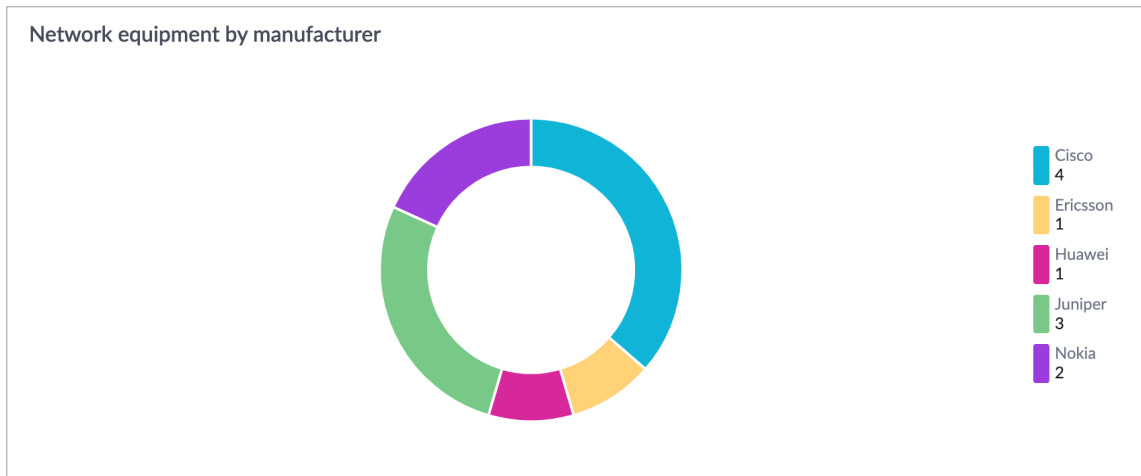
テレコムノキアメーカー機器

通信ネットワークドメインで Nokia が提供する機器の合計個数を報告するために、[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェットで使用する CMDB グループデータ。

[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェットの変更

このウィジェットには、最も有名な電気通信機器メーカー 5 社の標準セットを含む円グラフが含まれています。

[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェット



事前定義された CMDB グループ構造は、ウィジェットの円グラフに表示されるデータの取得をサポートしています。次の例は、Network Inventory Workspace のメーカーデータを取得するために使用される標準 CMDB グループを示しています。

[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェットに使用される標準 CMDB グループ

servicenow All Favorites History Workspaces Admin CMDB Groups ☆		
CMDB Groups Group Name Search		
Group Name	Description	
*manufact	Search	
☐ All Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	

ウィジェットでデータを追加または変更するには、[CMDB グループ] 機能を使用して CMDB グループコードを作成するか、既存のグループに付随するクエリ条件を変更します。既存の CMDB グループを更新するには、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに使用される標準の CMDB グループ命名規則に従う必要があります。

注: CMDBグループの作成、更新、または命名の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

たとえば、別の機器メーカーをウィジェットに追加するとします。このタスクを実行するには、各ネットワーク・ドメインのメーカーの既存の CMDB グループを、新しいメーカーのベースとして使用します。この例では、Ericsson の既存の CMDB グループを、新しいメーカー用に作成する CMDB グループのベースとして使用します。

この表は、Ericsson の既存の CMDB グループ コードと、Dell の CMDB グループ コードを作成した場合の外観を示しています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
エリクソンの全メーカー製品	すべてのDellメーカー機器
エリクソンのコアメーカー機器	デルの主要メーカー機器
モビリティエリクソンメーカー機器	Mobility Dell メーカー機器
Telco Ericsson メーカー機器	Telco Dell メーカー機器

関連情報

ネットワークインベントリワークスペース

データ収集プロセスで使用するために **CMDB グループ**を更新します

CMDBグループ機能を使用して、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに表示されるデータを追加または変更します。必要に応じて CMDB グループコードを登録するか、既存のグループコードのクエリ条件を変更します。CMDBグループを変更すると、Network Inventory Workspace ランディングページのウィジェットに対して収集プロセスで取得されるデータに影響します。

始める前に

必要なロール:admin、cmdb_query_builder、itil、sn_cmdb_editor

このタスクについて

Network Inventory Workspace ウィジェットに使用される標準の CMDB グループ命名規則に従う必要があります。詳細については、「Network Inventory Workspace ウィジェットデータの標準 CMDB グループと命名規則」を参照してください。CMDB グループの作成、更新、または命名の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 **すべて > 構成 > CMDB グループ**.
2. Network Inventory Workspace ウィジェットに関連付けられている CMDB グループのリストを表示するには、次の表を参照してください。

CMDB グループのタイプ	説明
ネットワークインベントリワークスペースウィジェット用に作成されたすべての CMDB グループ	「説明」フィールドに「*tni」と入力します。
[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェット用に作成された CMDB グループのみ	[グループ名] フィールドに「*manufact」と入力します。

3. [グループの命名] リストで、[すべて] ドメイン内の既存のメーカーの CMDB グループを選択します。
たとえば、[**All Ericsson Manufacturer Equipment** (すべてのエリクソンメーカー機器)] を選択します。CMDB グループフォームが表示されます。
4. [名前] フィールドで、追加するメーカーの名前で Ericsson を上書きします。
たとえば、[**All Ericsson Manufacturer Equipment**] を [All Dell Manufacturer Equipment] に変更します。

5. [**CMDB Group Contains Encoded Queries (n)**] タブをクリックします。ここで、(n) は CMDB グループのエンコードクエリの数を表します。
6. [**CMDB Group Contains Encoded Queries (n)**] タブの [**Class**] フィールドで **[cmdb_ci_ni_telco_equipment]** を選択します。
CMDB グループを選択すると、選択した CMDB グループクラスのエンコードされたクエリの詳細が表示されます。
7. [条件] フィールドで、追加するメーカーの名前で **Ericsson** を上書きします。
たとえば、**Ericsson** を **Dell** で上書きします。
8. [更新] をクリックします。
9. 新しい製造元の残りのネットワークドメインごとに、これらの手順を繰り返します。
次の表では、残りのネットワークドメインに対して次の CMDB グループを作成します。これらのグループは、Ericsson の CMDB コードに基づいています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
エリクソンのコアメーカー機器	デルの主要メーカー機器
モビリティエリクソンメーカー機器	Mobility Dell メーカー機器
Telco Ericsson メーカー機器	Telco Dell メーカー機器

タスクの結果

Network Inventory Workspace のデータ収集プロセスが実行されると、新しいネットワークメーカーが [メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットの円グラフに表示されます。新しい CMDB グループには、新しいメーカーに割り当てられたネットワーク機器レコードが含まれます。

関連情報

[ネットワークインベントリワークスペース](#)

ネットワークインベントリワークスペースへのアクセス

Network Inventory Workspace でネットワークドメインを設定し、選択したドメインに基づいてインベントリデータとアサインを表示します。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_reporter

このタスクについて

インベントリと割当を表示するようにネットワーク・ドメインを設定します。

- その後、選択したドメインに応じて、各ランディングページウィジェットに表示される情報が更新されます。
- ランディングページには、ドメインフィルタリングを変更するまで、選択したドメインのデータが引き続き表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. Network Inventory Workspace に表示されるデータをフィルタリングするには、[**Network Domain**] を選択します
デフォルトでは、Network Inventory Workspace ランディングページに表示されるデータは、すべてのネットワークドメインのものです。

3. 「ネットワーク・ドメイン」を選択します。
選択したネットワークドメインが [適用済み] フィールドに表示されます。
4. 「使用可能」フィールドで、ネットワーク・ドメインを検索するか、その下のボックスに表示されたら名前を選択します。
次のいずれかのドメインを選択できます。

オプション	詳細
Core	コア電気通信機器のネットワークドメイン。
モビリティ	移動体通信機器のネットワークドメイン。
Telco	電気通信機器全般のネットワークドメイン。

5. [適用] を選択します。

関連情報

[ネットワークインベントリワークスペース](#)

ハードウェアカタログへの資産の公開

ハードウェア資産管理 アプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション 統合を使用して資産を調達できるように、資産をハードウェアカタログに公開します。

始める前に

資産をハードウェアカタログに公開する前に、その資産のインベントリモデルレコードが既に作成されていることを確認してください。レコードがない場合は、インベントリモデルレコードを作成できます。詳細については、「[インベントリモデルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

資産をハードウェアカタログに公開して、カタログアイテムとして使用できるようにすることが出来ます。サービス要求を作成することで資産を調達できます。サービス要求の作成方法の詳細については、「[資産を調達するサービス要求を作成](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > 設備モデル。
インターフェイス カードを公開するには、[インターフェイス カード モデル] を選択します。
3. レコードのリストから、必要なインベントリモデルレコードを選択します。
4. ハードウェアカタログへの公開 を選択します。
インベントリモデルが既にハードウェアカタログに追加されている場合、[ハードウェアカタログに公開] ボタンは表示されません。
5. [カテゴリ] フィールドで、ハードウェア資産を選択します。
6. [OK] を選択します。

タスクの結果

資産のカタログアイテムが作成されます。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合](#)

インベントリモデルの作成

インベントリカタログマネージャーは、一連のフォームを使用して、通信事業ネットワークインベントリ内の各ネットワークモデルのメタデータを定義できます。このプロセスでは、これらの各モデル間の関係も指定します。

概要

インベントリモデルで定義するメタデータは、関連するテンプレートを作成するとき、または機器のインスタンスをインスタンス化するとき重要な目的を果たします。これにより、機器ベンダーが実施した検証に準拠し、サポート対象外の機器を作成しないようにすることができます。

- 名前、モデル番号、高さ、奥行きなど、インベントリモデルに含まれるメタデータは、その特定のタイプの機器のすべての個々のインスタンスで一貫性が保たれます。
- インベントリモデルの機器インスタンスを生成すると、すべての機器インスタンスにこの標準メーカー情報が含まれます。

i 注: テンプレートの作成と、モデルとテンプレートレコードからのネットワーク資産の生成の詳細については、「

- [ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを作成するには、次のタスクを実行します。

1. [機器モデル] フォームで、通信機器のインベントリモデルを作成します。
 - 機器インベントリモデルの作成は、インベントリテンプレートの使用時にネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件です。
 - ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。詳細については、「[機器モデルを作成する](#)」を参照してください。
2. [機器所有者モデル] フォームで、機器所有者のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[機器ホルダーモデルを作成する](#)」を参照してください。
3. [ネットワークインターフェイスモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[カードモデルの作成](#)」を参照してください。
4. [インターフェイスカードモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスカードのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。
5. [物理接続モデル] フォームで、各物理接続または有線接続のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[物理接続モデルを作成する](#)」を参照してください。
6. [論理接続モデル] フォームで、各論理接続のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。
7. [ネットワークモデルの関係] フォームで、ネットワークインベントリの各モデルレコード間の関係を定義します。詳細については、「[ネットワークモデルの関係を定義する](#)」を参照してください。

インベントリモデル関連タブ

インベントリモデルを作成すると、次の表の情報が各インベントリモデルレコードのこれらのタブに表示されます。

インベントリモデルタブ

タブ	次の値を含む
帯域幅機能	帯域幅と、追加する必要がある物理接続および論理接続モデルとの関係。 i 注: [Bandwidth Capabilities] タブは、物理モデルと論理モデルでのみ使用できます。
資産	ネットワーク資産情報。
構成アイテム	モデルに関連付けられている構成アイテム (CI)。
モデルコンポーネント	モデル内のコンポーネント。
ベンダーカタログアイテム	さまざまなベンダーから入手可能なネットワーク資産。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ネットワーク資産に関するライフサイクル情報。
ネットワークモデルの関係	関連するネットワークインベントリモデル。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

機器モデルを作成する

ネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件として、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで機器モデルを作成します。ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから機器に対して提供されるメタデータを表します。これは、機器に対して作成されたさまざまなインスタンス間で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個別のオカレンスです。このアプリケーションでは、製品メーカーの推奨に従ってネットワーク機器の物理特性データを定義します。機器モデルレコードを作成すると、機器モデル [sn_ent_nw_equipment_model] にモデルレコードが作成されます 圧倒されるでしょう

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. list アイコン () を選択し、 インベントリモデル > 設備モデル.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

機器モデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	機器モデルに表示される名前。 前。 <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> システムプロパティは、機器モデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	機器モデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

❗ 注: フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

❗ 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器モデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
機器モデルと連携するネットワーク資産を追跡できます。

❗ 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

8. 代替機器モデルを追加するには、[**Add Substitutions** (代替を追加)] を選択します。
別の機器モデルを置き換えるために使用できる機器モデルを追跡できます。

❗ 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎)。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。これらのタブで情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン (オプション ⋮) し、[削除] を選択します。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

機器ホルダーモデルを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで機器ホルダーモデルを作成して、製品メーカーの推奨事項に従って機器ホルダーの物理的特性データを定義します。ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器ホルダーを導入するたびに、機器ホルダーモデルを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器ホルダーモデルを作成すると、機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリモデル > 機器所有者モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

機器ホルダーモデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	機器ホルダーモデルに表示される名前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、機器ホルダーモデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	機器ホルダーモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器ホルダーモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
機器モデルと連携できるネットワーク資産を追跡できます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

8. 代替機器ホルダーモデルを追加するには、[代替を追加] を選択します。
別の機器モデルを置き換えるために使用する機器モデルを追跡できます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン () を選択。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン (オプション  し、[削除] を選択します。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

カードモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで カードモデルを作成し、製品メーカーの推奨事項に従って カードの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

カードモデルは、そのモデルのインスタンス化されたさまざまなカード間で一貫性のある属性であるカードのメタデータを定義します。カードモデルを作成すると、カードモデル [sn_ent_nw_card_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリモデル > カードモデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

カードモデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	カードモデルに表示される名前。 前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、インターフェイスカードモデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	カードモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

 注: フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のある カードモデルを追加するには、[互換性を追加]を選択します。
カードモデルで動作するネットワーク資産 追跡できます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

8. 代替カードモデルを追加するには、[代替を追加]を選択します。
別のカードモデルを置き換えるために使用するカードモデルを追跡できます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎)。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには保存(Save)ボタンの横にあるオプションアイコン(⋮)を選択し、[削除]をクリックします。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ネットワークインターフェイスモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインターフェイスモデルを作成し、メーカーの製品 推奨事項に従ってネットワークインターフェイスの物理特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワークインターフェイスモデルを作成すると、ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. list アイコン (☰) を選択し、 インベントリモデル > インターフェイスモデル.
3. 新規 を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ネットワークインターフェイスモデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	ネットワークインターフェイスモデルに表示される名前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、ネットワークインターフェイスモデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。

フィールド	説明
名前	ネットワークインターフェイスモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

6. フォームの [詳細] タブでフィールドに入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルフォーム - \[情報\] タブ](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるネットワーク・インターフェース・モデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
ネットワークインターフェイスモデルで動作するネットワーク資産を追跡できます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

8. 代替ネットワーク・インターフェース・モデルを追加するには、代替の追加を選択します。
使用しているネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン 。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン (オプション ) し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ケーブルモデルを作成する

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでケーブルモデルを作成し、メーカーの製品推奨事項に従ってケーブルの物理特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ケーブルモデルを作成すると、ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 インベントリモデル > ケーブルモデル.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

 注: フィールドの詳細については、「[ケーブルモデルフォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプションアイコン () を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

ストランドモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでストランドモデルを作成し、メーカーの推奨製品に従ってストランドの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ストランドモデルを作成すると、ストランドモデル [sn_ent_strand_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 インベントリモデル > ストランドモデル.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

 注: フィールドの詳細については、「[ストランドモデルフォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプションアイコン (⋮) を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

物理接続モデルを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続モデルを作成して、さまざまな物理接続のメタデータを定義します。物理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたはイメージの添付、オプションのフィールドの追加または削除、互換性と置換の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

物理接続モデルレコードを作成すると、物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン (≡) を選択し、インベントリモデル > 物理接続モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、物理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表に、物理接続フォームに固有のフィールドを示します。

物理接続モデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	物理接続モデルに表示される名前。 前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、物理接続モデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	物理接続モデルのメーカー名を選択します。
名前	モデルマネージャーによって指定された物理接続モデルの製造元が割り当てた名前。

5. [詳細] タブで、物理接続モデルのフォームの [全般] セクションに入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、物理接続モデルのフォームの情報セクションに入力します。
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。

歯車アイコン (⚙️) を使用して、互換性のリストをカスタマイズできます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

8. 代替物理接続モデルを追加するには、[置換の追加]を選択します。
使用しているネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン 。
10. [保存]を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。
11. モデルを削除するには保存(Save)ボタンの横にあるオプションアイコン()を選択し、[削除]をクリックします。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

論理接続モデルの作成

ServiceNow 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続モデルを作成して、さまざまな論理接続のメタデータを定義します。論理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたはイメージの添付、オプションのフィールドの追加または削除、互換性と置換の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

論理接続モデルレコードを作成すると、論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

- 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- [リスト] アイコン () を選択し インベントリモデル > 論理接続モデル。
- 新規 を選択します。
- [詳細] タブで、論理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表に、論理接続フォームに固有のフィールドを示します。

論理接続モデル

フィールド	説明
Display name (表示名)	論理接続モデルに表示される名前。 前。 <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> システムプロパティは、論理接続モデルの表示名の生成方法を制御します。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。

フィールド	説明
名前	モデルマネージャーによって指定された、製造元が割り当てた論理接続モデルの名前。

5. [詳細] タブで、論理接続モデルの一般セクション情報を入力します。

i 注: フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、論理接続モデルの情報セクションに入力します。
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。

歯車 () アイコンを使用して、互換性テーブルのリストをカスタマイズできます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

8. 代替論理接続モデルを追加するには、[置換の追加] を選択します。
使用しているネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

i 注: クラシック環境では、この機能はアドミニストレーターののみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン (オプション ) を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ネットワーク トポロジ モデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークトポロジモデルを作成し、推奨事項に従ってトポロジのメタデータを定義します。トポロジモデルを使用して、設計およびアサイン機能を使用してレコードを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワークトポロジモデルレコードを作成すると、ネットワークトポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 インベントリモデル > ネットワークトポロジモデル。
3. [新規] を選択します。

4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ネットワークトポロジモデルフォーム

フィールド	説明
動作	トポロジ構造のタイプ。次のオプションから 1 つ選択します。 リング 各ノードは隣接ノードとリンクされ、閉じたネットワークを形成します。 リニアバス すべてのノードは、順次チェーンで次々に接続されます。 メッシュ ノードは、できるだけ多くの他のノードに直接、動的、非階層的に接続され、相互に連携してデータをルーティングします。 Star (星) すべてのノードは、通信リンクを使用して中央ハブに接続されます。 ツリー ノードは、木の葉、枝、幹に似た構成で配置されています。
ノード数	トポロジで許可されているノードの合計数。
タイプ	トポロジのタイプ。次のいずれかを選択します。 ・ 汎用 ・ 製品

共通フィールドの詳細については、「[\[インベントリモデル\] フォーム - \[全般\]](#)」を参照してください。

5. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

設計およびアサイン機能を使用して、トポロジレコードを作成します。詳細については、「[設計およびアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークトポロジーの可視化](#)

[ネットワークインベントリモデル](#)

ネットワークモデルの関係を定義する

ネットワークモデルエンティティ間の関係をキャプチャするネットワークモデル関係を 通信事業 ネットワークインベントリ アプリケーションで作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

モデルの関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。

たとえば、[関係タイプ] フィールドで [スロットする機器] を選択した場合、特定の機器インベントリモデルと特定のスロットインベントリモデル間の関係を定義できます。この場合、指定されたスロットモデルのスロット数は、指定された機器モデルと互換性があることがわかります。詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)」を参照してください。

ネットワークモデルの関係を作成すると、ネットワークモデル [sn_ni_core_network_model_relationship] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
 2. リストアイコン () をクリックし、インベントリモデル > ネットワークモデルの関係。
 3. [新規] をクリックします。
 4. 一般情報を入力して、ネットワークモデルの関係を作成します。
- i** 注: フィールドの詳細については、「[ネットワークモデル関係のフィールド](#)」を参照してください。
5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン (添付ファイル ) をクリックします。
 6. [保存] をクリックします。
 7. モデルを削除するには、「保存」(Save) ボタンの隣にあるオプションアイコン (オプション ) をクリックし、「削除」(Delete) をクリックします。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

[ネットワークインベントリ関係のモデリング](#)

ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成

インベントリテンプレートマネージャーは、Network Inventory Workspace の [Lists] ビューからアクセスする機能を使用してテンプレートを作成します。これらのテンプレートには、機器を適切に構成できるように、詳細なビジネスガイダンスルールが含まれています。このプロセスでは、各インベントリテンプレート間の関係も指定します。

概要

インベントリテンプレートには、機器の適切な構成方法に関するルールが含まれています。これらの規則は、製造元の動作要件に基づいています。テンプレートには、利用可能なスロットの数や、機器のハードウェアがそれに関連する機器と互換性があるかどうかなどの情報も含まれます。

ネットワークインベントリテンプレートは、ネットワークサービスプロバイダーがビジネスガイダンスに基づいてインスタンス化するネットワークエンティティの一意の構成を表します。テンプレートとその関係を適切に定義すると、インスタンス化プロセスでベンダーの設定ルールが使用され、サポートされていないネットワーク資産インスタンスは生成されません。

- i** 注: テンプレートを作成し、モデルとテンプレートレコードからネットワーク資産を生成する方法の詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワークインベントリテンプレート

インベントリテンプレートを作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでインベントリテンプレートを作成して、作成したインベントリモデルの構成を表します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

ネットワークインベントリテンプレートには、通信事業者からの詳細なビジネスガイドンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、特定の運用要件に基づいて、機器構成を生成する方法を定めています。インベントリテンプレートを作成すると、インベントリテンプレート [sn_ni_core_inventory_template] テーブルにテンプレートが作成されます。在庫テンプレートの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [ネットワークインベントリテンプレート](#)
- [インベントリテンプレート関係の作成](#)

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 ネットワークインベントリテンプレート > インベントリテンプレート。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、一般情報を入力してインベントリテンプレートを作成します。
次の表に、インベントリテンプレートに固有のフィールドを示します。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
名前	モデル管理者によって指定された、このインベントリテンプレートにメーカーが割り当てた名前。
インベントリモデル	通信事業ネットワークインベントリに関連するすべての製品モデルのリスト。検索アイコン () を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 インベントリモデルの作成 」を参照してください。
デフォルトフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトのテンプレート。リストの値は、選択したインベントリモデルによって異なります。検索アイコン () を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「 デフォルトテンプレートの作成 」を参照してください。
バージョン	テンプレートのバージョン
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。  注: この属性は、関係タイプが [論理接続からチャンネル] である論理接続モデルを選択した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、関係タイプが [論理接続からチャネル] である論理接続モデルを選択した場合にのみ表示されます。

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、添付ファイルアイコン () を選択します。

6. [保存] を選択します。

[関連テンプレート] タブは、関連するテンプレートを表示、追加、更新、および削除できる [詳細] タブの横に表示されます。関連テンプレートの下に関連テンプレートを追加することもできます。

i 注:

- ラックとスロット、機器とスロット、機器とインターフェイス、インターフェイスカードとスロット、またはインターフェイスカードとインターフェイス間のネットワークモデルの関係を定義した場合、スロットとインターフェイスは、機器またはインターフェイスカードの 関連テンプレート の下に自動的に作成されます。それ以外の場合は、[新規] を使用して手動で追加します。
- 作成した各ラックユニットまたはスロットの [関連テンプレート] タブで、ラックまたはシェルフにシェルフ/機器を追加します。各シェルフに機器を追加することもできます。詳細については、「[関連テンプレートフォーム](#)」を参照してください。
- 各テンプレートの命名パターンは、関連するテンプレートの下にある [名前パターン] 列から直接更新できます。作成されたスロットまたはインターフェイスの名前パターンは、モデルのデフォルトパターンから取得されます。詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。
- スロットにインターフェイスカードを追加するには、スロット > 関連テンプレート > [New (新規)] をクリックし、必要な詳細を入力します。

次のタスク

テンプレートを削除するには、オプションアイコン () を選択し、[削除] を選択します。

デフォルトテンプレートの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでデフォルトのテンプレートを作成して、特定の構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性定義をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートをインベントリテンプレートに関連付けると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

[テンプレート] フィールドを使用して CI クラス情報を格納するテーブルを選択する場合、特定の属性を選択し、各属性のデフォルト値を設定できます。デフォルトテンプレートを作成すると、テンプレート [sn_ni_core_default_template] テーブルにデフォルトテンプレートレコードが作成されます。既定のテンプレートの詳細については、「[ネットワークインベントリテンプレート](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () をクリックし、ネットワークインベントリテンプレート > デフォルトテンプレート。
3. [新規] をクリックします。
4. フォームで一般情報を入力して、デフォルトのテンプレートを作成します。
フィールドの詳細については、「[デフォルトテンプレートフォーム](#)」を参照してください。
5. [保存] をクリックします。
6. フォームをスケジュールするには、[スケジュール] をクリックし、[スケジュールされたエンティティ生成] フォームに入力します。

i 注: スケジュール設定はクラシック環境でのみ使用できます。

フィールドの詳細については、「[予定エンティティ生成フォーム](#)」を参照してください。

インベントリテンプレート関係の作成

機器のインベントリテンプレートを作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで適切なテンプレート関係を確立する場合は、この順序をガイドとして使用します。

テンプレート関係を作成する順序

機器のインスタンス化、または作成したインベントリテンプレートの関係からネットワーク資産インスタンスを生成するタスクは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの重要な機能です。適切に動作させるには、正確なインベントリモデル、デフォルトテンプレート、およびインベントリテンプレートを特定の順序で作成し、適切な機器関係を確立する必要があります。

i 注: 機器のインスタンス化の詳細については、「[電気通信の設計とアサイン](#)」を参照してください。

機器テンプレートまたはカードテンプレートを作成すると、関連するスロットとインターフェイステンプレートが、モデル関係のデータを使用して自動的に作成されます。モデルの関係が作成されていない場合、関連するテンプレートは作成されません。この場合、テンプレートを手動で作成する必要があります。モデルの関係の詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。たとえば、機器モデルのテンプレートを作成すると、通信機器ホルダー (スロット) やインターフェイスなどの関連テンプレートが自動的に作成されます。

これらの関連テンプレートの名前は、[機器モデル] フォームまたは [インターフェイスモデル] フォームの [情報] タブにある [スロット命名パターン] または [インターフェイス命名パターン] フィールドからマッピングされます。

- [スロット命名パターン] または [インターフェイス命名パターン] フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。
- 命名規則の詳細については、「[関連テンプレートの命名規則](#)」を参照してください。

機器のこれらの要素間に適切な関係を確立するには、これらのタスクを次の順序で実行します。

デフォルトテンプレートの確立

このプロセスの最初のステップは、在庫テンプレートの関係シーケンスで使用する適切なデフォルトテンプレートを作成することです。

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートをインベントリテンプレートに関連付けると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

詳細については、「[デフォルトテンプレートの作成](#)」を参照してください。

次のステップ

デフォルトのテンプレートを作成したら、機器モデルのインベントリテンプレートを作成してシーケンスを開始します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

機器モデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、機器モデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

機器インベントリモデルを作成するときは、次の情報を入力する必要があります。

1. [名前] フィールドと [インベントリモデル] フィールドでは、名前とインベントリモデル番号はその機器に対して一意である必要があり、他の機器と同じにすることはできません。
2. [インベントリモデル] フィールドには、機器モデルへの参照修飾子を入力する必要があります。
3. [デフォルトのフィールド値] フィールドで、デフォルトの属性値のタグ付け用のデフォルトのテンプレートを選択する必要があります。

i 注: これらのルールは、このプロセスの残りのステップにも適用されます。詳細については、以下を参照してください。

- [インベントリテンプレートを作成する](#)
- [デフォルトテンプレートの作成](#)

機器モデルのインベントリテンプレート

The screenshot shows the '7450 ESS-1 Template' form in ServiceNow. The form is titled '7450 ESS-1 Template' and has a 'Details' tab selected. It contains several input fields: 'Name' (7450 ESS-1 Template), 'Inventory model' (Nokia 7450 ESS-1), 'Inventory template', 'Parent', 'Available templates', 'Default Field Values' (Edge Router Default Data), 'Version', and 'Name Pattern'. On the right side, there is an 'Attachments' section with a message 'No Attachments Available' and a 'Browse' button.

次のステップ

次に、関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースリストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを示しています。

インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレート

The screenshot shows the 'Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template' form. The form is titled 'Inventory Template' and includes the following fields:

- Name *: Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template
- Inventory model *: Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE
- Inventory template
- Parent
- Available templates
- Default Field Values: Edge Interface Card Default Data
- Version
- Name Pattern: Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

The 'Attachments' section on the right shows 'No Attachments Available' with a 'Browse' button. The 'Details' tab is selected, and the 'Related Templates (1)' section is visible.

- i** 注: 機器モデルがインターフェイスカードの複数のモデルをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを示しています。

ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレート

- i 注:** 機器モデルが複数のモデルのネットワークインターフェイスをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、機器テンプレートにスロットを追加します。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

機器インベントリテンプレートへのスロットの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用してスロットの関連付けを作成します。次の例は、機器モデルの関連インベントリテンプレートを追加する方法を示しています。

手順

1. [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックします。

機器モデルインベントリテンプレート:関連テンプレート

2. [名前] フィールドに、スロットの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。

3. [インベントリモデル] フィールドに、この機器インベントリテンプレートに関連付けられている機器ホルダーモデルが表示されます。機器所有者の関係との既存の関係がない場合は、必要に応じて任意のロットモデルを選択できます。

注: [関連テンプレート] タブに添付されているロットに対してインベントリテンプレートが作成されているように見えますが、デフォルトのテンプレート値のみが作成され、保存されます。それらに対して作成されたレコードは、正式なインベントリテンプレートとは見なされませんが、Template=N の属性で内部的にフラグが付けられます。

ロットへのインターフェイスカードの追加

The screenshot shows the 'Slot-1' details page. The 'Inventory Template' section includes the following fields:

- Name: Slot-1
- Inventory model: Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot
- Relationship type: Contains::Contained by
- Available templates: (empty)
- Default Field Values: Traffic Slot Default Data
- Version: (empty)
- Name Pattern: Slot-1

The 'Attachments' section on the right indicates 'No Attachments Available' and provides a 'Browse' button to add attachments.

関連するすべてのロットを作成すると、すべてのロットが [関連テンプレート] タブに表示されます。

関連付けられたすべてのロットを含む機器インベントリテンプレート

The screenshot shows the '7450 ESS-1 Template' details page. The 'Related Templates' section displays a table with the following data:

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

The 'Attachments' section on the right indicates 'No Attachments Available' and provides a 'Browse' button to add attachments.

注: ロットのインベントリテンプレートがない場合は、[デフォルトのフィールド値] フィールドでデフォルトのテンプレートを選択して、割り当てられたロットのデフォルト属性を設定します。

次のステップ

次に、機器テンプレートにネットワークインターフェイスを追加します。詳細については、「[機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成

機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、関連するネットワークインターフェイスを追加します。

手順

ネットワークインターフェイスを追加するには、スロットを追加したのと同じ方法で行います。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

機器モデルのインベントリテンプレート:関連テンプレート

The screenshot displays the '7450 ESS-1 Template' page. The 'Details' tab is active, and the 'Related Templates (2)' sub-tab is highlighted. The main form area is titled 'Inventory Template' and contains several input fields: 'Name *' (filled with '7450 ESS-1 Template'), 'Inventory model *' (filled with 'Nokia 7450 ESS-1'), 'Inventory template', 'Parent', 'Available templates', 'Default Field Values' (filled with 'Edge Router Default Data'), 'Version', and 'Name Pattern'. To the right, the 'Attachments' panel shows a message 'No Attachments Available' and a 'Browse' button.

1. [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドに、ネットワークインターフェイスの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。

[インベントリモデル] フィールドに、機器インベントリテンプレートに関連付けられている機器インベントリモデルが表示されます。関連するインベントリモデルがある場合は、必要に応じて選択できます。

ネットワークインターフェイスの追加

10 GigabitEthernet Template Save ...

Details

Inventory Template

Name *
10 GigabitEthernet Template

Inventory model *
10 GigabitEthernet

Inventory template
Available templates

Default Field Values
High Speed Interface Default Data

Version

Name Pattern
10 GigabitEthernet Template

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

次のステップ

次に、インターフェイスカードをスロットに追加します。詳細については、「[スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加

ネットワークインベントリワークスペースの [リスト] ビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、選択したスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

[関連テンプレート] タブで、インターフェイスカードを追加するスロットを選択します。

関連付けられたすべてのスロットを含む機器インベントリテンプレート

7450 ESS-1 Template Save ...

Details Related Templates (2)

Related Templates 2 Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

スロットレコードが表示されたら、[**Related Templates** (関連テンプレート)] タブで [**New** (新規)] をクリックします。関連付けられたインターフェイスカードのインベントリテンプレートを作成します。

関連付けられたインターフェイスカードのインベントリテンプレート

1. [名前] フィールドに、インターフェイスカードの名前を入力します。
2. [インベントリモデル] フィールドで、指定されたスロットとインターフェイスカードのモデル関係に従って関連付けられたネットワークインターフェイスカード。関連するインベントリモデルがある場合は、必要に応じて選択できます。

フォームを送信すると、関連付けられたスロットの [関連テンプレート] タブにインターフェイスが表示されます。関連付けられたインターフェイスカードがある場合は、機器テンプレートのすべてのスロットをペアリングするまで、この手順を繰り返します。

次の例は、インターフェイスカードが関連付けられたスロットのインベントリテンプレートを示しています。

インターフェイスカードが関連付けられたスロット

Name	Inventory model	Available templates	Updated
card compatibilities of ESS	Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE	ESP 20 Card Template, 4780423f54e18110f87749bbc4ad3822	2022-06-12 02:49:29

カードモデルに [スロット占有 (Slot Occupied)] 属性があり、その値が 1 より大きい場合、[スロット占有 (**Slot Occupied**)] フィールドがフォームに表示されます。これにより、このカードがインスタンス化されたときに、他のスロットも添付されていることを識別できるようになります。このフィールドを使用すると、その機器に接続されている他のスロットが、選択しているネットワークインターフェイスと互換性があるかどうかを示すことができます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイステンプレートにサブスロットを追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加

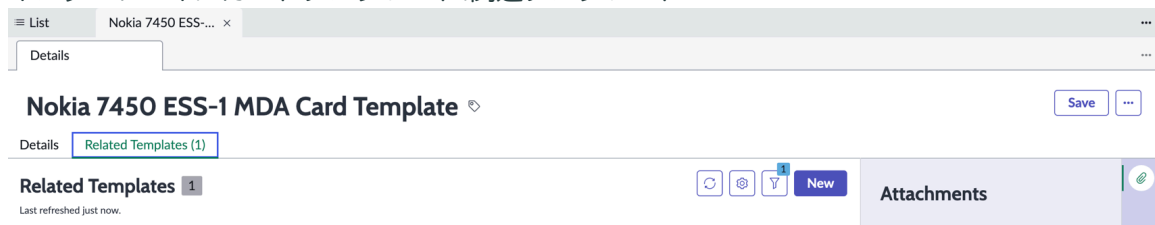
ネットワークインベントリワークスペースリストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、作成したインターフェイスカードテンプレートにサブスロットを追加できます。この手順は、既存の機器インベントリテンプレートに新しいカードモデルを追加するたびに実行します。

手順

インターフェイス カードが SFP (Small Form Pluggable) をサポートしている場合、カードにはスロットがあります。この関係を作成するには、機器インベントリテンプレートでスロットを追加するために使用したのと同じ手順を使用できます。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

次の例は、サブスロットが追加されたインベントリカードテンプレートを示しています。

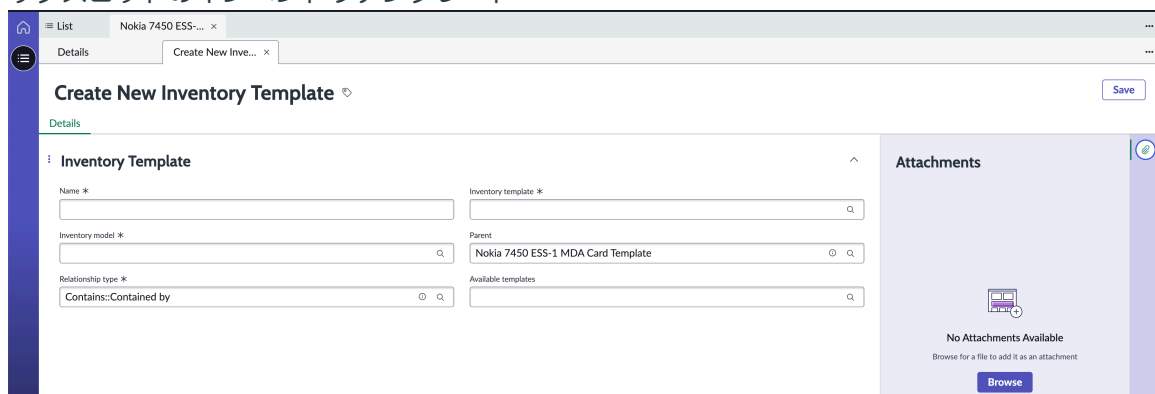
インターフェイスカードテンプレート:関連テンプレート



The screenshot shows the 'Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template' details page. The 'Related Templates' tab is selected, displaying a list of related templates. The 'Attachments' tab is also visible on the right side of the page.

インターフェイスカードテンプレートの [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックしてサブスロットインベントリテンプレートを作成します。

サブスロットのインベントリテンプレート



The screenshot shows the 'Create New Inventory Template' form. The form includes fields for Name, Inventory template, Inventory model, Parent, Relationship type, and Available templates. The 'Attachments' tab is also visible on the right side of the page.

サブスロットインベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに表示されます。

関連するサブスロットを含むインターフェイスカードテンプレート

sub slot-1

Details Related Templates (1)

Inventory Template

Name * sub slot-1

Parent Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Inventory model * Nokia 7450 ESS-1 Traffic SFP Slot

Relationship type * Contains: Contained by

Default Field Values

Name Pattern *Sub-slot -*+position

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスをインターフェイスカードテンプレートに追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加

インターフェイスカードが直接ネットワークインターフェイスをサポートしている場合は、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで、2つのインターフェイス間にインターフェイステンプレートの関係を作成します。

手順

[インターフェイス] テンプレートの [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックしてインターフェイスカードテンプレートを作成します。

インターフェイスカードのインベントリテンプレート:関連テンプレート

Nokia ess-m10-1gb-sfp template

Details Related Templates

Related Templates

Last refreshed just now.

New

Attachments

[インベントリテンプレート] フォームで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインターフェイスカードのインベントリテンプレートを作成します。

ネットワークインターフェイスのインベントリテンプレート

Port-1

Inventory Template

Name *: Port-1

Inventory model *: GigabitEthernet

Relationship type *: Contains::Contained by

Inventory template

Available templates

Default Field Values

Version

Name Pattern: Port-1

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

インベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに関係が表示されます。

関連するインターフェイスカードを含むインターフェイスカードテンプレート

Nokia ess-m10-1gb-sfp template

Related Templates (2)

Last refreshed 7m ago.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

次のステップ

次に、インターフェイスカードをサブスロットに追加します。詳細については、「[サブスロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

サブスロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで機器に関連付けられているサブスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

このタスクは、「機器テンプレートへの関連インターフェイスカードの追加」の手順と同じ方法で実行します。この前の手順の詳細については、「[機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)」を参照してください。

次の例は、サブスロットに割り当てられているインターフェイスカードモデルを示しています。

サブスロットに割り当てられたインターフェイスカード

sub slot-1

Details Related Templates (1)

Related Templates 1

Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Nokia ess-m10-1gb-sfp slot addition	Nokia ess-m10-1gb-sfp		2022-06-01 04:25:50	Nokia ess-m10-1

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

子カードへのサブスロットの追加

サブスロットに追加するインターフェイスカードテンプレートは、子カードおよびドーターカードと呼ばれます。

- これらのサブスロット内に入るインターフェイスカードテンプレートは、子カードと呼ばれます。
- 子カードにはサブスロットを含めることができ、子カードのサブスロット内に入るインターフェイスカードテンプレートはドーターカードと呼ばれます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスを子カードまたはドーターカードに追加します。詳細については、「[子またはドーターカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

子またはドーターカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加

最後のステップとして、オプションで、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで、ネットワークインターフェイステンプレートを子およびドーターカードテンプレートに追加できます。

手順

次の例は、子カードまたはドーターカードに追加されたネットワークインターフェイステンプレートを示しています。

インベントリテンプレート:ネットワークインターフェイスカード

Nokia ess-m10-1gb-sfp template Save ...

Details Related Templates (2)

Related Templates 2
Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

注: すべてのインベントリテンプレートがネットワークインターフェイステンプレートと関係があるわけではありません。機器インベントリテンプレートには、単一のネットワークインターフェイス関係しかないものもあれば、親としてのスロットとの関係がないインターフェイスカードテンプレートもあります。ただし、機器とインターフェイスカードのテンプレートには、モデルの関係に従って定義されたスロットまたはインターフェイスの数が必要です。

次のステップ

これで、この機器のインベントリテンプレート関係の作成が完了しました。別の機器に対して別のインベントリテンプレートを作成するには、次のアクションを実行します。

1. そのインベントリテンプレート関係シーケンスで使用するデフォルトテンプレートを作成します。
2. 「機器モデルのインベントリテンプレートの作成」トピックに進み、プロセス全体をもう一度繰り返します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)

ケーブルモデルのインベントリテンプレートの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでケーブルモデルのインベントリテンプレートを作成します。このテンプレートを使用して、ケーブルレコードおよび関連するスタンドレコードをインスタンス化できます。

ユースケース

次の例は、ケーブルモデルのインベントリテンプレートを示しています。

カードモデルのインベントリテンプレート

4 Strand Optical Fiber Cable Template Export Hierarchy Save ...

Details Related Templates (4)

Inventory Template

Name *
4 Strand Optical Fiber Cable Template

Inventory model *
Optical Fiber Cable OP_FC

Default Field Values

Version

Slot Span

インベントリレコードを保存した後、ネットワークモデルの關係に記載されている数に応じて、関連するストランドテンプレートを作成します。

ケーブルテンプレートの関連ストランドテンプレート

The screenshot shows the '4 Strand Optical Fiber Cable Template' page. It has tabs for 'Details' and 'Related Templates (4)'. The 'Related Templates' tab is active, displaying a table of related templates.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Strand-000	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-003	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-001	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-002	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position

ストランドレコードのデフォルトの命名パターンは「Strand-+position」です。[名前パターン]フィールドを編集できます。

ストランドテンプレートの詳細

The screenshot shows the 'Strand-000' template details page. It has tabs for 'Details' and 'Related Templates'. The 'Details' tab is active, showing the 'Inventory Template' form.

Inventory Template

Name *: Strand-000

Parent: 4 Strand Optical Fiber Cable Template

Inventory model: Optical Fiber Strand OP_FS

Default Field Values: --

Relationship type *: Contains: Contained by

Slot Span:

次のステップ

ケーブルテンプレートを使用して、設計とアサインを使用してケーブルとストランドのレコードをインスタンス化します。詳細については、「設計とアサインを使用したケーブルレコードの作成」を参照してください。

関連情報

[ケーブルモデルを作成する](#)

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデリング](#)

モデルとテンプレートのインポート

モデルとテンプレートをインポートして、一貫性と再利用性を高め、エラーを減らします。事前定義された Excel テンプレートをインポートし、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用したタスクを簡素化できます。

モデルをインポート

モデルのコレクションをインポートするインポートモデル要求を作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してワークフローを簡素化します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

テンプレート要求をインポートすると、合計レコード数、スキップ数、挿入数、無視数、更新数、不合格レコード数など、処理済みレコードを分類した詳細なサマリーが生成されます。

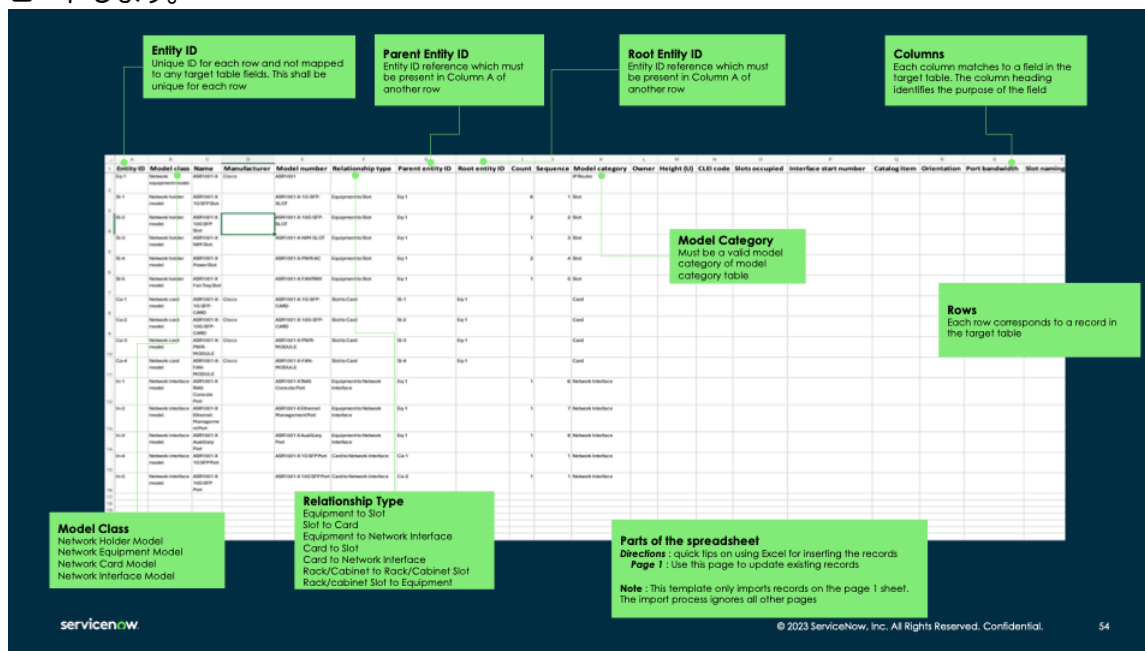
手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インポート > モデルのインポート。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、一般情報を入力します。
次の表に、インポートモデル要求に固有のフィールドを示します。

モデル要求をインポート

フィールド	説明
名前	インポートモデルの識別
説明	インポートモデルの簡単な説明
ファイル	[ファイルの添付] を選択して、インポート モデル ファイルを添付します。 i 注: モデルのインポートは、機器モデル、機器ホルダーモデル、カードモデル、および インターフェイスモデルに対してのみ行われます。

5. 添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. オプション: [Excel テンプレートを作成] を選択して、デモデータとモデルテンプレートをダウンロードします。



Entity ID
Unique ID for each row and not mapped to any target table fields. This shall be unique for each row

Parent Entity ID
Entity ID reference which must be present in Column A of another row

Root Entity ID
Entity ID reference which must be present in Column A of another row

Columns
Each column matches to a field in the target table. The column heading identifies the purpose of the field

Model Category
Must be a valid model category of model category table

Rows
Each row corresponds to a record in the target table

Model Class
Network Holder Model
Network Equipment Model
Network Card Model
Network Interface Model

Relationship Type
Equipment to Slot
Slot to Card
Equipment to Network Interface
Card to Slot
Card to Network Interface
Rack/Cabinet to Rack/Cabinet Slot
Rack/Cabinet Slot to Equipment

Parts of the spreadsheet
Directions : quick tips on using Excel for inserting the records
Page 1 : Use this page to update existing records
Note : This template only imports records on the page 1 sheet. The import process ignores all other pages

© 2023 ServiceNow, Inc. All Rights Reserved. Confidential. 54

- Excel テンプレートは、モデルテンプレートのインポート [sn_ni_adv_import_model_template] テーブルに基づいて作成されます。アドミンはテンプレートをカスタマイズし、必要に応じて更新できます。
- インポートモデルでは、次の関係タイプがサポートされています。
 - スロットする機器
 - スロットからカード

- 設備からネットワークインターフェイス
- カードからネットワークインターフェイス
- ラック/キャビネットからラック/キャビネットスロット
- ラック/キャビネットスロットから機器

7. [インポート] を選択します。

◦ データのインポート手順中:

- CMDB 共通統合: プラグインは自動的にアクティブ化され、デフォルトでアクティブ化されます。詳細については、「[CMDB 共通統合 \(2.14.3\)](#)([🔗](#))」を参照してください。
- 正規化データサービスクライアント (オプション): インストールおよび構成されている場合、次の正規化ルールが適用されます。
 - メーカー名から特殊文字を削除します。
 - 既存の値の 5 文字と一致する場合、新しい値が置き換えられます。
 - 標準会社名と異体字会社名をダウンロードします。
 - 会社名を標準の同等の名前に置き換えます。詳細については、「[正規化データサービス](#)([🔗](#))」を参照してください。正規化ルールをカスタマイズするには、「[\[正規化された会社名\] テーブル](#)([🔗](#))」を参照してください。
- レコードが生成されると、インポート結果への自動追加がトリガーされます。このタブから、インポートステータスを確認し、生成されたモデルを選択できます。
- 専用のインベントリテンプレートが、すべてのラック/キャビネット機器ホルダー、機器モデル、およびカードモデルに対して生成されます。さらに、関連するテンプレートは、定義されたモデル関係に基づいて生成されます。

タスクの結果

[インポート結果] タブが [詳細] タブの横に表示され、インポートセット行を表示、追加、更新、および削除できます。

次のタスク

- [インポート結果] タブから生成されたモデルにリダイレクトします。
- レコードを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

テンプレートのインポート

テンプレートのインポート要求を作成して、インベントリテンプレートをインポートし、データの書式設定を適用し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してプロセスを簡素化します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager、および sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

テンプレート要求をインポートすると、合計レコード数、スキップ数、挿入数、無視数、更新数、不合格レコード数など、処理済みレコードを分類した詳細なサマリーが生成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン ([📄](#)) を選択し、インポート > テンプレートのインポート。
3. [新規] を選択します。

4. [詳細] タブで、一般情報を入力します。
次の表に、インポートテンプレート要求に固有のフィールドを示します。

テンプレート要求をインポート

フィールド	説明
名前	インポートテンプレートの識別
説明	インポートテンプレートの簡単な説明
ファイル	[ファイルの添付] を選択して、インポートインベントリテンプレートファイルを添付します。

5. 添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. オプション: [Excel テンプレートの作成] を選択して、デモデータとテンプレートをダウンロードします。
テンプレートは、テンプレートテンプレートのインポート [sn_ni_adv_import_template_template] テーブルに基づいて作成されます。テンプレートをカスタマイズし、必要に応じて更新できます。
7. [インポート] を選択します。
- レコードが生成されると、インポート結果への自動追加がトリガーされます。このタブから、インポートステータスを確認し、生成されたインベントリテンプレートを選択できます。
 - 関連テンプレートは、モデルの関係が定義されている場合にのみ生成されます。たとえば、ラック、機器、またはカードインベントリテンプレートの場合、スロットの関連テンプレートが生成されます。

タスクの結果

[インポート結果] タブが [詳細] タブの横に表示され、インポートセット行を表示、追加、更新、および削除できます。

次のタスク

- [インポート結果] タブから生成されたインベントリテンプレートにリダイレクトします。
- レコードを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

モデルとテンプレートの階層をエクスポート

アプリケーションを使用して、モデル、インベントリテンプレート、およびすべての関連レコードの階層を効率的にエクスポートします。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

- 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- リストアイコン () を選択し、任意のモデルまたはインベントリテンプレートに移動します。
- 目的のレコードを選択します。
- [階層をエクスポート (Export Hierarchy)] を選択して、選択したモデルまたはインベントリテンプレートのすべての関連レコードをエクスポートします。

最大 5 つのモデルまたはテンプレートを選択し、リストビューから [階層のエクスポート (Export Hierarchy)] を選択することもできます。

選択したモデルまたはインベントリテンプレートのすべての関連レコードのリストが表示されます。

5. 関連レコードのリンクを選択します。

6. 選択  > エクスポート。

7. データをエクスポートする形式を選択します。

8. [ダウンロード] を選択します。

親子関係を持つモデルまたはテンプレートをエクスポートする場合、親とその子のみが含まれます。兄弟はエクスポートされません。

タスクの結果

選択したモデルまたはインベントリテンプレートとすべての関連レコードが、選択した形式でダウンロードされます。

設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリをインスタンス化することで、サイトレベルでインベントリレコードを生成して検証できます。定義済みのインベントリテンプレートとモデルから個々のネットワークインスタンスを生成し、それらが適切に構成されていることを確認することもできます。

概要

次のタスクを実行することにより、設計およびアサイン機能を使用してネットワークインベントリをインスタンス化できます。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。

変更要求は、ネットワークの変更理由、優先度、リスク、変更のタイプ、変更カテゴリなど、変更に関する詳細を記録します。変更要求を使用すると、既存のネットワークワークフローを変更できます。また、アプリケーション機能の拡張、新しいサービスの要求、ネットワーク構造の変更などを行うこともできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

2. 変更タスクを実行します。

タスクのリストは、変更によってトリガーされたワークフローから作成されますが、変更タスクを手動で作成することもできます。変更タスクは、要求された変更の実装に必要なさまざまなタスクを追跡および管理するのに役立ちます。変更タスクのリストを使用することで、アクションを実行して構成アイテムを作成できるインベントリエージェントにタスクをアサインできます。同時に、他のエージェントはアサインされた変更タスクを処理できます。エージェントがすべてのタスクを完了してクローズした後、コメントを付けて変更要求をクローズすることもできます。詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

設計およびアサイン機能でのレコードプロデューサーの使用

選択した変更モデルにレコードプロデューサーフォームがアサインされている場合、指定された入力に基づいて、変更要求が自動的に生成されます。レコードプロデューサーフォームが割り当てられていない場合は、レコードプロデューサーを割り当てることができます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

レコードプロデューサーは、在庫引当タスクを実行するために入力する必要があるデータをキャプチャします。レコードプロデューサーフォームをマッピングすると、次のタスクを実行できます。

- サードパーティアプリケーションのパラメーターを 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに渡します。Order Management for Telecommunications and Media (OMT) の場合はその一例です。レコードプロデューサーフォームを変更モデルにアサインした後、その変更モデルを選択すると、アサインされたフォームが表示されます。フォームに入力すると、変更要求フォームに詳細が入力され、変更タスクが自動的に作成されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。
- 変更要求のタイプを変更します。変更タスクフォームには、変更要求のタイプを説明する [要求タイプ] フィールドが含まれています。選択内容に基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。変更タスクの要求タイプフィールドにレコードプロデューサーフォームを割り当てることで、タイプを選択したときに表示されるフォームを決定できます。選択した [要求タイプ] フィールドに基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。フォームのフィールドに入力すると、変更要求フォームが更新されます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークインベントリワークスペースから、変更モデルの変更要求を作成、レビュー、更新、またはクローズします。ネットワークインスタンスのインスタンス化の詳細を分析することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
3. オプション: [自分にアサイン済み] を選択して、アサインされた変更タスクのリストを表示します。
 - ❗ 注: [変更]のリストビューには、ドメインに関係なく、すべての変更要求のリストが表示されます。通信ネットワークインベントリ (TNI) 関連の変更要求のみを表示するフィルターを追加します。
4. [新規] を選択します。
5. 検索フィールドで、フィルターを使用して、変更要求の作成対象となる次の変更モデルのいずれかを選択します。
 - カードを追加
 - インベントリ機器を作成
 - 論理接続を作成
 - 物理接続を作成
 - ラック/キャビネットを作成
 - ラック/キャビネットに機器を追加
 - ラック/キャビネットから機器/シェルフを削除

- IP アドレスの割り当て
- 電話番号割り当て

i 注: デザインアサインリンクアグリゲーショングループと GPON ブロードバンドサービスについては、「[デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成](#)」および「[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

6. [次へ] を選択します。

ディビジョンテーブルのエントリに応じて、レコードプロデューサーまたは変更要求フォームが表示されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

7. [Save (保存)] を選択します。

変更要求が作成され、関連するタブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。

8. [概要] タブで、次のアクションを 1 つ以上実行します。

- この変更要求の概要を表示または更新します。
- スコープを追加します。

詳細については、「[スコープ](#)」を参照してください。

- この変更要求をグループまたはユーザーにアサインします。

i 注: この変更要求をアサインするには、アサインする > アサイン先グループとアサイン先を入力 > 保存。

- この変更要求のスケジュールを設定します。詳細については、「[スケジュール](#)」を参照してください。
- この変更要求のリスクを計算します。

[リスクを計算] を選択すると、[詳細] タブの [リスク] フィールドで更新が分析されます。

- [新規] を選択して、変更タスクを表示および作成します。

詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

9. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

10. [Save (保存)] を選択します。

入力された詳細情報に基づいて変更タスクが作成されます。[影響を受ける CI] や [影響するサービス/CI] など、その他の関連タブも更新されます。

11. オプション: タブを選択して、変更要求に与える影響を確認します。

次のタスク

変更タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズします。

詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、デザインアサインリンクアグリゲーションの変更要求を作成します。デザインアサインリンクアグリゲーショングループのレコードを確認、更新、または削除することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [デザインアサインリンクアグリゲーショングループ] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. [レコードプロデューサー] フォームで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」のフォームを参照してください。

i 注：デフォルトでは、[レコードプロデューサー] フォームがデザインおよびアサインアグリゲーショングループにアサインされます。その他の変更モデルについては、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

7. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成され、TNI LAG テンプレートを変更するワークフローがトリガーされます。3 つの変更タスクが作成されています。
8. [概要] タブで変更タスクセクションを展開するか、[変更タスク] タブを選択します。

i 注：[概要] タブの詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

変更タスクを作成するには、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

9. タスクを開きます。
10. [詳細] タブの変更タスクフォームで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」の「変更タスクフォーム」を参照してください。
11. [影響を受ける CI] 関連タブを選択して、影響を受ける構成アイテムを作成、レビュー、更新、または削除します。
12. [Save (保存)] を選択します。

次のタスク

[リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成](#) を使用して LAG に対してメンバーを追加または削除します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、デザインアサインリンクアグリゲーションの変更要求にメンバーを追加または削除する変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除

フィールド	説明
LAG	リストから LAG を選択する
帯域幅	選択した LAG のリストから帯域幅を変更または選択する
リビジョンを作成	選択した LAG のリビジョンを作成するオプション。 i 注: LAG の改訂は、すでにアクティブな改訂プロセスが行われている間は不可能です。
メンバーインターフェイス A	選択した LAG のインターフェイス A。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス A を変更します。 i 注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。
メンバーインターフェイス Z	選択した LAG のインターフェイス Z。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス Z を変更します。 i 注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: [影響を受ける CI] タブを選択します。
9. オプション: V1 という接尾辞のある変更済み CI を選択します。
[リビジョンを作成] チェックボックスがオンになっている場合のみ、変更された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。
10. オプション: 必要に応じてフィールドを変更します。

- 新しいメンバーインターフェイスを追加すると、対応する論理インターフェイスを持つ新しい ENET が自動的に作成されます。
- 既存の ENET 接続に属するインターフェイスを追加すると、ENET を作成する代わりに、そのインターフェイスが既存の ENET 接続に自動的にリンクされます。

11. オプション: 運用化のための変更タスクを作成します。

詳細については、「[構成アイテム \(CI\) の運用化](#)」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する

Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンドサービスを設計できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション内で変更要求を作成します。GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンドサービスの注文要求を満たせるように、複数の変更タスクを作成できます。

始める前に

GPON ブロードバンドサービスの変更要求を確立し、関連する変更タスクを完了する前に、インベントリカタログマネージャーとテンプレートマネージャーは次のネットワーク構成セットアップを行う必要があります。

1. 移動先 **Telecommunications Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > インベントリモデルをクリックし、インベントリモデルを作成し、その関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認](#)」を参照してください。

2. 移動先 **Telecommunications Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > ネットワークインベントリテンプレートををクリックし、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ の詳細デモデータとコアデモデータをインストールします。

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 **GPON** ブロードバンドサービス > 次へ。
5. レコードプロデューサーフォームで、フィールドを更新できます。
レコードプロデューサーフォームのフィールドは自動入力されます。このデモでは、GPON ブロードバンドサービスの設計とアサインを示す構成アイテム (CI) を作成する方法を説明します。フローは必要に応じて変更できます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [保存] を選択します。
変更 (設計とアサイン) フローがトリガーされ、変更要求が作成されます。指定された入力内容に応じて、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. 各変更タスクレコードを開いてレビューします。
[タスク属性] フォームのフィールドに入力します。フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

8. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
9. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
10. [Save (保存)] を選択します。

論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、論理接続とその詳細を変更する論理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 論理接続エンドポイントを変更 > 次へ。
5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. [変更タスク] タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. [タスク属性] フォームで、必要に応じて論理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
12. [Save (保存)] を選択します。

物理接続の変更を使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、物理接続とその詳細を変更する物理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 物理接続エンドポイントを変更 > 次へ。

5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. [変更タスク] タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. [タスク属性] フォームで、必要に応じて物理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
12. [Save (保存)] を選択します。

設計およびアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークトポロジレコードを作成します。ネットワーク トポロジを作成することで、ネットワーク エlementがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

テンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。また、ルートノードはトポロジルートノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに保存されます。トポロジ データ モデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」をご参照ください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. トポロジ の設計と割り当て(**Design & Assign topology**)を選択します。
5. [Next (次へ)] をクリックします。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。
タスク属性フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. [送信] を選択します。

タスクの結果

トポロジとネットワークトポロジのルートノードレコードが作成されます。

次のタスク

トポロジは [ネットワークビューアー] ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワークトポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワーク トポロジ モデルの作成

設計とアサインを使用したネットワーク トポロジ レコードの変更

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークトポロジレコードを変更します。既存のネットワーク トポロジ レコードの要素を追加または削除し、ネットワーク要素がどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて.
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [メンバーをトポロジに追加/削除]を選択します。
5. [Next (次へ)] をクリックします。
6. [トポロジを選択] フィールドで、変更するネットワーク トポロジ レコードを選択します。
次のフィールド値を追加または削除できます。
 - トポロジノード
 - トポロジサイト
 - ルートノード
 - トポロジ接続
7. [送信] を選択します。

タスクの結果

ネットワーク トポロジ レコードを変更すると、次のアクションが発生します。

- トポロジ サイトを削除すると、トポロジ内のそのサイトに関連付けられているすべてのノードと接続が関係から削除されます。
- トポロジまたはルート ノードを削除すると、トポロジ内のノードに関連付けられているすべての接続が関係から削除されます。
- トポロジ接続を削除すると、関係から削除されます。
- ノードが関係から削除されると、ルートノードの一部である場合、そのエントリも削除されます。

関連情報

ネットワークトポロジの可視化

ネットワーク トポロジの使用

設計とアサインを使用したケーブルレコードの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ケーブルレコードを作成します。ケーブルおよび関連するストランドレコードを作成することで、光ファイバーケーブルレコードの注文要求を履行できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ケーブルテンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが光ファイバーケーブル [cmdb_ci_fiber_optical_cable] テーブルとファイバーストランド [cmdb_ci_fiber_strand] テーブルに作成されます。ケーブルデータモデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [ケーブルの追加] を選択します。
5. [Next (次へ)] をクリックします。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。

ストランドフォーム

フィールド	[Description (説明)]
A 側終端	このケーブルの起点となるネットワークサイト。
Z 側終端	ケーブルが終端するネットワークサイト。
インベントリテンプレート	カードモデルのインベントリテンプレートの名前。

10. [送信] を選択します。

タスクの結果

ケーブルおよび関連するストランドレコードが作成されます。

での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求を作成した後、変更タスクを作成します。変更タスクを作成することで、要求された変更を完了できます。

始める前に

- 1. 移動先 **Telecommunications Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > インベントリモデルをクリックし、インベントリモデルを作成し、その関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成と確認](#)」を参照してください。

- 2. 移動先 **Telecommunications Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > ネットワークインベントリテンプレートをクリックし、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のための インベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

- 必要なロー

ル:sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_cat

このタスクについて

変更要求フォームの詳細に基づいて、変更タスクが自動的に作成されます。変更要求の [概要] タブまたは [変更タスク] タブから、変更タスクを表示、作成、更新、またはクローズできます。レコード・プロデューサーフォームを変更タスクに割り当てることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
3. 変更要求を開きます。
4. [概要] タブで、下にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
5. オプション: [変更タスク] タブを選択します。
6. 変更要求が作成されたら、[概要] タブで下にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
[概要] タブに移動して、変更タスクの作成を開始することもできます。
7. [新規] を選択します。
8. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
9. [作成] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
10. オプション: 既存の変更タスクを選択します。
11. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

- ❗ **注:** リンクアグリゲーショングループとGPONブロードバンドサービスの設計については、「[デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成 と GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

12. [送信] を選択します。

指定された詳細で [詳細] タブが更新され、CI に必要な変更が実行されます。実行されたすべての変更が作業メモで更新されます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

- i 注:** ラックから機器またはシェルフを削除すると、機器 / シェルフとラック間の関連するすべての CI 関係も、選択した CI とともに削除されます。

13. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
ラックを作成したら、[構成アイテム] または [影響を受ける CI] に移動して、ラックの正面図と背面図を可視化します。
14. オプション: 変更モデルがラックの場合は、ラックを可視化する 構成アイテム を選択します。
15. [保存] を選択します。

構成アイテムの変更

接続の CI (構成アイテム) を変更して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの CI を更新します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、変更 > すべて.
3. 目的の変更要求を選択します。
変更要求を作成するには、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。
4. [変更タスク] タブを選択します。
5. [New (新規)] を選択します。
6. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. [Create (作成)] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [要求タイプ (Request type)] フィールドで [CI を変更 (Revise CI)] を選択し、他のフィールドに入力します。
他のフィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
9. [保存] を選択します。
10. [タスク属性 (Task Attributes)] フォームで、[変更される CI (CI to be revised)] フィールドのリストから CI を選択します。
11. [送信] を選択します。
[インベントリのリビジョン履歴 (Inventory Revision Histories)] テーブルにレコードが作成されます。選択した CI と関連テーブルがクローン作成され、クローン作成された CI 名が [構成アイテム

(Configuration item)] フィールドに入力されます。また、元の CI とクローン作成された CI の両方が **[影響を受ける CI (Affected CIs)]** タブに追加されます。

i 注:

- クローン作成プロセス、およびクローン作成する必要がある関連テーブルをカスタマイズするには、「#unique_87」を参照してください。
- リビジョンデータは、CI 作成から 1 年が経過すると、リビジョン履歴アーカイブルール (アーカイブルール→インベントリリビジョン履歴アーカイブルール [sn_ni_core_inventory_revision_history]) テーブルに自動的にアーカイブされます。その後、アーカイブテーブル内のすべてのデータは、さらに 1 年後に完全に削除されます (ar_sn_ni_core_inventory_revision_history)。関連するテーブルを変更することでカスタマイズを実行できます。
- 現在、リビジョン履歴は、構成アイテム (CI) 属性、関連データ、および CI 関係のみをキャプチャします。他のテーブルからの追加データを含めるために、論理接続 (audit_reference_tableinfo_logical_connection) および物理接続 (audit_reference_tableinfo_physical_connection) システムプロパティを更新できます。これらのプロパティ内でテーブル名と列名を指定する形式は、「table1_name:column1_name, table1_name:column2_name」です。

12. オプション: 変更タスクに移動し、[リビジョンを検証 (Validate Revision)] を選択して、元の CI と変更済み CI の両方を検証します。

- 運用化する前に、クローン作成された CI で実行された変更を検証して追跡できます。データが元の CI と一致しない場合、検証は失敗し、クローン作成後にクローン作成された CI が更新されることを示すメッセージが表示されます。
- 検証プロセスをカスタマイズするには、[CI リビジョンを検証 (Validate CI Revision)] アクションフローを更新します。詳細については、「[リビジョン CI の検証のカスタマイズ](#)」を参照してください。
- 検証プロセスのフィールドをスキップするには、論理接続 CI の (sn_ni_core.revision_val_ignore_fields_logical_connection) テーブルと物理接続 CI の (sn_ni_core.revision_val_ignore_fields_physical_connection) テーブルを編集します。

次のタスク

クローン作成された CI を更新し、CI を運用化できます。運用化の詳細については、「[構成アイテム \(CI\) の運用化](#)」を参照してください。

関連情報

[構成アイテムの改訂、運用化、および廃止](#)

構成アイテム (CI) の運用化

変更を完了して元の CI に適用できるように、構成アイテムを運用化します。

始める前に

- 改訂された CI があることを確認します。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

- 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- リストアイコン () を選択し、変更 > すべて。
- 目的の変更要求を選択します。

変更要求を作成するには、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

4. [変更タスク] タブを選択します。
5. [New (新規)] を選択します。
6. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. [Create (作成)] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [Request type] フィールドで [Operationalize CI] を選択し、他のフィールドに入力します。
他のフィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
9. [保存] を選択します。
10. [タスク属性] フォームで、[運用化する CI] フィールドのリストから CI を選択するか、[変更要求 ID] フィールドから変更要求を選択します。
11. [送信] を選択します。
変更 タスクのステータスが [クローズ済み] に変わります。作業メモは、運用化された CI の詳細で更新されます。

i 注: 変更要求を選択すると、[影響を受ける CI] タブにリストされているすべての改訂された構成アイテム (CI) が運用可能になり、それに応じて作業メモが更新されます。

CMDB ワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示

CMDB ワークスペースを使用して、CMDBを検索して探索したり、その健全性と最近のアクティビティを調べたり、組織内のタスクをサポートするさまざまなダッシュボードやツールにアクセスしたりできます。

CMDB ワークスペースの前提条件

- プラグイン: CMDB Workspace を使用する前に、次のプラグインをアクティブ化する必要があります。
 - CMDB CSDM サポート (com.snc.cmdb.csdm)
 - CMDB アクティベーション (com.snc.cmdb.csdm.activation)
- ロール:ワークスペースにアクセスする CMDB 、少なくとも次のいずれかのロールが必要です。
 - sn_cmdb_admin
 - sn_cmdb_editor
 - sn_cmdb_user

i 注: CMDB ワークスペースでは、一部のダッシュボードとリストビューに、主要なアドミン、エディター、またはユーザーロールに加えて特定のロールが必要です。割り当てられているロールによっては、CMDB ワークスペースで利用可能な一部の機能にしかアクセスできない場合があります。

- 機能: CMDB ワークスペースでは、さまざまなアプリケーションや機能にアクセスできます。ただし、意味のあるレポート、概要、および傾向を提供するには、これらの機能の一部をセットアップして構成し、生成されたデータを CMDB ワークスペースで使用できるようにする必要があります。

CMDBワークスペースへのアクセス

ServiceNow Storeからアプリをインストールした後、ネットワークインベントリ > **CMDB Workspace (CMDB ワークスペース)**.

CI 検索

クラスの構成アイテム (ネットワーク資産 CI) を検索する条件を最大 5 つ指定します。これらの条件は、選択したクラスの属性に基づいています。結果リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、タイムライン、健全性の概要、ネットワーク資産 CI の属性など、ネットワーク資産 CI の詳細が表示されます。

詳細については、[CI の詳細] ページのセクションを参照してください。

CI 概要

Applications、*Cloud* および *Server*などの一般的なクラスカテゴリ別にグループ化された、CMDB内のネットワーク資産 CI の概要を取得します。

クラスグループを選択して、グループに含まれるすべてのクラスを表示してから、ネットワーク資産 CI を表示するクラスを選択します。

[結果] リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、タイムライン、健全性の概要、およびネットワーク資産 CI の属性を含む概要ページを表示できます。詳細については、[CI の詳細] ページのセクションを参照してください。

CMDB ヘルス

ネットワーク資産 CI のメトリクスを取得し、関係の健全性を確認します。パーセンテージの数値をクリックすると、[CMDB 健全性] および [CMDB リレーションシップ健全性] ダッシュボードに移動し、次の情報が表示されます。

- 全体のパーセンテージの数値は、すべてのネットワーク資産 CI の健全性を、正確性、コンプライアンス、完全性の 3 つの重要業績評価指標 (KPI) すべてのアグリゲーションとして表しています。各ネットワーク資産 CI にはサブメトリクスが含まれています。
- 関係のパーセンテージの数値は、孤立、重複、および古い関係 KPI のアグリゲーションとして、関係の全体的な健全性を表します。

7 日間のアクティビティ傾向

CMDB ワークスペースには、過去 7 日間の CMDB アクティビティの概要を示す次のチャートが含まれています。

過去 7 日間の CI アクティビティ

ネットワーク資産 CI に関連するメトリクスを示すチャートを表示します。たとえば、新しいネットワーク資産 CI、更新されたネットワーク資産 CI、重複するネットワーク資産 CI の数のメトリクスを表示できます。

7 日間のアプリケーションサービスアクティビティ

アプリケーションサービスに関連するメトリクスを示すチャートを表示します。たとえば、アプリケーションサービスの合計数、新しいアプリケーションサービス、更新され

たアプリケーションサービス、機能停止のあるアプリケーションサービスの数を表示できます。

自分が管理する CI

管理しているネットワーク資産 CI のリストをネットワーク資産 CI クラス別にグループ化して表示します。ネットワーク資産 CI の *Managed by Group* 属性に割り当てられたグループのメンバーである場合、ネットワーク資産 CI はこのリストに表示されます。

クイックリンク

CMDBダッシュボードとツールへのリンクのリストを参照してください。

- ❗ 注: リンクは、アプリケーションのインストール、アクティブなプラグイン、およびアサインされたロールに基づいて、条件付きで利用できます。リンクが表示されない場合は、リンクのすべての要件が満たされていることを確認してください。
- CI クラスマネージャー: 基本的なクラス定義と、識別および調整 (IRE) および CMDB 健全性のクラス設定を表示、作成、または編集できます。
- CMDB 健全性ダッシュボード: 健全性レポートを表示し、ネットワーク資産 CI が評価される健全性 KPI とメトリクスを CMDB 健全性ダッシュボードで設定できます。

CI 詳細ページ

ネットワーク資産 CI レコードにドリルダウンすると、ネットワーク資産 CI の次の詳細が表示されます。

- CI タイムライン - 過去 14 日間: 変更要求などのネットワーク資産 CI アクティビティのタイムライン。
- CI 健全性: ネットワーク資産 CI の重大なインシデント、不完全な属性、古い関係性などの関連アイテムを示す、ネットワーク資産 CI の健全性のサマリー。
- 詳細: ネットワーク資産 CI 属性。キー属性、資産属性、ディスカバリー属性、運用属性、その他の属性などのカテゴリにグループ化されています。

- ❗ 注: ネットワーク資産 CI クラスの *CMDB - Workspace* フォームビューを使用して、属性の外観を構成できます。

- アクティビティ: ネットワーク資産 CI レコードの変更内容を追跡するアクティビティストリーム。
- インフラストラクチャ関係: ネットワーク資産 CI に関連するインフラストラクチャネットワーク資産 CI のリスト。
- サービス関係: ネットワーク資産 CI が関連している可能性があるビジネスアプリケーション、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスのリスト。

CI の詳細ページでは、次のアクションを実行できます。

- 依存関係ビューを開き、ネットワーク資産 CI レコードのグラフィックインフラストラクチャビューを取得するには、[依存関係ビューを開く] をクリックします。
- マルチソースデータレポートビルダーを開き、ネットワーク資産 CI レコードのネットワーク資産 CI 属性レベルでさまざまなディスカバリーソースによって CMDB がどのように入力されるかを追跡するには、[マルチソースデータを表示] をクリックします。
- ネットワーク資産 CI レコードの属性への変更を保存するには、[保存] をクリックします。

CI エラーメッセージ

次の表は、CI の削除中に表示される CI エラーメッセージと、エラーの解決に使用できるソリューションを理解するのに役立ちます。

エラーメッセージ

エラー	解決
現在の操作はエラーステータスで終了しました。詳細: 操作 (Delete All TNI CI Hierarchy./end) failed with error: Error: The CI "XXXX/XXXX/COPPER Link/000118" cannot be deleted because there with related CI "XXXX/XXXX/PON Access Path/100Mbps/000030" (sys_script_include.989afcd1cb330110202b2c52f8076d7e.script; line 52)	子または関連する CI (構成アイテム) を削除して、親 CI を削除します。 1. [関連テンプレート] の下にある関連 CI または子 CI をクリックします。 2. [削除] をクリックします。 ただし、管理者はいつでも削除アクションをカスタマイズできます。詳細については、「 削除アクションのカスタマイズ 」を参照してください。

削除アクションのカスタマイズ

削除アクションをカスタマイズすると、独自の削除プロセスを作成できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて > プロセスの自動化 > Flow Designer > [New (新規)] > [Action (アクション)]**.
2. [アクションプロパティ] フォームに入力して、アクションを作成します。
3. [送信] をクリックします。
4. [ディビジョン管理] → [ディビジョンビルダー] に移動して、新しいアクションを適用します。
5. [TNI CI Deletion Policy (TNI CI 削除ポリシー)] を選択します。
6. [ディビジョンテーブル] で、適切な CI タイプに対して [アクションタイプ] を更新します。

ネットワーク図の使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワーク図を使用して、回路とその基礎となる接続要素の階層マップを表示します。

関連情報

[回路の可視化](#)

ネットワーク図の詳細を表示する

通信事業ネットワークインベントリのネットワーク図を使用して、接続ノードの詳細を表示し、論理接続の基礎となる接続要素を可視化します。論理接続の詳細な概要と、接続要素が互いにどのように接続されているかを理解できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

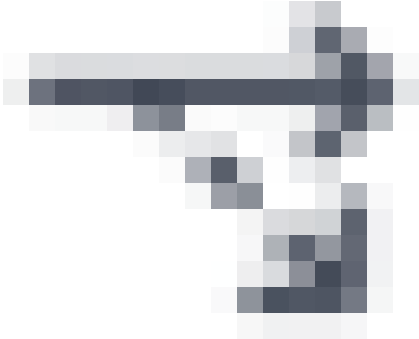
ネットワーク ダイアグラムを使用すると、次の操作を実行できます。

- ネットワーク図にドリルダウンして、基礎となる要素を表示します。
- ネットワーク図を構成する接続ノードの詳細を表示します。
- 論理接続のリビジョンの詳細を表示します。
- 論理接続の保護パスを表示します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択します。
3. 検索項目 **Inventory** (インベントリ) > 論理接続。
4. レコードを開き、接続の表示 を選択します。
5. 基になる要素または接続ノードの詳細を表示します。
ネットワーク図では、次のアクションを実行できます。

オプション	詳細
ネットワーク図を展開し、基になっている要素を表示します	a. 接続ノードの追加アイコン (+) を選択して、階層レベルを展開します。 b. 基になる接続ノードの追加アイコン (+) を選択して、さらに展開します。 i 注: 論理接続に基になる接続要素がある場合、接続ノードは積み重なったピル形状として表示されます。展開後、箱型に変形します。
論理接続のリビジョンを表示	a. 時計アイコン () を選択します。論理接続のリビジョンが [リビジョンビュー] タブに表示されます

オプション	詳細
	 注：時計アイコン () は、論理接続レコードにリビジョンがある場合にのみマップに表示されます。 b. [現在のビュー] を選択して、元の論理接続を表示します。 元の論理接続と論理接続のリビジョンの間でビューを切り替えて、違いを比較することができます。
保護パスの表示	保護パスアイコン () を選択して、論理接続の保護パスを表示します。

5. 追加アイコン () を選択してノードを展開し、目的のビューを取得します。

6. マップペインで、ダウンロードアイコン()を選択します。

タスクの結果

画像は PNG 形式でダウンロードされます。

関連情報

[回路の可視化](#)

保護パスの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで論理接続の保護パスを作成します。この保護パスは、プライマリパス (論理接続) に障害が発生したり、重大な問題が発生したりした場合の代替ルートとして使用できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択します。
3. 検索項目 **Inventory** (インベントリ) > 論理接続.
4. レコードを開き、 接続の表示 を選択します。
5. 保護 パス タブを選択し、 新規 を選択します。
6. フォームの次のフィールドに入力します。

CI 関係フォーム

フィールド	説明
親	保護パスを追加する親 CI。
[Type (タイプ)]	CI リレーションシップタイプ。保護パスの場合、CI 関係タイプは Redundancy Provided by::Redundancy provided for です。
子	保護パスとして追加する論理接続レコード。

次のタスク

保護パスはネットワーク図で確認できます。詳細については、「[ネットワーク図の詳細を表示する](#)」を参照してください。

CI レコードの属性パックの使用

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードに定義した属性をキャプチャし、属性値を更新します。

CI レコードで属性パックを使用する

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードに定義した属性をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、新しいインベントリクラスを開きます。
3. [新規] を選択します。
4. [パックを追加] を選択します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果

属性パックテーブルが「パック」タブに追加されます。

次のタスク

追加したパックテーブルのフィールドを更新できます。詳細については、「[CI レコードのパックの確認と更新](#)」を参照してください。

CI レコードのパックの確認と更新

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの構成アイテム (CI) レコードのパックテーブルで定義した属性を確認して更新します。

始める前に

CI レコードのパックテーブルを追加します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、梱包テーブル属性を更新するインベントリレコードを開きます。
3. [パック] タブで、更新するパック テーブルを選択します。
4. フィールドに入力します。
5. [保存] を選択します。

ネットワーク トポロジの使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークトポロジを使用して、ネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、互いに接続されているかを表示します。

ネットワークトポロジを表示するには、手動で、または「設計とアサイン」機能を使用してトポロジレコードを作成する必要があります。詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワーク トポロジの手動作成](#)。
- [設計およびアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成](#)。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

ネットワークトポロジの表示

ネットワーク トポロジの詳細を表示し、ネットワーク要素がどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで、トポロジのネットワークインフラストラクチャの詳細な概要を把握できます。

始める前に
必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_reporter

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワーク ビューア アイコン () を選択します。
3. 検索ボックスにトポロジ名を入力して選択することで、トポロジを可視化します。
任意のトポロジを複数選択できます。また、詳細フィルタオプションを使用して、フィルタアイコン()を選択してトポロジを検索することもできます。
4. 詳細を表示するノードを選択し、詳細ペインで関連情報を表示します。
5. 詳細ペインで、[詳細を表示] を選択して CI レコードにリダイレクトします (オプション)。

通信事業ネットワークインベントリ 参照

参照トピックには、通信事業ネットワークインベントリに関する追加情報が記載されています。

ケーブルフォーム

[ケーブル] フォームでは、光ファイバーケーブルレコードの詳細を記述できます。

ケーブルフォーム

フィールド	説明
名前	このケーブルレコードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
Support group (サポートグループ)	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン () を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: Deploy (展開) ネットワークに展開されているネットワーク資産。 Design (デザイン) 設計目的で使用されているネットワーク資産。 End of life (終了) 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory (インベントリ) ネットワークで使用中のインベントリアイテムであるネットワーク資産。 End of life (終了)

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	行方不明で見つけることができないネットワーク資産。 Operational (稼働中) 運用中のネットワーク資産。 Purchase (購入) ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: In Maintenance (メンテナンス中) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 In Use (使用中) 現在使用されているネットワーク資産。 Pending Retirement (廃止待ち) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
A 側終端	このケーブルが接続されているインターフェイスやスロットなどの開始点。
Z 側終端	このケーブルが接続されているインターフェイスやスロットなどの終端点。
A 終端コネクタ	ケーブルの始点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC バヨネット ニール コンセルマン (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF アプリケーションに使用され、同軸ケーブル ネットワークに使用されています。 SC 正方形のスナッピン コネクタ。 LC 小型で、ラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細く剥がしたワイヤーをポストまたはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
Z 終端コネクタ	ケーブルの終点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC バヨネット ニール コンセルマン (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF アプリケーションに使用され、同軸ケーブル ネットワークに使用されています。 SC 正方形のスナップイン コネクタ。 LC 小型で、ラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細く剥がしたワイヤーをポストまたはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
長さ	ケーブルの全長。
長さ単位	ケーブルのルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ケーブルの詳細を定義](#)

ケーブルモデルフォーム

[ケーブルモデル] フォームでは、光ファイバーケーブルモデルレコードの詳細を記述できます。

ケーブルモデルフォーム

フィールド	説明
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	ケーブルモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
簡単な説明	定義しているケーブルモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログアプリケーションの一部です。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられているモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
所有者	モデルの責任者。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。 両方 このモデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの生産ステータス: Build (構築)

ケーブルモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 Sold (販売済み) モデルが販売されました。 Retired (廃止) モデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 Opex (経費) 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
Depreciation (減価償却)	ケーブルモデルの減価償却スケジュール。
認定済み	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
処分価額	耐用年数の終了時に資産を売却したときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	寸法を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。

ケーブルモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	- たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ケーブルのタイプ。以下から 1 つ選択します。 オプティカル 光パルスを使用して信号を送信します。 電気関係 電流を使用して信号を送信します。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。

関連情報

[ケーブルモデルを作成する](#)

キャパシティ定義フォーム

[キャパシティ定義] フォームでは、キャパシティ定義レコードの詳細を記述できます。

キャパシティ定義フォーム

フィールド	値
名前	キャパシティ定義レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。
アクティブ	キャパシティ計算の定義を有効にするオプション。
関数	キャパシティの計算に使用するキャパシティ機能レコード。複数の機能を選択できます。

キャパシティ定義フォーム (続く)

フィールド	値
Description (説明)	キャパシティ定義に関する簡単な説明。
エンティティテーブル	クエリを実行しているエンティティテーブル。システムクラス名は、エンティティテーブルまたはエンティティテーブルから派生したサブクラスのいずれかである必要があります。
条件	追加のクエリ条件。キャパシティ定義を実行するには、クエリ条件が有効である必要があります。

関連情報

[キャパシティ定義の作成](#)[キャパシティ管理](#)

キャパシティ機能追加フィールド

[戦略] フィールドで選択したオプションに応じて、次のフィールドがキャパシティ機能フォームに表示されます。

静的値 - 追加フィールド

フィールド	Description (説明)
静的値	キャパシティ計算のカウント数。

アグリゲートクエリ数 - 追加フィールド

フィールド	Description (説明)
エンティティテーブル	クエリを実行しているデータベース内のエンティティテーブル。
クエリテーブル	クエリを実行しているテーブルの名前。
クエリ条件	追加のクエリ条件。
関連フィールド	クエリを実行しているクエリテーブルのフィールド。リストから 1 つ選択します。

値フィールド - 追加フィールド

フィールド	Description (説明)
クエリテーブル	クエリを実行しているテーブルの名前。
クエリ条件	追加のクエリ条件。
値フィールド	クエリを実行しているレコードのフィールド。リストから 1 つ選択します。

スクリプト - 追加フィールド

フィールド	Description (説明)
エンティティテーブル	クエリを実行しているデータベース内のエンティティテーブル。
スクリプト	目的のデータを照会する方法を決定するスクリプト。スクリプトには answer 変数を含める必要があり、変数のタイプは数値または文字列です。

関連情報

[キャパシティ機能フォーム](#)[キャパシティ機能を作成](#)

キャパシティ機能フォーム

キャパシティ機能フォームでは、キャパシティ機能レコードの詳細を記述できます。

キャパシティ機能フォーム

フィールド	値
名前	キャパシティ機能レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。
Description (説明)	キャパシティ機能に関する簡単な説明。
関数	キャパシティ計算のタイプ。以下から 1 つ選択します。 最大 ネットワーク資産の最大数。 占有済み 占有されているネットワーク資産の合計数。 Available (利用可能) 利用可能なネットワーク資産の合計数。これは、最大資産と占有資産の差です。 最大隣接数 利用可能な最大連続ネットワーク資産。
戦略	キャパシティ計算の方法。以下から 1 つ選択します。 静的値 固定値または定数値を使用して容量を計算します。静的値アプローチでは、クエリーするレコードのフィールドを考慮せずに、事前定義されたメトリクスを使用してキャパシティを計算します。 アグリゲートクエリカウント 集計関数を使用してキャパシティを計算するデータベースクエリ。この戦略では、エンティティテーブルに存在するレコードの関連フィールドをクエリします。このタイプのクエリは、特定の条件を満たすレコード

キャパシティ機能フォーム (続く)

フィールド	値
	の合計数など、テーブル内のフィールドに関するサマリー情報を取得する場合に便利です。 値フィールド この戦略は、データベースに存在するクエリテーブル内の特定の値をチェックする場合に使用します。 スクリプト クエリーにスクリプトを使用する高度な戦略アプローチ。 選択した戦略に応じて、追加のフィールドがフォームに表示されます。追加フィールドの詳細については、「キャパシティ機能追加フィールド」を参照してください。
測定タイプ	測定単位は、計算されるキャパシティのタイプによって異なります。以下から 1 つ選択します。 • Unit (単位) • 電力 • 重み付け • スロットユニット • ポートユニット
注文	[順番] フィールドの値。

関連情報

[キャパシティ機能を作成](#)[キャパシティ管理](#)

変更要求関連のタブ

変更要求フォームの関連タブには、変更要求のコンテキストに基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。

変更要求関連のタブ

タブ	[Description (説明)]
影響を受ける CI	構成アイテム (CI) のリスト。これらの (CMDB からの) アイテムは、変更要求の影響を受けません。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。

変更要求関連のタブ (続く)

タブ	[Description (説明)]
	i 注: - 変更要求フォームの [影響を受ける CI] タブには、その変更要求の変更タスクによって作成されたすべての CI が一覧表示されます。このタブには、変更タスクの影響を受けるすべての CI も一覧表示されます。 - 変更タスクの影響を受ける CI リスト内の CI が手動で (または API を介して) 別の CI に変更された場合、その変更は対応する変更要求の影響を受ける CI リストでも更新されます。 - 変更タスクの影響を受ける CI リストの CI が手動で (または API を介して) 削除されると、対応する変更要求の影響を受ける CI リストで同じ CI が削除されます。
影響するサービス/CI	ビジネスサービスなどまたは他の CI クラスからの CI のリスト。これらのアイテムは、変更要求の影響を受ける CI の影響を受けます。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。
承認者	承認者のリスト。これらのアイテムは、ワークフローから自動的に生成されます。タスクにアサインされている承認者のグループを表示することもできます。
変更タスク	変更タスクのリスト。これらのアイテムはワークフローから作成されます。デフォルトのワークフローでは、[実装] ステータスでタスクが生成されます。新規変更タスクを作成することもできます。タスクの開始 予定日 と 終了予定日は、変更要求で指定された開始予定日と終了予定日の範囲内になければなりません。
問題	問題の説明のリスト。変更が問題から生成された場合、このリストが自動的に生成されます。
変更により修正されたインシデント	変更に対する解決が必要なインシデント。
変更によるインシデント	変更の実装によって引き起こされたインシデントのリスト。
タスク SLA	特定の変更タスクに添付されている SLA のタスク SLA レコードのリスト。
機能停止	CI の利用不可または機能停止のリスト。いずれかの CI アイテムに実際のダウンタイムがある場合は、機能停止情報が一覧表示されます。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド

一部のネットワーク資産インスタンスフィールドは、通信事業ネットワークインベントリ フォームの識別セクションで共通です。Now Platformはこれらのフィールドを使用して、ネットワークインベントリ資産を識別および分類します。

共通識別フィールド

フィールド	Description (説明)
アラーム可能である	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
可用性	リソースが使用されているかどうかの現在のステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 • Available (利用可能) • 使用済み • 予約済み • 共有
CLEI コード	このネットワーク資産に割り当てられた共通言語機器識別 (CLEI)。CLEI コードは、グローバルに一意な 10 文字の英数字のインテリジェントコードで、構造化された命名形式で機器を識別します。CLEI コードと製造元の製品コード (ハードウェアバージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。
CLLI コード	このネットワーク資産に割り当てられた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、CLLI コードを使用して電気通信機器の場所と機能を指定しています。
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン (🔍) を選択し、機能コードを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: - Deploy (展開) ネットワークに展開されているネットワーク資産。 - Design (デザイン) 設計目的で使用されているネットワーク資産。 - End of life (終了) 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 - Inventory (インベントリ)

共通識別フィールド (続く)

フィールド	Description (説明)
	ネットワークで使用中のインベントリアイテムであるネットワーク資産。 End of life (終了) 行方不明で見つけることができないネットワーク資産。 Operational (稼働中) 運用中のネットワーク資産。 Purchase (購入) ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: In Maintenance (メンテナンス中) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 In Use (使用中) 現在使用されているネットワーク資産。 Pending Retirement (廃止待ち) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
Location (ロケーション)	ネットワークサイトの地理的な場所。検索アイコン (🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita」を参照してください。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Telco 電気通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン (🔍) を選択し、製品モデルを選択します。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合やネットワーク停止の影響を受けた場合に、このネットワーク資産を交換できるかどうかを指定するオプション。

共通識別フィールド (続く)

フィールド	Description (説明)
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用する、オプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。
Serial number (シリアル番号)	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。
Support group (サポートグループ)	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
名前	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットのわかりやすい名前。
CIDR	サブネット、ゲートウェイの IP アドレス、およびサブネットマスクに関連付けられているクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)。VMware の場合、CIDR、ゲートウェイ、およびサブネットマスクのフィールドは必須です。
管理対象ネットワーク	この IP プールと IP サブネットワークに関連付けられている管理対象ネットワークの名前。
親プール	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットの親である IP プールの名前。
Description (説明)	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットに関する説明情報。
DNS ドメイン	IP アドレスの名前。
使用中の報告済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネットに使用されているアドレスの数。
報告済みフリーアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで空いているアドレスの数。
報告済み予約アドレス	この IP プールまたは IP サブネット用に予約されているアドレスの数。

ケーブル パラメータ フォーム

フィールド	[Description (説明)]
ケーブルタイプ	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用するケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上位層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブルラインの色。

ケーブル パラメータ フォーム (続く)

フィールド	[Description (説明)]
スペア長さ A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
スペア長さ Z	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド

アルファベット順にリストされているこれらのフィールドは、通信事業ネットワークインベントリフォームの一部またはほとんどの構成セクションに共通です。Now Platformはそれらを使用して、ネットワーク資産インスタンスを定義するときに個々のネットワーク資産を構成します。

フィールド	Description (説明)
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、 <code>Duty tech</code> は <code>Rahul Dev</code> です。
ディメンション	ネットワーク資産の物理的な寸法。
識別名	他の関連するネットワーク資産からの連結された名前と ID に基づく、ネットワーク資産の代替名参照。
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ワイヤレスデバイスと接続を表します。 Telco エッジまたはアクセスネットワークを表します。 Core

フィールド	Description (説明)
	コアネットワークインフラストラクチャを表します。
業務メモ	このネットワーク資産の自由形式の操作メモテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。
POTS 番号	このネットワークサイトに関連付けている一般電話サービス番号。
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン (🔍) を選択し、製品モデルを選択します。
Serial number (シリアル番号)	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。

[会社] フォーム

[会社] フォームを使用すると、会社コードの会社詳細をレビュー、登録、および変更できます。

[会社] フォーム

フィールド	説明
名前	会社の名前
電話	会社の電話番号
FAX	会社の FAX 番号
カスタマー	顧客を示すオプション。
銘柄コード	会社の 3 文字または 4 文字の在庫記号。
株価	会社の株式が販売されている現在の価格。
番地	会社の番地
市区町村	会社が所在する市
都道府県	会社が所在する都道府県
郵便番号	会社の郵便番号
メモ	会社に関する有用な情報

関連情報

[メーカーコードとベンダーコードの作成](#)

接続要素フォーム

[接続要素] フォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの物理接続と論理接続の接続要素を定義できます。このフォームの要素を作成、レビュー、更新、および削除できます。

接続要素フォーム

フィールド	Description (説明)
論理接続	接続要素が作成される論理接続の名前。
物理接続	接続要素が作成される物理接続の名前。
要素タイプ	選択できる接続要素のタイプ: • ネットワークインターフェイス • 物理接続 • 論理接続 • 管理対象ネットワーク機能 • 機器 • トポロジ
要素	要素タイプの要素。
順序	シーケンスの数。
ルーティング	ルートの数。
ケーブル	物理要素用のケーブル。
ストランド番号	物理要素のケーブル番号。

ラックビューから機器を作成

[新しい機器を作成] フォームでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、選択したラックから機器を作成できます。

新しい機器を作成

フィールド	Description (説明)
インベントリテンプレートを適用	設備のテンプレートを選択
名前	機器の名前
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: - Deploy (展開) - ネットワーク資産がネットワークに展開されます。 - Design (デザイン) - ネットワーク資産は設計目的で使用されています。 - End of life (終了) - ネットワーク資産の耐用年数が終了している。 - Inventory (インベントリ)

新しい機器を作成 (続く)

フィールド	Description (説明)
	ネットワーク資産は、ネットワークで使用中のインベントリアイテムです。 End of life (終了) ネットワーク資産が欠落しており、見つけることができません。 Operational (稼働中) ネットワーク資産が運用中である。 Purchase (購入) ネットワーク資産は、その耐用年数の購入段階にあります。
機器 CLLI	このネットワーク資産に割り当てられた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、CLLI コードを使用して電気通信機器の場所と機能を指定しています。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ネットワーク資産はモビリティ機器ドメインに関連付けられています。 Telco ネットワーク資産は、通信機器ドメインに関連付けられています。 Core ネットワーク資産はコア機器ドメインに関連付けられています。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステータス)	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: In Maintenance (メンテナンス中) ネットワーク資産は現在メンテナンス中です。 In Use (使用中) ネットワーク資産は現在使用中です。 Pending Retirement (廃止待ち) ネットワーク資産は現在メンテナンス中です。

新しい機器を作成 (続く)

フィールド	Description (説明)
Support group (サポートグループ)	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
ネットワークサイト	この機器のサイト
構成	[オプションのテンプレート] セクションで、マルチスロットのテンプレートを選択します。 i 注: このフィールドは、マルチスロットテンプレートの場合にのみ表示されます。

[論理接続を作成] フォーム

[論理接続を作成] フォームを使用すると、論理接続変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[論理接続を作成] フォーム

フィールド	Description (説明)
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動しています。
A 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成している場合、トポロジ接続モデルは表示されません。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器の終了。
Z 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
Bandwidth (帯域幅)	この論理接続の帯域幅。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て](#)

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームを使用すると、物理接続変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	Description (説明)
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動しています。
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている論理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
Bandwidth (帯域幅)	この物理接続の帯域幅。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て](#)

変更要求フォームと変更タスクフォーム

変更要求フォームを使用すると、変更を要求できます。

変更モデルの変更タスクフォーム

変更モデル	Description (説明)
ケーブルを追加	カードを追加するための変更タスクを作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の[カードを追加] フォームを参照してください。
Card を追加	インターフェイスカードを追加するための変更要求を作成する変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の[カードを追加] フォームを参照してください。
インベントリ機器を作成	インベントリ機器を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の機器の作成フォームを参照してください。 <i>i</i> 注: 計算と論理接続の作成フォームを確認するには、「[計算して論理接続を作成] フォーム」を参照してください。
論理接続を作成	論理接続を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求

変更モデルの変更タスクフォーム (続く)

変更モデル	Description (説明)
	フォームと変更タスクフォームを参照してください。 i 注: - 論理接続 CI を更新または変更するには、「構成アイテムの変更」を参照してください。 - 論理接続エンドポイントを変更するには、「論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成」を参照してください。
物理接続を作成	物理接続を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: - 物理接続 CI を更新または変更するには、「構成アイテムの変更」を参照してください。 - 物理接続エンドポイントを変更するには、「物理接続の変更を使用した変更要求の作成」を参照してください。
ラック/キャビネットを作成	変更モデルを使用して、ラックまたはキャビネットを作成および可視化するための変更要求を作成します。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。

変更モデルの変更タスクフォーム (続く)

変更モデル	Description (説明)
	i 注: - ラックまたはキャビネットを作成するには、以下が存在することを確認します。 - モデルカテゴリが機器ラックである機器ホルダーモデルのモデル。 - 関係タイプがラックからスロットであるネットワークモデル関係の関係。 - インベントリモデルにラックモデルがあるインベントリテンプレートのテンプレート。 テンプレートで選択されたラックモデルに基づいてラックが作成され、ラックテンプレートに基づいてラックスロットが作成されます。 - ラックに機器を追加するには、「ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成」を参照してください。
ラック/キャビネットに機器を追加	モデルを変更して、新規または既存の機器をラックに追加します。詳細については、「 変更要求フォームと変更タスクフォーム 」を参照してください。
ラック/キャビネットから機器またはシェルフを削除	モデルを変更して、ラックまたはキャビネットスロットから機器またはシェルフを削除します。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: シェルフが機器に関連している場合は、シェルフを取り外すことができません。
IP アドレスの割り当て	IP アドレス割り当ての変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の IP アドレス割り当てフォームを参照してください。
電話番号の割り当て	電話番号割り当ての変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の [電話番号の管理] フォームを参照してください。

GPON ブロードバンド - レコードプロデューサーフォーム

フィールド	Description (説明)
顧客サイト	ネットワークサイト。
ONT 機器テンプレート	機器テンプレート。

GPON ブロードバンド - レコードプロデューサーフォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
スプリッター	備品。
スプリッターポート	ポートインターフェイス。
PON ネットワークパス	Pon 論理接続。
ISPN VLAN	ISPN VLAN 論理接続。
ISP EVPN VPWS	ISP EVPN VPWS 論理接続。
IP バージョン	IP バージョン。
IP アドレスの数	IP アドレスの合計数。
開始 IP アドレス	開始 IP アドレス。

レコードプロデューサーフォーム - デザイン リンクアグリゲーショングループをアサイン

フィールド	Description (説明)
期日	この要求の終了予定日。
Site A (サイト A)	ソースサイトを選択できるテキストフィールド。
Equipment A (機器 A)	ソース機器を選択できるテキストフィールド。 i 注: このリストは、選択したサイト A によって異なります。
Interface A (インターフェイス A)	ソースインターフェイスを選択できるテキストフィールド。 i 注: - リストは、選択した機器によって異なります。 - 仮想としてマークされているインターフェイスのリストには表示されません。
Bandwidth (帯域幅)	送信元インターフェイスと宛先インターフェイス間で伝送する合計帯域幅を選択できるテキストフィールド。
開始日	この要求の開始予定日。
Site Z (サイト Z)	宛先サイトを選択できるテキストフィールド。
Equipment Z (機器 Z)	宛先機器を選択できるテキストフィールド。
Interface Z (インターフェイス Z)	宛先インターフェイスを選択できるテキストフィールド。 i 注: インターフェイス Z リストには、仮想としてマークされているインターフェイスは表示されません。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。このフィールドは、特定の変更を誰が要求したかを確認するために、[変更要求] リストビューで利用できます。
カテゴリ	この変更要求のカテゴリ。カテゴリがリストにない場合は、[その他]を選択します。
サービス	この変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。
サービスオフアリング	サービスのレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオフアリングを通じて、サービスに対してさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオフアリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
Configuration item (構成アイテム)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
Priority (優先度)	この変更要求の優先度。
リスク	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • 低
影響度	ビジネスプロセスに対する変更の影響度の測定。
簡単な説明	変更の概要。
[Description (説明)]	変更の詳細な説明。
モデル	通信事業ネットワークインベントリ変更要求に関連付けられている変更モデル。 変更モデルタイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のいずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加 機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器所有者でインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	論理接続を作成 2つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2つのネットワークインターフェイス間の物理接続を作成するために使用される変更モデル。 緊急 テレコムネットワークインベントリの緊急変更に使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンド注文要求を実行するために使用される変更モデル。 通常 通信事業ネットワークインベントリ通常の変更に使用される変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、変更 > すべて > [New (新規)] スクリーンショットです
ステータス	この変更要求の現在のステータス (新規またはクローズ)。
アサイン先グループ	変更要求に取り組んでいるグループ。
Assigned to (アサイン先)	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更は適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。

変更要求フォームの [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日時	実装の予定開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコン  を選択し、新しい日付を選択します。
終了予定日時	実装の予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終

変更要求フォームの [スケジュール] タブ (続く)

フィールド	説明
	了予定日を変更するには、カレンダーアイコン  を選択し、新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
開始実績日	実装の実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日	実装の実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日時より前にすることはできません。
CAB 委任者	変更を説明するために変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォームの [メモ] タブ

フィールド	[Description (説明)]
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取ることができるユーザー。

変更要求フォームの [クローズ情報] タブ

フィールド	[Description (説明)]
クローズコード	この変更要求をクローズする理由を最もよく表しているクローズコード。次のオプションのいずれかを選択します。 - 成功 - 不成功 (問題あり) - 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

タスクを変更フォーム

フィールド	説明
番号	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクが作成された変更要求番号。
Configuration item (構成アイテム)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	要求タイプ。選択内容に応じて、タスク属性の下のレコードプロデューサーフォームが更新されます。このフィールドは、変更要求のタイプを表します。次のいずれかを選択します。 CI を変更 このタイプの要求定義では、変更する CI を選択し、選択した CI の詳細と関連アイテムをクローン作成できます。[構成アイテム] フィールドは、サフィックスが変更されたクローン作成された CI 名で自動的に更新されます。 CI に加えられたすべての変更が、クローン作成された CI に適用されるようになります。また、元の CI と複製された CI の両方が [Affected CIs] タブに表示されます。クローン作成プロセスをカスタマイズするには、「#unique_87」を参照してください。 ケーブルを追加 このタイプの要求定義では、ケーブルレコードを作成できます。 カードの追加 このタイプの要求定義では、インターフェイスカードを追加するときにサイトと機器モデルを選択できます。機器のインスタンス化の詳細については、「電気通信の設計とアサイン」を参照してください。 機器を作成 このタイプの要求定義では、機器のインスタンス化のためのネットワークサイトとインベントリテンプレートを選択できます。ラック内に機器を配置する場合は、機器ホルダーを選択できます。 物理接続の作成と論理接続の作成 これらのタイプの要求定義には、開始 (A) の場所と終了 (Z) の場所間

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	の物理的または論理的な接続について、同様のサイトと機器の選択フィールドのセットがあります。A 開始インターフェイスと Z 終了インターフェイスには、指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみを選択できます。 物理接続または論理接続のインスタンス化では、2 つのサイト間に作成する接続のタイプに応じて、物理接続モデルまたは論理接続モデルを選択する必要があります。論理接続の場合、この内部コードによって CI レコードと追加のパス要素が作成されます。 論理接続 - パス計算 このタイプの要求定義には、開始場所と終了場所の一連のサイトフィールドと設備フィールドがあります。 論理接続のパス計算を開始するには、論理接続モデルを選択する必要があります。詳細については、「[計算して論理接続を作成] フォーム」を参照してください。 トポロジのメンバーの変更 このタイプの要求定義では、ケーブルレコードを作成できます。ネットワークトポロジレコードの変更の詳細については、「設計とアサインを使用したネットワークトポロジレコードの変更」をご参照ください。 IP アドレスの割り当て このタイプの要求定義を使用すると、IP アドレス割り当てをインスタンス化し、IP アドレスに新しいサービスを割り当てることができます。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームの IP アドレス割り当てフォーム」を参照してください。 電話番号の割り当て このタイプの要求定義を使用すると、電話番号の割り当てをインスタンス化できます。外部から提供される番号の割り当て、割り当て

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	解除、および作成を行うことができます。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の [電話番号の管理] フォームを参照してください。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
[Description (説明)]	この注文タスクの説明。
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 保留 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対してはまだアクションが実行されていません。 進行中 タスク処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループの名前。検索アイコン (検索 ) を選択して、リストからグループを選択します。
Assigned to (アサイン先)	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン () を選択すると、ユーザーのリストが表示されます。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクをクローズ	注文タスクの状況を [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

インベントリ機器を作成またはラック/キャビネットを作成:タスク属性

フィールド	Description (説明)
インベントリテンプレート	機器モデルのインベントリテンプレートの名前。インスタンス化プロセスはこれを使用し

インベントリ機器を作成またはラック/キャビネットを作成:タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
	て、指定されたネットワークサイトにネットワーク資産インスタンスを生成します。 i 注: - 選択したインベントリテンプレートに応じて、オプションのテンプレートのリストがフォームの下部に表示されます。 - オプションのテンプレートを選択すると、現在のテンプレート値が上書きされます。 - このフィールドは、インベントリ機器の作成にのみ適用されます。
機器所有者	電気通信機器ホルダーの名前。機器を設置できるラックまたはキャビネットを選択します。 i 注: Telco 機器ホルダーフィールドには、すべてのラックとキャビネットがリストされます。 - このフィールドは、インベントリ機器の作成にのみ適用されます。
ネットワークサイト	プロセスが機器をインスタンス化しているネットワークサイトの名前。
ラック/キャビネットテンプレート	すべてのスロットを追加するラックテンプレートのテンプレート名。 i 注: - 選択した ラックテンプレート、 倉庫の場所、および 資産 に基づいて、スロット、ネットワークサイト、および関連するネットワークサイトが追加されます。 - このフィールドは、[ラックを作成] にのみ適用されます。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。 詳細については、「通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合」を参照してください。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。

インベントリ機器を作成またはラック/キャビネットを作成:タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
	詳細については、「 通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合 」を参照してください。

カードフォームを追加:タスク属性

フィールド	Description (説明)
サイト	このカードをインストールするサイト。
機器	このカードを取り付ける装置。
スロット	このカードを挿入するスロット。
テンプレート	このカードのテンプレートを選択します。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。詳細については、「 通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合 」を参照してください。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。詳細については、「 通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合 」を参照してください。
スロットスパン	選択したカードに必要な場合に複数のスロットを選択するための複数スロットセクター。このフィールドは、選択したテンプレートに基づいて表示されます。 i 注: リストには、カードが入っていないスロットとサブスロットのリストのみが表示されます。

自動翻訳

IP アドレス割り当てフォーム - タスク属性

フィールド	説明
操作タイプ	操作のタイプ次のオプションのいずれかを選択します。 IPネットワークサブネットを作成:CIDR値を使用してネットワークサブネットを作成します。 i 注: IP ネットワークサブネットを作成すると、[IP サブネットワークを作成] フローアクションが開始されます。詳細については、「IP サブネットワーク機能を作成」を参照してください。

IP アドレス割り当てフォーム - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	• CIDR を IP アドレスに変換: 単一または複数の CIDR を IP アドレスに変換し、IP アドレス割り当てに格納します。 i 注: CIDR から IP アドレスへの変換では、CIDR から IP への範囲フローアクションが開始されます。詳細については、「CIDR から IP 範囲への機能」を参照してください。
名前	この IP 割り当ての名前。
IP プール	この IP アドレス割り当ての親プール。
IP ネットワークサブネット CIDR	CIDR 値。
管理対象ネットワーク	選択してネットワークをアサインできる IP アドレスまたは割り当て。
構成アイテムが所有	この割り当てを所有する構成アイテム。
IP ネットワークサブネット	CIDR を IP アドレスに変換するために検索して選択したネットワークサブネット。 i 注: このフィールドは、CIDR を IP アドレスに変換する場合にのみ使用されます。

電話番号の管理 - タスク属性

フィールド	Description (説明)
アクション	選択できるアクション: • 割り当て:ブロックから番号を割り当てます • 割り当て解除:番号の割り当てを解除します。番号のステータスが [隔離] に変更されます。 i 注: このアクションを選択するときは、割り当て解除する割り当てまたは選択した番号を選択する必要があります。このアクションにより、ステータスが [隔離] に変更されます。 • 移植:別のオペレーターから移動された番号が含まれます。番号は、電話番号のみの電話番号割り当てに格納されます。 i 注: 番号が一連の番号に含まれていない場合は、複数の割り当てが作成されません。また、デフォルトでは、番号は [アサイン済み] または [移植済み] ステータスに変更されます。

電話番号の管理 - タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
	作成:外部電話ブロックに割り当てられた番号の電話番号割り当てを作成します。ネットワークインベントリベースの電話番号割り当てに番号を割り当てています。
サービス	これらの番号のサービス。選択したサービスが番号に割り当てられます。 i 注: この電話番号のサービスが作成されたことを確認します。詳細については、「xNF および xNF インスタンスの作成」を参照してください。
数量	必要な電話番号の合計数。 i 注: このフィールドは、割り当て解除されたアクションでは表示されなくなります。
電話番号の割り当て	入力した指定された情報に基づく利用可能な番号割り当て。回線番号の電話番号割り当てを選択できます。
行番号	必要な行番号を xxxx-xxxx または xxx-xxx または xxx, xxx-xxx の形式で入力します。 i 注: 行番号が一連の番号に含まれていない場合、複数の電話番号割り当てが作成されます。また、これらの番号のステータスは [アサイン済み] または [移植済み] に更新され、可用性は [いいえ] になります。

トポロジの設計と割り当てフォーム - タスク属性

フィールド	説明
名前	トポロジの名前。
トポロジモデル	トポロジに関連付けられたインベントリモデル。
Bandwidth (帯域幅)	トポロジの帯域幅。
トポロジサイト	トポロジに関連付けられているサイト。複数のサイトを選択できます。
トポロジノード	トポロジに関連付けられた機器 (ノード)。複数のノードを選択できます。
ルートノード	トポロジノードの中のルートノード。
トポロジ接続タイプ	接続のタイプ次のいずれかを選択します。

トポロジの設計と割り当てフォーム - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	• Logical Connection (論理接続) • 物理接続
トポロジ接続	トポロジに関連付けられている接続。複数の接続レコードを選択できます。

論理/物理接続フォーム - タスク属性/ 物理/論理接続の変更 - タスク属性

フィールド	Description (説明)
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成している場合、トポロジ接続モデルは表示されません。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
論理接続テンプレート	選択した論理接続モデルに基づくすべてのテンプレートのリスト。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続に対するサイト A からサイト Z への総帯域幅容量。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続に対するサイト A からサイト Z への総帯域幅容量。
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動しています。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器の終了。
親ポート A	新しい論理インターフェイスが接続の ポート A を表すネットワークインターフェイス。 i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいてデフォルトで作成され、論理接続または物理接続の [構成] セクションのポート A フィールドに入力されます。論理インターフェイスは、ポート名と子ポートの数、および選択したポートの 1 つを示します。
親ポート Z	新しい論理インターフェイスが接続の ポート Z を表すネットワークインターフェイス。

論理/物理接続フォーム - タスク属性/ 物理/論理接続の変更 - タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
	i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいてデフォルトで作成され、[構成] セクションの [論理接続または物理接続] セクションの [ポート Z] フィールドに入力されます。論理インターフェイスは、ポート名と子ポートの数、および選択されたポートの 1 つを示します。
オーバーレイ接続を移動	変更された接続のすべての依存接続を現在のインターフェイスから新しいインターフェイスに移動するオプション。このチェックボックスの選択を解除して、論理接続を手動で更新することもできます。 i 注: このフィールドは、物理接続エンドポイントの変更モデルにのみ適用されます。

論理/物理接続変更要求フォーム

フィールド	Description (説明)
A 終了サイト	開始ネットワーク (サイト A フィールド) 選択した論理接続または物理接続が構成されているサイト。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z 終了サイト	この選択した論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワークサイト ([サイト Z] フィールド)。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
A 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている開始ネットワーク (サイト A フィールド) 機器。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワーク (サイト Z フィールド) 機器。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
	i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
A 終了インターフェイス	開始インターフェイス (サイト A フィールド) この論理接続または物理接続が構成されているポイント。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z 終了インターフェイス	この論理接続または物理接続が構成されている終了インターフェイス ([サイト Z] フィールド) ポイント。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Logical Connection (論理接続)	変更が必要な論理接続をリストから選択します。 i 注: - リストには、論理接続とそのリビジョンの両方が含まれます。論理接続のリビジョンを選択すると、[リビジョンを作成] チェックボックスが消えます。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動的に入力されます。
物理接続	変更が必要な物理接続をリストから選択します。 i 注: - このリストには、物理的なリビジョンとそのリビジョンの両方が含まれます。物理接続のリビジョンを選択すると、「リビジョンを作成」チェック・ボックスが消えます。 - このフィールドは、物理接続変更フォームにのみ適用されます。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動的に入力されます。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
リビジョンを作成	リビジョンプロセスを有効または無効にするオプション。 i 注: - このチェックボックスをオンにすると、次のようになります。 - リビジョンプロセスが開始されます。詳細については、「構成アイテムの改訂、運用化、および廃止」を参照してください。 - 変更とリビジョンの 2 つの変更タスクが、それぞれ [オープン] ステータスと [クローズ済み] ステータスで作成されます。 [論理接続または物理接続の変更] 変更タスクを開いて、重複する論理接続または物理接続の変更を開始し、さらに運用化します。詳細については、「構成アイテム (CI) の運用化」を参照してください。 - 物理接続変更の改訂プロセスでは、物理接続ポートに関連付けられた論理接続が運用化プロセス中に更新されます。

ラック/キャビネットに機器を追加、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除:タスク属性

フィールド	Description (説明)
ネットワークサイト	追加または削除する機器またはシェルフが含まれているネットワークサイト。 i 注: - このフィールドは、ラックに機器を追加したり、ラックから機器やシェルフを削除したりする場合にのみ適用されます。 - リストには、ラックがあるサイトのみが表示されます。
ラック/キャビネット	追加または削除する機器またはシェルフのラック名。 i 注: このフィールドは、ラックまたはキャビネットに機器を追加し、ラックまたはキャビネットから機器を削除する場合にのみ適用されます。

ラック/キャビネットに機器を追加、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除:タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
機器/シェルフ	選択したラックまたはキャビネットに追加または削除する機器またはシェルフ。 i 注: このフィールドは、ラックまたはキャビネットに機器を追加し、ラックまたはキャビネットから機器またはシェルフを削除する場合にのみ適用されます。
使用可能な RU	選択した機器を配置できるラックユニットのリスト。 i 注: - このリストは、選択した機器の RU にも基づいています。 - このフィールドは、機器の編集およびラックへの追加中に表示されます。
正面図	選択したラックまたはキャビネットの正面図。デフォルトでは、[はい] が選択されています。 i 注: [いいえ] を選択すると、機器は背面に配置されます view. - 機器はラックユニットに取り付けて、フロントユニット全体または半分を占有できます。
排他的に使用	デフォルトでは、[はい] が選択されています。ラックユニットを複数の機器に使用する場合は、[いいえ] を選択します。また、このフィールドを選択しない場合は、ラックの前面と背面の両方に機器を配置できます。 i 注: 「はい」を選択すると、選択した機器がラックユニットの前面と背面の両方を占めます。 - 複数の機器を配置できるのは、シェルフ 機器ホルダータイプのみです。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita」を参照してください。
ラックスロット	選択した機器を取り付けることができるラックユニットのリスト。

ラック/キャビネットに機器を追加、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除:タスク属性 (続く)

フィールド	Description (説明)
	i 注: - 選択した機器のラックユニットは、モデルの高さ (U) フィールドに基づいて自動的に入力されます。たとえば、選択した機器に 2 つのラックユニットが必要であることがフィールドに示されている場合、1 つのラックユニット RU-10 のみが明示的に選択されていても、システムは機器を収容するために RU-10 と RU-11 の両方を自動的に予約します。 - 機器には必ず連続ラックユニットを選択してください。 [高さ (U)] フィールドを空のままにすると、ここで指定したラックスロットが代わりに使用されます。 - ラックが複数のネットワークモデル関係にリンクされている場合、ラックに割り当てられるラックスロットの合計数は、各モデル関係に指定された カウント 値を合計することによって決定されます。 - ラックスロットの数を変更するには、関連する [カウント] 値を調整し、それに応じて余分なスロットを管理します。ラックスロット数が定義されていない場合、ラックスロットの作成と削除は無制限です。

関連情報

[設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

デフォルトテンプレートフォーム

[デフォルトテンプレート] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートを作成、レビューおよび変更し、テンプレートの生成をスケジュールできます。

デフォルトテンプレートフォーム

[デフォルトテンプレート] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

デフォルトテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	このデフォルトテンプレートの名前。

デフォルトテンプレートフォーム (続く)

フィールド	説明
テーブル	このデフォルトテンプレートの基にする構成アイテム (CI) クラスの日付を含むテーブルの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、テーブルを選択します。
[Active (アクティブ)]	このデフォルトテンプレートがアクティブかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	このネットワーク資産の簡単な概要。
アプリケーション	デフォルトテンプレートが関連付けられているアプリケーションの名前。会社が購入したライセンスに基づいて、[Network Inventory Core] または [Network Inventory Advanced] が表示されます。
ドメイン	テンプレートが作成されるシステムドメイン。
ユーザー	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーの名前。検索 (🔍) をクリックし、ユーザーを選択します。
グループ	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーグループの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、ユーザーグループを選択します。
グローバル	デフォルトテンプレートがグローバルスコープ内にあることを示すオプション。そうでない場合は、アサインされたスコープが表示されます。
テンプレート	テーブル属性の名前とその値。このフィールドを使用して、[テーブル] フィールドで選択したテーブルから属性を選択し、各属性に特定の値を設定できます。このテンプレートを使用して正味資産インスタンスを生成するための機器インベントリの作成変更要求を作成すると、生成される構成に特定の値を渡すことができます。

関連情報

デフォルトテンプレートの作成

予定エンティティ生成フォーム

[スケジュールされたエンティティ生成] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートのスケジュール生成の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

予定エンティティ生成フォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール済みジョブを識別する名前。デフォルト値はテンプレート名です。必要に応じて、このフィールドを更新できます。
[Active (アクティブ)]	スケジュール済みジョブがアクティブであり、指定された日時に行う必要があることを示すオプション。

予定エンティティ生成フォーム (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	エンティティを含むアプリケーションの名前。エンティティがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
ラン	スケジュール済みジョブの実行に使用する時間間隔。詳細については、「 テンプレートから何かを自動的に生成する 」を参照してください。
タイムゾーン	公的な目的のために特定の標準時に従う地域。
時刻	スケジュール済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
Conditional (条件付き)	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true または false) で評価されます。このテキスト ボックスは、[条件] を選択した場合にのみ表示されます。
これを生成	スケジュール済みジョブの生成元のテンプレートレコードへの参照。

関連情報

[デフォルトテンプレートの作成](#)

GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て

Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンド注文要求を満たすための自動化された一連のタスクを作成できます。

GPON ブロードバンドサービスの概要

製品マネージャーは、GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して、GPON ブロードバンドサービスのインベントリを設計および割り当てることができます。このモデルを使用すると、顧客の注文やネットワーク拡張の要求を満たすことができます。

GPON ブロードバンドサービス要求の実行プロセスを変更

変更要求の実行プロセスには、GPON ブロードバンドサービス要求に対して完了する必要があるタスクステージが含まれています。要求を正常に完了するには、これらのタスクステージを次の順序で実行する必要があります。

変更要求の作成

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成します。詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

パスの計算と論理接続の作成

ネットワークサイト間の可能なパスを特定し、各サイト間に論理接続を作成します。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

論理接続を作成

開始 (A) の場所と終了 (Z) の場所の間の物理的および論理的な接続に、同様のサイト選択フィールドのセットを追加します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

物理接続を作成する

開始 (A) の場所と終了 (Z) の場所間の物理的および論理的な接続に同様のサイト選択フィールドのセットを追加して、インベントリ機器を構成します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

インターフェイスカードの追加

インターフェイスカードを追加するときに、サイトと機器モデルを選択します。[スロット] フィールドを使用して、機器モデルに追加するスロットを選択します。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

機器を作成

機器のインスタンス化に使用するネットワークサイトと機器モデルを選択します。インスタンス化プロセスは、サイトレベルで機器レコードを生成して検証するときに実行されます。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)

このシーケンスを完了すると、GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当ての手順を完了できます。

このプロセスを正常に実行するには、一連の条件とシナリオを考慮する必要があります。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルのパス計算

内部パス計算関数は、GPON ブロードバンドサービス変更モデルの一部です。その目的は、ネットワークサイト間の可能なパスを特定することです。この計算は、GPON ブロードバンドサービス変更モデルに関連付けられている各変更タスクを完了するときに入力するパラメーターに基づいています。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成し、その要求を保存すると、5つのデフォルトの変更タスクが作成されます。詳細については、「[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

次のシナリオは、GPON ブロードバンドサービス要求を完了するプロセスを実行するときに、パス計算で処理されます。

- すべての物理接続が使用可能になると、パッシブ光ディスクネットワーク (PON) アクセス・パスが作成されます。
- スプリッターと PFP 間の物理接続が使用されると、PON アクセス・パスは失敗します。
- すべての物理接続が使用可能な場合、PON ネットワークパスが作成されます。
- OLT と FDP 間の物理接続が使用されている場合、PON ネットワークパスの作成は失敗します。

- すべての論理接続が共有されている場合、VLAN パス検索で接続を作成できます。
- リンクアグリゲーショングループ(LAG)パスが使用されている場合、VLAN パス検索は失敗します。

パス計算では、GPON ブロードバンドサービス変更モデルに関連付けられた各変更タスクのレコードプロデューサーを使用して、必要なデータを収集します。GPON ブロードバンドサービス変更モデルから作成した論理接続の計算と作成の変更タスクを完了すると、ほとんどの接続データが収集されます。

1. パス検索は、接続の A 接続側に指定した機器モデルと、Z 側接続で指定した機器モデルの間で実行されます。
2. パス検索は、接続の A 接続側に指定した機器モデルと、Z 側接続で指定した機器タイプの間で実行されます。
 - 論理接続モデルは、パス計算後に作成する必要がある論理接続のモデルを示します。
 - 帯域幅は帯域幅テーブルを参照します。
 - 許可された物理接続モデルは、パスの検索に使用でき、パス要素に追加される物理接続 CI モデルをキャプチャします。

パス計算は、次の条件で機能します。

1. インターフェイスまでの機器階層には、インベントリ機器の作成変更モデルを使用して機器をインスタンス化すると更新される *Contains:: Contained By* 関係があります。
2. 機器はネットワークサイトに関連しています。この条件は、[インベントリ機器を作成] 変更モデルを使用して機器をインスタンス化する場合にも適用されます。
3. インターフェイス間に作成する物理接続は、有効なモデルに関連付けられます。
4. [物理接続を作成] 変更モデルを使用して物理接続を作成すると、サイト間に CI 関係が作成されます。
5. インターフェイス間に作成する論理接続は、有効なモデルに関連付けられます。
6. [物理接続を作成] 変更モデルを使用して論理接続を作成すると、それらのサイト間に CI 関係が作成されます。
7. 論理接続の接続要素が追加されます。これらの要素は、計算でパス検索を実行するときに、サイト間の有効な物理接続である必要があります。
8. 物理接続と論理接続用にポート A とポート Z を設定する必要があります。
9. 物理接続と論理接続の [可用性] フィールドは、これらの接続をルーティングの基盤となるパスとして認定するために使用できる必要があります。この検証により、リソースが複数回使用されなくなります。

パス計算で発生するエラーの詳細については[パス計算エラーメッセージ](#)を参照してください。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)

機器所有者フォーム

機器所有者フォームを使用すると、機器所有者のネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

機器所有者フォーム:一般

フィールド	説明
名前	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
Serial number (シリアル番号)	このネットワーク資産内の占有されている機器所有者ユニットと利用可能な機器所有者ユニットの合計数。
資産	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
Support group (サポートグループ)	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: Deploy (展開) ネットワークに展開されているネットワーク資産。 Design (デザイン) 設計目的で使用されているネットワーク資産。 End of life (終了) 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory (インベントリ) ネットワークで使用中のインベントリアイテムであるネットワーク資産。 End of life (終了) 行方不明で見つけることができないネットワーク資産。 Operational (稼働中) 運用中のネットワーク資産。 Purchase (購入) ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。

機器所有者フォーム:一般 (続く)

フィールド	説明
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: In Maintenance (メンテナンス中) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 In Use (使用中) 現在使用されているネットワーク資産。 Pending Retirement (廃止待ち) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	このネットワーク資産に対するメーカーのモデル識別番号。
アラーム可能	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。

機器所有者フォーム:構成

フィールド	説明
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニットの位置。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Telco 通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。

機器所有者フォーム:構成 (続く)

フィールド	説明
	Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
占有ユニット	このネットワーク資産内の占有されている機器所有者ユニットと利用可能な機器所有者ユニットの合計数。
使用中ユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
利用可能なユニット	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
割り当て電力	資産に割り当てられた最大電力。 i 注: - ラック/キャビネットの電力容量を維持するには、10ワットの最小値を組み込むことが不可欠です。 - デフォルトでは、値はキャパシティメトリクスでキロワット (KW) に変換され、変換式は次のとおりです - ワット (W) - <ワット電力> / 1000 - メガワット (MW) - 1000 * <メガワット> - 馬力 (HP) - 0.746 * <馬力>
割り当てられた電力ユニット	資産に割り当てられた電力を測定する単位。次のいずれかの単位を選択します。 - ワット (W) - キロワット (KW) - メガワット (MW) - 馬力 (HP)
測定系の単位	最大重量キャパシティユニットがフェッチされる測定タイプ。次のいずれかの測定タイプを選択します。 - メトリクス - 米国帝国単位
最大重量キャパシティ	資産の最大キャパシティ。

機器所有者フォーム:構成 (続く)

フィールド	説明
	i 注: デフォルトでは、キャパシティメトリクスの値はポンド (lbs) に変換され、変換式は次のとおりです • オンス:<オンス重量>/ 16 • グラム: <グラム単位の重量> / 453.59 • キログラム: 2.204 * <キログラム単位の重量>
最大重量キャパシティユニット	資産の重量を測定する単位。次のいずれかを選択します。 • グラム (g) i 注: このフィールドは、測定単位にメートル法が使用されている場合にのみアクセスできます。 • キログラム (kg) i 注: このフィールドは、測定単位にメートル法が使用されている場合にのみアクセスできます。 • オンス (oz) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムが使用されている場合にのみアクセスできます。 • ポンド (lbs) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムが使用されている場合にのみアクセスできます。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita>

機器所有者拡張クラス

機器ホルダー拡張クラスは、機器ホルダーから拡張されたサブクラスです。これらのクラスの機器ホルダーレコードは、 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義できます。

機器ホルダー拡張クラス

クラス名	テーブル名	拡張元	Description (説明)
キャビネット	cmdb_ci_container_cabinets	cmdb_ci_equipment_holders	通信キャビネットは、通信キャビネットまたは機器キャビネットとも呼ばれ、スイッチ、ルーター、パッチパネル、電源などのさまざまな電気通信およびネットワーク機器を収

機器ホルダー拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	拡張元	Description (説明)
			容および保護するために使用される物理的なエンクロージャです。これは、ネットワークまたはデータセンター内の電気通信インフラストラクチャのインストール、管理、および相互接続のための安全で組織化された環境を提供します。
マルチラック	cmdb_ci_container_multirack	cmdb_ci_equipment_holder	マルチラックは、マルチラックシステムまたはマルチラックエンクロージャとも呼ばれ、大量の電気通信機器やネットワーク機器を一元的に収容および整理するために使用される、相互接続された複数の機器ラックで構成される構成です。容量と拡張性が拡張され、データセンターや通信施設内の機器の効率的な展開と管理が可能になります。
ラック	cmdb_ci_container_rack	cmdb_ci_equipment_holder	ラックは、一般にサーバーラックまたは機器ラックと呼ばれ、サーバー、ネットワークデバイス、ストレージユニットなどのさまざまな IT および通信機器を安全に保持および整理するために設計されたフレームワークです。標準化されたフォームファクタにより、データセンターやその他のテクノロジー環境での機器の設置、整理、メンテナンスが容易になります。
シェルフ	cmdb_ci_container_shelf	cmdb_ci_equipment_holder	シェルフホルダーは、ラックシェルフまたは機器シェルフとも呼ばれ、ラックまたは機器キャビネット内でラックマウント以外の機器またはデバイスを支え

機器ホルダー拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	拡張元	Description (説明)
			て保持するように設計されたコンポーネントです。ラックマウント機能が組み込まれていない機器に安定したプラットフォームを提供し、ラックインフラストラクチャ内のさまざまなデバイスの効率的な整理と統合を可能にします。
スロット	cmdb_ci_container_slot	cmdb_ci_equipment_holder	テクノロジーとハードウェアのコンテキストでは、スロットとは、拡張カードやメモリモジュールなどの特定のタイプのコンポーネントを保持して収容するように設計された物理的または仮想的なレセプタクルを指します。これは、コンポーネントをメインシステムまたはデバイスに挿入して接続するための標準化されたインターフェイスと場所を提供します。
サブスロット	cmdb_ci_container_subslot	cmdb_ci_equipment_holder	このコンテキストでは、カード上に存在し、子カードを収容できるスロットはサブスロットと見なされます。

関連情報

[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita](#)

機器拡張クラス

機器拡張クラスは、通信機器、ネットワーク機器、およびハードウェアテーブルから拡張されたサブクラスです。これらのクラスの機器レコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義できます。

機器拡張クラス

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
パワーオーバーイーサネットデバイス	cmdb_ci_power_over_ethernet_device	cmdb_ci_switch	PoE(Power over Ethernet)は、1本の

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			イーサネットケーブルでデータと電力の両方を伝送できる技術で、IPカメラ、無線アクセスポイント、VoIP 電話などのネットワークデバイスの展開と接続を簡素化し、電源を分離する必要がなくなります。これにより、ネットワークインフラストラクチャのインストールが容易になり、柔軟性が高まります。
サービスアグリゲーションルーター	cmdb_ci_service_aggregation_router	cmdb_ci_service_aggregation_router	サービスアグリゲーションルーターは、複数のサービスプロバイダーまたはネットワーク接続からのトラフィックを統合して単一のネットワークインフラストラクチャにルーティングし、サービスの効率的な管理とエンドユーザーまたは複数の場所への配信を可能にするネットワークデバイスです。これは、さまざまなソースからのトラフィックを集約および転送するための一元化されたハブとして機能し、ネットワークパフォーマンスを最適化し、ネットワーク管理を簡素化します。
住宅ゲートウェイ	cmdb_ci_residential_gateway	cmdb_ci_modem_network_gateway	レジデンシャルゲートウェイは、モデム、ルーター、その他のネットワークコンポーネントの機能を組み合わせたデバイスであり、インターネット接続、ローカルネットワーク管理、および Wi-Fi、ファイアウォール、音声機能などの追加サービスを住宅ユーザーや小規模ホームネットワークに提供

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			します。これは、インターネットアクセスの主要なエントリポイントとして機能し、ホームネットワーク内のデバイスの接続と通信を可能にします。
マルチサービスネットワークルーター	cmdb_ci_multi_service_network_router	cmdb_ci_netgear	マルチサービスネットワークルーターは、イーサネット、MPLS、IPなどのさまざまなネットワークプロトコルまたはテクノロジーを介して、データ、音声、ビデオなどのさまざまなタイプのネットワークトラフィックをサポートおよびルーティングできる汎用ネットワークデバイスです。単一のルーターインフラストラクチャ内で複数のサービスと多様なトラフィックタイプを処理する機能を提供し、さまざまなアプリケーションやシステムの効率的な通信と接続を促進します。
ファブリック相互接続	cmdb_ci_fabric_interconnect	cmdb_ci_netgear	ファブリック インターコネクトは、複数のサーバー、ストレージシステム、およびその他のネットワーク デバイスを接続および管理するための中央スイッチとして機能する、データセンターアーキテクチャのネットワーク コンポーネントです。高速通信を提供し、データセンターインフラストラクチャ内のさまざまなコンポーネント間の効率的なデータフローを可能にします。
プロトコルコンバーター	cmdb_ci_protocol_converter	cmdb_ci_netgear	相互運用性を実現するために、あるデバイス

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			の標準または独自のプロトコルを他のデバイスまたはツールに適したプロトコルに変換するために使用されるデバイス。
ネットワークモニタリング	cmdb_ci_network_monitoring	cmdb_ci_network_testing	ネットワーク監視ユニットは、ネットワークトラフィック、パフォーマンス、およびセキュリティをリアルタイムで継続的に監視および分析する専用のデバイスまたはソフトウェアシステムであり、ネットワークインフラストラクチャの健全性とステータスに関するインサイト、アラート、および可視化を管理者に提供します。最適なネットワークパフォーマンスの確保、異常の検出、問題のトラブルシューティング、ネットワークセキュリティの維持に役立ちます。
ネットワークタップ	cmdb_ci_network_tap	cmdb_ci_network_monitoring	ネットワークタップは、特定のネットワークリンクを通過するデータのコピーを外部の監視ツールまたは分析ツールに提供することで、ネットワークトラフィックの非侵入型の監視またはキャプチャを可能にするパッシブハードウェアデバイスです。これにより、ネットワーク管理者は、ネットワークの通常の運用を中断したり影響を与えたりすることなく、ネットワークトラフィックを可視化できます。
ネットワークテストユニット	cmdb_ci_network_testing	cmdb_ci_network_testing	ネットワークテストユニットは、コンピューターネットワークのパ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			パフォーマンス、機能、および信頼性を評価および評価するために使用されるデバイスまたはソフトウェアツールです。多くの場合、テストトラフィックの生成やネットワーク条件のシミュレーションを通じて、ネットワークパラメーターの測定、問題の特定、構成の検証、最適なネットワークパフォーマンスの確保に役立ちます。
無線アクセスネットワーク	cmdb_ci_radio_access_network	cmdb_ci_ni_telco_equipment	無線アクセスネットワーク (RAN) は、ユーザーデバイスとコアネットワーク間の無線通信を担当するインフラストラクチャとコンポーネントを含むモバイル通信システムの一部であり、無線周波数を介した接続とデータ伝送を可能にします。
無線コントロールハードウェア	cmdb_ci_radio_control_hardware	cmdb_ci_radio_access_network	無線制御ハードウェアとは、無線周波数信号を使用してさまざまなデバイスまたはメカニズムのリモート制御を可能にするデバイス、コンポーネント、およびシステムを指します。通常、送信機、受信機、アンテナ、および関連する回路が含まれ、ユーザーは車両、ドローン、ロボットシステム、またはその他の電子機器を離れた場所からワイヤレスで操作および制御できます。
分散型アンテナシステムリモート	cmdb_ci_distributed_antenna_system_remote	cmdb_ci_radio_access_network	DAS リモートは、分散型アンテナシステムリモートとも呼ばれ、中央の DAS ユニットに接続し、遠隔地や建物に無線信号を配信し、そ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			これらの場所で信頼性の高い無線接続を確保することで、無線ネットワークのカバレッジと容量を拡張する無線通信インフラストラクチャのコンポーネントです。
分散型アンテナシステムコントローラー	cmdb_ci_distributed_antenna_system_controller	cmdb_ci_radio_control	DAS ネットローラ(分散アンテナシステムコントローラ)は、分散アンテナシステムの動作を管理および制御するネットワークデバイスです。複数の DAS リモコンの信号配信、最適化、調整を監督し、特定のエリアや会場内の無線通信の効率的なカバレッジ、容量、品質を確保します。
スモールセル無線ゲートウェイ	cmdb_ci_small_cell_radio_gateway	cmdb_ci_radio_control	スモールセル無線ゲートウェイは、スモールセル基地局とコアネットワークインフラストラクチャ間のインターフェイスとして機能するデバイスです。これにより、スモールセル無線とより広いネットワーク間の通信が容易になり、ユーザー密度が高いエリアやマクロセルカバレッジが限られているエリアでのワイヤレスカバレッジと容量の拡張が可能になります。
ベースバンドユニット	cmdb_ci_baseband_unit	cmdb_ci_radio_control	ベースバンドユニット (BBU) は、無線でデータを送受信するためのデジタルベースバンド信号を処理および管理するワイヤレス通信システムの重要なコンポーネントです。変調、符号化、復号化、信号処理などの機能を実行し、無線アクセスネットワークの背後にある

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			インテリジェンスとして機能します。
EnodeB	cmdb_ci_enode_b	cmdb_ci_baseband_unit	EnodeBは、Evolved Node Bの略で、無線通信の基地局として機能し、ユーザーデバイスをコアネットワークに接続し、無線リソースを管理するLTE TM (Long-Term Evolution) ネットワークアーキテクチャの重要なコンポーネントです。
GnodeB	cmdb_ci_gnode_b	cmdb_ci_baseband_unit	GNodeB (Next-Generation NodeB) とは、5G ネットワークの文脈で使用される用語で、ユーザーデバイスと5G コアネットワーク間のインターフェースとして機能し、高速無線通信を可能にし、大規模な接続性や低遅延などの高度な機能をサポートする基地局を指します。
混合 NodeB	cmdb_ci_mixed_node_b	cmdb_ci_baseband_unit	混合 NodeB デバイスとは、複数の無線アクセス技術をサポートする通信機器を指し、通常は 2G と 3G の両方の技術を 1 つの基地局に組み合わせます。
基地局コントローラー	cmdb_ci_base_station_controller	cmdb_ci_baseband_unit	基地局コントローラー (BSC) は、1 つ以上の基地局 (BTS) を管理および制御するセルラーシステムのネットワーク要素です。無線リソース管理、通話制御、ハンドオーバー管理などのタスクを処理し、BTSとモバイルスイッチングセンター (MSC) またはコアネットワーク間の効率的な運用と通信を確保します。

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
無線伝送ハードウェア	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	cmdb_ci_radio_transmission_hardware_access	無線伝送ハードウェアとは、無線通信システムで無線信号を送信するプロセスで使用する物理的なコンポーネントおよび機器を指します。
スモールセル無線ノード	cmdb_ci_small_cell_radio_node	cmdb_ci_radio_transmission_hardware_access	スモールセル無線ノードは、コンパクトで低電力の基地局であり、ユーザー密度が高いエリアやマクロセルカバレッジが限られているエリアでセルラーネットワークのカバレッジと容量を拡張します。ローカライズされたワイヤレス接続を提供し、通常は都市環境や屋内環境の狭い地理的領域にサービスを提供することで、ネットワークトラフィックの負荷を軽減します。
リモート無線ユニット	cmdb_ci_remote_radio_node	cmdb_ci_radio_transmission_hardware_access	リモート無線ヘッドは、リモート無線ヘッド(RRH)とも呼ばれ、無線周波数(RF)コンポーネントをベースバンド処理ユニットから分離する分散型アンテナシステム(DAS)または無線アクセスネットワーク(RAN)のコンポーネントです。これにより、無線トランシーバーをアンテナの近くに配置できるため、信号損失が低減され、柔軟なネットワーク設計と最適化が可能になります。
リピーター	cmdb_ci_repeater	cmdb_ci_radio_transmission_hardware_access	リピーターは、電気通信やネットワークで使用されるデバイスであり、信号を増幅または再生して到達範囲を拡大し、信号品質を向上させます。入力信号を受信して増幅し、再送

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			信して、より長い距離をカバーしたり、有線または無線通信での信号劣化を克服したりします。
アンテナコントロール	cmdb_ci_antenna_control	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナコントロールは、アンテナシステムの配置、構成、および動作を管理および制御するデバイスまたはコンポーネントです。アンテナの動き、アライメント、およびパラメータを調整して、通常、衛星通信、レーダーシステム、ワイヤレスネットワークなどのアプリケーションで、信号の受信、送信、およびカバレッジを最適化します。
アンテナ	cmdb_ci_antenna	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナは、電磁信号を送受信するデバイスであり、通常、電流を電波に変換したり、電波から電波に変換したりして無線通信を容易にするために使用されます。
ONT	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_ci_telco_equipment	ONT (Optical Network Terminal) は、光ファイバーネットワークで使用されるデバイスであり、光信号を電気信号に変換し、エンドユーザーへの高速インターネット、電話、およびテレビサービスの配信を可能にします。
ONU	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_ci_telco_equipment	ONU (Optical Network Unit) は、光ファイバーネットワーク内の顧客宅内に設置され、光ネットワークと顧客のデバイス間のインターフェイスとして機能し、高速インターネット、電話、およびテレビサービスの配信を

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
音声ゲートウェイ	cmdb_ci_voice_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	可能にするデバイスです。 音声ゲートウェイは、従来のテレフォニーシステム(アナログ電話回線やデジタル電話回線など)と IP ベースのネットワーク間のインターフェイスとして機能するデバイスであり、音声信号をデジタルデータに変換してインターネットまたはその他の IP ネットワーク経由で送信できるようにします。これにより、音声通信の IP ベースの通信システムへの統合が容易になります。
光ラインアンプ	cmdb_ci_optical_line_amp	cmdb_ci_ni_telco_equipment	光ラインアンプは、光ファイバ通信システムにおいて、光ファイバケーブルを伝わる光信号を昇圧または増幅し、電子変換を必要とせずに長距離伝送を可能にするデバイスです。
バッテリー分配ヒューズベイ	cmdb_ci_battery_distribution_rack	cmdb_ci_ni_telco_equipment	バッテリー分配ヒューズベイは、さまざまな回路を制御および分配することにより、バッテリーに接続された電気システムを保護し、安全な動作を確保し、過電流状態による損傷を防ぐように設計されたヒューズを収容するコンパートメントまたはエンクロージャーです。
コールサーバー	cmdb_ci_call_server	cmdb_ci_ni_telco_equipment	コールサーバは、電話コールを管理および制御し、適切な宛先にルーティングし、テレフォニー ネットワークまたは VoIP (Voice over Internet

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			Protocol) システム内でコールのセットアップ、終了、およびその他のコール関連機能処理する集中型通信システムです。
チャンネルバンク	cmdb_ci_channel_bank	cmdb_ci_ni_telco_equipment	チャンネルバンクは、複数のアナログまたはデジタル通信チャンネルを T1 や E1 回線などの単一の伝送媒体に多重化および逆多重化して、音声またはデータ信号の効率的な伝送と管理を可能にするために電気通信で使用するデバイスです。
メディアコンバータ	cmdb_ci_media_converter	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアコンバータは、銅線ケーブルと光ファイバーケーブル間の信号変換など、さまざまなタイプのネットワークメディアをブリッジし、異なるネットワークテクノロジー間のシームレスな通信を可能にし、ネットワーク接続の範囲を拡張するデバイスです。
デジタルクロスコネク トシステム	cmdb_ci_digital_cross_connect	cmdb_ci_ni_telco_equipment	デジタルクロスコネク トシステム(DCS)は、ネットワーク内のデジタル音声またはデータチャンネルの効率的なルーティングと管理を可能にする通信デバイスです。これにより、通信パスの柔軟な相互接続と再構成が可能になり、複雑なネットワーク環境での信頼性と拡張性に優れた接続が容易になります。
エコーキャンセレーションシステム	cmdb_ci_echo_cancellation	cmdb_ci_ni_telco_equipment	エコーキャンセレーションシステムは、送信された音声信号が送信側に反射して戻ってくることによって引き起こされるエコー効

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			果を低減または排除する信号処理技術またはデバイスです。不要なエコーを抑制し、会話の全体的な明瞭さを向上させることで、音声通信のオーディオ品質と明瞭度を向上させます。
音声アクティビティ検出装置	cmdb_ci_voice_activity_detection	cmdb_ci_ni_telco_equipment	音声アクティビティ検出 (VAD) 機器は、音声信号を分析して人間の音声の有無を判断するシステムまたはデバイスです。音声通信システム、音声制御デバイス、音声認識システムなどのさまざまなアプリケーションで一般的に使用され、音声セグメントと非音声セグメントを正確に検出して区別します。
メディアゲートウェイ	cmdb_ci_media_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアゲートウェイは、さまざまなタイプのネットワーク間で通信プロトコルを変換およびブリッジするネットワークデバイスであり、従来のテレフォニーネットワークや Voice over IP (VoIP) ネットワークなどの多様なシステム間のシームレスな通信を可能にします。これにより、さまざまなネットワークを介した音声、ビデオ、およびデータの変換と送信が容易になり、相互運用性と効率的な通信が確保されます。
マルチサービススイッチ	cmdb_ci_multi_service_switch	cmdb_ci_ni_telco_equipment	マルチサービススイッチは、音声、データ、ビデオなどの複数のタイプのトラフィックを 1 つのネットワークインフラストラクチャ上で処理するための統合

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			スイッチング機能を提供するネットワーク デバイスです。効率的かつ柔軟なトラフィック管理が可能になり、さまざまなサービスを統合プラットフォームに統合できます。
モビリティ管理エンティティ	cmdb_ci_mobility_management_entity	general_telco_equipment	モバイル管理エンティティ (MME) は、LTE TM * (Long-Term Evolution) および 5G ワイヤレス ネットワークの重要なコンポーネントであり、認証、モビリティ管理、セッション管理、セキュリティなど、モバイルデバイスのコントロールプレーン機能来处理します。これは、ネットワーク内のモバイルデバイスの動きを管理および調整するための主要な制御ポイントとして機能します。
モバイルスイッチングセンター	cmdb_ci_mobile_switching_center	general_telco_equipment	モバイルスイッチングセンター (MSC) は、モバイルデバイスを公衆交換電話網 (PSTN) またはその他のモバイルネットワークに接続するセルラーネットワークのコアコンポーネントです。コールルーティング、スイッチング、およびシグナリング機能を実行し、シームレスな接続を確保し、モバイル加入者和其他のネットワーク間の音声およびデータ通信を可能にします。
マイクロ波無線機器	cmdb_ci_microwave_radio_equipment	general_telco_equipment	マイクロ波無線機器とは、高周波マイクロ波信号を使用してデータを送受信する無線通信システムで使われるハードウェアを指します。これにより、

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			物理的なケーブルを必要とせずに長距離での音声、ビデオ、およびデータの伝送が容易になり、ポイントツーポイントまたはポイントツーマルチポイントのワイヤレス接続が可能になります。
ネットワークインターフェイスデバイス	cmdb_ci_network_interface_device	cmdb_device_telco_equipment	Network Interface Device) は、サービスプロバイダーのネットワークと顧客の内部ネットワークとの間の分界点として機能する、顧客宅内に設置された通信デバイスです。物理的な接続を提供し、多くの場合、接続のトラブルシューティングと監視のためのテストおよび診断機能が含まれています。
ネットワークインターフェイスユニット	cmdb_ci_network_interface_unit	cmdb_unit_telco_equipment	Network Interface Unit) は、通信ネットワークで使用されるデバイスであり、サービスプロバイダーのネットワークと顧客の施設間のインターフェイス (通常はデータサービス用) を提供します。また、信号処理、プロトコル変換、回線終端などの機能も備えており、信頼性の高いデータ伝送を容易にします。
構内電話交換機	cmdb_ci_private_branch_exchange	cmdb_device_telco_equipment	PBX (構内電話交換機) は、組織内で使用されるテレフォニーシステムであり、異なる内線番号間の内部通信を可能にし、公衆電話ネットワークに接続することで外部通話を容易にします。コールルーティング、コール転送、およびその他の

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			テレフォニー機能を管理し、企業に効率的で一元化されたコミュニケーションソリューションを提供します。
信号転送ポイント	cmdb_ci_signal_transfer_point	cmdb_ci_ni_telco_equipment	信号転送ポイント(STP)は、異なるネットワーク間でのシグナリングメッセージのルーティングと転送を容易にする電気通信ネットワーク要素であり、さまざまな通信システム間の相互接続と相互運用性を可能にします。これは、シグナリングトラフィックを管理し、ネットワーク内の異なるノード間の効率的な通信を確保するための中央ハブとして機能します。
ネットワークタイミング	cmdb_ci_network_timing	cmdb_ci_ni_telco_equipment	ネットワークタイミングデバイスは、ネットワークタイムサーバーまたは時間同期デバイスとも呼ばれ、ネットワーク接続されたデバイスおよびシステムに正確で同期された時間情報を提供するデバイスです。これにより、ネットワーク内のさまざまなデバイスが、ロギング、認証、ネットワークアクティビティの調整などのタスクに対して、一貫性のある正確な時間を維持できます。
ボイスメール装置	cmdb_ci_voicemail_equipment	cmdb_ci_ni_telco_equipment	ボイスメール機器とは、電気通信ネットワークで音声メッセージを録音、保存、および取得するために使用されるハードウェアまたはシステムを指します。これにより、発信者は着信側が不在のときに録音されたメッ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			セージを残すことができ、受信者は都合の良いときにこれらのメッセージを聞いて管理できます。
通信配信パネル	cmdb_ci_communication_distribution_core	cmdb_ci_communication_distribution_core	通信配信パネルは、建物または敷地内で、電話、データ、ビデオなどのさまざまな通信信号を整理および配信するために使用される集中型デバイスです。通信回線を接続および管理するためのハブとして機能し、ネットワークインフラストラクチャへのアクセス、整理、およびトラブルシューティングを容易にします。
ファイバーパネル	cmdb_ci_fiber_distribution_core	cmdb_ci_communication_distribution_core	ファイバーパネルは、光ファイバーパッチパネルとも呼ばれ、光ファイバーケーブルの終端、整理、管理の中心点を提供するために光ファイバーネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントです。これにより、効率的な接続、メンテナンスの容易さ、光ファイバー接続のルーティングとパッチ適用の柔軟性が可能になります。
ファイバーサービングターミナル	cmdb_ci_fiber_serving_terminal	cmdb_ci_communication_distribution_core	ファイバーサービング端末 (FST) は、サービスプロバイダーの光ファイバーインフラストラクチャと顧客の内部ネットワーク間の分界点として機能する、光ファイバーネットワーク内の顧客構内に配置されたデバイスです。光ファイバーケーブルの終端および接続ポイントを提供し、顧客の場所への高速ブロード

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			バンドサービスの提供を容易にします。
PFPの	cmdb_ci_primary_flexibility_point	flexibility_point communication interface	電気通信インフラストラクチャのコンテキストでは、プライマリフレキシビリティポイント(PFP)は、通信ケーブルと経路が収束して、アクセスと将来の変更を容易にする指定された場所です。ケーブルのルーティング、終端、分配の中央ハブとして機能し、ネットワーク設備の柔軟性と拡張性を提供します。
サービングエリアインターフェイス	cmdb_ci_serving_area_interface	serving_area communication interface	サービングエリアインターフェイス (SAI) は、通信サービスプロバイダーのネットワークが顧客のオンプレミスまたは内部ネットワークに接続する境界または分界点です。これは、ネットワークを維持するサービスプロバイダーの責任と、施設内の配線と機器に対する顧客の責任との間の移行を示します。
デジタルクロスコネク トパッチパネル	cmdb_ci_digital_crossconnect_patch_panel	digital_crossconnect_patch_panel	デジタルクロスコネク トパッチパネルは、DCSパッチパネルとも呼ばれ、デジタル回路またはチャネルの相互接続と管理を容易にするために電気通信ネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントです。これにより、デジタル信号の再構成とルーティングが容易になり、ネットワークインフラストラクチャ内の通信パスの効率的なプロビジョニングとトラブルシューティングが可能になります。

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
ファイバークロスコネク トパネル	cmdb_ci_fiber_cross_c onnect_panel	cmdb_ci_communication	ファイバークロスコ ネクトパネルは、光ファ イバーケーブルの相互 接続と管理を容易にす るために光ファイバー ネットワークで使用 されるデバイスです。 個々の光ファイバース トランドを整理、ルー ティング、および相互 接続するための一元 化された場所を提供 し、光ファイバーネッ トワークの設置におけ る効率的なメンテナン ス、拡張性、および柔 軟性を実現します。
RJ45 パッチパネル	cmdb_ci_rj45_patch_p anel	cmdb_ci_communication	RJ45パッチパネルは、 イーサネットシステム のネットワーク接続を 終端および管理するた めに使用されるハード ウェアコンポーネント です。複数のRJ45ポー トを備えているため、 イーサネットケーブル を整理して便利に終端 することができ、ネッ トワーク接続のパッチ 適用や再配置が容易に なります。
V35 パッチパネル	cmdb_ci_v35_patch_p anel	cmdb_ci_communication	V35パッチパネルは、 V.35 ケーブルの終 端と管理を容易にする ために電気通信および ネットワークで使用さ れるハードウェア コン ポーネントです。複数 の V.35 ポートを備え ているため、V.35 接続 を整理して便利に終端 できるため、V.35 回線 のパッチ適用と再配置 が容易になります。
デジタル配電盤	cmdb_ci_digital_distrib ution_panel	cmdb_ci_communication	デジタル配電盤は、デ ジタル配線フレームと も呼ばれ、通常は T1 ま たは E1 回線の形式で デジタル信号を終端、 管理、および配信する

自動翻訳

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			ために電気通信ネットワークで使用されるデバイスです。これは、デジタル回路を整理および相互接続するための一元化されたポイントを提供し、ネットワーク内のデジタル通信の効率的な送信と管理を容易にします。
マルチプレクサ	cmdb_ci_multiplexer	cmdb_ci_ni_telco_equipment	マルチプレクサは、しばしばMUXと呼ばれ、電気通信およびデータ伝送で使用されるデバイスであり、複数の信号またはデータストリームを単一の複合信号に結合して、共有メディアを介したより効率的な伝送を実現します。これにより、単一のチャンネルで異なる信号またはデータストリームを同時に送信できるため、通信システムの容量と効率が向上します。
DSLAM	cmdb_ci_dslam	cmdb_ci_multiplexer	DSLAM(Digital Subscriber Line Access Multiplexer) は、サービスプロバイダーのネットワーク内で複数のデジタル加入者線(DSL)を集約および管理するために電気通信で使用されるネットワークデバイスです。音声トラフィックとデータトラフィックを分離し、適切な宛先にルーティングすることにより、既存の銅線電話回線を介して高速ブロードバンドサービスを提供できます。
IP DSLAM	cmdb_ci_ipdslam	cmdb_ci_multiplexer	IP DSLAM(Internet Protocol Digital Subscriber Line Access Multiplexer) は、IPベースのサー

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			ビスをサポートする DSLAM であり、デジタル加入者回線を介した高速ブロードバンドインターネットサービスの配信を可能にします。IP ベースのトラフィックを処理するために必要な IP ルーティングおよび処理機能を提供し、エンドユーザーへのインターネット接続の効率的かつスケラブルな配信を可能にします。
WDM	cmdb_ci_wdm	cmdb_ci_multiplexer	WDM (Wavelength Division Multiplexing) とは、光ファイバー通信システムにおいて、複数の波長の光を同時に伝送することで、1 本の光ファイバーの容量を増やす技術です。これにより、さまざまな光信号の多重化と逆多重化が可能になり、データ伝送速度の向上と光ファイバーインフラストラクチャの効率的な利用が可能になります。
OLT	cmdb_ci_optical_line_terminator	cmdb_ci_multiplexer	OLT (Optical Line Terminal) は、光ファイバー通信システムで使用されるネットワークデバイスであり、パッシブ光ネットワーク (PON) のエンドポイントとして機能します。サービスプロバイダーのネットワークを加入者の施設に接続し、光信号の配信を管理および制御し、サービスプロバイダーと PON 内の複数の ONU (光ネットワークユニット) または ONT (光ネットワーク端末) 間の通信を容易にします。

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
オプティカルスプリッター	cmdb_ci_optical_splitter	cmdb_ci_multiplexer	光スプリッターは、ビームスプリッターとも呼ばれ、光ファイバーネットワークで使用される受動デバイスであり、着信光信号を等しいまたは異なる電力レベルの複数の出力信号に分割します。これにより、1 つの光ファイバー接続を複数のユーザーまたはデバイス間で共有できるため、ネットワーク内の光信号を効率的に配信できます。
光キャリアトランスポートノード	cmdb_ci_optical_carrier_transport_node	cmdb_ci_multiplexer	光キャリアトランスポートノードは、OXC(光クロスコネクト)ノードまたは OTN(光トランスポートネットワーク)ノードとも呼ばれ、光トランスポートネットワーク内の大容量光信号のルーティング、グルーミング、およびスイッチオフを容易にするネットワーク要素です。これにより、光チャネルを効率的かつ柔軟に管理でき、通信ネットワークでの長距離にわたる大量のデータの転送が可能になります。
ファンシェルフ	cmdb_ci_fan_module	cmdb_ci_hardware	ファンシェルフは、ラックまたは機器キャビネット内のアクティブな冷却とエアフロー管理を提供するように設計されたハードウェアコンポーネントです。通常、機器から発生する熱を放散し、適切な換気を確保し、過熱を防ぐのに役立つ複数のファンが含まれています。
監視ユニットシェルフ	cmdb_ci_monitoring_unit	cmdb_ci_hardware	モニタリングユニットシェルフは、モニタリ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			ングユニットラックまたはシャーシとも呼ばれ、ネットワークのモニタリングと管理に使用されるモニタリングユニットまたはデバイスを収容するように設計された専用のエンクロージャです。ネットワークアナライザー、プローブ、モニタリングアプライアンスなどのモニタリング機器を設置および整理するための一元化された安全な場所を提供し、ネットワークトラフィックとパフォーマンスの効率的なモニタリングと分析を可能にします。
キーボードビデオマウススイッチ	cmdb_ci_keyboard_video_mouse	cmdb_ci_hardware	キーボード ビデオ マウス (KVM) スwitchは、ユーザーが 1 組のキーボード、モニター、およびマウス デバイスを使用して複数のコンピューターまたはサーバーを制御できるようにするハードウェア デバイスです。これにより、中央のワークステーションから複数のシステムをシームレスに切り替えて管理できます。
サービング GPRS サポートノード	cmdb_ci_serving_gprs_support_node	cmdb_ci_telco_equipment	Global System for Mobile Communications) または GPRS (General Packet Radio Service) ネットワーク内のネットワークノード。サービングGPRS サポートノード (SGSN) は、サービスエリア内のモバイルステーションとの間のデータパケットの配信を担当します。パケット交換ネットワークにおいて重要な役割を果たし、

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	Description (説明)
			スマートフォンやその他のモバイル通信デバイスなどのデバイスのモビリティおよびセッション情報を管理します。
論理コンポジット	cmdb_ci_logical_composite	電気通信ネットワーク内の論理要素、コンポーネント、またはエンティティのグループまたは組み合わせ。これらの論理コンポジットは、多くの場合、特定の機能またはサービスを実行するために連携して動作するように設計されています。	
スプライスクローズ	cmdb_ci_splice_closure	光ファイバーのスプライス部分を覆って保護するために使用される保護筐体。スプライスクロージャースは、光ファイバーネットワークに不可欠なコンポーネントであり、湿気、埃、温度変動などの環境要因からスプライスファイバーを物理的に保護します。	

※LTEはETSIの商標です。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)

GPON ブロードバンド変更モデルフォーム

GPON ブロードバンド変更モデルフォームを使用すると、物理接続の接続の詳細、および論理接続の計算と作成を作成、レビュー、および変更できます。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービスの設計と割り当て](#)

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームを使用すると、物理接続のネットワークの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	Description (説明)
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動しています。
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
Bandwidth (帯域幅)	この物理接続の帯域幅。

[計算して論理接続を作成] フォーム

[論理接続の計算と作成] フォームを使用すると、論理接続の接続の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[計算して論理接続を作成] フォーム

フィールド	Description (説明)
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワークサイト。
開始機器	この接続が構成されているネットワーク機器を起動しています。
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: トポロジ接続モデルはリストされません。
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワークサイト。
終了機器	この接続が構成されているネットワーク機器を終了します。

[計算して論理接続を作成] フォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器タイプ。
終了機器のロール	この接続が構成されている終了ネットワーク機器ロール。
終了機器の機能	この接続が構成されているネットワーク機器機能を終了します。
Bandwidth (帯域幅)	この物理接続の帯域幅。
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデルの関係] フィールドから論理接続モデルを選択すると、使用可能な論理接続モデルのリストが変更されます。
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデルの関係] フィールドから論理接続モデルを選択すると、使用可能な物理接続モデルのリストが変更されます。

カードフォーム

カードフォームでは、ネットワークカードの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

インターフェイスカードフォーム

フィールド	説明
名前	このネットワークインターフェイスカードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
ポート	このネットワークインターフェイスカード上のポートの合計数。
使用中のポート	このネットワークインターフェイスカードで使用されているポートの数。
スロット	このネットワークインターフェイスカードのスロットの合計数。

関連情報

[カードの詳細を定義](#)

[インベントリモデル] フォーム

[インベントリモデル] フォームを使用すると、機器所有者、機器、インターフェイスカード、論理接続、物理接続、ネットワークインターフェイス、およびネットワークモデル関係のモデル詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[インベントリモデル] フォーム - [全般]

インベントリモデルフォームの [全般] セクションでは、モデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[全般] セクション - [インベントリモデル] フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	定義している機器ホルダーモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログアプリケーションの一部です。 i 注: - インスタンスは、選択したモデルカテゴリのマッピングされた CI クラスに作成されます。 - 通信事業ネットワークインベントリ機能を実現するには、次のいずれかのオプションを選択します。 - 機器ラック - キャビネット - スロット - サブスロット - カテゴリとして [機器ラック] を選択すると、[情報] セクションに [RU 命名パターン] フィールドと [ポストタイプ] フィールドが表示されます。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のオプションのいずれかを選択します。 - カテゴリに残す: モデルは透過的であり、カテゴリは資産クラスを定義します。 - 消耗資産の作成: モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 - 資産を作成しない: モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。

[全般] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	両方 このモデルは購入され、リースされました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
Depreciation (減価償却)	機器モデルの減価償却スケジュール。
処分価額	耐用年数の終了時に資産を売却したときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられているモデル番号。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルの生産ステータス: Build (構築) モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 Sold (販売済み) モデルが販売されました。 Retired (廃止) モデルは廃止されました。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 Opex (経費) 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定済み	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。

関連情報

[インベントリモデルの作成](#)

インベントリモデルフォーム - 情報

インベントリモデルフォームの情報セクションでは、モデルのネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム

フィールド	説明
高さ (U)	モデルに必要なラックユニットの数。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
電力	電力 (ワット)。
音響出力	ノイズ測定、ベル(1ベル= 10デシベル)。
接続タイプ	接続のタイプ: ケーブル マルチカラーのケーブル接続。 接続 機器との間で確立する標準接続。たとえば、モニターとコンピューター間の接続などです。 ストランド マルチストランドファイバー接続。 ワイヤレス 3G、4G、または5Gワイヤレス接続。
電力単位	資産の電力を測定する単位。次のいずれかの単位を選択します。 • ワット (W) • キロワット (KW) • メガワット (MW) • 馬力 (HP)
定格出力	資産に割り当てられた最大電力。
測定系の単位	最大重量キャパシティユニットがフェッチされる測定タイプ。次のいずれかの測定タイプを選択します。 • メトリクス • 米国帝国単位
重量単位	資産の重量を測定する単位。次のいずれかを選択します。 • グラム (g) i 注: このフィールドは、測定単位にメートル法が使用されている場合にのみアクセスできます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	• キログラム (kg) i 注: このフィールドは、測定単位にメートル法が使用されている場合にのみアクセスできます。 • オンス (oz) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムが使用されている場合にのみアクセスできます。 • ポンド (lbs) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムが使用されている場合にのみアクセスできます。
重み付け	ラック、キャビネット、スロット、またはサブスロットの最大重量。
スロット命名パターン	機器またはカード上のスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデル レベルにあるため、既定ではそのモデルのすべてのテンプレートに適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスで編集できます。命名規則の詳細については、「関連テンプレートの命名規則」を参照してください。 名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。 i 注: 1. このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。 2. 次の場合、生成された名前は空のままになります。 ◦ 変数名のスペルが間違っています。 ◦ 機器内のインターフェイスまたはスロットのparent_slotまたはequipment_slot情報を使用します。 3. このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここでは、デフォルトの名前は Slot-001 です。001 はスロットの開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
インターフェイス命名パターン	機器またはカード上のスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデル レベルにあるため、既定ではそのモデルのすべてのテンプレートに適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスで編集できます。命名規則の詳細については、「関連テンプレートの命名規則」を参照してください。 名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。 - 次の場合、生成された名前は空のままになります。 - 変数名のスペルが間違っています。 - 機器内のインターフェイスまたはスロットのparent_slotまたはequipment_slot情報を使用します。 - このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここでは、デフォルトの名前は Port-001 で、001 はインターフェイスの開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。
寸法単位	資産の物理的寸法が測定される単位。 次のいずれかを選択します。 - インチ (in) - フィート (ft) - マイル (mi) i 注: このフィールドは、機器モデル、機器ホルダーモデル、および物理接続モデルに適用されます。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
スロット開始番号	このモデルのスロットに割り当てる最初の番号。スロット名は、開始番号に応じて自動的に生成されます。 i 注: - 入力した値は、ユニットの位置には影響しません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、スロット命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
インターフェイス開始番号	機器またはカードのインターフェイスに割り当てる開始番号。たとえば、20 個のインターフェイスに対して開始番号が 10 の場合、インターフェイス番号は 10 から始まり、Port-010、Port-011 のように Port-029 まで続きます。 i 注: - インターフェイス番号は、入力した値に基づいて自動的に生成されます。ユニットの位置は影響を受けません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、インターフェイスの命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
CLEIコード	このネットワーク資産に割り当てられた共通言語機器識別 (CLEI)。CLEI コードは、グローバルに一意な 10 文字の英数字のインテリジェントコードで、構造化された命名形式で機器を識別します。CLEI コードと製造元の製品コード (ハードウェアバージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。 i 注: このフィールドは、物理接続モデル、論理接続モデル、およびネットワークインターフェイスモデルを除くすべてのタイプのモデルに適用されます。
コネクタタイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 - SC (正方形のコネクタ) - 有効な光伝送のための光ファイバーの位置合わせをするためにプッシュプルの掛け金として使用される正方形の、共通のタイプの繊維光学のコネクタ。 - LC (Lucent Connector)- 高密度アプリケーション向けに設計されたSCコネクタの別のバージョン。 - ST (ストレートトリップ)-電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。 - ワイヤラップ 回路基板に電気接続を作成するための技術。 - RJ45 - 8P8C (8 ポジション 8 コンタクト) コネクタとも呼ばれ、有線イーサネット ネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
占有 ス ロ ッ ト	カードで占有されているスロットの数。 i 注: このフィールドは、インターフェイスカードモデルにのみ適用されます。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
相互 接続 を有 効に する	機器上のすべてのインターフェイスが相互接続されるように選択できるオプション。 i 注: - 相互接続のデフォルトのアルゴリズムは $(N/2) + 1$ で、N は機器上のインターフェイスの総数です。ポート番号が奇数の場合、システムは前の番号 $(N-1)$ として N を取り、相互接続を作成します。たとえば、10 個のインターフェイスを持つ機器があるとして、このオプションを選択すると、最初のインターフェイスが 6 番目のインターフェイス(2 ~ 7、3 ~ 8、4 ~ 9、および 5 ~ 10)と相互接続されます。 - このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。 作成されたすべての相互接続が構成アイテム (CI) 関係としてリストされます。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。 i 注: このフィールドは、機器ホルダーモデルにのみ適用されます。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。 このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
最大 物理 接 続 サ ー ポ ー ト	このインターフェイスモデルに接続できる最大接続数。デフォルトでは 1 と見なされます。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートについて測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • Tx:TX は Transmit の略です。これは、データがデバイスから送信される方向を指します。 • Rx- RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)とラベル付けされます。 • Tx/Rx • バス:バスの指向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 • ブロードキャスト:ブロードキャスト指向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
インターフェイスタイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • イーサネット:ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 • 光トランシーバーで使用されるコネクタの光固有の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれ形状とデータ速度機能が異なります。 • シリアル:シリアルインターフェイスは、複数のビットを同時に送信するパラレルインターフェイスとは対照的に、一度に1ビットずつデータを送信します。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
動作	接続、多重化、またはデータのモードを選択するオプション。ただし、多重化モードでは、チャンネルが自動的に作成されます。次のオプションのいずれかを選択します。 • 多重化記録 • 多重化パス • データ記録 • データパス i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
ルーティ	ルーティングの適用を制御するルーティング動作属性。

情報セクション - インベントリモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
ング動作	- この接続タイプにルートが必要ない場合は [ルートなし] を選択します。 「 並列順次 」を選択して、接続の経路指定に使用される複数経路接続リソースを使用可能にします。ここでは、ルーティングされた接続にパス要素が必要です。 i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
論理インターフェイスモデル	選択した論理接続モデルのすべての論理インターフェイスモデルのリスト。 i 注: 論理接続の作成中に、ポート A とポート Z の論理インターフェイスは、選択した論理インターフェイスモデルに基づいて作成されます。
RU 名前付けパターン	ラックテンプレートの命名パターン。 i 注: - デフォルトでは、命名パターンは "RU-"+position です。 - このフィールドは、 機器ラック モデルカテゴリでのみ表示されます。
通知タイプ	次のいずれかのタイプを選択します 2 支柱: ラックに垂直支柱が 2 つある場合に選択します。 4 支柱: ラックに垂直支柱が 4 つある場合に選択します。 i 注: このフィールドは、選択した モデルカテゴリ が [機器ラック] である場合にのみ適用されます。

関連情報

[インベントリモデルの作成](#)

インベントリモデルの追加タブ

インベントリモデルの追加のタブは、モデルの作成後に表示されます。これらのタブには、モデルのすべての関連情報が表示されます。必要に応じて、いつでも情報を表示、更新、保存、および削除できます。

インベントリモデルの追加タブ

名前	Description (説明)
資産	モデルに関連する資産のリスト。
構成アイテム	モデルに対して作成されたすべての構成アイテム (CI) のリスト。
モデルコンポーネント	モデルを構成するコンポーネントのリスト。
モデルライフサイクル	モデルのライフサイクルのリスト。

インベントリモデルの追加タブ (続く)

名前	Description (説明)
ベンダーカタログアイテム	製品モデルに関連付けられたベンダーカタログアイテムのリスト。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ハードウェアモデルのライフサイクルフェーズとライフサイクルタイプのリスト。
ネットワークモデルの関係	モデルのすべてのネットワークモデル関係のリスト。 i 注: このフィールドは接続モデルには適用されません。
モデル画像	モデルの画像。ここにアップロードされた画像は、このモデル用に作成された構成アイテムに表示されます。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
帯域幅の互換性	それぞれの接続と互換性のある帯域幅のリスト。さらに、関連する接続モデルと帯域幅グループを作成および更新できます。 i 注: [帯域幅の互換性] フィールドは、接続モデルにのみ適用されます。

関連情報

[インベントリモデルの作成](#)

インベントリ番号割り当てフィールド

インベントリ番号割り当てフィールドでは、LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号レコードの詳細を記述できます。

インベントリ番号割り当てフィールド

フィールド	Description (説明)
電話番号	e164 命名規則に準拠する電話番号。詳細については、「 E.164 電話番号フィールドの構成 」を参照してください。
電話番号の割り当て	電話番号割り当てレコード。
国コード	電話番号を作成する国を選択します。
市外局番	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。たとえば、電話番号 (123) 456-7890 では、「123」は市外局番を表します。

インベントリ番号割り当てフィールド (続く)

フィールド	Description (説明)
セントラルオフィスコードを構成する	NXX と呼ばれるセントラルオフィスコード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属するセントラル オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各セントラルオフィスコードは、市外局番内の地理的な場所またはサービスプロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」はセントラル オフィス コードを表します。
ステータス	電話番号のステータス: • 新規: この番号が新しいことを示します。 • 予約済み: 番号がサービス用に予約されているが、まだ割り当てられていないことを示します。 • 未割り当て: 番号がまだ誰にも割り当てられていないか、番号が数日間検疫ステータスになっていることを示します。 • アサイン済み: 番号がアサイン済みであることを示します。 • 隔離: 番号が長期間使用されていないことを示します。ネットワークオペレーターによっては、この番号は数日後に隔離ステータスに変わります。しばらくすると、ステータスが [未アサイン] に変わります。 • ポートイン: その番号が他のネットワークに属していたが、現在はこのネットワークに移動されていることを示します。 • 移植済み: 番号が他のネットワークに移動されたことを示します。
番号カテゴリ	カテゴリ: • 所有: これらの番号が組織で所有されていることを示します。 • サードパーティ: これらの番号がサードパーティ組織によって提供されていることを示します。 • [ポートイン (Ported in)]: これらの番号が別のネットワークから移動されたことを示します。
配送業者	ブロック内のさまざまな電話番号を所有および管理している電気通信会社またはサービスプロバイダーの名前。顧客に番号を割り当て、それらの番号に関連するコールのルーティングを処理します。

インベントリ番号割り当てフィールド (続く)

フィールド	Description (説明)
親ブロック	親ブロック (存在する場合)。
モデル ID	資産のモデル ID。
番号	子インベントリを関連付けている親インベントリの名前。この名前は Now Platform によって自動的に割り当てられます。 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
要素タイプ	VLAN または LAG 番号を関連付けるネットワークインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • ネットワークインターフェイス • 物理接続 • Logical Connection (論理接続) i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
要素	構成に使用する要素タイプのネットワーク資産。 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
順序	ネットワーク接続のシーケンス番号。 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
CIDR	サブネット、ゲートウェイの IP アドレス、およびサブネットマスクに関連付けられているクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)。VMware の場合、CIDR、ゲートウェイ、およびサブネットマスクのフィールドは必須です。
管理対象ネットワーク	この IP プールと IP サブネットワークに関連付けられている管理対象ネットワークの名前。
親プール	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットの親である IP プールの名前。
DNS ドメイン	IP アドレスの名前。
報告済みフリーアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで空いているアドレスの数。
使用中の報告済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネットに使用されているアドレスの数。

インベントリ番号割り当てフィールド (続く)

フィールド	Description (説明)
報告済み予約アドレス	この IP プールまたは IP サブネット用に予約されているアドレスの数。
サービス	サービスのタイプ。

関連情報

[インベントリ番号の割り当て](#)

インベントリ番号フォーム

インベントリ番号フォームを使用すると、ネットワークインベントリのインベントリの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

インベントリ番号フォーム

フィールド	説明
名前	構成するインベントリの名前。[タイプ] フィールドを使用して、リストから 1 つ選択します。
番号	テクノロジー標準で指定されているネットワークインベントリの最小値。
終了番号	ネットワークインベントリの最高値。
タイプ	このネットワーク資産が属するインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 VLAN 範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号の範囲。 VLAN 部分範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号のサブ範囲。 VLAN ネットワーク資産の VLAN 番号。 LAG 範囲 ネットワーク資産が属する LAG 番号の範囲。 LAG ネットワーク資産の LAG 番号。
親	ネットワーク資産の親インベントリ番号: - 親アイテムの場合は、フィールドを空白のままにします。 - 子インベントリ番号の場合は、Now Platform によって値が自動的に割り当てられます。
簡単な説明	ネットワークインベントリ番号の簡単な説明。

関連情報

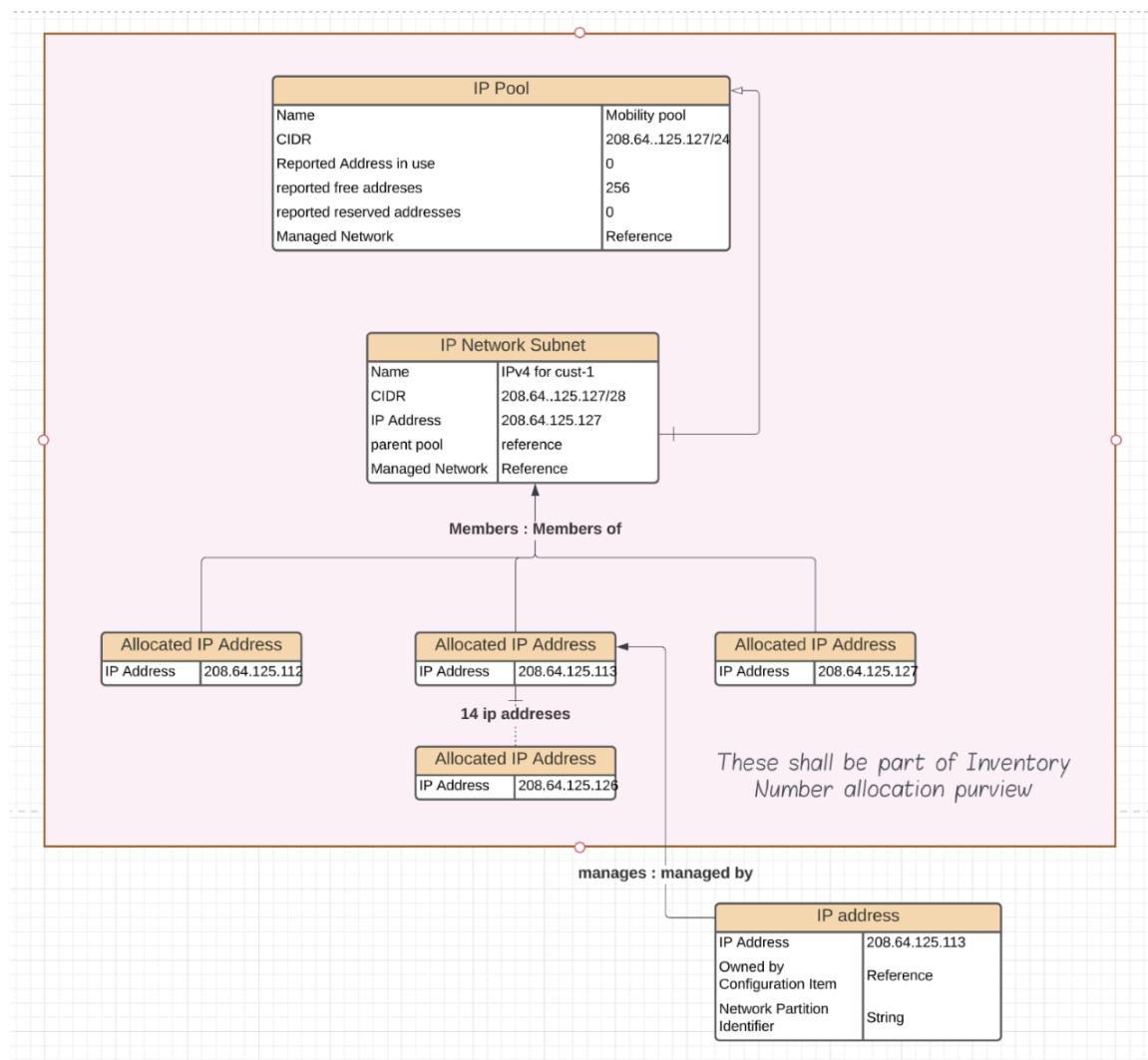
[インベントリの番号付けを定義する](#)

IP アドレスインベントリ管理データモデル

IP アドレス・インベントリ管理データ・モデルを使用すると、IP プール、IP サブネットワーク、割り振られた IP アドレス、および IP アドレスに使用されるテーブルがすべて互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、IP アドレスインベントリ管理データモデルを示しています。



このデータモデルを使用して、IP プール、IP サブネットワークアドレス、または割り当てられた IP アドレスの関連テーブルを保存できます。また、IP プールテーブルまたは IP サブネットワークテーブルを作成して、サービスを割り当てることもできます。このタスクを実行するには、IP プールまたは IP サブネットを作成します。サブネット内の各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに作成されます。その後、ディスカバリーと構成アイテム (CI) マッピングのために、割り当てられた IP アドレステーブルの IP アドレスを IP アドレステーブルに関連付けることができます。

IP アドレスは次のように割り当てられます。

1. 通信事業者は、外部システムから顧客の割り当てられた IP サブネットを取得します。この IP サブネットは、IP ネットワークサブネットテーブルに保存されます。
2. 通信事業者は、サブネットの IP アドレスを作成して、IP アドレスの割り当てを追跡できます。この場合、このサブネットの各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに格納されます。
3. 割り当てられた IP アドレステーブルですぐに使用できる IP アドレスは、IP アドレステーブルのレコードに関連付けられます。

関連情報

[IP アドレス割り当てを作成](#)

[IP アドレスの割り当て](#)

場所フォーム

場所フォームを使用すると、ネットワーク資産を追跡および管理するための場所階層を作成できます。

場所フォーム

[場所] フォームを使用すると、ネットワーク資産の場所の詳細を作成、確認、および変更できます。

場所 フォーム

フィールド	説明
名前	場所を識別するわかりやすい名前。
番地	この場所が示す番地。
市区町村	この場所がある市区町村の名前。
都道府県	この場所がある州または都道府県の名前。
郵便番号	この場所がある郵便番号。
国	この場所がある国の名前。
連絡先	この場所の連絡先の名前 (存在する場合)。連絡先を選択するには、検索アイコン (🔍)
電話	この場所の連絡先の電話番号 (存在する場合)。
FAX	この場所の連絡先の FAX 番号 (存在する場合)。
親	この場所の親の場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用すると、場所の階層を作成できます。
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は -90.0 から 90.0 の範囲でなければなりません。
経度	場所の経度 (10 進数の度数)。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita>

場所フォーム - 親

場所フォーム (親) を使用すると、ネットワーク資産の親の場所の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

場所フォーム

フィールド	説明
親	この場所の親の場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用すると、場所の階層を作成できます。
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は -90.0 から 90.0 の範囲でなければなりません。
勤務地タイプ	このレコードが表す場所のタイプ: • 国 • 州 / 地域 / 都道府県 • 市区町村 • 建物/キャンパス • サイト • 大洋 • 軌道
コード	この場所に割り当てられている地理コード。ない場合は、フィールドを空のままにします。
代替コード	この場所に割り当てられている代替地理コード。ない場合は、フィールドを空のままにします。
代替名	この場所に割り当てられている代替地域名。ない場合は、フィールドを空のままにします。
リージョン	この場所がある地域の名前。
サブリージョン	この場所があるサブリージョンの名前 (存在する場合)。
中間地域	この場所が含まれる中間地域の名前 (存在する場合)。

[論理接続] フォーム

[論理接続] フォームでは、論理接続の構成と接続の詳細を記述して論理接続を定義できます。

[論理接続] フォーム

[論理接続] フォームでは、論理接続の詳細を記述できます。

[論理接続] フォーム

フィールド	説明
名前	この論理接続の名前 Now Platform はこの名前を使用して、ネットワークインベントリで論理接続を識別します。
サブスクリプションの最大割合	帯域幅に対する論理接続に許可されているサブスクリプションの割合。
Site A (サイト A)	この接続の発信元ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
Site Z (サイト Z)	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[論理接続の詳細を定義します](#)

論理接続フォーム - 構成

[論理接続] フォームの [構成] セクションでは、論理接続を作成できます。

論理接続フォーム - 構成

フィールド	Description (説明)
ポート A	ポート A 接続で使用するネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続に対するサイト A からサイト Z への総帯域幅容量。
予定日	実装の予定日。
フレーミングタイプ	接続で使用するフレームのタイプ。次のいずれかを選択します。 - なし - AMI (Alternate Mark Inversion) - ゼロを無電圧で表し、1を正と負の電圧を交互に表すラインコーディング方式。

論理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	Description (説明)
	- B4ZS (Bipolar with Four-Zero Substitution) - デジタル信号内の4つの連続するゼロのシーケンスを特殊なパターンに置き換えて同期を維持する技術。 - B8ZS (バイポーラ・フォー・エイト・ゼロ・リプレースメント) - B4ZSと似ていますが、8つの連続するゼロのシーケンスを特別なパターンに置き換えて、高速デジタル信号の同期を維持します。
プロトコルバージョン	プロトコルのバージョン番号。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 - Metro Ethernet Forum (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
ポート Z	ポート Z 接続で使用するネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続に対するサイト Z からサイト A への総帯域幅容量。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	[単位] フィールドで選択した測定単位で表される、この接続のルートの長さ。
Unit (単位)	[距離] フィールドで接続のルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さでは距離測定値として表されていません。 マイル 距離はマイルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。

- i 注:** ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

関連情報

[論理接続の詳細を定義します](#)

管理対象ネットワークフォーム

[管理対象ネットワーク (Managed network)] フォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークを管理できます。

管理対象ネットワークフォーム

フィールド	Description (説明)
OT 資産の詳細	この OT 資産の資産の重要度、オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産タイプ、Purdue レベル、および OT ディスカバリーソース名。
PO number (発注書番号)	このネットワークの発注書番号。
Managed by (管理担当者)	このネットワークを扱うエンジニア。
Vendor (ベンダー)	このネットワークのベンダー名。
環境	開発、本番、テストなど、このネットワークが利用可能な環境。
コスト	このネットワークの総コスト。
監視	このネットワークの詳細を監視するオプション。
ディスカバリーソース	構成アイテム (CI) を更新するディスカバリーソース名。
インストール日時	このネットワークのインストール日時。
属性	このネットワークの属性のリスト。
最新の検出日	最新検出日 (last_discovered)。最新のディスカバリーが指定されている場合、入力された時間値が 構成管理データベース (CMDB) の時間値よりも新しい場合にのみ、指定された値で CI が更新されます。last_discoveredが指定されていない場合、last_discovered属性は現在のタイムスタンプで更新されます。
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
Checked in (チェックイン日時)	このネットワークのチェックイン日時。
サービス提供開始日	注文を受領した日時。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
注文済み	このネットワークの注文が行われた日時。
CI によって含まれる	このネットワークが存在する構成アイテム (CI)。
Due in (修正済み期限)	このネットワークの期間制限。

管理対象ネットワークフォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
Serial number (シリアル番号)	このネットワークのシリアル番号。
Assigned to (アサイン先)	このネットワークが割り当てられているエンジニアの名前。
完全修飾ドメイン名	ドメインネームシステム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定するドメイン名。
Supported by (サポート担当者)	このネットワーク資産をサポートするユーザーの名前。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明するユーザーの名前。
IP アドレス	このネットワークの IP アドレス
カテゴリ	このネットワークのモデルカテゴリ。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージのステータス。
最初の検出日	インスタンスが最初に検出された日時
外部審査スコア	この管理対象ネットワーク資産の外部審査スコア。
コメント	このネットワークに対して入力したコメント。
管理担当者グループ	このネットワークを管理するグループの名前。
コスト通貨	このネットワークのコストの通貨。
Warranty expiration (保証の有効期限)	このネットワークの保証期限。
名前	この 管理 ネットワークの名前。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内でデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
購入日	このネットワークの購入日。
事業部門	このネットワークが属する組織の部門。
Asset tag (資産管理番号)	アイテムの資産タグ。  注: 資産管理番号を入力すると、その資産を含む倉庫のみが表示されます。
リース契約	このネットワークの請負業者。
不具合発生回数	障害の数。
Checked out (チェックアウト日時)	このネットワークがチェックアウトされた日時。
開始日	このネットワークの開始日。
メンテナンススケジュール	このネットワークのメンテナンスのためにサーバーに割り当てられたスケジュール。

管理対象ネットワークフォーム (続く)

フィールド	Description (説明)
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	インストールのステータス。
相関 ID	ローカルレコードの更新にデータ値を使用する必要があるリモートレコードを識別する相関 ID。ローカルシステムとリモートシステムに別々の相関 ID 値を指定します。
モデル番号	デバイスのモデル番号。
Department (部門)	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
重複	このネットワークが属する構成アイテム (CI)。
Owned by (オーナー)	このネットワークの所有者の名前。
Description (説明)	このネットワークの説明。
変更グループ	このグループをアサインするグループ名。
Support group (サポートグループ)	このネットワーク資産をサポートするグループ。
GL account (GL アカウント)	総勘定元帳口座 [itfm_gl_accounts] テーブルの口座。
外部審査日	このネットワークが証明された日付。
Justification (理由)	このネットワークの正当性。
ドメイン	このネットワークのドメイン名。
Assigned (割り当て日付)	このネットワークが割り当てられた日付。
承認グループ	承認要求を送信するときに表示されるグループの名前。
Location (ロケーション)	このネットワークの場所。
サブカテゴリ	このネットワークのモデルサブカテゴリ。
Company (チェックアウト日時)	このネットワークを所有している会社
Manufacturer (メーカー)	このネットワークのメーカーの名前
Invoice number (請求書番号)	このネットワークの請求書番号。
Cost center (コストセンター)	このネットワークのコストセンター。
印刷可能	このネットワークの詳細を印刷するオプション。
運用ステータス	このネットワークの運用のステータス。
ライフサイクルステージ	ネットワークのライフサイクルステージ。
TNI CI 属性	このネットワークの 通信事業ネットワークインベントリ 属性の詳細を作成するために選択できる構成 (CI)。

関連情報

[管理対象ネットワークを作成](#)

関連テンプレートの命名規則

機器またはインターフェイスカードテンプレートを作成するときに自動的に生成される関連テンプレートの命名規則の詳細について説明します。

命名パターンでサポートされている変数

変数名	Description (説明)
位置	適用先のインターフェイスまたはスロット/ホルダーのユニット位置。 i 注: ユニットの位置は常に 0 から始まります。インベントリモデルで構成されたスロット/インターフェイスの開始番号は、ユニットの位置には適用されません。
parent_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属している場合、カードが挿入されているスロットの名前。
parent_slot_position	スロットまたはインターフェイスがカードに属する場合、カードが挿入されるスロットのユニット位置。
equipment_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属している場合、ベースカードが挿入されている機器のスロットの名前。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_nameとequipment_slot_nameは同じ値を保持します。
equipment_slot_position	スロット/インターフェイスがカードに属している場合、ベースカードが挿入されている機器上のスロットのユニット位置。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_numberとequipment_slot_numberは同じ値を保持します。
帯域幅	インターフェイスの帯域幅値。

ネットワークインベントリ変更要求フォーム

[変更要求] フォームを使用すると、設計およびアサイン機能で通信インベントリ変更モデルの変更アクティビティを作成および変更できます。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。このフィールドは、特定の変更を誰が要求したかを確認するために、[変更要求] リストビューで利用できます。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
サービス	変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。
サービスオファリング	サービスのレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオファリングを通じて、サービスに対してさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオファリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
Configuration item (構成アイテム)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
リスク	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • 低
影響度	ビジネスプロセスに対する変更の影響の測定値。
簡単な説明	変更の概要。
[Description (説明)]	変更の詳細な説明。
モデル	テレコムネットワークインベントリの変更要求に関連付けられている変更モデル。 変更モデルタイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のいずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加 機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器所有者でインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。 論理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の物理接続を作成するために使用される変更モデル。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	緊急 テレコムネットワークインベントリの緊急変更使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス GPON ブロードバンド注文要求を履行するために使用される変更モデル。 通常 Telecommunications Network Inventory の通常の変更使用される変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、変更 > 新規作成 > 変更要求の作成 スクリーンショットです
アサイン先グループ	変更要求に取り組んでいるグループ。
Assigned to (アサイン先)	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更は適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。

変更要求フォームの [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日時	実装の予定開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
終了予定日時	実装の予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
開始実績日	実装の実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日	実装の実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日時より前にすることはできません。

変更要求フォームの [スケジュール] タブ (続く)

フィールド	説明
CAB 委任者	変更を説明するために変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォームの [メモ] タブ

フィールド	[Description (説明)]
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取ることができるユーザー。

変更要求フォームの [クローズ情報] タブ

フィールド	[Description (説明)]
クローズコード	この変更要求をクローズする理由を最もよく表しているクローズコード。次のオプションのいずれかを選択します。 - 成功 - 不成功 (問題あり) - 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム

フィールド	説明
番号	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクが作成された変更要求番号。
Configuration item (構成アイテム)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	ネットワークインベントリモデルに基づく変更要求のタイプ。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
[Description (説明)]	この注文タスクの説明。
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	保留 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対してはまだアクションが実行されていません。 進行中 タスク処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループ名。検索アイコン (検索 🔍) をクリックして、リストからグループを選択します。
Assigned to (アサイン先)	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン (🔍) をクリックして、ユーザーのリストを表示します。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクをクローズ	注文タスクの状況を [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

モデルフォームの情報セクションでは、モデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

フィールド	説明
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
重量 (ポンド)	ネットワーク資産の重量 (ポンド)。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ (続く)

フィールド	説明
コネクタ タイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 - SC (正方形のコネクター) - 有効な光伝送のための光ファイバーの位置合わせをするためにプッシュブルの掛け金として使用される正方形の、共通のタイプの繊維光学のコネクター。 - LC (Lucent Connector) - 高密度アプリケーション向けに設計されたSCコネクタの別のバージョン。 - ST (ストレートトリップ) - 電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。 - ワイヤラップ 回路基板に電気接続を作成するための技術。 - RJ45 - 8P8C (8 ポジション 8 コンタクト) コネクタとも呼ばれ、有線イーサネットネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。
最大物理 接続サ ポート	このモデルでサポートされている物理接続の最大数。
ポートの 帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートについて測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - Tx:TX は Transmit の略です。これは、データがデバイスから送信される方向を指します。 - Rx- RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)とラベル付けされます。 - Tx/Rx - バス:バスの指向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 - ブロードキャスト:ブロードキャスト指向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。
インター フェイス タイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - イーサネット:ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 - 光トランシーバーで使用されるコネクタの光固有の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれ形状とデータ速度機能が異なります。 - シリアル:シリアルインターフェイスは、複数のビットを同時に送信するパラレルインターフェイスとは対照的に、一度に1ビットずつデータを送信します。

関連情報

ネットワークインターフェイスモデルの作成

ネットワークモデル関係のフィールド

[ネットワークモデル関係] フォームを使用すると、ネットワークモデルの関係を作成できます。

ネットワークモデルの関係フォーム

フィールド	説明
名前	モデルマネージャーによって指定された、ネットワークモデルの関係のメーカーが割り当てた名前。
リレーションシップタイプ	関係のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- ネットワークモデルの関係が存在しません。 ラックから ラック スロット ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係は、ラックモデルとスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 設備からスロット 機器モデルとスロットモデル間の関係。この関係は、スロット数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。 機器からネットワークインターフェイス 機器モデルとネットワークインターフェイスモデル間の関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性がありサポートされているインターフェイスの数を示します。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 カードへのスロット スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係は、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある [ルート製品モデル] フィールドを強制します。

ネットワークモデルの関係フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: • [ルート製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 Card からスロット インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。 注: • 親製品モデル フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。 カードからネットワークインターフェイス インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデルのインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。 注: • 親製品モデル フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 物理接続から論理接続 物理接続と論理接続のモデル間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 論理接続から論理接続 ある論理接続モデルから別の論理接続モデルへの関係。

ネットワークモデルの関係フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 物理接続からネットワークインターフェイス 物理接続とネットワークインターフェイス間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 論理接続からネットワークインターフェイス 論理接続とネットワークインターフェイス間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 ラック/キャビネットからラック/キャビネットスロット ラック/キャビネットとラック/キャビネットスロット間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべてのラックとキャビネットのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのスロットとサブスロットのリストが表示されます。 ラック/キャビネット スロットから機器 ラックスロットと機器の関係。 注: • ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 親製品モデルには、モデルカテゴリがスロットであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 子製品モデルには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。 ラック/キャビネット スロットから コンテナ シェルフ

ネットワークモデルの関係フォーム (続く)

フィールド	説明
	ラックスロットとシェルフの関係。 i 注: • ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 親製品モデルには、モデルカテゴリがスロットであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 子製品モデルには、モデルカテゴリがシェルフであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 インターフェイスからインターフェイス 2つのインターフェイス間の関係。 i 注: [親製品モデル] フィールドと [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワーク インターフェイス モデルのリストが表示されます。 キャビネットから設備 キャビネットと機器の関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、コンテナタイプがキャビネットであるすべての機器ホルダーが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。 論理接続からチャンネル 論理接続とチャンネルの関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、[動作] が [チャンネル] であるすべての論理接続モデルのリストが表示されます。 ケーブルからストランド ケーブルとストランドの関係。 i 注: • 親製品モデル フィールドには、すべてのケーブルモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのストランドモデルのリストが表示されます。
カウント	テンプレートの作成時に親製品モデルの下に作成できる子製品モデルの数。

ネットワークモデルの関係フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: この属性は、機器からスロット、ラックからスロット、設備とネットワークインターフェイス、インターフェイスカードとスロット、インターフェイスカードとネットワークインターフェイス、ケーブルとストランド、および論理接続とチャンネルの関係タイプ。
ルート製品モデル	互換性のためのインターフェイスカードの祖父母モデル。機器モデルまたはインターフェイスカードモデルのいずれかを選択します。次に、検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: この属性は、スロットとインターフェイスカードの関係タイプに対してのみ表示されます。
親製品モデル	子製品モデルの親である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: ラックとスロットの関係では、親製品モデルはモデルカテゴリがラックである機器ホルダーモデルです。
子製品モデル	親製品モデルの子である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: ラックからスロットの関係では、子製品モデルはモデルカテゴリがスロットである機器ホルダーです。
順序	モデル関係の子エンティティのシーケンス番号。[カウント] フィールドに数値を入力すると、[シーケンス] フィールドが表示されます。 デフォルト値は 1 です。親モデルに複数の関連付けがある場合、最初の関連付けのシーケンス番号は 1 に設定され、連続する関連付けには最初の関連付けの最大値に続く番号が設定されます。たとえば、機器に 2 つのスロットと 2 つのポートとのモデル関係があるとした場合、関係が作成されると、スロットとポートのシーケンス番号が 1 と 3 に設定されます。 i 注: この属性は、ラックからスロット、機器からスロット、機器からネットワークインターフェイス、インターフェイスカードからスロット、インターフェイスカードからネットワークインターフェイス、ケーブルからストランド、および論理接続からチャンネルの関係タイプにのみ適用されます。
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、論理接続からチャンネルの関係タイプに対してのみ表示されます。
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、論理接続からチャンネルの関係タイプに対してのみ表示されます。

関連情報

ネットワークモデルの関係を定義する

ネットワークサイトフォーム

[ネットワークサイト] フォームを使用すると、ネットワーク機器を収容するネットワークサイトを定義できます。

ネットワークサイトフォーム

フィールド	説明
名前	機器が存在するネットワークサイトの名前。Now Platformはこの名前を使用してネットワークインベントリを識別します。例:TROY IXC POP。
NPANXX	このネットワークサイトに割り当てられた NPA-NXX コード: - このコードは、市外局番 (NPA) とローカル交換機 (NXX) の組み合わせです。 - 結合されたコードには、特定の地域内にある最大 10,000 の電話番号の下 4 桁を含めることができます。この地域は、割り当てられたコードの本社に関連付けられています。 - たとえば、858-335 は電話番号 858-335-9500 の NPA-NXX です。
Location (ロケーション)	ネットワークサイトの地理的な場所。検索アイコン (🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita 」を参照してください。
県	ネットワークサイトが存在する市区町村の名前。
リージョン	ネットワークサイトが配置されている地理的リージョンの名前。
POTS 番号	このネットワークサイトに関連付けられている一般電話サービス番号 (POTS)。

i 注: ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当てメニュー] フォームに共通する残りの識別フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)」を参照してください。

関連情報

[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](https://product.tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita)

ネットワークトポロジフォーム

[ネットワークトポロジ] フォームを使用すると、ネットワークのトポロジの詳細を作成および確認できます。

ネットワークトポロジフォーム

フィールド	説明
名前	トポロジの名前。
Bandwidth (帯域幅)	トポロジの帯域幅。
ライフサイクルステージ	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。

ネットワークトポロジフォーム (続く)

フィールド	説明
Support group (サポートグループ)	このネットワーク資産をサポートするグループ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。
モデル ID	このネットワーク資産に対するメーカーのモデル識別番号。
コメント	コメント (ある場合)。

関連情報

[ネットワーク トポロジの手動作成](#)[ネットワークトポロジーの可視化](#)

パックテーブル

パックテーブルを使用して、5G ネットワークのモデル化に役立つテーブルについて学習します。

パックテーブル

テーブル名	Description (説明)
*TM pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 制御装置名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	携帯電話国コード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	モバイルネットワークコード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	x2 ブロックリスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	x2 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN ブロックリスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN ブロックリストなし
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	Dapsho 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	CHO 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 制御装置ユーザープレーン識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_nrcellcu	セルのローカル識別子

パケットテーブル (続く)

テーブル名	Description (説明)
pack_3gpp_nrcellcu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	名前
pack_3gpp_nrcelldu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	管理状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルの状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルのローカル識別子
pack_3gpp_nrcelldu	物理セル ID
pack_3gpp_nrcelldu	市外局番の追跡
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック頻度
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック周期性
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックサブキャリア間隔
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック期間
pack_3gpp_nrcelldu	運用ステータス
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号補足アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックオフセット
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅補足アップリンク
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能インスタンス ID
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	ハートビートタイマー
pack_3gpp_managed_element	認証情報
pack_3gpp_managed_element	ホストアドレス
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能ドメイン
pack_3gpp_managed_element	市区町村
pack_3gpp_managed_element	キャパシティ
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能セット識別子
pack_3gpp_managed_element	提供範囲
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は過負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能の回復時間

パケットテーブル (続く)

テーブル名	Description (説明)
pack_3gpp_managed_element	SCP ドメイン
pack_3gpp_managed_element	ベンダー識別子
pack_3gpp_amf_function	AMF (Access and Mobility Management Function) 地域識別子
pack_3gpp_amf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_amf_function	AMF セット識別子
pack_3gpp_amf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF (Access and Mobility Management Function) 携帯電話国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF 識別子
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF モバイル国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF 識別子
pack_3gpp_smf_function	市外局番の追跡
pack_3gpp_smf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_smf_function	PDN ゲートウェイ FQDN
pack_3gpp_smf_function	アクセスタイプ
pack_3gpp_smf_function	Priority (優先度)
pack_3gpp_smf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_smf_function	訪問済み SMF サポートインジケータ
pack_3gpp_upf_function	ネットワーク機能インスタンス識別子
pack_3gpp_upf_function	市外局番の追跡
pack_3gpp_upf_function	Cnsi 識別子
pack_3gpp_upf_function	SMF サービスエリア
pack_3gpp_upf_function	EPS とのインタワーキングをサポート
pack_3gpp_upf_function	PDU セッションタイプ
pack_3gpp_upf_function	アクセストラフィックのステアリング、スイッチング、および分割
pack_3gpp_upf_function	マルチパス TCP
pack_3gpp_upf_function	PMT なしで RTT を実行
pack_3gpp_upf_function	UELP アドレスインジケータ
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv4 エンドポイント

パケットテーブル (続く)

テーブル名	Description (説明)
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能の FQDN
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント FQDN
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 FQDN
pack_3gpp_upf_function	Priority (優先度)
pack_3gpp_upf_function	冗長 GPRS トンネリングプロトコル
pack_3gpp_upf_function	IP 上流
pack_3gpp_upf_function	データ転送
pack_3gpp_upf_function	パケット転送制御プロトコルをサポート
pack_3gpp_upf_function	ベアメタルオーケストレーターをサポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカルポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv4 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv6 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル VLAN
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv4 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv6 アドレス

※3GPPはETSIの商標です。

関連情報

[での 5G xNF のモデル化 通信事業ネットワークインベントリ](#)

パス計算エラーメッセージ

パス計算エラーメッセージを使用すると、パス計算中に発生するエラーメッセージを理解できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

エラー	解決
サイト <site1_name> と <site2_name> の間にパスが見つかりません。	サイト間の接続を作成します。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)

[物理接続] フォーム

物理接続フォームでは、物理接続の構成と接続の詳細を記述して、物理接続を定義できます。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

[物理接続] フォーム

[物理接続] フォームでは、物理接続の詳細を記述できます。

[物理接続] フォーム

フィールド	説明
名前	この物理接続の名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
製品モデル	物理接続に関連付けられている製品モデルの名前。検索アイコン (🔍) をクリックして、製品モデルを選択します。 [光ファイバーケーブル(Optical Fiber Cable)] を選択した場合は、[ケーブルパラメータ (Cable parameters)] タブが表示され、追加情報を入力できます。 [ファイバーリンク] を選択した場合は、[物理接続要素] フォームの [ケーブル] フィールドと [ストランド番号] フィールドに情報を入力する必要があります。
リンクタイプ	物理接続のリンクのタイプ。たとえば、ファイバーまたは同軸です。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続に対するサイト A からサイト Z への総帯域幅容量。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続に対するサイト Z からサイト A への総帯域幅容量。
Site A (サイト A)	この接続の発信元ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

[物理接続] フォーム (続く)

フィールド	説明
Site Z (サイト Z)	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

物理接続フォーム - 構成

[物理接続] フォームの [構成] セクションでは、物理接続を作成できます。

物理接続フォーム - 構成

フィールド	Description (説明)
ポート A	ポート A 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 - Metro Ethernet Forum (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
ポート Z	ポート Z 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
Vendor (ベンダー)	ネットワーク資産のベンダーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、ベンダーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	[単位] フィールドで選択した測定単位で表される、この接続のルートの長さ。

物理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	Description (説明)
Unit (単位)	[距離] フィールドで接続のルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さでは距離測定値として表されていません。 マイル 距離はマイルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。

i 注: ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

ケーブル パラメータ フォーム

ケーブルパラメータフォームでは、物理接続のケーブルパラメータを定義できます。

ケーブル パラメータ フォーム

フィールド	Description (説明)
ケーブルタイプ	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用するケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上位層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブルラインの色。
スペアレンクス A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
Sparelength Z	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

ネットワークインベントリフォームの関連タブ

ネットワークインベントリフォームの関連タブには、他のネットワーク資産との接続や関係に基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。これらのレコードを選択的に表示、変更、または更新できます。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ

タブ	説明
概要	通信機器に関する一部の情報のスナップショット。[概要] タブには、次のセクションが表示されます。 使用法 電話通信機器で開いているスロット、インターフェイスカード、およびインターフェイスの数。 画像 通信機器の画像。画像を選択すると、別のページでプレビューを表示できます。 関連 関連するネットワークインベントリとの関係。[関係] セクションには、通信機器に関連付けられているすべての子階層が表示されます。関係はワークスペースでのみ表示できます。 i 注: このタブは、[通信機器] フォームでのみ使用できます。
ラック機器の配置	この機器が配置されているラックスロットの詳細。[排他的に使用] 列の下に表示されるテキストリンクを選択すると、いつでも詳細を更新できます。 i 注: このフィールドは、すべての機器、IP ルーター、IP スイッチ、IP ファイアウォール、およびカードにのみ適用されます。
子サイト	親サイトに関連付けられている子インベントリサイトのリスト。 i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
電気通信機器	ネットワークインベントリに関連付けられている電気通信機器のリスト。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
インシデント	ネットワークインベントリに関連するインシデントレコードのリスト。 i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
変更要求	変更要求レコードリスト。変更要求の詳細については、「ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成」を参照してください。 i 注: このタブは、[ネットワークサイト]、[通信機器]、および [物理接続] フォームでのみ使用できます。
チーム	ネットワークインベントリに関連付けられている チーム のリスト。
物理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている物理接続のリスト。 i 注: このタブは、[通信機器] フォームでのみ使用できます。
論理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている論理接続のリスト。 i 注: このタブは、[通信機器] フォームでのみ使用できます。
注文情報	ネットワークインベントリインスタンスに関連する注文情報のリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークインターフェイス]、[物理接続]、および [論理接続] フォームでのみ使用できます。
番号要素	仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) に関連付けられている番号要素のリスト。数値要素フィールドの詳細については、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド」を参照してください。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、通信機器、ネットワークインターフェイス、物理接続、論理接続、およびインベントリ番号のフォームでのみ使用できます。
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素のリスト。 i 注: このタブは、[物理接続] フォームでのみ使用できます。
接続要素	論理接続に追加される接続要素のリスト。これらの要素は、計算でパス検索を実行するときに、サイト間の有効な論理接続である必要があります。 接続要素を作成すると、論理接続または物理接続と、そのデフォルトの関係タイプの下次の要素との間に関係が作成されます。接続要素フィールドの詳細については、「接続要素フォーム」を参照してください。 i 注: - このタブは、論理接続でのみ使用できます。 - 接続要素が変更または削除されると、関係が更新されます。たとえば、接続要素を削除すると、その関係も削除されます。デフォルトの関係タイプを変更するには、システム定義 > 意思決定テーブル > TNI CI 関係性定義ポリシーをクリックし、[ディシジョンテーブル] で、CI クラスに対して CI 関係タイプ を更新します。
インベントリ番号	ネットワークインベントリに関連付けられているインベントリ番号のリスト。数値要素の詳細については、「インベントリの番号付けを定義する」を参照してください。 i 注: このタブは、インベントリ番号フォームでのみ使用できます。
IP アドレス	ネットワークインベントリに関連付けられている IP アドレスのリスト。 i 注: この追加のタブは、機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、および論理接続で使用できます。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
インベントリグループ	すべてのインベントリグループのリストと詳細。 i 注: このタブは、ネットワークサイト、機器ホルダー、機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、物理接続、および論理接続で使用できます。
DNS 名	IP アドレスのすべての DNS 名のリスト。 i 注: このリストは、IP アドレスに対してのみ使用できます。
CMDB グループは構成アイテム (CI) を含む	このインベントリグループに追加するすべての構成アイテム (CI) のリスト。CI を複製することはできませんが、異なるインベントリグループに CI を追加することはできます。CI に優先順位を付けるには、CI の作成時に [メンバーロール] フィールドで次のいずれかの値を選択します。 • メイン • プライマリ • セカンダリ • ターシャリ • 負荷分散 • アクティブ • 受動的 i 注: インベントリエージェントとインベントリアドミニストレーターのみが、CI アイテムをレビュー、作成、更新、または削除できます。
親インベントリグループ	すべての親インベントリグループのリスト。
子インベントリグループ	すべての子インベントリグループのリスト。
IP プール	この親プールのすべての子 IP プールのリスト。
IP サブネットワーク	この IP プールのすべての子 IP サブネットワークのリスト。
電話番号	この電話ブロックにアサインするすべての電話番号のリスト。
電話番号割り当て	この電話ブロックにアサインする電話番号割り当てのリスト。このリストは自動生成されます。デフォルトでは、可用性は true で、ステータスは [新規] です。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
CMDB 360 データ	CI 属性レベルのすべてのディスカバリーソースのリスト。詳細については、「 CMDB 360/マルチソース CMDB 」を参照してください。
インベントリのリビジョン履歴	選択した接続のすべての変更済み CI のリスト。 i 注: このタブは、物理接続と論理接続でのみ使用可能。
資産	インベントリのすべての資産のリスト。
モデルコンポーネント	この在庫のモデルコンポーネントのリスト。コンポーネントを必須またはオプションとしてマークできます。
ベンダーカタログアイテム	この在庫のすべてのベンダーカタログのリスト。詳細については、「 ベンダーカタログアイテム 」を参照してください。
ハードウェアモデルのライフサイクル	この在庫のハードウェアモデルライフサイクルの詳細
ネットワークモデルの関係	この在庫に関連付けられているすべての モデル関係のリスト
パック	追加されたすべてのパックのリスト。詳細については、「 属性パック 」を参照してください。
キャパシティメトリクス	ネットワークインベントリレコードに関連付けられているキャパシティメトリクスレコードのリスト。詳細については、 キャパシティメトリクスの表示 を参照してください。 i 注: このタブは、機器、ラック、スロット、キャビネット、カード、およびインターフェイスのレコードでのみ使用できます。
ストランド	ケーブルレコードに関連付けられているストランドレコードのリスト。 i 注: このタブは、カードレコードでのみ使用できます。
保護パス	論理接続レコードに関連付けられている保護パスのリスト。 i 注: このタブは、物理接続レコードと論理接続レコードでのみ使用できます。
ネットワークトポロジルートノード	ネットワークトポロジレコードに関連付けられているルートノードレコードのリスト。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	 注: このタブは、ネットワーク トポロジ レコードでのみ使用できます。

関連情報

[Network Inventory Workspace](#) を使用したネットワークインベントリの確認と更新

関連テンプレートフォーム

[関連テンプレート] フォームを使用すると、スロット、機器、およびシェルフの [関連テンプレート] タブのすべてのフィールドを把握できます。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
名前	シェルフまたは機器の名前
インベントリモデル	ラックの選択したラックユニットに基づくすべての子製品モデルのリスト。子製品モデルは、ラックユニットの各インベントリモデルのネットワークモデル関係で定義されます。 検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。詳細については、「インベントリモデルの作成」を参照してください。  注: 在庫モデルがモデルの関係で定義されていない場合は、すべての製品モデルのリストが表示されます。
リレーションシップタイプ	CI 関係のタイプ。既定では、リレーションシップは Contains::Contained By に設定されています。
インベントリテンプレート	選択したインベントリモデルのテンプレート。 検索アイコン (🔍) を選択し、テンプレートを検索します。
親	シェルフまたは機器の親。このシェルフまたは機器が作成されるスロットの名前が自動的に入力されます。
利用可能なテンプレート	シェルフまたは機器で利用できるテンプレート
デフォルトフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトのテンプレート。リストの値は、選択したインベントリモデルによって異なります。 検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「デフォルトテンプレートの作成」を参照してください。

インベントリテンプレート (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは機器にのみ適用されます。
スロットスパン	機器またはシェルフが占有するために必要なスロットを選択します i 注: このフィールドは機器にのみ適用されます。
名前パターン	シェルフ、スロット、または機器の名前パターン

ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、サーバーフォーム

機器フォームを使用すると、ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、またはサーバーの 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

共通フィールド

フィールド	説明
名前	ネットワークインベントリ資産の名前。
Location (ロケーション)	ネットワークインベントリ資産の場所。
[Description (説明)]	ネットワークインベントリ資産に関する説明。
Support group (サポートグループ)	このネットワーク資産をサポートするグループ。
Supported by (サポート担当者)	このネットワーク資産をサポートするユーザーの名前。
グループによる管理	このネットワークインベントリ資産を管理するグループの名前。
環境	ネットワーク資産の現在のステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 • 開発 • 本番 • Test (テスト)
Company (チェックアウト日時)	このネットワークインベントリ資産を所有している会社。
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
Manufacturer (メーカー)	メーカーの名前。
モデル番号	メーカーの元のモデル番号。
カテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルカテゴリ。

共通フィールド (続く)

フィールド	説明
サブカテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルサブカテゴリ。
ディスカバリーソース	プライマリ (最も信頼できる) ディスカバリーソースの名前。
最初の検出日	インスタンスが最初に検出された日時。
最新の検出日	インスタンスが最後に検出された日時。
相関 ID	別のデータソースからのインスタンスの ID。
Department (部門)	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明するユーザーの名前。
外部審査日	証明書の日付。
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	ネットワークインベントリ資産のインストールのステータス。
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。
不具合発生回数	障害の数。
メンテナンススケジュール	ネットワークインベントリ資産に対して実行される検査のタイプ。
[Schedule (スケジュール)]	メンテナンススケジュールのタイプ。
完全修飾ドメイン名	ドメインネームシステム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定するドメイン名。
IP アドレス	ネットワーク上のネットワークインベントリ資産を識別する一意のアドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
Serial number (シリアル番号)	ネットワークインベントリ資産のシリアル番号。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内でデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
属性	追加の属性。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
監視	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。
印刷可能	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。

サーバーフィールド

次のフィールドは、サーバーフォームの [構成属性] セクションでのみ使用できます。

サーバーフィールド

フィールド	[Description (説明)]
OS ドメイン	構成アイテム (CI) のオペレーティングシステムドメイン。
RAM (MB)	コンピューターの RAM 容量 (メガバイト (MB) 単位)。
オペレーティングシステム	CI で実行されているオペレーティングシステム。
CPU メーカー	CPU メーカーの名前。
OS バージョン	CI で実行されているオペレーティングシステムのバージョン。
CPU タイプ	CPU のタイプ。
OS サービスパック	オペレーティングシステムにインストールされているサービスパック。
CPU 速度 (MHz)	CPU の速度 (メガヘルツ (MHz) 単位)。
CPU カウント	CPU 数。
ディスクスペース (GB)	ディスク容量 (ギガバイト (GB) 単位)。
CPU コア数	CPU コア数。

資産属性フィールドの詳細については、「[Next Experience UI での作業](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)

ストランドフォーム

ストランドフォームでは、ケーブル内のストランドの詳細を記述できます。

ストランドフォーム

フィールド	説明
名前	このストランドレコードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
Support group (サポートグループ)	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
Managed by (管理担当者)	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ:

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	Deploy (展開) ネットワークに展開されているネットワーク資産。 Design (デザイン) 設計目的で使用されているネットワーク資産。 End of life (終了) 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory (インベントリ) ネットワークで使用中のインベントリアイテムであるネットワーク資産。 End of life (終了) 行方不明で見つけることができないネットワーク資産。 Operational (稼働中) 運用中のネットワーク資産。 Purchase (購入) ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: In Maintenance (メンテナンス中) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 In Use (使用中) 現在使用されているネットワーク資産。 Pending Retirement (廃止待ち) 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
A 側終端	このストランドが接続されているインターフェイスやスロットなどの開始点。
Z 側終端	このストランドが接続されているインターフェイスやスロットなどの終端点。
A 終端コネクタ	ストランドの始点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC バヨネット ニール コンセルマン (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF アプリケーションに使用され、同軸ケーブル ネットワークに使用されています。 SC 正方形のスナップイン コネクタ。 LC 小型で、ラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細く剥がしたワイヤーをポストまたはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
Z 終端コネクタ	ストランドの終点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC バヨネット ニール コンセルマン (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF アプリケーションに使用され、同軸ケーブル ネットワークに使用されています。 SC 正方形のスナップイン コネクタ。 LC 小型で、ラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細く剥がしたワイヤーをポストまたはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
長さ	ストランドの全長。
長さ単位	ストランドのルートの長さを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
ストランド番号	メーカーによってストランドに割り当てられた番号。
ケーブル	ストランドに関連付けられているケーブルレコード。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ストランドの詳細を定義](#)

ストランドモデルフォーム

ストランドモデルフォームでは、ストランドモデルレコードの詳細を記述できます。

ストランドモデルフォーム

フィールド	説明
Manufacturer (メーカー)	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	ストランドモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリで識別します。
簡単な説明	定義しているストランドモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログ アプリケーションの一部です。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられているモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用可能な機器ホルダーユニットの数。
所有者	モデルの責任者。

ストランドモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。 両方 このモデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの生産ステータス: Build (構築) モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 Sold (販売済み) モデルが販売されました。 Retired (廃止) モデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 Opex (経費) 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
Depreciation (減価償却)	ストランドモデルの減価償却スケジュール。
認定済み	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
処分価額	耐用年数の終了時に資産を売却したときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	寸法を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルート長さについては、距離の測定値は表されません。 インチ 距離はインチで表されます。

ストランドモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ストランドのタイプ。以下から 1 つ選択します。 シングルモード 1 つのモード ファイバー ストランドは 1 つの信号のみを送信します。 マルチモード マルチモードファイバーストランドは、複数の信号を送信します。 POF プラスチック光ファイバー (POF) ストランドは光を透過します。 ツイストペア ツイストペアケーブルは、一対の絶縁銅線を撚り合わせたものです。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。

関連情報

ストランドモデルの作成

通信機器フォーム

通信機器フォームを使用すると、機器のネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

構成

フィールド	[Description (説明)]
品番	このネットワーク資産に割り当てられた部品番号。
製造日	このネットワーク資産が製造された日付。
前回のサービスの日付	このネットワーク資産が最後にサービスが提供された日付。
占有ラックユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
メモリサイズ (MB)	このネットワーク資産で使用されているメモリデバイスのサイズ (メガバイト)。たとえば、2.5 GB のメモリチップの場合は 2500 MB です。
ストレージサイズ (GB)	デバイスのストレージサイズ (ギガバイト)。たとえば、2.5 GB です。

i 注: ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita>

通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ

通信事業ネットワークインベントリ機能カタログを使用すると、ネットワークインベントリの設計およびアサインプロセスを自動化するのに役立つ機能にアクセスできます。

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

空き番号割り当て機能

空いている番号を割り当てる機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ 番号レコードから空いている番号を割り当てることができます。この機能を使用して、指定した範囲から数量の数値を割り当て、数値要素の構成アイテム (CI) に対して追加します。

概要

空いている番号の割り当て機能を使用して、次のアクションを実行します。

- 在庫レコードの番号範囲から空いている番号を割り当てます。
- 番号範囲から空き番号を取得し、インベントリ番号レコードを子番号として作成します。
- 数値要素の CI に対して空き番号を追加します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ルールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[空き番号の割り当て] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

空いている番号を割り当てる関数の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ
番号範囲	空き番号が必要なインベントリ番号レコード。	Reference.Inventory Number レコード
カウント	空き番号の合計数。	整数
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続のタイプ。次のいずれかを選択します。 VLAN 単一の VLAN 番号 レコード。 LAG 単一の LAG 番号 レコード。	選択肢
構成アイテムが所有	インベントリ番号レコードに関連する構成アイテム (CI)。	Reference.Configuration Item
連続	連続する空き番号を返すオプション。	True/False

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	タイプ
FinalRecordList	番号範囲のインベントリ番号レコードのリストを返します。	Array.Integer

例

VLAN の数値範囲が 1 ～ 4096 で、1 ～ 1000、1001 ～ 2500、および 2510 ～ 4096 がサブ範囲であるとして。カウントを 4 に指定すると、この関数は 2501、2502、2503、および 2504 のインベントリ番号レコードのリストを返します。これらの番号は、VLAN 番号範囲内では空いています。

テンプレート機能から CI を作成

TNI テンプレートから CI を作成機能を使用すると、インベントリテンプレートを使用してインベントリをインスタンス化するとき、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの指定されたサイトまたは機器ホルダーにインベントリインスタンスを作成できます。ネットワークインベントリの設計と割り当てプロセスをインスタンス化すると、インベントリを自動的に作成できます。

概要

TNI テンプレートから CI を作成機能は、インベントリテンプレートの要件に応じて、インターフェイスカード、機器、ネットワークサイト、ネットワークインターフェイスなどの構成アイテム (CI) を作成します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[テンプレートから CI を作成] 機能の入力フィールド とその説明を示します。

テンプレート関数から CI を作成機能の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
ネットワークサイト	新しい CI に関連付けられているネットワークサイトレコードの sys_id。	文字列
機器ホルダー	新しい CI に関連付けられている機器ホルダーレコード sys_id。	文字列
インベントリテンプレート	新しい CI に関連付けられているインベントリテンプレートの sys_id。	文字列
変更 タスク	ネットワーク資産の新しいインスタンスをインスタンス化する変更 タスク。	文字列
テンプレートの上書き	値がある場合は上書きします。	文字列
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。	文字列
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。	文字列

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
レコード ID	新しいインベントリインスタンスのsys_idを返します。	文字列

例

このフローアクションは、インベントリテンプレートを使用して機器をインスタンス化するときに、通信機器レコードを作成します。

カスケード更新関数

カスケード更新機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) 属性を更新し、関連するすべての CI に変更をカスケードできます。この関数を使用すると、フローデザイナーを使用するときに、関連する CI のフィールド値を自動的にカスケードできます。

概要

カスケード更新機能を使用すると、インベントリレコードの任意のフィールドを更新し、インベントリレコードに記載されている階層まで変更をカスケードできます。

関連する CI で矛盾が見つかった場合など、競合がある場合、この関数はエラーを返します。たとえば、変更要求と CI を渡しても、その CI が変更要求の影響を受ける CI リストに追加されていないとします。代わりに、実行中の競合情報を含むソートエラーを返します。

- 注:** この機能は、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステータス] フィールドでは機能しません。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、カスケード更新関数の入力フィールドとその説明を示します。

カスケード更新関数の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ	必須？
変更要求	影響を受ける CI リストに関連する変更要求。	Reference.Change Request	いいえ
CI	フィールドを更新する CI。	Reference.Configuration Item	いいえ
フィールド	カスケードする CI の属性。	文字列	いいえ

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

この機能を使用して、関連するすべての CI の CI 属性を更新します。

CI のすべての共通属性のカスケードルール

次の表に、さまざまなタイプの CI のカスケードルールに関する情報を示します。

カスケードルール

CI	カスケードルール	例
通信機器	関連する機器ホルダー (スロット)、インターフェイスカード、通信機器ホルダー (サブスロット)、およびネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Type (タイプ)] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。
電気通信機器の所有者	関連するインターフェイスカード、通信機器ホルダー (サブスロット)、およびネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Type (タイプ)] フィールドは、上記の階層までカスケードされます。
インターフェイスカード	関連する電気通信機器ホルダー (サブスロット) およびネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Type (タイプ)] フィールドは、上記の階層までカスケードされます。
ネットワークインターフェイス	関連するネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Port Bandwidth (ポート帯域幅)] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。
物理接続	関連する物理接続レコードの属性が更新されます。	機器レコードで更新される [Bandwidth (帯域幅)] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。

カスケードルール (続く)

CI	カスケードルール	例
Logical Connection (論理接続)	論理接続レコードを参照する接続要素で定義されている、次のすべての要素 CI レコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Bandwidth (帯域幅)] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。

範囲/単一番号の作成とアサイン機能

範囲/単一番号の作成とアサイン機能を使用すると、ネットワークインベントリワークフローを処理するときに、番号範囲のインベントリ番号レコードを作成できます。

概要

「範囲/単一番号の作成および割当」機能を使用して、入力開始番号と終了番号の間に棚卸番号レコードを作成します。この関数は、対応する数値要素も作成します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[空き番号の割り当て] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

範囲/単一番号の作成とアサイン機能の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ	必須？
構成アイテムによって所有されている	空き番号が必要なインベントリ番号レコード。	Reference.Configuration Item	はい
開始	インベントリ番号レコードの開始番号。	整数	はい
終了	インベントリ番号レコードの終了番号。範囲の場合は、値を指定する必要があります。	整数	いいえ
名前	作成するインベントリ番号レコードの名前。	文字列	はい
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続のタイプ。次のいずれかを選択します。 VLAN 範囲	選択肢	はい

範囲/単一番号の作成とアサイン機能の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	タイプ	必須？
	VLAN 番号の範囲。 VLAN 部分範囲 VLAN 全体の範囲内の VLAN 番号のサブセットまたは範囲。 VLAN 単一の VLAN 番号レコード LAG 範囲 LAG 番号の範囲。 LAG 単一の LAG 番号レコード		
親番号	親番号レコード。親番号レコードを選択しない場合、関数は開始番号のインベントリ番号レコードのみを返します。	Reference.Inventory Number レコード	いいえ

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	タイプ
インベントリ番号	インベントリ番号レコードを返します。	レコード

例

VLAN の範囲が 1 ～ 4096 で、サブ範囲が 1 ～ 1000、1001 ～ 2500、および 2510 ～ 4096 である
とします。開始番号を 2501、終了番号を 2502 に指定すると、関数は 2501 ～ 2502 の番号範囲を作
成し、インベントリ番号レコードを返します。

論理インターフェイス機能を作成

論理インターフェイス作成機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーショ
ンで論理インターフェイスを作成できます。

概要

論理インターフェイスの作成機能を使用して、論理接続のターミネーションポイントとして、または
物理インターフェイスまたは論理インターフェイスの子として作成された論理インターフェイスを作
成できます。物理インターフェイスまたは論理インターフェイスは、複数の子論理インターフェイス
を持つことができます。論理インターフェイスの帯域幅は固定されておらず、必要に応じて構成でき
ます。また、この関数は、論理ネットワークインターフェイスの仮想フラグを設定します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして
使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義でき
ます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアク
ションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[論理インターフェイスの作成] 関数 の入力フィールド とその説明を示します。

論理インターフェイスアクションの入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
親インターフェイス	論理インターフェイスとの関係 を作成するための親ネットワ ークインターフェイスレコード。 追加アイコン()をクリック して、インターフェイスを追加 します。	Array.String
名前	新しい論理インターフェイスの 名前。 i 注: 論理インターフェイ ス名を入力しない場合、 このフローアクション は、ユニット位置の最大 数の後の番号でモデル名 を生成します。	文字列
タイプ	さまざまなネットワークエン ティティまたは資産のタイプ を分類するために使用するオ	Reference.TRF 値

論理インターフェイスアクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
	プシヨンのユーザー定義タイプコード。	
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用する、オプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値
通信機器	論理インターフェイスに関連付けられている機器。機器の名前を入力しない場合、この機能は親インターフェイスから関連する機器を選択します。	Reference.Telco 機器
ポートの帯域幅	この論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
製品モデル	論理インターフェイスに関連付けられているネットワークインターフェイスモデル。	Reference.Network Interface Model
CI 関係性	CI 関係のタイプ。デフォルトでは、[Create Logical Interface (論理インターフェイスを作成)] フローアクションは CI 関係を [Contains (含む)] に設定します。親インターフェイスは、入力として複数のインターフェイスレコード参照をサポートできます。同じ親 CI を複数回入力すると、一意の親子関係のセットに関連付けられます。	Reference.CI 関係
集計インターフェイス	各親インターフェイスが子インターフェイスを 1 つだけ持つ必要があることを確認するオプション。	True/False

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
結果の ID	論理インターフェイスの Glide レコードを返します。	レコード

論理接続機能を作成

論理接続の作成機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力 (インターフェイス) に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成できます。

概要

「論理接続の作成」機能を使用して、ネットワーク・インターフェース・カードに論理接続を作成できます。

インターフェイス A に入ると、この機能はサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェイス Z を渡した後、関数は関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。この関数は、帯域幅フィールドから帯域幅 (昇順) と 帯域幅 ZtoA のデータも取得します。

この関数は、接続要素も作成し、論理接続に関連付けます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として設定すると、論理接続作成機能によって対応する接続要素が作成され、論理接続に関連付けられます。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[論理接続を作成] 関数の入力フィールド とその説明を示します。

論理接続作成機能の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Bandwidth (帯域幅)	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.論理接続モデル
接続要素	論理接続に追加される接続要素。追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
Logical Connection (論理接続)	論理接続の Glide レコードを返します。	レコード

物理接続機能を作成

物理接続の作成機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取った入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成できます。

概要

「物理接続の作成」機能を使用して、ネットワーク内のインターフェース・カードに物理ポート接続を作成できます。

インターフェース A を入力すると、この機能は関連するサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェース Z を渡した後、関数は関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。この関数は、帯域幅フィールドから帯域幅 (昇順) と帯域幅 ZtoA のデータも取得します。

また、この関数は接続要素を作成し、それらを物理接続に関連付けます。

物理接続要素を渡すと、このサブフローは対応する接続要素を作成して物理接続に関連付けます。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[物理接続を作成] 関数の入力フィールド とその説明を示します。

物理接続アクションの入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
Interface A (インターフェース A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェース。	Reference.Network Interface
Interface Z (インターフェース Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェース。	Reference.Network Interface

物理接続アクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
Bandwidth (帯域幅)	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.物理接続モデル
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素のsys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場合は、接続要素を追加できます。 追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード

IP サブネットワーク機能を作成

IP サブネットワークの作成機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで IP サブネットワークレコードを作成できます。

概要

このアクションは、通信事業ネットワークインベントリ ワークフローでフローデザイナーアクションとして使用できます。ここで、サブネットワークを作成するには、CIDR または最初の IP と最後の IP、または最初の IP と合計ホストのいずれかが必須の入力です。親 IP プールが入力に指定されている場合、この関数は、作成中のサブネットワークが指定された IP プールの下にあることを検証し、確認します。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

[IP サブネットワーク関数を作成 (Create IP subnetwork function)] の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データタイプ
親 IP プール	このサブネットワークをアサインする親 IP プールの名前を指定します。	文字列
CIDR	CIDR	文字列
最初の IP	シリーズ初の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)
前回の IP	系列の最後の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)
合計ホスト数	IP サブネット内のホストの数	整数
管理対象ネットワーク	プライベートIPの管理対象ネットワーク	参照

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データタイプ
IP サブネットワーク	Glide A レコードを返します	レコード

CIDR から IP 範囲への機能

クラスレスドメイン間範囲 (CIDR) から IP 範囲へのフローアクションを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してクラスレスドメイン間範囲 (CIDR) を使用して一連の IP アドレスを作成できます。

概要

このフローアクションを呼び出すと、指定された IP サブネットワークを使用して CIDR がフェッチされます。さらに、CIDR を使用して、一連の IP アドレスが作成されます。これらの IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルにさらに格納されます。

また、この関数は、この特定の IP サブネットワークに対して作成された他の割り当て済み IP アドレスがないことにもします。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

CIDR から IP 範囲関数の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データタイプ
変更タスク	このタスクの変更タスク番号を入力してください	参照
IP サブネットワーク	CIDR をフェッチする必要があるサブネットワークの名前を指定します	文字列

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データタイプ
割り当て済み IP アドレス	Glide A レコードを返します	レコード

インターフェイスサマリー関数を取得

Get Interface Summary 関数を使用すると、入力に関連付けられているすべてのネットワークインターフェイスレコードを取得できます。この機能を使用すると、フローデザイナーの使用時に、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの使用可能なインターフェイス、接続されているインターフェイス、および機器の物理的な接続の詳細を自動的に取得できます。

概要

[インターフェイスサマリーを取得] 機能を使用すると、サイト、ラック、機器などの入力に関連付けられているネットワークインターフェイスレコードを取得できます。出力を返すには、サイト、機器、またはラックの値を入力する必要があります。

複数の入力が一致しない場合、アクションはエラーを報告します。たとえば、機器とサイトの詳細を表示できるが、機器がサイトに属していないため、システムは競合情報を含むエラーを報告します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[インターフェイス サマリーを取得(Get Interface Summary)] 関数の入力フィールドとその説明を示します。

Get Interface Summary 関数の入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
サイト	ネットワークインターフェイスに関連付けられているネットワークサイト。	Reference.Network Site
ラック	ネットワークインターフェイスに関連付けられているラック。	Reference.Telco 機器
機器	ネットワークインターフェイスに関連付けられている機器。	Reference.Telco 機器
可用性	ネットワーク資産のステータス。次のオプションから 1 つを選択できます。 • Available (利用可能) • 使用済み • 予約済み • 共有	選択肢
モデル	ネットワークインターフェイスに関連付けられている物理接続モデル。	Reference.物理接続モデル
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。	Reference.TRF 値
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用する、オプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかった場合に出力のタイプを返すオプション。[リストから最初のレコードのみを返す] を選択すると、最初のインターフェイスネットワークレコードを返すことができます。	選択肢

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

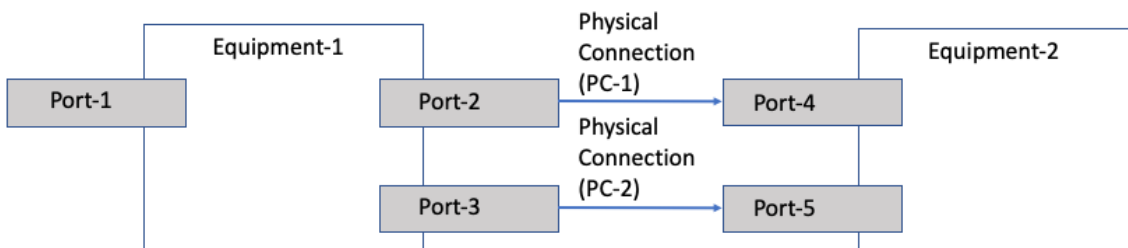
関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
利用可能なインターフェイス	利用可能なネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
接続されているインターフェイス	他のネットワーク資産に接続されているネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
物理接続	物理接続のsys_idリストを返します。	Array.String

例

次の例のように入力が機器 1 として渡された場合 ポート 1、ポート 2、およびポート 3 は機器 1 に接続され、ポート 4 とポート 5 は機器 2 に接続され、物理接続 1 はポート 2 とポート 4 の間、物理接続 2 はポート 3 とポート 5 の間に接続されます。次に 出力は次のようになります。

- 利用可能なインターフェイス:ポート 1
- 接続されているインターフェイス:ポート 2 およびポート 3
- 物理接続 - PC-1 および PC-2



[複数のレコードが見つかった場合] アクションとして [最初のレコードのみを返す] を選択すると、それぞれ Port-1、Port-2、および PC-1 が返されます。

次のハブを検索関数

「次のハブをルックアップ」機能を使用すると、ネットワークインターフェイスレコードを入力として受け取り、関連する物理接続レコードの詳細を返すことができます。フローデザイナーアプリケーションを使用すると、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで機器の物理接続と相互接続ポートの詳細を自動的に取得できます。

概要

Lookup Next Hub 関数を使用すると、次のものを返すことができます。

- ポートに関連する物理接続。
- ポートに物理接続が関連付けられていない場合、空の応答。
- フロントポートとバックポートのsys_id、およびフロントポートとバックポートの間に構成アイテム (CI) 関係がある場合はポート名。
- NextHub インターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイス。
- NextHub 相互接続インターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されている相互接続インターフェイス。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[次のハブを検索] アクション 入力フィールド とその説明を示します。

次のハブアクションの入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
ネットワークインターフェイス	ネットワークインターフェイスレコード。	Reference.Network Interface
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかった場合のアクションを選択するオプション。[リストから最初のレコードのみを返す]を選択すると、最初の物理接続レコードの詳細を返すことができます。	選択肢

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

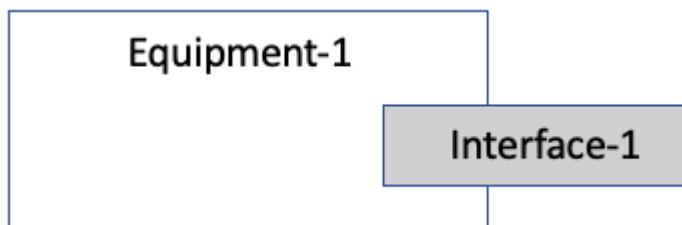
関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
物理接続	ネットワークインターフェイスに関連する物理接続レコードの sys_ids のリストを返します。	Array.String
相互接続ポート	ネットワークインターフェイスに相互接続されているポートの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub 相互接続インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されている、相互接続されているインターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String

例

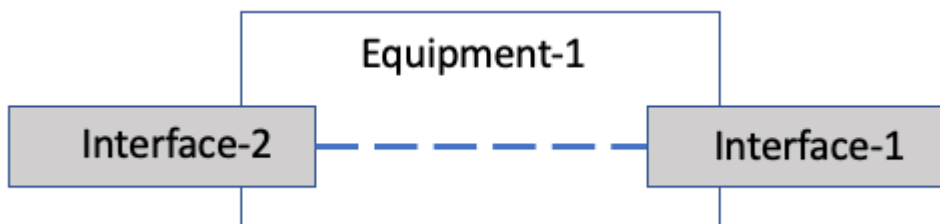
ユースケース 1

次の例に示すように、入力が機器 1 のインターフェイス 1 として渡された場合、ネットワークインベントリにはネットワークインベントリに物理接続または内部接続がないため、関数は空のレコードを返します。



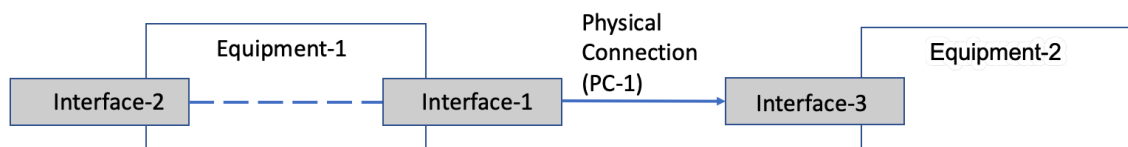
ユースケース 2

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、関数は Interface-2 のネットワークインターフェイスレコードを返します。



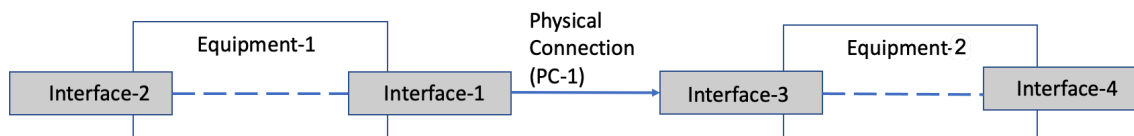
ユースケース 3

次の例に示すように、入力が機器 1 のインターフェイス 1 として渡された場合、関数はインターフェイス 2 のネットワーク インターフェイス レコードと PC-1 の物理接続レコードを返します。



ユースケース 4

次の例に示すように、入力が機器 1 のインターフェイス 1 として渡される場合、NextHub インターフェイスは 3 で、NextHub 相互接続インターフェイスは 4 です。



パス検索機能

パス検索機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの開始サイトと終了サイト間でパス計算機能を実行できます。この機能は、ネットワークインベントリの設計とアサインを処理する際のパス計算に使用できます。

パス検索機能を使用して、ネットワークサイト間の可能なパスを特定できます。

パスが見つからない場合、パス検索機能は利用可能な入力を使用して、接続要素を追加せずに論理接続を作成します。終了機器を入力しない場合は、終了サイトに属する [タイプ] 属性に一致する機器が選択されます。この関数は、入力の開始インターフェイスと終了インターフェイスを使用して、論理接続のポート A とポート Z を設定します。それ以外の場合は、[Availability] フィールドで [Available] とマークされている任意のインターフェイスが選択されます。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、パス検索機能の入力フィールドとその説明を示します。

パス検索機能の入力フィールド

名前	Description (説明)	データ タイプ
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワークサイトのsys_id。	文字列
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワークサイトのsys_id。	文字列
開始機器	この接続が構成されている開始ネットワーク機器のsys_id。	文字列
終了機器	この接続が構成されている終了ネットワーク機器のsys_id。	文字列
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイスのsys_id。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用して論理接続を作成することで、インターフェイスが自動的に選択されます。	文字列
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイスのsys_id。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用して論理接続を作成することで、インターフェイスが自動的に選択されます。	文字列
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器タイプのsys_id。	文字列
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデルのsys_id。	文字列

パス検索機能の入力フィールド (続く)

名前	Description (説明)	データ タイプ
Bandwidth (帯域幅)	接続の帯域幅のsys_id。	文字列
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン (追加 ) をクリックして、論理接続モデルを追加します。	Array.String
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン () をクリックして、物理接続モデルを追加します。	Array.String
失敗アクション	関数が失敗したときのアクションを選択するオプション。アクションはリストから選択できます。デフォルトでは、[パス要素なしで論理接続を作成] が選択されています。	選択肢

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
接続 ID	論理接続レコードのsys_idを返します。	文字列

通信事業ネットワークインベントリ サブフロー

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーサブフローを使用して、ネットワークインベントリの設計とアサインプロセスを自動化できます。

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

論理接続作成サブフロー

論理接続を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取った入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成できます。

概要

論理接続サブフローを使用して、ネットワークインターフェイスカードに論理接続を作成できます。

このサブフローでは、接続要素も作成され、論理接続に関連付けられます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として入力すると、論理接続作成サブフローによって対応する接続要素が作成されます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この フローデザイナー サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、論理接続作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

論理接続作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Bandwidth (帯域幅)	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.論理接続モデル
接続要素	論理接続に追加される接続要素。追加アイコン () を選択して、接続要素を追加します。	Array.String

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
Logical Connection (論理接続)	論理接続の Glide レコードを返します。	Reference.Logical connection
インターフェイス A との CI 関係	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係
インターフェイス Z との CI 関係	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係

関連情報

フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー

物理接続作成サブフロー

物理接続の作成サブフローを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成できます。

概要

[物理接続の作成] サブフローを使用して、ネットワーク内のインターフェイスカードに物理ポート接続を作成できます。

このサブフローでは、接続要素も作成され、物理接続に関連付けられます。

物理接続要素を入力すると、このサブフローは対応する接続要素を作成して物理接続に関連付けます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この フローデザイナー サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に物理接続の作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します

サブフローの入力フィールド

フィールド名	Description (説明)	データ タイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface
Bandwidth (帯域幅)	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.物理接続モデル
CI 関係性	構成アイテム (CI) 関係のタイプ。デフォルトでは、論理作成サブフローは CI 関係を Terminated::Terminated by に設定します。	Reference.CI 関係タイプ
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素の sys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場合は、接続要素を追加できます。 追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数のデータタイプの詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

名前	Description (説明)	データ タイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード
インターフェイス Z との CI 関係	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係
インターフェイス A との CI 関係	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係

関連情報

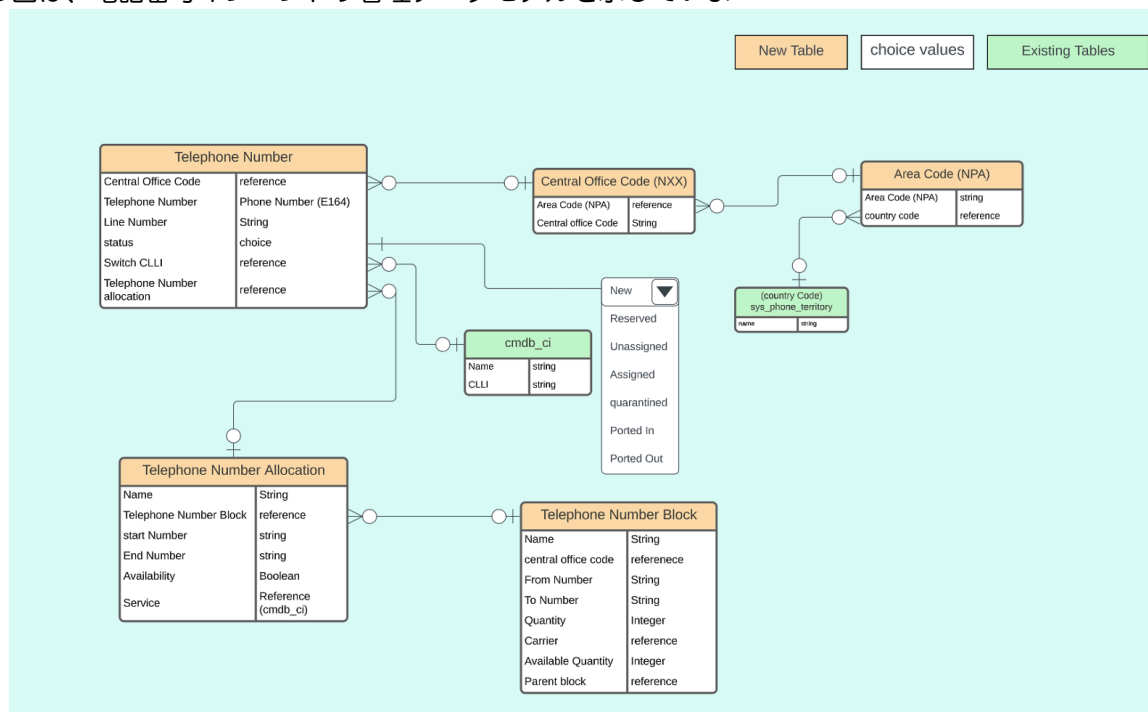
[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

電話番号インベントリ管理データモデル

電話番号インベントリ管理データ モデルを使用すると、電話ブロック、電話番号の割り当て、および電話番号のテーブルが互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、電話番号インベントリ管理データモデルを示しています。



す。

データモデルは、電話番号の使用状況と可用性の概要を提供します。このデータモデルを使用すると、電話ブロック、割り当て、および電話番号を保存できます。

- i 注:** また、カスタマーサービスの電話番号を割り当てたり、割り当てを解除したりすることもできます。電話番号ブロックテーブルの電話ブロックを作成する必要があります。

電話番号は次のように割り当てられます。

1. 電話番号インベントリマネージャーは、さまざまなタイプの電話番号をすべて保存するための電話番号ブロックを作成します。番号は、エリア、国、ポートインタイプ、またはポートアウトタイプに基づいて分類できます。ブロックの各レコードは、電話番号ブロックのテーブルに格納されます。
2. 次に、電話番号インベントリマネージャーは、サービスをシリーズまたは一連の番号に割り当てるための電話割り当てを作成します。電話ブロックは、グループをその子として持つことができます。これらの割り当ては、電話番号割り当てテーブルで作成されます。
3. 電話番号割り当てテーブルは、すぐに使用できる電話番号を電話番号テーブルのレコードに関連付けます。

関連情報

[電話インフラストラクチャの構築](#)

TNI CI 属性フォーム

TNI CI 属性フォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリの通信事業ネットワークインベントリ属性の詳細を作成できます。

TNI CI 属性フォーム

フィールド	説明
Configuration item (構成アイテム)	ネットワークインベントリ資産の構成アイテム (CI)。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ワイヤレスデバイスと接続を表します。 Telco エッジまたはアクセスネットワークを表します。 Core コアネットワークインフラストラクチャを表します。
インベントリカテゴリ	インベントリのタイプ。
インベントリテンプレート	インベントリテンプレート (存在する場合)。
機器 CLLI	このネットワーク資産に割り当てられた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、CLLI コードを使用して電気通信機器の場所と機能を指定しています。

TNI CI 属性フォーム (続く)

フィールド	説明
ネットワークサイト	ネットワークインベントリ資産がインストールされているネットワークサイト。検索アイコン (🔍) をクリックし、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
識別名	他の関連するネットワーク資産からの連結された名前と ID に基づく、ネットワーク資産の代替名参照。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用する、オプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン (🔍) を選択し、機能コードを選択します。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニットの位置。
アクセス識別子	適用外です。
前回のメンテナンス日	このネットワーク資産が最後にサービスが提供された日付。
アラーム可能である	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合やネットワーク停止の影響を受けた場合に、このネットワーク資産を交換できるかどうかを指定するオプション。
スペア	このネットワーク資産がスペアであるかどうかを指定するオプション。

TNI CI 属性フォーム (続く)

フィールド	説明
業務メモ	このネットワーク資産の自由形式の操作メモテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)